取扱説明書

FOMA® D901iS ’05.9

おサイフケータイ
iモード FeliCa

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D901iS」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。
FOMA D901iS は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様は SSL をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様による SSL のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- この FOMA 端末は、FOMA プラスエリアに対応しております。
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

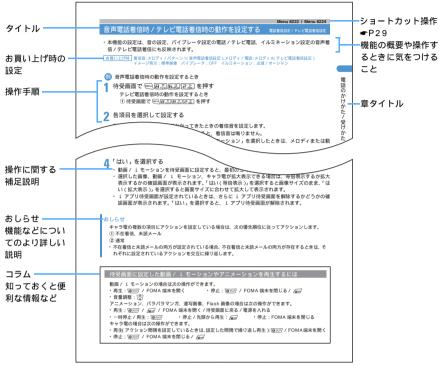
FOMA 端末、FOMA カードをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

本書の引きかた

- 表紙とインデックスから引く
  表紙や本書中のインデックスから、操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 目次から引く
  目次（☛P2）から操作したい項目や機能を選んで引きます。
- 索引から引く
  索引（☛P520）から操作したい項目や機能名を選んで引きます。
- 特徴から引く ☛P4
- やりたいことから探す ☛P518
- クイックマニュアルを利用する ☛P524

- この「FOMA D901iS取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D901iS」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中では miniSD メモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途 miniSD メモリーカードが必要です。
  miniSD メモリーカードについて ☛P342
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

※「安全上のご注意」は、P8 に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

■ 操作説明のページの構成

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

■ 操作方法の表記

- 操作方法は、主にショートカット操作で説明しています。操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 本書では、（イージーセレクタープラス）で項目にカーソルを合わせ、（決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後にを押す操作を省略しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）で説明しています。☛P460

おしらせ

- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、「IC カード機能に対応したおサイフケータイ対応 ｉ アプリ」を「おサイフケータイ対応 ｉ アプリ」と記載しております。

目次

Contents

FOMA D901iS の特徴

FOMA は、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の１つとして認定された W-CDMA 方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉモードだからスゴイ！

ｉモードは、ｉモード端末のディスプレイを利用して、ｉモードのサイト（番組）やｉモード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉモーション

サイトやインターネットから映像や音を取得して楽しめます。FOMA 端末に保存したｉモーションを、着信音や着信画像に設定することもできます（着モーション）。☛P306

ｉモーションメール

内蔵カメラで撮影した動画やサイトから取得したｉモーションを、ｉモードメールに添付して送ることができます。☛P229

D901iS の主な特徴

おサイフケータイ ｉモード FeliCa対応

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすることで、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。その他にも飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話が「おサイフケータイ」として実生活の中でますます便利な道具になります。☛P310

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話できます。相手の声をスピーカーから聞こえるようにしたり、アウトカメラに切り替えて周囲の風景を相手に見せることもできます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。☛P74

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。☛P223

PDF 対応ビューア

PDF の閲覧ができます。紙を持ち歩くように地図やカタログ、時刻表などの便利な情報をサイトやインターネットなどからダウンロードし、ｉモード端末で手軽に確認できます。☛P196、P370

キャラ電

テレビ電話中に、自分の映像の代わりに内蔵キャラクタやダウンロードしたキャラクタを表示させることができます。キー操作によりキャラクタに表情や動きを付けられます。☛P79、P333

大容量ｉアプリ／ｉアプリ DX

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、より豊かな表現でゲームを楽しんだり自動的に株価や天気情報などを更新させたりできます。さらにｉアプリ DX では、電話帳やメールなどｉモード端末内の情報と連動することで、よりｉアプリの楽しみかたが広がります。☛P282

３D×３D

強化された３Dグラフィックと進化した３Dサウンドの相乗効果により、カーレースゲームなどの臨場感を体感することができます。
☛P286、P111

あんしん設定

プロテクトキーロック

キーの誤操作を防ぎます。☛P145

シークレットモード

電話帳やスケジュールに「シークレット属性」を設定すると、シークレットモード中以外は表示されなくなります。☛P146

プライバシーモード

端末暗証番号を入力しないと電話帳、メール、画像、スケジュール、着信履歴、リダイヤルなどを表示できないように設定できます。FOMA 端末を一定時間操作しないと自動的にプライバシーモードにする設定もできます。☛P143

※その他のあんしん設定については☛P133

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

豊富なネットワークサービス

●留守番電話サービス（有料）※1☛P416
●転送でんわサービス（無料）※1☛P419
●SMS（ショートメッセージ）（無料）※2 ☛P272
●キャッチホン（有料）※1☛P418
●デュアルネットワークサービス（有料）※1 ☛P422

※1：お申し込みが必要です。
※2：お申し込みは不要です。

多彩な機能

ワンプッシュオープン

サイドのワンプッシュオープンボタンを押すと、片手ですばやくスライドオープンできます。

スライド連動機能

●着信中にFOMA端末を開くだけで電話に出られます。☛P58
また、通話中にFOMA端末を閉じるだけで通話を終了したり保留できます。☛P58
●受信メールやスケジュール表示中にFOMA端末を開くだけで、返信画面やスケジュールの編集画面を表示できます。☛P382

美しい音質でメロディ再生

PCM音源64和音、声や効果音などの着信音（ADPCM音源）にも対応しています。

カメラ搭載

アウトカメラと自分撮り用のインカメラを搭載しており、大きなディスプレイで見ながら撮影できます。オートフォーカス対応で最大4Mピクセルの静止画を撮影できます。最大28倍ズームのほか、接写やフレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。また、レンズカバーの開閉でカメラの起動／終了ができます。☛P152

アウトカメラ：有効画素数200万画素（最大記録画素数400万画素）
インカメラ　：有効画素数32万画素（最大記録画素数31万画素）

マルチアクセス機能

音声通話とパケット通信を同時に利用できます。iモード中の通話や、通話中のメールの送受信ができます。☛P378

マルチタスク機能

複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できます。たとえば電話しながら受信メールを読んだり、電話帳を登録したりできます。☛P380

シンプルメニュー

通常のメインメニューとは別に、「でんわ」や「メール」、「カメラ」、「iモード」などのよく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニューがあります。☛P27

高精細、大画面ディスプレイ

240×345ドット、2.4インチのTFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを美しく表示します。
1つの画面の中にQVGAサイズのメイン液晶部と情報表示行があります。情報表示行には、カレンダー、メモ帳、スケジュールなどを表示できます。また、メールの着信を確認できます。☛P131

高画質な動画を撮影・再生

動きのなめらかな動画を撮影・再生できます。また、QVGAサイズ（240×320ドット）の大画面で動画を撮影・再生できます。☛P162、P324

自動時刻補正

ドコモネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正します。設定した時間だけ進めたり、遅らせたりすることもできます。☛P42

バーコードリーダー

内蔵カメラでJANコード、QRコードを読み取れます。読み取り結果を利用して電話帳登録やサイト接続、メール送信などさまざまな操作ができます。☛P172

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。☛P360、P366

miniSDメモリーカード対応

FOMA端末内の画像、メロディ、電話帳、メールなどをminiSDメモリーカードにバックアップできます。☛P342
外部機器で作成した動画や音楽データ（映像のないiモーション）をminiSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。（一部条件下では再生できない場合があります。）☛P489、P490
FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続すれば、FOMA端末に挿入したminiSDメモリーカードをパソコンの外部メモリとして利用できます。☛P430

D901iS を使いこなす！

D901iS の多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

キャラ電で気持ちを伝える

テレビ電話で通話するとき、自分の映像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示できます。キー操作でアクション（動きや表情）を付ければ、気持ちも表現できます。☛P79、P333

自分の画面

©BVIG

キーを押してアクションを指示します。

相手の画面

©BVIG

キャラクタが動きます。

ワンショットメールで画像を送る

音声電話で通話中にカメラ撮影をして、通話中の相手にすぐにメールで画像を送信できます。☛P171

通話中

通話したままカメラ撮影できます。

電話帳から宛先が設定されるので、簡単にメールを作成・送信できます。

着モーションで着信やアラームを知らせる

ｉ モーションや内蔵カメラで撮影した動画を着信音に設定すれば、映像と声や音で着信をお知らせします。電話帳に相手の動画を登録することもできます。☛P327

また、アラームやスケジュールに ｉ モーションや動画を設定すれば、指定時刻に映像と声や音でお知らせします。☛P384、P388

着信音に設定

アラームに設定

多彩な待受画面

スライド式のため、大きな画面で表示内容をすばやく確認できます。時計の表示もいろいろ選べます。☛P130
待受画面には未読メール、不在着信などの新着情報や、カレンダー、スケジュールなどを表示でき、簡単な操作で内容を確認できます（カスタム待受画面）。☛P120
また、設定したフォルダ内の画像をランダムに待受画面に表示することもできます。☛P118

カスタム待受画面

を押して選びます。　**内容を確認できます。**

G ガイド番組表リモコン搭載

番組情報を見ながらテレビ、ビデオ、DVD のリモコン操作ができる ｉ アプリ「G ガイド番組表リモコン」を搭載しています。ジャンルやタレントなどのキーワードで番組を検索したり、番組を FOMA 端末のスケジュール帳に登録し、開始時刻にアラームを鳴らすこともできます。☛P292

※：画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

情報表示機能

カレンダー、メモ帳、スケジュールなどを情報表示行に表示でき、他の機能を操作中でも確認できます。また、メールやメッセージ R/F の着信もお知らせします。☛P131

カレンダーの表示例

スケジュールの表示例

新着メールの表示例※

※：受信表示設定を「操作優先」に設定した場合です。操作中の画面を表示したまま、情報表示行でメールの着信を確認できます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- **「安全上のご注意」は下記の 6 項目に分けて説明しています。**

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMA カードの取扱いについて（共通）

危険

指示

FOMA 端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA 端末や電池パック、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　D04　　卓上ホルダ　D04　　リアカバー　D04
FOMA AC アダプタ　01　　FOMA DC アダプタ　01
その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

警告

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。
また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（IC カードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA 端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、直ちに次の作業を行ってください。
1. 電源プラグをコンセントやソケットから抜く。
2. FOMA 端末の電源を切る。
3. 電池パックを FOMA 端末から取り外す。
そのまま使用（充電）すると、発火などの事故の原因となります。電池パックを取り外したあと、当社窓口までご連絡ください。

注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

FOMA 端末の取扱いについて

警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004 年 11 月 1 日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話するときは、必ず FOMA 端末を耳から離して使用してください。
難聴になる可能性があります。

禁止

エアバックの近くのダッシュボードなど、エアバックの展開による影響が予想される場所に FOMA 端末を置かないでください。
エアバックが展開した場合、FOMA 端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA 端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

コンパクトライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてコンパクトライトを点灯しないでください。
目がくらんで運転ができなくなり、事故の原因となります。

⚠注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質
イージーセレクタープラス、、、、、ワンプッシュオープンボタン	クロムメッキ

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

コンパクトライトをカメラ撮影以外の用途に使用しないでください。
カメラが終了するとコンパクトライトは消灯します。急に暗くなり、事故の原因となります。

禁止

miniSDメモリーカードスロット、FOMA端末内のFOMAカード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障などの原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末を閉じるときは、指をはさまないようにしてください。
けがの原因となることがあります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

つづく

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA 端末から取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

直射日光の強いところや炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。
漏液、発熱や性能、寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

オプション品（AC アダプタ、DC アダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取扱いについて

⚠警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

分解禁止

分解、改造はしないでください。
感電、火災、故障の原因となります。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしないでください。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA海外兼用ACアダプタ01を使用してください。

ACアダプタ：AC100V
FOMA海外兼用ACアダプタ
：AC100～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

電源プラグがコンセントから抜けない場合、無理に抜かないでください。
破損し、感電や事故の原因となります。

つづく

⚠注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らないでください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。

FOMAカードの取扱いについて

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

⚠注意

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

FOMAカードを取り外す際はご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

禁止

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

ICを傷つけないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
故障の原因となります。

指示

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については当社窓口までお問い合わせください。

水ぬれ禁止

FOMA カードを濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

FOMA カード保管の際には、直接日光が当たる場所や高温多湿な場所に置かないでください。
故障の原因となります。

分解禁止

FOMA カードを分解、改造しないでください。
データの消失、故障の原因となります。

禁止

FOMA カードはほこりの多い場所には保管しないでください。
故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には FOMA 端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA 端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかるようなことはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

・お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で行ってください。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などでふくと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA 端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。

FOMA 端末は周囲温度が 5 ℃～ 35 ℃、湿度が 45%～ 85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットに FOMA 端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

故障の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA 端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

●ストラップに手を通してお持ちください。

落下し、故障の原因となることがあります。

●通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップ、miniSDメモリーカードスロットのカバーをはめた状態でご使用ください。

ほこり、水などが入り故障の原因となることがあります。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●使用中、充電中、FOMA 端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイの背面やダイヤルキーのある面に厚みのあるシールなどを貼らないでください。

故障、破損の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5 ℃～ 35 ℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。
  不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。
  長時間放置される場合は FOMA 端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。また、半年に 1 回程度、電池パックの補充電を行ってください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5 ℃～ 35 ℃）の場所で行ってください。また、次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所　・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DC アダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMA カードについてのお願い

- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中に FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他の IC カード読み取り装置（リーダー／ライター）などに、FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- お客様ご自身で FOMA カードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管するようお願いします。
  万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になった FOMA カードは当社窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。

つづく

【撮影・画像送信について】
メール添付を利用して撮影・画像送信を行う際は、著作権等の知的財産権、肖像権、プライバシー権等の他人の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、これらの他人の権利を侵害する行為、メール添付を利用した迷惑行為や公序良俗に反する画像の撮影・画像送信行為等は法令等により罰せられる場合や損害賠償請求を受ける場合がございます。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「i モーション／アイモーション」「i モード」「i アプリ／アイアプリ」「i アプリサーチ／アイアプリサーチ」「i メロディ／アイメロディ」「i アニメ／アイアニメ」「DoPa／ドゥーパ」「mopera／モペラ」「mopera U／モペラ ユー」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ドライブモード」「ショートメール」「i モーションメール／アイモーションメール」「デコメール」「着モーション」「おサイフケータイ」「キャラ電」「マルチアクセス」「i アプリ DX」「i ショット／アイショット」「i エリア／アイエリア」「デュアルネットワーク」「クイックキャスト」「FirstPass／ファーストパス」「sigmarion／シグマリオン」「セキュリティスキャン」「musea／ミュゼア」および「FOMA」ロゴ「i-mode」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Java及びJavaに関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- ＦｅｌｉＣａは、ソニー株式会社の登録商標です。
- （マーク）はフェリカネットワークス株式会社の商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。Copyright©1996-2005 ACCESS CO., LTD.
  NetFront及び NetFront® は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

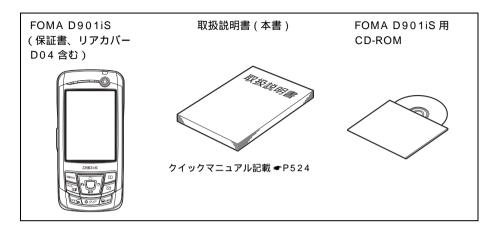
・本製品は Macromedia, Inc. の Macromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。
Copyright© 1995-2005 Macromedia, Inc. All rights reserved.
Macromedia、Flash、Macromedia Flash は Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・McAfee®、マカフィー® は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
・QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
・本製品は Adobe Systems Inc. の Adobe Reader を搭載しています。
Copyright© 2005 Adobe Systems Incorporated.
All rights reserved. Patents pending.
Adobe, the Adobe logo and Reader are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated.
・miniSD™ および mini は SD アソシエーションの商標です。
・Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの登録商標です。
・G ガイドモバイル、G-GUIDE Mobile、G ガイドモバイルロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における商標、G ガイド、G-GUIDE、G ガイドロゴ、および G コード、G-Code は、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
・「電車で GO！」は、株式会社タイトーの商標です。
©TAITO CORPORATION 1996，2005 ALL RIGHTS RESERVED.
JR 東日本・JR 西日本・JR 九州・北越急行商品化許諾済
・「ウゴクフォトミラクル」は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
©2005 FUJI PHOTO FILM CO., LTD. All Rights Reserved.
©2005 IMJ Corporation. All Rights Reserved.
・QuickTime は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
・「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
・その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

・ＦｅｌｉＣａ は、ソニー株式会社が開発した非接触 ＩＣ カードの技術方式です。
・「Edy（エディ）」はビットワレットが管理するプリペイド型の電子マネーサービスのブランドです。
・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
・MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video) を記録する場合
・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録された MPEG-4 Video を再生する場合
・MPEG LA よりライセンスを受けた提供者により提供された MPEG-4 Video を再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人 MPEG LA,LLC にお問い合わせください。
・下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

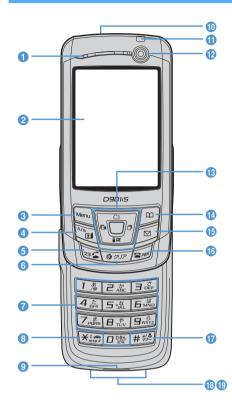
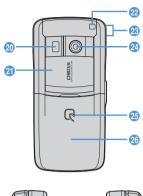
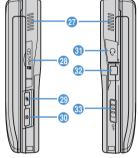
4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

主なオプション品

・その他オプション品について☛P488

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ106×幅50×厚さ24
※閉じているとき
質量（g）　：約128
※電池パック装着時

❶ **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

❷ **ディスプレイ** ☛P24

❸ **MENU／左上ソフト／マナーモードキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行、マナーモードの設定／解除などに使います。

❹ **テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、スピーカーホン機能でのテレビ電話発信、メールやサイト画面の1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

❺ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

❻ **クリアキー**
文字の消去や、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使用します。また、iアプリ待受画面を設定中に押すとiアプリが起動します。

❼ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

❽ **＊／ドライブモードキー**
「＊」の入力、ドライブモードの設定／解除、カメラ使用時の画面モードの切り替えなどに使います。

❾ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

❿ **赤外線ポート** ☛P360
赤外線でデータをやりとりします。

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

⑪ **着信ランプ**
電話着信時やメール受信時、FOMA端末開閉時、カメラ起動時などに点灯／点滅します。点灯パターン、点灯色を設定できます。また、新着情報があるときに点滅します（☛P128）。充電中は赤く点灯します。

⑫ **インカメラ☛P85、P152**
自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信します。

⑬ **イージーセレクタープラス**
決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチボタン登録したｉアプリの起動などに使います。
データBOX／ビデオカメラ／↑キー
データBOXメニューの表示、ビデオカメラの起動、カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。
着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。
リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動、ICカードロックの設定／解除などに使います。

⑭ **電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑮ **メール／スクロール／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の１画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑯ **電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、応答保留、通話／操作中の機能の終了、シークレットモードの解除などに使います。

⑰ **#／マナーモード／改行キー**
「#」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。アウトカメラ使用時、通常モードと接写モードを切り替えます。

⑱ **充電端子**
卓上ホルダ（別売）を使用して充電するときの端子です。

⑲ **外部接続端子☛P39、P431**
各種オプション品などを接続します。

⑳ **コンパクトライト☛P86、P157、P162**
アウトカメラ使用中に点灯できます。また、静止画／動画撮影時に赤く点灯／点滅します（ただし、コンパクトライトを点灯して撮影していると、赤の点灯／点滅がわかりにくい場合があります）。

㉑ **レンズカバー☛P153**

㉒ **ストラップ取付口**

㉓ **アンテナ部（アンテナ内蔵）**
よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉔ **アウトカメラ☛P85、P152**
静止画や動画を撮影したり、テレビ電話で映像を送信します。

㉕ **FeliCaマーク**
ICカードが搭載されていることを示しています。このマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしてICカード機能を利用します。なお、ICカードは取り外せません。

㉖ **リアカバー**

㉗ **スピーカー**
着信音などが鳴ります。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。

㉘ **miniSDメモリーカードスロット☛P346**
miniSDメモリーカードをここに挿入します。

㉙ **TASKキー☛P378、P380**
マルチアクセス･マルチタスクの操作に使います。

㉚ **伝言メモ／シャッターキー**
伝言メモ／音声メモメニューの表示、クイック伝言メモの録音、カメラの起動や撮影、着信音／アラーム音の停止などに使います。
※ はカメラのオートフォーカス撮影に使用するため半押しと全押しがあります。このため、他のキーと押したときの感触が異なります。

㉛ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。

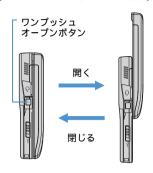
㉜ **ワンプッシュオープンボタン**
FOMA端末を開くときに使います。

㉝ **プロテクトキー☛P145**
プロテクトキーロックの設定／解除に使います。

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

※平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタP001を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

FOMA 端末を開く／閉じる

FOMA 端末を開くときは、ワンプッシュオープンボタンを押してください。閉じるときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を下にスライドさせてください。

- FOMA 端末を開くことで、メールの返信画面やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などが簡単にできます。☛P239、P389、P406
- FOMA 端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA 端末を開いて電話に出たり、FOMA 端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P58

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

※取扱説明書の説明用の待受画面の背景は、架空のものです。待受画面の表示はお好みの画像に変更できます。☛P116

① :電池残量表示☛P40
漢／ｶﾅ／ｶﾅ英／ｶﾅ数／全ｶﾅ／全英／全数／全かな
:文字入力モード表示☛P460

② :受信レベル☛P42
圏外:圏外表示☛P42
self:セルフモード中☛P141
:データ転送モード中☛P428
赤外線起動中☛P363
miniSDメモリーカードアクセス中☛P346、P350、P352
miniSDモード中☛P430
データリンクソフト使用中☛P489

③ :ｉモード中（ｉモード接続中）☛P182
:ｉモード中（パケット通信中）☛P203、P236

④ :赤外線通信中☛P361
赤外線リモコン使用中☛P366

⑤ :スピーカーホン機能利用中☛P47
:USBハンズフリー通信中☛P55
:積算通話料金が上限を超過☛P404

⑥※1 :センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯※2☛P237、P204
／／
:センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯☛P237、P204
:センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり☛P237、P204
／／
:センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり☛P237、P204

⑦※1 :未読ｉモードメール、SMS満杯でFOMAカードにSMS満杯☛P275
:未読ｉモードメール、SMS満杯☛P237、P275
:FOMAカードにSMS満杯☛P275
:未読ｉモードメール、SMSあり☛P236、P274
:未読ｉモードメールあり☛P236
:未読SMSあり☛P274

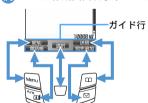
※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

❽ ／ (青／赤)
:未読メッセージRあり／満杯☛P203
❾ ／ (緑／赤)
:未読メッセージFあり／満杯☛P203
❿ :iアプリ動作中☛P286
:iアプリ待受画面表示中☛P118
:iアプリ待受画面からのiアプリ起動中に点滅☛P299
:iアプリDX動作中☛P286
:iアプリDX待受画面表示中☛P118
:iアプリDX待受画面からのiアプリ起動中に点滅☛P299
⓫ :SSLページ表示中およびSSLページからダウンロードしたiアプリを使用中またはiアプリでSSL通信中☛P183
⓬ :シークレットモード中☛P146
⓭ :iアプリ自動起動失敗☛P297
⓮ :不在着信件数☛P32
⓯ :伝言メモ件数☛P32
⓰ :留守番電話新メッセージ件数☛P32
⓱ :未読メール件数☛P32
⓲ :マナーモード中☛P114
:オリジナルマナーモード中☛P115
⓳ :電話着信音消音設定中☛P62
:音声電話着信のバイブレータ設定中☛P112
:電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中☛P62、P112
⓴ :ドライブモード中☛P66
㉑ :伝言メモ設定中☛P68
:伝言メモ満杯☛P68
㉒ :プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P145
㉓ :USB経由で外部機器からテレビ電話使用中☛P88
USB接続ケーブルで接続中☛P431
㉔ ／
:フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キーの表示☛P32
㉕ :miniSDメモリーカード装着中☛P346
㉖ :FOMAカード読み込み中☛P42
※1 :ICカードロック中☛P312
㉗ :PIMロック中☛P142
※1 :ダイヤル発信制限中☛P143
㉘ :アラーム設定中☛P384
:スケジュールアラーム設定中☛P388
:アラームとスケジュールアラームを同時に設定中
㉙ :ソフトウェア更新予約中☛P505

※1:現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2:iモードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、Menu、A/a、、、を押して実行できる操作が表示されます。

例 メール作成画面表示中のガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（Menu/A/a///）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。
- ガイド行のは、イージーセレクタープラスのに対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

情報表示行の見かた

設定によって、カレンダーやメモ帳、スケジュールなどが表示できます。☛P131
また、カメラ起動時には設定状態アイコン（☛P154）が表示され、メール／メッセージ受信時には受信結果がスクロール表示されます。

例 1Week カレンダーに表示しているとき

・情報表示行設定のパーシャル時表示を「ON」に設定している場合、操作せずに約 90 秒経過すると、パーシャル表示画面になります。情報表示行には日付・時刻と各種のアイコン※（電池残量、受信レベル、未読メール状態表示、不在着信、マナーモード、プロテクトキーロック）が表示されます。

※：通話中は、電池残量、受信レベル、通話中のアイコンが表示されます。

タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大 9 個表示されます。
現在、動作中の機能を確認できます。

例 テレビ電話通話中にスケジュール帳のカレンダーを表示したときのタスクバー

タスクバー

- ：音声電話
- ：テレビ電話（64K）
- ：テレビ電話（32K）
- ：64Kデータ通信
- ：メール
- ：ｉモードメール受信中
- ：SMS 受信中
- ：チャットメール
- ：メッセージR/F
- ：ｉモード／SMS 問合せ中
- ：ｉモード
- ：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト
- ：ｉアプリ
- ：USB 経由でパケット発信・通信中
- ：USB経由でパケット送受信中
- ：マイピクチャ
- ：ｉモーション
- ：メロディ
- ：キャラ電
- ：マイドキュメント
- ：サウンドレコーダー
- ：カメラ
- ：ビデオカメラ
- ：バーコードリーダー
- ：電話帳
- ：伝言メモ・音声メモ
- ：メモ帳
- ：スケジュール帳
- ：スケジュールアラーム鳴動中
- ：電卓
- ：着信履歴
- ：リダイヤル
- ：外部データ連携中
- ：赤外線通信の受信設定中・INBOX 保存中
- ／（紺／グレー）：miniSDメモリーカードへアクセス中／アクセス待機中
- ／（紺／グレー）：miniSDモード中(通信可能)／miniSDモード中（USB接続ケーブル未接続／ miniSDカード未挿入）
- ：アラーム鳴動中
- ：自局番号
- ／（紺／グレー）：各機能の設定中／保留中
- ：ソフトウェア更新中
- ：ソフトウェア更新の通知あり
- ：パターンデータ更新中／バージョン表示中
- ：各種ネットワークサービス設定中
- ：外部機器によるテレビ電話

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

一覧画面の見かた

例 カラーテーマ設定画面

現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）

▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。

- [上下キー]を押してカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で[下キー]を押すと次ページ、ページの先頭の項目で[上キー]を押すと前ページが表示されます。

◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。

- [左右キー]を押してページを切り替えます。

※アイコンの選択画面などでは切り替わりません。

- 色名はイメージです。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA 端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

● 電源を切っているとき、情報表示部がメイン表示部とは若干異なる色に見えますが、この現象は液晶の特性であり、故障ではありません。

メニューの選択方法

メニューにはノーマルメニューと、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューがあります。シンプルメニューでは、文字も大きく表示されます。ほかにも、自分だけのオリジナルメニューを作ることができます（カスタムメニュー **☛P396****）。**

ノーマルメニューとカスタムメニューの表示形式

3 種類から選べます（メニュー設定 ☛P126）。

リスト

タイルアイコン

3D アイコン

シンプルメニューに切り替える

- バイリンガル設定を英語表示に設定しているときは、シンプルメニューに切り替えられません。また、シンプルメニューに設定すると、バイリンガルの設定はできません。
- シンプルメニューに設定している場合に、バイリンガル設定が英語表示に設定されている FOMA カードを差し込み、FOMA 端末の電源を入れたときは、メニュー表示はノーマルメニューになります。

つづく

1 待受画面で Menu を押す

ノーマルメニューが表示されます。

- カスタムメニューが表示されたときは 📖 を押します。

2 ✉ を押す

シンプルメニューが表示されます。

■ **ノーマルメニューに切り替えるには**

① 待受画面で Menu ✉ を押す

- カスタムメニューに切り替えるには待受画面でMenu 📖を押します。

シンプルメニューに設定したときは

- 通話中は、受話音量の調整方法が表示されます。
- 待受画面でメモリ番号（1 ～ 9）を入力すると、登録されている名前と電話番号が表示されます。また、音声電話やテレビ電話をかけるキー操作が表示されます。通話中に Menu を押し、「ダイヤル入力」を選択してメモリ番号を入力した場合も同様に表示されます。

シンプルメニューから操作できる機能

- シンプルメニューからは実行できないメニューがあります。

メニュー		ショートカット操作
でんわ	電話帳検索	Menu 1 1
	電話帳登録	Menu 1 2
	リダイヤル	Menu 1 3
	着信履歴	Menu 1 4
	伝言メモ一覧	Menu 1 5
	自局番号	Menu 1 6 / Menu 0
メール	受信メール	Menu 2 1
	送信メール	Menu 2 2
	未送信メール	Menu 2 3
	新規メール	Menu 2 4
	ｉ モード問合せ	Menu 2 5
カメラ	カメラ	Menu 3 1
	マイピクチャ	Menu 3 2
	待受画面設定	Menu 3 3

メニュー		ショートカット操作
ｉモード	iMenu	Menu 4 1
	Bookmark	Menu 4 2
	ラスト URL	Menu 4 3
	画面メモ	Menu 4 4
ｉアプリ	ソフト一覧	Menu 5 1
	待受画面設定	Menu 5 2
	ｉ アプリ設定※	Menu 5 3
データ BOX ※		Menu 6
設定／ステーショナリー	音／バイブ※	Menu 7 1
	ディスプレイ※	Menu 7 2
	アラーム	Menu 7 3
	電卓	Menu 7 4
	伝言メモ設定	Menu 7 5
	情報表示／リセット※	Menu 7 6
	留守番電話※	Menu 7 7

※：選択した以降の階層のメニュー項目は、ノーマルメニューと同じです。

メニューから機能を選択する

ダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、イージーセレクタープラスでメニュー項目を選択する方法があります。

- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されたりして選択できません。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキー（1～9）を押して選択できます。項目の位置とダイヤルキーは次のように対応しています。

ノーマルメニュー（タイルアイコン）

シンプルメニュー

- 本書では、主にノーマルメニューのショートカット操作で説明しています。

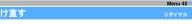
例 ノーマルメニューから「受話音量調整」を実行するとき

1 待受画面で Menu 8 1 3 を押す

受話音量調整画面が表示されます。

複数のショートカット操作がある場合

本文中のタイトル右端にショートカット操作を記載しています。

例 リダイヤルの場合

Menu でメニューを表示したあと 4 5 の順に押すと、リダイヤルが表示されることを示します。

- **✉ は ✉、⬇ は ⬇ を押すことを示します。**

イージーセレクタープラスでメニューを選択する

例 ノーマルメニュー（タイルアイコン表示）から「受話音量調整」を実行するとき

1 待受画面で Menu を押す

2 ✣ を押して「設定」を選択する

- シンプルメニューの場合は、✣ を押して項目にカーソルを合わせ、● または ☐ を押します。

3 ✣ を押して「音／バイブ」を選択する

つづく

4 を押して「受話音量調整」を選択する

受話音量調整画面が表示されます。

リスト表示での選択方法

を押してメニュー項目にカーソルを合わせ、 を押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。
- を押してメニュー項目にカーソルを合わせ、 を押しても選択できます。
- 1つ前のメニューに戻すには または を押します。

3Dアイコン表示での選択方法

を押し、目的のアイコンを最前面に移動させ、 を押します。

- を押すと奥のアイコンが最前面に表示されるように移動します。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号はタイルアイコンやリストメニューに切り替えて確認してください。

メニューの説明が見たいとき（機能説明表示）

を押し、メニュー項目にカーソルを合わせてしばらくすると、機能説明が表示されます。

 ノーマルメニューの場合

- 機能説明はしばらくすると自動的に消えます。
- 機能説明を表示しないように設定できます。☛P126

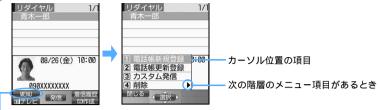
メニューを選択した後で待受画面や1つ前の画面に戻すとき

：待受画面に戻ります。　　　：1つ前の画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択する

機能によっては、ガイド行の左上に「MENU」が表示されるものがあります。このときには、サブメニュー項目を選択することで、さまざまな操作ができます。

例 リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 **リダイヤル一覧で [Menu] を押す**

2 **[↕] を押してサブメニュー項目を選択する**

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。項目番号は同じ機能でも操作する画面により異なる場合があります。
- [↕] を押してサブメニュー項目にカーソルを合わせ、[□→] を押しても選択できます。
- 1つ前のメニューに戻すには [←□] または [クリア] を押します。
- サブメニュー表示中に [Menu] を押すと、サブメニューが閉じます。

画面の各項目を設定する

確認画面で「はい／いいえ」を選択するには

1 **[↕] を押して「はい」または「いいえ」を選択する**

- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

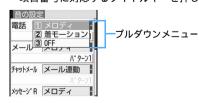
プルダウンメニューから項目を選択するには

1 **[↕] を押して設定する項目にカーソルを合わせる**

2 **[●] を押してプルダウンメニューを表示させ、[↕] を押して項目にカーソルを合わせる**

- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

3 **[●] を押す**

つづく

チェックボックスで項目を選択するには

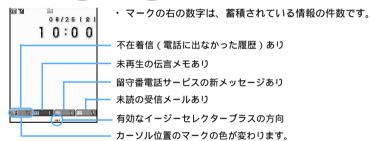
1 を押してチェックボックスにカーソルを合わせて を押す

チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。
- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、Menu を押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーを押しても選択できます。

情報をすばやく表示する フォーカスモード

待受画面に や などのマークが表示されたときに、対応する情報をすばやく表示できます。
- カスタム待受画面を設定しているときは、待受画面に情報が表示されます。表示されている情報を選択して、詳細情報を手早く確認できます。

1 待受画面で を押し、 を押してマークにカーソルを合わせる

- マークの右の数字は、蓄積されている情報の件数です。

2 を押す

選択したマークに対応する画面が表示されます。

：着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報も確認できます。

：伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

：留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

：受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

おしらせ
- マークを選択して クリア を1秒以上押すと、マークは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。
- PIMロックなど各種ロック機能の設定により、マークが表示されない場合があります。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

FOMA端末の保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
メール	受信メール※1、※2	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、※2	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1	最大100件	−
FOMAカードのSMS※3		最大20件	−
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
ブックマーク		最大100件	−
画面メモ※1		最大100件	最大50件
iアプリ※4		最大100件	最大100件
画像※1		最大1000件	−
メロディ※1		最大500件	−
PDFデータ※1		最大100件	−
動画／iモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	−
キャラ電※1		最大50件	−

※1：実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※2：iモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は含まれません。
※4：メール連動型iアプリは最大5件（iアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。実際に保存できる件数は、iアプリのサイズにより少なくなる場合があります。

おしらせ

● FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● FOMA端末に保存したメール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどはminiSDメモリーカードに保存することをおすすめします。保存できるデータについては☛P346
● パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどのデータをパソコンに転送・保管できます。
● FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。

FOMA カードを使う

FOMA カードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。
FOMA 端末に挿入して使用します。

- FOMA カードの詳しい取り扱いについては、FOMA カードの取扱説明書をご覧ください。

FOMA カードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA 端末は FOMA カードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMA カードを取り付けてください。

- FOMA カードの取り付けや取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- FOMA カードの取り付けや取り外しは、FOMA 端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。

取り付けかた

❶リアカバーを外し、電池パックを取り外す
☛P37

❷FOMA カード差込み口カバーを引き出す
FOMAカード差込み口カバーに指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❸IC 面を下にして FOMA カードを差し込む

❹FOMA カード差込み口カバーをトレイと水平になるように戻す
FOMA カードと FOMA カード差込み口カバーの切り欠き部分を合わせてください。

❺電池取付部の壁まで押し込む

❻電池パックとリアカバーを取り付ける
☛P37

取り外しかた

❶FOMA カード差込み口カバーを引き出す

- 「取り付けかた」の ❶ ～ ❷ と同じです。

❷FOMA カードを引き抜く

FOMA カードトレイが外れたとき

FOMA カードトレイを差し込み、まっすぐに押し込んでください。

- FOMA カードを外してから行ってください。

おしらせ

- ● FOMA カードを無理に取り付けようとすると、FOMA カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- ● 取り外した FOMA カードはなくさないようにご注意ください。
- ● 電池パックを取り付けるときは、必ず FOMA カードのトレイが出ていないことを確認してください。トレイが出ていると電池パックを取り付けることができません。無理に取り付けようとすると FOMA カードやトレイが壊れることがあります。
- ● FOMA カードが FOMA カード差込み口カバーに乗り上げたままトレイを押し込むと、動作異常の原因となりますのでご注意ください。

FOMA カードの暗証番号について

FOMA カードには、「PIN1 コード」「PIN2 コード」という 2 つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。☛P136

PIN ロック解除コード

- PIN ロック解除コードは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための 8 桁の番号です。お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMA端末がロックされます。PINロック解除コードはメモに控えるなどしてお忘れにならないようご注意ください。なお、PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。PINロック解除 ☛P137

FOMA カード動作制限機能について

FOMA 端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMA カード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA 端末にお客様の FOMA カードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルには FOMA カード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - ・画面メモ
  - ・デコメール本文中に挿入されている画像
  - ・ｉ アプリ（ｉ アプリ待受画面を含む）
  - ・画像（アニメーション、Flash を含む）
  - ・メロディ
  - ・メッセージ R/F
  - ・ｉ モードメールに添付されているファイル
  - ・ｉ モーション
  - ・キャラ電
  - ・PDF データ
- FOMA カード動作制限機能が設定されている ｉ アプリは、別の FOMA カードに差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合に、次の操作ができなくなります。
  - ・起動
  - ・自動起動
  - ・バージョンアップ
  - ・ｉ アプリの詳細情報の表示
  - ・自動起動設定の変更
  - ・ｉ アプリの動作設定
  - ・ｉ アプリ待受画面の設定

おしらせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信やminiSDメモリーカード、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した画像には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信やminiSDメモリーカードへコピー／移動できません。
- FOMAカードの動作制限機能によっておサイフケータイ対応iアプリが起動できない場合でも、FeliCaマークの面を読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす機能は利用できます。

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大26桁	最大20桁	P95
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P209
WORLD WINGサービスの利用			P36
サービスダイヤル	「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付」の利用 ※「故障お問い合わせ先」および「DoCoMoインフォメーションセンター」に接続されます。	利用不可	P423

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外用携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。WORLD WINGのご利用にはお申込みが必要です。詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 一部ご利用できない料金プランがあります。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

・電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA 端末を閉じた状態で行ってください。
・カメラに触れないように注意してください。

取り付けかた

❶**リアカバーを外す**
リアカバーの先端凹部に指をかけ、中心より少し右の部分を押さえながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷**電池パックの印字面を上にして、FOMA 端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む**
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損する恐れがあります。ご注意ください。

❸**電池パックをはめ込む**

❹**リアカバーを FOMA 端末から約 5mm ずらして置く**

❺**リアカバーをスライドさせる**
正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた

❶**リアカバーを外す**

❷**電池パックの突起部分を持って取り外す**

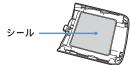
電池パックのリサイクルについて

この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMo または代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

● リサイクルの際、以下のことにご注意ください。
・端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
・分解、改造をしないでください。

おしらせ

● FOMA 端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。

● リアカバー裏面に貼り付けられているシールをはがすと、IC カードが認識されず IC カード機能がご利用できない場合がありますので、シールをはがさないようお願いいたします。また、リアカバーの取り付け／取り外しを行う際は、シールがはがれないようご注意ください。

充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。

・電池残量は、電池マークで確認します。☛P40

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間	連続待受時間※	
約 140 分	音声電話時　約 170 分 テレビ電話時　約 100 分	静止時	パーシャル時表示「ON」：約 400 時間
			パーシャル時表示「OFF」：約 600 時間
		移動時	パーシャル時表示「ON」：約 300 時間
			パーシャル時表示「OFF」：約 430 時間

※：「パーシャル時表示」設定は、ディスプレイ消灯時にも情報表示行を表示するかどうかの設定です。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

・連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
・連続待受時間とは FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話(通信)･待受時間は短くなります。
・静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
・移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
・データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

電池パックについて

● 電池パック D04 をご使用ください。
● 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに 1 回の使用時間が短くなっていきます。1 回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命と考えてください。電池パックの寿命の目安は、約 1 年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電の開始／終了とその他の留意事項

FOMA 端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

・充電を開始すると、着信ランプが赤く点灯します。
電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池マークが点滅します。

マーク	着信ランプ	意　味
(充電中：点滅 充電完了：点灯)	充電中：点灯（赤） 充電完了：消灯	正常に充電しています。

※電池マーク設定でマークを変更できます。☛P127

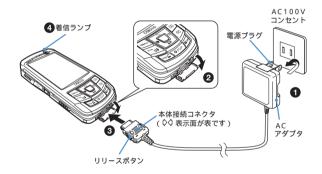
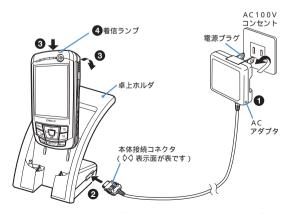
・充電を開始しても着信ランプが赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

・充電が完了すると、着信ランプが消灯します。
電源を入れたままで充電したときは、充電確認音が鳴り、電池マークが点灯状態になります。（電池マークが点滅中は充電が完了していません。）
・充電確認音は鳴らないように設定できます。☛P113

- 電源を入れたまま長時間（1 日以上）充電しないでください。充電が完了しても FOMA 端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、AC アダプタや DC アダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中で FOMA 端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
  - 電池残量が少ない　・電池切れのメッセージが表示される　・短時間しか使えない
- 電池残量が十分にある場合は、AC アダプタや DC アダプタに接続しても充電しないことがあります。
- AC アダプタまたは DC アダプタを接続して、充電しながら長時間使用すると、温度待機中になる場合があります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。
- AC アダプタの本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。

コンセントから充電する

FOMA ACアダプタ 01（別売）を使用して充電できます。また、卓上ホルダD04（別売）と組み合わせても充電できます。
FOMA 端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。
- 電池パック単体では充電できません。
- カメラに触れないように注意してください。
- 詳しくは、AC アダプタと卓上ホルダの取扱説明書をご覧ください。

■ AC アダプタだけで充電する場合

❶AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100V コンセントに差し込む
❷FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く
❸本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❹充電の開始を確認する
充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、AC アダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

■ 卓上ホルダに差し込んで充電する場合

❶AC アダプタの電源プラグを起こし、AC 100V コンセントに差し込む
❷卓上ホルダに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❸FOMA端末を卓上ホルダに垂直に押し込んでから後方に傾ける
❹充電の開始を確認する
着信ランプが赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら FOMA 端末を手前に傾け卓上ホルダから取り出します。

- FOMA 端末を卓上ホルダへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。

つづく

自動車の中で充電する

専用の FOMA DC アダプタ 01（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V 車・24V 車）で使用できます。

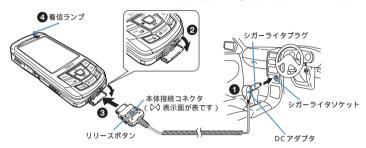
・詳しくは、DC アダプタの取扱説明書をご覧ください。

❶DC アダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む

❷FOMA 端末の電源を切り、外部接続端子の端子キャップを開く

❸DC アダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む

❹充電の開始を確認する

充電が完了したら、DC アダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子キャップを閉じます。

おしらせ

● 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。

● 充電しない場合は、DC アダプタはシガーライタソケットから取り外してください。

● DC アダプタのヒューズ（DC アダプタ：2A）は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた

電池残量

ディスプレイに電池残量が 3 段階で表示されます。

・電池残量表示は目安です。

電池マーク

▥（電池残量 3）：十分残っています。

▥（電池残量 2）：少なくなっています。

▥（電池残量 1）：充電することをおすすめします。

・ 電池マーク設定でマークを変更できます。☛P127

電池残量を音と表示で確認する

・次の場合は確認音は鳴りません。

　・キー確認音を「OFF」に設定している場合

　・マナーモード中

　・電話着信音量を消音に設定している場合

1 待受画面で[Menu][8][4][3]を押す

電池残量が表示されます。確認音が、キー確認音設定の音で鳴ります。

（電池残量 3）

3 回鳴ります

（電池残量 2）

2 回鳴ります

（電池残量 1）

1 回鳴ります

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まりますが、すぐに止めたい場合は[PWR]を押してください。

- 待受中のときは、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。[メール]を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約 1 分後に自動的に電源が切れます。
- 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。[メール]、[クリア]、[PWR]を押すと、メッセージが消えます。電池アラーム音が聞こえてから約 20 秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その約 1 分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする　電池アラーム音設定

- マナーモード中やドライブモード中は、本機能の設定に関わらず、電池アラーム音は鳴りません。

お買い上げ時 ON

1 待受画面で[Menu][8][1][5]を押す

2 [2]を押す

- 設定するとき：[1]を押す

おしらせ

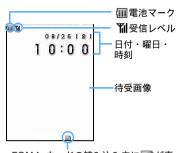
●「OFF」に設定しても、通話中に電池が切れそうになったときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。

電源を入れる／切る

電源ON／OFF

電源を入れる

1 [PWR]**を2秒以上押す**

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます（ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります）。

FOMA カードの読み込み中に[アイコン]が表示され、終わると消えます。

※画面の背景は架空のものです（お買い上げ時の設定とは異なります）。

受信レベルの状態	
Yll → Yl → Y	圏外
強 → 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。[キー]を押して、日付時刻設定を行ってください。
- FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMA カードを取り付けてから電源を入れ直してください。
- PIN1 コード ON ／ OFF を「ON」に設定している場合、PIN1 コードを入力します。
- 以下は変更できます。
  - 待受画像☛P116
  - 電池マーク☛P127
  - 時刻の表示形式☛P130

電源を切る

1 [PWR]**を2秒以上押す**

- プロテクトキーロック中には電源を切ることはできません。プロテクトキーロックを解除してから電源を切ってください。

おしらせ

- サービスエリア外や電波が届かないところで圏外が表示されているときに通話や通信を行うには、表示が消える場所まで移動してください。なお、Yllが表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合は、PIN2 コードの入力が必要です。
- 次の場合は、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイが自動的に消灯します（カメラ撮影中などを除く）。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。
  - 照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定している場合
  - 充電中の場合（照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定し、AC アダプタ接続時動作を「端末設定に従う」に設定しているとき）

日付・時刻を合わせる

日付時刻設定

時刻設定には、ドコモのネットワークから取得した時刻情報を基に、FOMA 端末の時刻を補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。

- 自動時刻補正を「ON」にしている場合、FOMA カードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。
- 自動時刻補正を行う場合、数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- 自動時刻補正を行う場合、ｉアプリによっては、ｉアプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。

・自動時刻補正で日付・時刻を設定したとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。
・FOMA カードを取り付けていないときや、電波の届かない所にいるとき、サービスエリア外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。

お買い上げ時 自動時刻補正:ON　オフセット時間:+、00 時 00 分

1 待受画面で Menu 8 5 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

・自動時刻補正を「ON」にした場合、オフセット時間を設定します。日付、時刻は設定できません。

自動時刻補正：自動時刻補正を行うかどうかを設定します。
・自分で日付・時刻を設定する場合は、自動時刻補正を「OFF」にしてください。

オフセット時間：時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より、進める（＋）／遅らせる（－）時間を設定します。
・00 時 00 分～ 23 時 59 分の間で入力できます。
・時、分が 0 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。

日付、時刻：日付、時刻を入力します。
・日付の西暦では下 2 桁を入力します。2000 年 1 月 1 日から 2050 年 12 月 31 日まで設定できます。
・時刻は 24 時間制で入力します（00 時 00 分～ 23 時 59 分）。
・月、日、時、分が 0 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。
・ を押しても数字を増減できます。
・ を押して変更する数字にカーソルを合わせてからも入力できます。

3 を押す

おしらせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
・ランダムイメージ設定（「スライドオープン」切替以外）
・スケジュール帳
・自動電源 ON 設定
・自動電源 OFF 設定
・アラーム設定
・ｉ アプリの自動起動機能 ☛P296
・時刻設定を必要とする ｉ アプリ DX ☛P282
・再生制限が設定されている ｉ モーションの取得 ☛P327
・データ（スケジュール）送受信 ☛P361、P363
・ソフトウェア更新
・パターンデータ更新
・ユーザ証明書の操作 ☛P209
・SSL 通信（認証）

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに区別のための枝番が付くこともあります。
・リダイヤル／着信履歴
・伝言メモ、音声メモ
・カメラで撮影した静止画／動画の日時 ☛P155
・バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時 ☛P173
・ｉ アプリのダウンロード日時 ☛P287
・送信メール・未送信メールの日時 ☛P248
・静止画やメロディ、キャラ電、ｉ モーション、メールテンプレートなどのダウンロード日時 ☛P357、P229

●設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。
●音声電話通話中に Menu 4 を押して、日付・時刻を設定できます。
●通話料金上限通知を「ON」または通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

相手に自分の電話番号を通知する 発信者番号通知

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

・発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
・相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
・発信者番号通知はお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
・サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
・詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で Menu 9 5 1 を押す

■ 設定内容を確認するとき

① 待受画面で Menu 9 5 2 を押し、「はい」を選択する

2 ネットワーク暗証番号を入力し、1 を押す

・入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。
・通知しないとき：2 を押す

おしらせ

●以下の方法でも発信者番号の通知／非通知を設定できます。
・電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定する ☛P105
・電話をかけるときに、発信者番号の通知／非通知を設定する ☛P51、P52
●電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

Menu 47

自分の電話番号を確認する 自局番号

自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

お買い上げ時 FOMA カードの設定に従う

1 待受画面で Menu 0 を押す

・自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。
・ｉモードのメールアドレスを確認するには、待受画面で i 1 を押してｉMenu を表示し、「8 オプション設定」→「1 メール設定」→「アドレス確認」を選択します。

おしらせ

●通話中に自分の電話番号を確認するには、 0 を押します。
●電話番号以外の情報を登録する ☛P400
●赤外線機能を搭載した他の FOMA 端末などと自局番号を交換できます。

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

電話をかける

ここでは、音声電話のかけかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。
・ダイヤル発信制限中は、ダイヤルキーを押しても電話をかけられません。
・通話中はアンテナ部を手で覆わないでください。

1 待受画面で電話番号を入力する

一般電話にかける	同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 － XXXX － XXXX 080 － XXXX － XXXX
PHS にかける	070 － XXXX － XXXX

・電話番号は80桁まで入力できます。ただし、表示されるのは24桁です。
・電話番号を訂正するときは［クリア］を押します。
・［クリア］を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

2 ［文字］を押す

「プップップッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。
・相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。
［PWR］を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
・相手の携帯電話や PHS の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、接続できないことをガイダンスでお知らせします。

3 通話が終わったら［PWR］を押す

・FOMA 端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

おしらせ

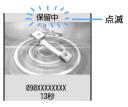
● 操作 2、操作 1 の順でも電話をかけられます。［文字］を押して電話番号を入力した後、約 5 秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
● 他の機能を実行中に電話をかけられない場合があります。☛P486
● 電話帳データの画像選択に動画／ｉモーションを設定した相手に電話をかけると、発信中の画面に動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。☛P92
● 複数の通信機能を同時に利用できます。☛P378、P484
● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けないで番号を入力したときや、カスタム発信で番号通知を「指定なし」にして電話をかけたときは、発信者番号通知の設定に従って動作します。
● 音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを使って電話をかけられます。

通話中に保留にする

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。
• 保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に [保留] を押す

通話が保留になり、ガイダンスが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にはテレビ電話通話中保留画像が表示されます。

音声電話保留中

テレビ電話保留中

• 音声電話の保留中に [保留] または [文字] を押すと、保留が解除されます。
• テレビ電話の保留中に [保留] を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。[カメラ] を押すと保留が解除されカメラ画像が、[文字] を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。

おしらせ

● FOMA 端末を閉じて保留にするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。FOMA 端末を閉じて通話を保留にしたときは、FOMA 端末を開いても保留は解除されません。
● 保留中にメロディを流せます。☛P65
● テレビ電話通話中保留画像は変更できます。☛P84
● 通話保留音に設定した 3D サウンド対応メロディには、通話相手の端末で音質が劣化して聞こえるものがあります。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

1 待受画面で電話番号を入力して [文字] または [カメラ] を 1 秒以上押す

• 発信中は [文字]、通話中は [文字] または [メール] を押すたびに通常の受話口からの通話と、スピーカーホン機能を利用した通話を切り替えられます。
• スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイに [スピーカー] が表示されます。
• 電話帳一覧、リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

おしらせ

● スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
● 周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、通常の受話口から通話してください。
● FOMA 端末に向かって約 30cm 以内の距離でお話しください。
● マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。

音声電話通話中の操作について

• サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 テレビ電話切替	音声電話からテレビ電話へ切り替えます。	P49
2 着信履歴	着信履歴を表示します。	P59
3 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P50
4 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P42
5 再接続アラーム設定※	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P54
6 通話品質アラーム設定※	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。	P114
7 通話中クローズ設定	FOMA 端末を閉じて通話を終了するかどうかを設定します。	P58
8 ダイヤル入力	キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P419
9 受話音量調整	受話音量を調整します。	P61

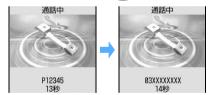
※：アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。

• 通話中には、次のキーで操作できます。
  ・ を押して電話帳を起動できます。
  ・ を 1 秒以上押して、相手の声を録音できます（通話中音声メモ）。
  ・ を押して受話音量を調整できます。
  ・ を押して着信履歴を、 を押してリダイヤルを表示できます。
  ・ を押してカメラを起動できます。

ポーズ、タイマーを入力する

• ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。

例 「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ「P」を入力）で発信したとき

電話がつながった後に を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

ポーズ「P」を入力する

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（P）が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 **を 1 秒以上押す**

・ 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 [#] を１秒以上押す

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー１つにつき、約１秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

おしらせ

- ●プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- ●チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号（DTMF）を入力してください。
- ●キャッチホンをご契約の場合、お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ（P）、タイマー（T）を入力して電話をかけることはできません。
- ●通話中クローズ設定で「通話保留」に設定している場合、プッシュ信号（DTMF）送信中は FOMA 端末を閉じても通話が継続されます。

音声電話からテレビ電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、音声電話通話中に、サブメニューからの操作でテレビ電話へ切り替えられます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末のみ操作できます。(901iS シリーズのみ対応　2005 年 5 月現在)

・テレビ電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P87

1 音声電話通話中に [Menu][1] を押し、「はい」を選択する

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると音声電話通話中の画面に戻ります。
- 切り替え中に、[文字] または [✉] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。

おしらせ

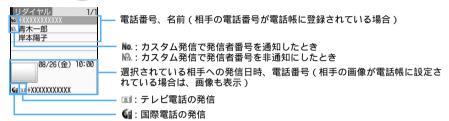
- ●パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- ●相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- ●切り替えには、約５秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
- ●電波状況によっては音声電話からテレビ電話に切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
- ●「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。
- ●テレビ電話から音声電話への切り替えかた ☛P77
- ●切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信拒否になり着信履歴に記録されます。
- ●スピーカーホン機能は、音声電話とテレビ電話を切り替えても継続されます。
- ●テレビ電話通話中に行った設定（カメラの切り替えやフレーム選択など）は、音声電話とテレビ電話を切り替えると解除されます。
- ●テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。

※：2001 年 1 月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

前にかけた相手にかけ直す　リダイヤル

こちらからかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直せます。

- 最大 30 件記録されます。30 件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルに日時が記録されません。
- 同じ電話番号にかけた場合は、カスタム発信で設定した番号通知の「指定なし」、「通知」、「非通知」のそれぞれについて最新の 1 件のみが記録されます。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手に発信したときはリダイヤルには相手の電話番号が表示されます。

1 待受画面で □ を押し、リダイヤル一覧でかけ直す相手にカーソルを合わせる

■ 電話帳に登録するとき

① **登録するリダイヤルにカーソルを合わせて Menu 1 を押す**

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、Menu 2 を押します。

② **1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する** ☛P92、P95

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P101

■ SMS を作成するとき

① **宛先にするリダイヤルにカーソルを合わせて □ を 1 秒以上押す**

リダイヤルの電話番号を宛先にした SMS の作成画面が表示されます。

- □ を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1 件目のメールアドレスが宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号が宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。

■ 着信履歴一覧に切り替えるとき

① **□ を押す**

- 押すたびにリダイヤル／着信履歴の一覧画面が切り替わります。

2 □ を押す

音声電話がかかります。

- テレビ電話をかけるときは □ を押します。
- □ を押すと、選択しているリダイヤルと同じ発信方法（リダイヤルが音声電話ならば音声電話、テレビ電話ならばテレビ電話）で電話をかけられます。ただし、32K テレビ電話で発信したリダイヤルは、64K で発信されます。

おしらせ

● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。
● ダイヤル発信制限や PIM ロックを設定するとそれまでに記録されていたリダイヤルは削除されます。ただし、その後の発信は記録され、リダイヤルから発信できます。
● 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加して電話をかけられます。☛P52

リダイヤルを削除する

1 **待受画面で [メール] を押す**

2 **削除するリダイヤルにカーソルを合わせて [Menu][4][1] を押す**

・全件削除するときは [Menu][4][2] を押します。

3 **「はい」を選択する**

1 回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する　186／184

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

・発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
・相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。

「186（＊31#)」／「184（#31#)」を付けて電話をかける

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

■ 発信者番号を通知するとき

「[1][8][6]（または [＊][3][1][#]）＋相手の電話番号＋ [通話]」

・テレビ電話をかけるときは、[通話] の代わりに [テレビ電話] を押します。

■ 発信者番号を通知しないとき

「[1][8][4]（または [#][3][1][#]）＋相手の電話番号＋ [通話]」

・テレビ電話をかけるときは、[通話] の代わりに [テレビ電話] を押します。

おしらせ

● 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
● 複数の番号通知方法を同時に設定･操作した場合､次のような順位(①→③)で番号通知動作が行われます。
　① 発信時にサブメニューのカスタム発信から番号通知方法を選択した場合
　② 相手の電話番号の前に「186（＊31#)」／「184（#31#)」を付けた場合
　③ 発信者番号通知を設定した場合
　また、上記の番号通知方法を同時に設定・操作すると、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知の発信が異なる場合があります。
● 国際電話では「186（＊31#)」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
● 相手の電話番号に「186（＊31#)」／「184（#31#)」を付けて発信した場合、「186（＊31#)」／「184（#31#)」も付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。

条件を設定して電話をかける　カスタム発信

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

1 待受画面で電話番号を入力して Menu 3 を押す

- リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。
- 電話帳一覧で Menu 5 を押してもカスタム発信ができます。

2 各項目を選択して発信条件を設定する

発信方法　：音声電話、64K テレビ電話または 32K テレビ電話から選択します。
番号通知　：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」を選択すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
マルチナンバー　：☛P424
プレフィックス　：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
・お買い上げ時は国際電話用の「009130010」が登録されています。
プレフィックス設定について ☛P53

3 Menu を押して「はい」を選択する

設定した内容で電話がかかります。

- 発信方法で「64K テレビ電話」または「32K テレビ電話」を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

おしらせ

- 電話帳の電話番号に「186（＊31#）」／「184（#31#）」を付けて登録していても、本機能の番号通知が優先されます。
- FOMA 端末電話帳の詳細（TOP）／詳細（電話）画面、FOMA カード電話帳の詳細画面、自局番号の詳細（電話）画面では Menu を押し、「カスタム発信」を選択します。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用する　WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶国番号▶市外局番▶相手の電話番号▶ 文字
※上記の電話番号を FOMA 端末の電話帳に登録できます。 ※市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

- 通話先は世界約 220 の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の FOMA サービスの通信料金と合わせてご請求します。

- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

- 海外の特定 3G 携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。

※接続可能な国及び通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
※国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する　国際ダイヤル自動付加設定

国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで、国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際電話を簡単にかけられます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、国際ダイヤル自動付加設定を「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

お買い上げ時　自動付加

1 **待受画面で Menu 8 7 6 を押す**

2 **1 を押す**
- 解除するとき：2 を押す

■ **国際ダイヤル自動付加設定を利用して国際電話をかけるとき**
① **待受画面で 0 を 1 秒以上押し、国番号、電話番号の順に入力する**
- 0 を 1 秒以上押すと、「+」が入力されます。

② **文字 を押す**

「WORLD CALL」以外の番号を設定する　プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけられます。
- お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

お買い上げ時　009130010

1 **待受画面で Menu 8 7 5 を押す**

2 **プレフィックス欄を選択し、番号を入力する**
- 最大 3 件、1 件につき 10 桁まで入力できます。
- 電話番号にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

3 [□] を押す

■ プレフィックスを選択して国際電話をかけるとき

① 待受画面で国番号、電話番号の順に入力する
② [Menu][3] を押し、プレフィックス欄を選択する
③ 利用するプレフィックス番号を選択する
④ [Menu] を押して「はい」を選択する

サブアドレスを指定して電話をかける　サブアドレス設定

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

・映像配信サービス「V ライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

お買い上げ時 ON

1 待受画面で [Menu][8][7][7] を押す

2 [1] を押す

・ 解除するとき：[2] を押す

サブアドレスを指定して電話をかける

電話番号の後に、[＊]（サブアドレスの区切り）を押してからサブアドレスを入力して、[発信]（音声電話のとき）または [テレビ電話]（テレビ電話のとき）を押します。ただし、相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

おしらせ

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、電話番号の先頭に「＊」を入力した場合やプレフィックスで付加した番号内に「＊」がある場合は、「＊」以降の番号はサブアドレスとして認識されず、「＊」を含んだ番号として発信されます。「V ライブ」にアクセスするときは、先頭の「＊」から入力します。

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマーを入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号 (DTMF) として送出されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する　再接続アラーム設定

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話やテレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

・電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
・利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長 10 秒間です。
・再接続されるまでの時間（最長 10 秒間）も通話料金がかかります。
・利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

お買い上げ時 アラーム高音

1 待受画面で [Menu][8][7][2] を押す

2 [1] ～ [3] を押す

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ設定

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に、また相手の声も明瞭に聞きとれるようになります。

・通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

お買い上げ時　ON

1 待受画面で [Menu][8][7][1] を押す

2 [1] を押す

・解除するとき：[2] を押す

車の中で手を使わずに話す　車載ハンズフリー

市販のハンズフリー機器（カーナビなど）と FOMA 端末を FOMA USB 接続ケーブル（別売）で接続すると、運転中に手を使わずに電話をかけたり、受けたりできます。
この機能は、対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。
※ハンズフリー機器の操作については、各ハンズフリー機器の取扱説明書をご覧ください。

おしらせ

- 着信時のディスプレイ表示や着信音などの動作は、FOMA 端末の設定に従います。ただし、ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合、ハンズフリー機器の接続中は、FOMA 端末でマナーモード中や音の設定を「OFF」に設定していても、電話がかかってくるとハンズフリー機器から着信音が鳴ります。
- ドライブモード中の着信動作は、FOMA 端末の設定に従います。
- ハンズフリー機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K 固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
- ハンズフリー機器と接続中に FOMA 端末から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中に FOMA 端末を閉じると通話中クローズ設定の設定に従って動作します。ハンズフリー機器から音を鳴らす設定にしている場合は、通話中クローズ設定の設定に関わらず FOMA 端末を閉じても通話は継続されます。
- 伝言メモ設定中は、ハンズフリー機器と接続中でも伝言メモの設定に従って動作します。
- ハンズフリー機器から着信音量や受話音量の調整はできません。

※ 2005 年 5 月現在、対応機器はリリースされておりません。

電話を受ける

ここでは、音声電話の受けかたと、テレビ電話と共通の操作を説明します。

・音声着信の場合、[文字] 以外に [0] ～ [9]、[＊]、[＃] を押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。☛P58

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。

・[PWR] を押すと応答保留になります。

2 [文字] を押す

お話しください。通話時間が表示されます。
- [保留] を押すと通話中保留になります。
- [文字] または [メール] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。
- FOMA 端末を開いても電話を受けられます。☛P58

3 通話が終わったら [PWR] を押す

- FOMA 端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況や FOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。名前や電話番号を表示しないように設定できます。☛P124

■ 相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、ディスプレイには相手の電話番号と電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。
- 音の設定の電話／テレビ電話に「着モーション」を設定している場合は、着モーションが再生されます。着モーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合は、お買い上げ時の着信画像が表示されますが、電話着信設定やテレビ電話着信設定で画像を変更できます。

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には名前が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは電話帳に設定している静止画や動画／ｉモーションも表示されます。☛P123
- 各着信音の設定に「着モーション」を設定している場合は、「1. 電話帳（メモリ番号）→ 2. 電話帳（グループ）→ 3. 音の設定の電話／テレビ電話」の優先順位で設定した着モーションの映像が再生されます。着モーションや電話帳の画像を設定していない場合は、電話着信設定で設定した画像が表示されます。

■ 相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話着信設定に従って動作します。

着信中の操作について

- 音声電話の着信中にサブメニューから次の操作ができます。
  通話中着信動作選択を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	説　明
1 留守番電話※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
3 転送でんわ※2	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご利用いただき、音声電話がかかってきた場合に有効です。
※2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- [カメラ]を1秒以上押して伝言メモで応対することもできます（クイック伝言メモ）。
- 着信音量を調整したり、バイブレータの動作を止めたりできます。☛P62

お話し中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

- キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音「ププ…ププ…」が鳴っても電話はとれません。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターへ転送します。	P416
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P418
転送でんわサービス※	転送登録先へ転送します。	P419

※通話中着信設定を「開始」に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合に選択できます。

おしらせ

- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。☛P149、P148
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定できます。☛P146
- ビル電話・PBXなど、ダイヤル市外通話のできない電話機からの電話は、FOMA端末へもかけられません。
- 音声電話通話中にパケット着信があった場合には、優先通信モード設定に従った着信画面が表示されます。
- 複数の通信機能を同時に利用できます。☛P378、P484
- FOMA端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が着信画面の左下に表示されます。ただし、転送元の電話番号が電話帳に登録されていても、名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。転送元によっては、転送元の電話番号が表示されないことがあります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時の画像にｉモーションを設定していても、音声通話中に音声電話の着信があった場合はｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- ソフトウェア更新中に音声電話の着信があった場合、着信音に動画／ｉモーションを設定していても再生されません。
- 音の設定でｉモーションを設定している場合、ｉモーションの削除や保存を行っているときに電話の着信があると、設定に関わらず着信音が「パターン1」になることがあります。メロディや着信時の画像を設定している場合も、メロディや画像の移動、削除や保存を行っているときに電話の着信があると、「パターン1」、「標準画像」になることがあります。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを使って電話を受けられます。

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- テレビ電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P87

1 **音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける**
自画像を送信するかどうかの確認画面が表示されます。

つづく

2 「はい」を選択する

テレビ電話に切り替わり、相手側に自画像が送信されます。

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると、相手側に代替画像が送信されます。

おしらせ

● 操作2で「はい」を選択したときに初めて自画像が送信されます。

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする　エニーキーアンサー設定

電話がかかってきたとき、[文字] 以外に [0] 〜 [9]、[*]、[#] を押して電話に出られるようにします。

- 本機能は音声電話にのみ有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

お買い上げ時 ON

1 待受画面で [Menu][8][6][8] を押す

2 [1] を押す

- 解除するとき：[2] を押す

FOMA 端末を開いて通話を開始するように設定する　着信中オープン応答

- 本機能は音声電話にのみ有効です（プロテクトキーロック中も有効です）。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で [Menu][8][7][9] を押す

2 [1] を押す

- 解除するとき：[2] を押す

FOMA 端末を閉じたとき通話の切断／継続／保留を設定する　通話中クローズ設定

- 64K データ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

お買い上げ時 通話継続

1 待受画面で [Menu][8][7][8] を押す

2 1 ～ 3 を押す

切断　：通話を終了します。
通話継続：保留せずに通話を継続します。テレビ電話通話中は、そのままの画像で通話を継続できます。
通話保留：通話を保留し、相手には通話保留音が流れます。

おしらせ

- 「切断」に設定している場合、保留中に FOMA 端末を閉じると通話が終了します。
- 「通話継続」に設定している場合、音声電話からテレビ電話への切り替え中に FOMA 端末を閉じたとき、または切り替え終了後に FOMA 端末を開いたときは代替画像が送信されます。
- 「通話保留」に設定している場合、以下のように動作します。
  - 通話中音声メモ録音中、音声電話／テレビ電話の切り替え中に FOMA 端末を閉じると保留になります。
  - テレビ電話通話中にフレームを付けて送信中のときは、フレームは解除されます。
  - プッシュ信号（DTMF）送信中、または音声電話とテレビ電話の切り替え中に FOMA 端末を閉じても通話が継続されます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー機器などを接続して通話中に FOMA 端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、本機能の設定に関わらず通話は継続されます。
- 伝言メモ録音中に FOMA 端末を閉じた場合、本設定に関わらず録音は継続されます。
- 通話中音声メモ録音中に FOMA 端末を閉じた場合は、本設定に従って動作します。「通話保留」に設定している場合、保留直前までに録音していた内容が保存されます。

Menu 44

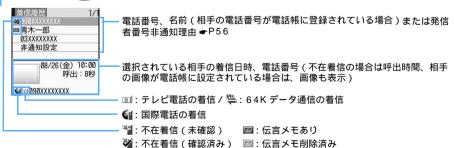
着信履歴を利用する　着信履歴

かかってきた電話に応答した履歴や、電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音されたときも記録されます。

- 最大 30 件記録されます。30 件を超えると、古いものから順に消去されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、着信履歴には日時が記録されません。
- シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手から着信があったときは、着信履歴には相手の電話番号が表示されます。

例 着信履歴から電話をかけるとき

1 待受画面で を押し、着信履歴一覧で目的の着信履歴にカーソルを合わせる

2 [文字] または [A/a] を押す

- [発信] を押すと、選択している着信履歴の着信方法（音声電話／テレビ電話）と同じ方法で電話をかけられます。

■ 電話帳に登録するとき

① 登録する着信履歴にカーソルを合わせて [Menu][1] を押す

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[Menu][2] を押します。

② [1] または [2] を押し、名前やメールアドレスなどを登録する ☛P92、P95

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[1] または [2] を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P101

■ SMS を作成するとき

① 宛先にする着信履歴にカーソルを合わせて [メール] を 1 秒以上押す

着信履歴の電話番号を宛先にした SMS の作成画面が表示されます。

- 発信者番号非通知理由の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、[メール] を 1 秒以上押すと宛先が設定されていない SMS の作成画面が表示されます。
- [メール] を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1 件目のメールアドレスが宛先に設定された ｉ モードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号が宛先に設定された ｉ モードメールの作成画面が表示されます。
  発信者番号非通知理由の着信履歴にカーソルを合わせた場合は、[メール] を押すと宛先が設定されていない ｉ モードメールの作成画面が表示されます。

■ リダイヤル一覧に切り替えるとき

① [電話帳] を押す

- 押すたびに着信履歴／リダイヤルの一覧画面が切り替わります。

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

[不在着信 1]（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。☛P32

- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、着信履歴を表示するまでの間は着信ランプが点滅します。
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

おしらせ

- ● 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定時、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定しているときは、呼出開始時間内の不在着信は表示されません。該当する不在着信を表示する場合は着信履歴一覧で [Menu][5][3] を押します。元の着信履歴に戻す場合は [Menu][5][2]、すべての着信履歴を表示する場合は [Menu][5][1] を押します。
- ● 呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で [着信履歴] を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。
- ● 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。
- ● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。
- ● ダイヤル発信制限や PIM ロックを設定すると、それまでに記録されていた着信履歴は削除されます。ただし、その後の着信は着信履歴に記録され、PIM ロック中の場合は着信履歴から発信できます。
- ● メモリ登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳に登録されていない相手からの着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- ● 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加して電話をかけられます。☛P52

着信履歴を削除する　着信履歴削除

1 待受画面で [←] を押す

2 削除する着信履歴にカーソルを合わせて [Menu][4][1] を押す

・全件削除するときは [Menu][4][2] を押します。呼出開始時間内履歴も含めたすべての着信履歴が削除されます。

3 「はい」を選択する

相手の声の音量を調整する　受話音量調整

・レベル 1（最小）～レベル 6（最大）の 6 段階で調整できます。
・キー確認音、伝言メモ・音声メモの再生音の音量にも反映されます。
・通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
・受話音量は電源を切っても保持されます。

お買い上げ時　レベル 4

通話中に調整する

1 通話中に [↕] を押す

[●] を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

・音量を大きくするには [↑] または [→] を押します。また、音量を小さくするには [↓] または [←] を押します。
・スピーカーホン機能利用時は、スピーカーホンの音量が調整されます。
・テレビ電話通話中の音量調整は [Menu][0] を押します。

待受中に調整する

1 待受画面で [Menu][8][1][3] を押す

2 [✥] を押す

3 [●] を押す

着信音の音量を調整する　着信音量調整

電話やメール、メッセージ R/F の着信音の音量を調整します。

・消音、レベル 1 ～レベル 6 の 7 段階で調整できます。待受中はステップトーン（約 3 秒ごとに、消音→レベル 1 →…→レベル 6 で着信音が鳴る）も設定できます。
・電話着信中に変更された着信音量は、通話を終了すると元に戻ります。
・待受中に変更された着信音量は、電源を切っても保持されます。
・電話着信音量は、ｉ アプリ、スケジュールアラームの音量にも反映されます。ただし、ステップトーンに設定した場合のｉ アプリの音量はレベル 4 です。

お買い上げ時　電話着信音量調整：レベル 4　メール着信音量調整：レベル 4

着信中に電話の着信音量を調整する

1 着信中に［上下］を押す

［決定］を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

- 音量を大きくするには［上］または［右］を押します。また、音量を小さくするには［下］または［左］を押します。

おしらせ

- 着信中に［カメラ］を押すと、着信音とバイブレータの動作が止まります。
- 着信音量をステップトーンに設定している場合、着信中に調整をすると、レベル 6 からの変更になります。

待受中に調整する

例 電話着信音量を調整するとき

1 待受画面で Menu 8 1 2 1 を押す

■ **メール着信音量を調整するとき**

① **待受画面で Menu 8 1 2 2 を押す**

2 ［上下左右］を押す

- レベル6のときに、［上］または［右］を押すと、ステップトーンになります。また、レベル1のときに、［下］または［左］を押すと、消音になります。

3 ［決定］を押す

おしらせ

- 電話の着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に［アイコン］が表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、［アイコン］が表示されます。
- 着信音量を消音に設定しても、電話がかかってきたときやメールを受信したときに、ディスプレイのメッセージ表示の他にバイブレータの振動や着信ランプの点灯／点滅でお知らせするように設定できます。☛P128

Menu 8222 / Menu 8224

音声電話着信時／テレビ電話着信時の動作を設定する 電話着信設定／テレビ電話着信設定

- 本機能の設定は、音の設定、バイブレータ設定の電話／テレビ電話、イルミネーション設定の音声着信／テレビ電話着信にも反映されます。

お買い上げ時 着信音:メロディ／パターン1(音声電話着信設定)、メロディ／電話･メロディA(テレビ電話着信設定)
イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／オーシャン

例 音声電話着信時の動作を設定するとき

1 待受画面で Menu 8 6 2 を押す

■ **テレビ電話着信時の動作を設定するとき**

① **待受画面で Menu 8 8 2 を押す**

2 各項目を選択して設定する

着信音：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
- 「Ｍモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

バイブレータ：電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション：着信ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

3 [□] を押す

おしらせ

- 「イメージ」にパラパラマンガ、連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、着信画像を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音は「パターン1」（音声電話）または「電話・メロディA」（テレビ電話）になります。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを「着モーション」に設定した場合は、「イメージ表示」は「着信音連動」になり「イメージ一覧」で画像を選択できません。
- 動画／ｉモーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定した場合、イメージにアニメーション（標準画像を除く）を設定していても動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 通話中に電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 電話着信設定やテレビ電話着信設定のイメージを「着信音連動」以外に変更すると、着信音は「パターン1」（音声電話）または「電話・メロディA」（テレビ電話）になります。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーションを設定すると、イメージ表示にFlash画像または動画／ｉモーションが設定されていた場合、イメージ表示は「標準画像」に切り替わりますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像を変更できます。
- 電話帳に画像が登録されていない場合は、人物画像表示設定の設定に関わらずイメージ表示欄で設定した画像が表示されます。ただし、グループ設定で画像を設定している場合は、設定した画像が表示されます。

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する　優先通信モード設定

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

お買い上げ時　設定なし

1 待受画面で [Menu][8][6][9] を押す

つづく

2 [1] ～ [3] を押す

設定なし　：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。
音声通話表示優先　：音声電話通話中の画面を優先して表示します。
パケット通信表示優先：パケット着信中の画面を優先して表示します。
・ｉモードのパケット着信時は、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

表示される画面について

優先通信モード設定の設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

・音声電話通話中

設定内容	ｉモード以外のパケット着信時
設定なし	音声電話通話中の画面
音声通話表示優先	
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面

※電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。☛P423
※ｉモード以外のパケット通信にはｉモードメール、SMS、メッセージ R/F の受信は含まれません。

・パケット通信中

設定内容	電話着信時
設定なし	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先	
パケット通信表示優先	ｉモード中の画面

※ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。☛P484

すぐに電話に出られないとき保留にする　応答保留

・応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に [PWR] を押す

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話のときは、自分と相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

2 電話に出られる状態になったら [文字] を押す

・音声電話の場合は、FOMA 端末を開いても電話に出られます。☛P58
・テレビ電話の場合は [V] を押します。[V] の代わりに [文字] を押すと、相手には代替画像が送信されます。☛P83
・応答保留中に [PWR] を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信中にサブメニューから「留守番電話」／「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。
● テレビ電話応答保留画像は変更できます。☛P84

応答保留ガイダンスを設定する

応答保留ガイダンス設定

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

お買い上げ時 保留音:内蔵音

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で Menu 8 6 7 を押す

2 保留音欄を選択して 2 を押す

- お買い上げ時のガイダンスに戻すとき：1 を押し、操作4に進む

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答保留ガイダンスを話す

録音可能時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは [Ⓜ] を押します。
- 既に録音データを登録してあるときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音を行ってください。
- 録音したガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

4 [📖] を押す

おしらせ

- 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

通話保留音を設定する

通話保留音設定

- FOMA端末にあらかじめ登録されているメロディだけでなく、i モードのサイトやメールから保存したメロディも設定できます。
- 音声電話、テレビ電話とも、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。
- 本機能の設定は、音の設定の通話保留音にも反映されます。

お買い上げ時 保留音:内蔵音(保留音・ボイス)

1 待受画面で Menu 8 7 3 を押す

2 保留音欄を選択して 1 を押す

- お買い上げ時のメロディに戻すとき：2 を押し、操作4に進む

つづく

3 保留音メロディ欄を選択し、メロディを選択する

・選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

4 [□] を押す

おしらせ

●通話保留音の音量は変更できません。
●「プリインストール」フォルダ以外のメロディを保留音メロディに設定した場合、PIMロック中は内蔵音が再生されます。

運転中に電話を受けないようにする　ドライブモード

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。ドライブモードに設定すると、相手に運転中のために電話に出られないことを伝えるガイダンスが流れ、通話を終了します。

・ドライブモード中でも、電話をかけられます。
・次の音が鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。ディスプレイが消灯しているときも同様です。
  ・電話および64Kデータ通信の着信音
  ・メールやメッセージR/Fの着信音
  ・アラームやスケジュールアラームの音
  ・ｉアプリのサウンド
・メールやメッセージR/Fを受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉモード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージR/Fを受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果が更新されます。
・電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、ドライブモードのガイダンスは流れません。
・ドライブモード中でも、次の音は鳴ります。
  ・キー確認音
  ・FOMA端末開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
  ・カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
・圏外が表示されているときでも、ドライブモードの設定や解除ができます。
・ドライブモードはお申し込み不要です。また、月額使用料は無料です。
・詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ドライブモードを起動する

1 待受画面で [✱] を1秒以上押す

[車]が表示されます。

■ **解除するとき**

① **ドライブモード中に待受画面で [✱] を1秒以上押す**

おしらせ

● 待受中にドライブモードを設定していて電話がかかってきたときは、次のように動作します。
・音声電話の場合、相手にドライブモードのガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話の場合、相手にドライブモード中である旨のメッセージが表示され、切断されます。いずれの場合も、お客様の FOMA 端末は着信動作を行わず、待受画面には [icon] 1（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。
● マナーモード中でも、ドライブモードの設定が優先されます。
● ドライブモードとネットワークサービスを同時にご利用のときは、次のように動作します。設定状態や相手の電話のかけかたによっては、ネットワークサービスが優先され、ドライブモードの動作や着信の記録（不在着信件数を示すマークの表示および着信履歴の記録）が行われません。

サービス名	音声電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手にはドライブモードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※1	留守番電話センターに接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手にはドライブモードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。※1	相手にドライブモード中である旨のメッセージが表示されずに、転送先に転送されます。※2
キャッチホン	・音声電話通話中の場合、相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、切断されます。 ・テレビ電話通話中の場合、相手には話中音が流れます。	相手に接続できなかった旨のメッセージが表示された後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に着信拒否ガイダンスが流れた後、切断されます。※3	相手に接続できなかった旨のメッセージが表示されずに、切断されます。※3
番号通知お願いサービス	・相手が電話番号を通知していない場合、相手には番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れた後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手にドライブモードのガイダンスが流れた後、切断されます。	・相手が電話番号を通知していない場合は、接続できなかった旨のメッセージが表示された後、切断されます。 ・相手が電話番号を通知している場合は、相手にはドライブモード中である旨のメッセージが表示された後、切断されます。

※1：留守番電話サービスの呼出時間または転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合、ドライブモードのガイダンスは流れず、着信も記録されません。
※2：転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定した場合は、着信が記録されません。
※3：着信が記録されません。

● ドライブモード中でも、遠隔ロックで発信元に設定している電話番号から着信があると、着信回数としてカウントされ、遠隔ロックが起動します。
● データ通信中は本機能を設定できません。
● ドライブモード中に i モードを利用している場合は、電話がかかってくると、以下の動作の後に通話が終了します。着信履歴には記録されます。
・音声電話の場合は、相手にドライブモードのガイダンスが流れます。※
・テレビ電話の場合は、通話中である旨のメッセージが表示されます。※
※留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は、音声着信のときは、それぞれの着信動作になります。
● ドライブモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、ドライブモードは解除されます。
● ドライブモード中は、通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されず、アラームも鳴りません。

電話に出られないときに用件を録音する　伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大 4 件、1 件につき約 30 秒間録音できます。
- 録音日時や電話番号なども記録されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、録音日時や電話番号は記録されません。
- テレビ電話に伝言メモで応答した場合、音声電話と同様に音声のみ録音され、画像は録画されません。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りください。
  FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Menu 4611

伝言メモを設定する

お買い上げ時　停止する

1 待受画面で [📷][1][1] を押す

[アイコン]が表示されます。

■ **解除するとき**

① 伝言メモ設定中に待受画面で [📷][1][2] を押す

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中に [📷] を 1 秒以上押すと伝言メモ機能を 1 回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

おしらせ

- 伝言メモが 4 件録音されると、待受画面に[アイコン]が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
- 伝言メモが既に 4 件録音されている場合は、伝言メモを設定できません。また、着信中に [📷] を 1 秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。

伝言メモの設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。

- 応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後にお名前、ご用件をお話しください。」というガイダンスが流れます。録音したガイダンスを流すときは、「録音データ」に設定します。

2 相手のメッセージが録音される

録音可能時間の目安

音声電話伝言メモ録音中　　テレビ電話伝言メモ録音中

・録音の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と音が鳴ります。また、録音開始時から約25秒後に、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音が終了すると、電話が切れる

1（数字は件数）が表示されます。

おしらせ

● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でも電話に出られます。を押すと通常の音声電話通話またはテレビ電話通話（相手には代替画像を送信）になり、を押すと自画像を送信してのテレビ電話通話になります。音声電話の場合は、FOMA 端末を開いても電話に出られます。☛P58
このとき、伝言メモ録音中の場合は電話を受けるまでの録音内容は記録されません。

● 圏外が表示されているときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。

● 伝言メモが既に4件録音されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。

● ドライブモード中はドライブモードが優先され、伝言メモ機能は動作しません。

● 電波の状態により、録音内容が途切れる場合があります。

● 伝言メモで応答した場合でも、着信履歴に記録されます。

● 伝言メモ録音中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して録音を継続します。この場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。

● テレビ電話に伝言メモで応答した場合、相手にはテレビ電話伝言メモ録音中の画像が表示されます。
テレビ電話伝言メモ録音中の画像は変更できます。☛P84

● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未再生の伝言メモがある間は着信ランプが点滅します。

Menu 4613

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する　伝言メモ応答時間設定

お買い上げ時　8秒

1 待受画面で 📷 1 3 を押す

2 応答時間を入力する（0 ～ 120秒）

・ を押しても数字を増減できます。

おしらせ

● オート着信機能設定（平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）など接続時）・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応答してください。

● オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

応答ガイダンスを設定する　伝言メモ応答ガイダンス設定

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。
・ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。

お買い上げ時　伝言メモ応答ガイダンス：内蔵音

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 待受画面で [カメラ][1][4] を押す

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択して [2] を押す

・お買い上げ時の応答ガイダンスに戻すとき：[1] を押し、操作4に進む

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択して発信音の後に応答ガイダンスを話す

・操作方法は応答保留ガイダンスを録音する場合と同じです。☛P65

4 [メール] を押す

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
・未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。☛P32

1 待受画面で [カメラ][2] を押す

伝言メモ一覧画面では、録音日時と相手の電話番号が表示されます。
[アイコン]：未再生の音声電話伝言メモ　[アイコン]：未再生のテレビ電話伝言メモ
[アイコン]：再生済みの音声電話伝言メモ　[アイコン]：再生済みのテレビ電話伝言メモ
・相手の電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。

2 再生する伝言メモを選択する

時間経過の目安

伝言メモが再生されます。
・再生中は次の操作ができます。
　[上下]：音量調整
　[決定]：停止

■ **削除するとき**

① **削除する伝言メモにカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押す**
　・全件削除するときは [Menu][2][2] を押します。
② **「はい」を選択する**

■ **電話帳に登録するとき**

① **登録する伝言メモにカーソルを合わせて Menu 4 を押す**

・登録済みの電話帳データに追加するときは、Menu 5 を押します。

② **1 または 2 を押し、名前やメールアドレスなどを登録する** ☛P92、P95

・登録済みの電話帳データに追加するときは、1 または 2 を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P101

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択する

・「はい」を選択すると、伝言メモが削除されます。

おしらせ

● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、再生していない伝言メモを再生するまでの間は着信ランプが点滅します。

● 伝言メモ一覧で相手にカーソルを合わせ、文字 を押すと音声電話、 を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号の通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりできます。

● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの画像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※2：3G-324M…第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

- テレビ電話の通信速度には、次の2種類があります。
  - 64K：通信速度64kbpsで通信をします。
  - 32K：通信速度32kbpsで通信をします。

テレビ電話通話中の画面の見かた

①	**親画面**	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
②	**通信速度**	64K：64K　32K：32K
③	**スピーカーホン機能**	表示なし：通常の通話中 ：スピーカーホン機能利用中
④	**子画面**	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
⑤	**ズーム**	x1～x16：標準～16倍（アウトカメラ） x1～x2：標準～2倍（インカメラ）
⑥	**状態**	：自画像送信中　：代替画像送信中 ：キャラ電送信中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ中 ：音声メモ録音中
	アクションモード	ACTION：全体アクション　PARTS：パーツアクション
⑦	**撮影効果モード**	AUTO：フルオート　など 他の撮影効果モードのアイコンについては☛P82
⑧	**コンパクトライト**	表示なし：消灯　：点灯
⑨	**送信画質**	表示なし：標準　HQ：画質優先　：動き優先
⑩	**チャンネル開設状態**	：音声チャンネル開設　：映像チャンネル開設 ：音声・映像チャンネル開設
⑪	**接写モード**	表示なし：通常モード　：接写モード（アウトカメラ）
⑫	**テレビ電話切替機能**	表示なし：切り替え不可　：切り替え可
⑬	**通話時間**	時：分：秒の形式で表示

テレビ電話をかける

- 相手の顔を見ながらテレビ電話通話をするには、スピーカーホン機能を利用するか、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続してください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。☛P52
- テレビ電話をかけたときに接続できない旨のメッセージが表示された場合には、発信者番号通知を設定の上、おかけ直しください。

1 待受画面で電話番号を入力する

- 音声電話の入力方法と同じです。
- 電話番号を入力して Menu 3 を押すと、カスタム発信から通信速度（64K または 32K）を指定してテレビ電話をかけられます。

2 [V] を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。[PWR] を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P84
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

- 通話中保留にすると、テレビ電話通話中保留画像が送信されます。テレビ電話通話中保留画像は変更できます。
- 相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。
- [文字] または [✉] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。
- 通話中は [V] を押すたびに相手に送信する画像が自画像と代替画像とで切り替わります。☛P80

4 通話が終わったら [PWR] を押す

- FOMA 端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

テレビ電話通話中の操作について

- サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 音声電話切替	テレビ電話から音声電話へ切り替えます。	P77
2 カメラ切り替え	インカメラ／アウトカメラを切り替えます。	P85
3 コンパクトライト ON ／ OFF	コンパクトライトの点灯／消灯を切り替えます。	P86
4 テレビ電話カメラ設定	表示する画像に効果をかけたり、テレビ電話通話中に送信するカメラ画像の明るさや色の濃さなどを設定したり、接写モードに切り替えたりします。	P82、P85
5 受信画像品質設定	受信する画像の品質を設定します。ただし、相手の端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。	P86
6 テレビ電話動作設定	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P86
7 キャラ電設定	キャラ電のキャラクタの変更、全体アクションとパーツアクションの切り替え、アクションの選択をします。また、テレビ電話画像選択の代替画像に設定されている静止画を表示します。	P333
8 ファイル再生	相手にフレームや静止画を送信します。	P81、P83
9 DTMF 送信	テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P85
0 受話音量調整	受話音量を調整します。	P61

- [📷] を 1 秒以上押して相手の声を録音できます（通話中音声メモ）。

つづく

おしらせ

● 操作 2、操作 1 の順でもテレビ電話をかけられます。 を押して電話番号を入力した後、約 5 秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
● 他の機能を実行中はテレビ電話をかけられない場合があります。☛P486
● 代替画像やキャラ電を利用しても、テレビ電話の通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
● テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージ（文字情報）が表示され、待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知を ON にしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（V ライブやビジュアルネット等への発信時)。
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定している場合や、転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

● テレビ電話を転送中の場合は、「転送致しますのでお待ち下さい」というメッセージが表示されます。
● 32K によるテレビ電話は、ネットワーク状況によって 64K でのテレビ電話が利用できない PHS などの機器と接続するためのものです。64K でテレビ電話をかけたときでも相手が 32K エリアなどの通信環境の場合、自動的に 32K に切り替えて再発信します。音声自動再発信が「ON」に設定されている場合も、32K での再発信が優先されます。☛P87
※ 32K で電話接続をした場合でも、64K で接続したデジタル通信料と同一になります。
● テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	**ON**	64K → 32K →音声
	OFF	64K → 32K →切断
32K	**ON**	32K →音声
	OFF	32K →切断

● テレビ電話の通信速度（64K または 32K）をあらかじめ電話帳に登録しておくと、テレビ電話をかける相手によって通信速度を切り替えられます。
● 電話番号入力後にサブメニューのカスタム発信から通信速度を指定して発信した場合は、カスタム発信の指定が有効となります。いずれの指定もされていない場合は 64K で発信します。
● 音声自動再発信を「ON」に設定すると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスで mova サービスを利用中の場合などに、自動的に音声電話に切り替えて再発信するので、相手へのアクセスがより確実になります。☛P87
※音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。
● 音声自動再発信を「ON」に設定中に FOMA 端末から緊急通報（110 番、119 番、118 番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
● テレビ電話通話中は、音声電話やテレビ電話をかけられません。発信ができない旨のメッセージが表示されます。また、ｉモード接続や、ｉモードメール、メッセージ R/F、SMS の送受信もできません。
● テレビ電話非対応端末にかけた場合や、相手がテレビ電話対応端末でも圏外にいる場合や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話非対応端末にかけた場合で、音声自動再発信の設定を「ON」に設定しているときは、テレビ電話接続前に相手から切断され、音声電話として電話をかけ直します。ただし、ISDN 同期 64kbps や PIAFS のアクセスポイント、3G-324M に対応していない ISDN のテレビ電話など（2005 年 5 月現在)、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

● 発信者番号の通知／非通知を切り替えてテレビ電話をかけられます。☛P52
● ポーズやタイマーを入力した場合、ポーズやタイマーの前のダイヤルで発信動作を行い、それ以降のダイヤルは無効となります。
● テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
● テレビ電話通話中の各種着信について ☛P484
● テレビ電話通話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて(音声のみ）または(映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
● テレビ電話通話中に電波状況が悪くなった場合、画像がモザイク表示になることがあります。
● 情報表示行設定のパーシャル時表示を「ON」に設定している場合、テレビ電話通話中にアラーム画面など他の画面が表示されたときは、操作せずに約90秒経過するとパーシャル表示画面になります。ただし、以下の画面が表示されたときは、パーシャル表示画面にはなりません。
・撮影効果モード設定画面　・明るさ／色の濃さ設定画面　・サブメニュー

テレビ電話から音声電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、テレビ電話通話中に、サブメニューからの操作で音声電話へ切り替えられます。切り替えは、テレビ電話をかけた側の端末からのみ操作できます。(901iS シリーズのみ対応　2005年5月現在)
・音声電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P87

1 テレビ電話通話中に Menu 7 を押し、「はい」を選択する

・切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
・「いいえ」を選択するとテレビ電話通話中の画面に戻ります。
・切り替え中に、文字または を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。

おしらせ

● 切り替えには、約5秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
● 電波状況によってはテレビ電話から音声電話に切り替えられず、接続が切れてしまう場合があります。
●「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。
● 音声電話からテレビ電話への切り替えかた ☛P49
● 相手側が、応答保留中、伝言メモや音声メモの録音中は音声電話に切り替えらません。
● 切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信拒否になり着信履歴に記録されます。
● スピーカーホン機能は、テレビ電話と音声電話を切り替えても継続されます。
● テレビ電話通話中に行った設定（カメラの切り替えやフレーム選択など）は、テレビ電話と音声電話を切り替えると解除されます。
● テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。

テレビ電話を受ける

・[A/a]、[文字] 以外のキーを押してテレビ電話を受けることはできません（エニーキーアンサーは無効です）。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。

- 相手からの発信状況やFOMA端末の設定に従って、電話番号や名前、静止画、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。☛P56
- [PWR] を押すと応答保留の状態になり、相手にはテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 [A/a] を押す

テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ **代替画像でテレビ電話を受けるとき**

① **[文字] を押す**

テレビ電話がつながったときから、相手には代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 通話する

画面には、相手の画像が表示されます。

- 通話中保留にすると、テレビ電話通話中保留画像が表示されます。テレビ電話通話中保留画像は変更できます。
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
- [文字] または [メール] を押すとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えられます。
- 通話中は、[A/a] を押すたびに相手に送信する画像が自画像と代替画像とで切り替わります。☛P80

4 通話が終わったら [PWR] を押す

- FOMA端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

着信中の操作について

・サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 転送でんわ※	かかってきた電話を転送登録先へ転送します。
2 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。

※：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

・[カメラ] を１秒以上押して伝言メモで応対できます（クイック伝言メモ）。
・着信音量を調整したり、バイブレータの振動を止めたりできます。☛P62

おしらせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを 1 秒以上押すと代替画像でテレビ電話を受けることができます。また、オート着信機能設定を設定しておくと、自動的に代替画像を送信して応答できます。
- 留守番電話サービスは、テレビ電話には対応していません。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。
- 迷惑電話ストップサービスで登録した電話番号からテレビ電話がかかってきた場合、相手に接続できなかった旨のメッセージが表示され、通話を終了します。
- テレビ電話通話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて(音声のみ）または(映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
- ソフトウェア更新中にテレビ電話がかかってくると着信は拒否され、着信履歴に記録されます。
- テレビ電話通話終了時、端末の状態によっては、切断中の画像が表示されない場合があります。
- テレビ電話通話中は、キャッチホンを利用できません。
- テレビ電話着信時の動作を変更するには ☛P62

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- 音声電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P87

1 テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受ける

テレビ電話から音声電話へ自動的に切り替わります。
- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

Menu 54

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

1 待受画面で［☐］［4］を押してフォルダを選択する

2 キャラ電を選択して［☐］を押す

3 電話番号を入力して [キー] を押す

キャラ電
©BVIG

キャラ電を代替画像にしてテレビ電話がかかります。

- [キー] を押すとテレビ電話をかける相手を電話帳から選択できます。
- キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタが数字に対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。
  - [キー]：アクションの中止
  - [キー]：アクション一覧の表示（アクションを選択するとキャラクタが動きます。）
  - [キー] 1秒以上：アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え
- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧☛P335

テレビ電話の代替画像に設定する

テレビ電話の代替画像として、キャラ電をあらかじめ設定しておくことができます。

1 待受画面で [キー][4キー] を押してフォルダを選択する

2 キャラ電にカーソルを合わせて [キー] を押す

おしらせ

- キャラ電表示中に [キー] を1秒以上押してもキャラ電をテレビ電話の代替画像に設定できます。
- テレビ電話の代替画像設定でも代替画像に設定するキャラ電を変更できます。

相手側に送信する映像について設定する

- 設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先	項　目	参照先
送信画像を自画像／代替画像に切り替える	P80	テレビ電話で表示する画像を変更する	P83
送信画像の品質を設定する	P81	表示倍率を切り替える	P84
送信画像にフレームを重ねる	P81	インカメラ／アウトカメラを切り替える	P85
送信画像に特殊な効果をかける	P82	接写モードに切り替える	P85
送信画像の明るさ／色の濃さを設定する※	P82	プッシュ信号（DTMF）を送出する	P85
静止画を送信する	P83		

※：通話終了後も設定内容が保持されます。

送信画像を自画像／代替画像に切り替える

お買い上げ時　自画像

1 通話中に [キー] を押す

代替画像
©BVIG

- 押すたびに自画像（[アイコン]）と代替画像（[アイコン]または[アイコン]）が切り替わります。☛P83
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P84
- キャラ電を代替画像として送信中の操作☛P80

送信画像の品質を設定する

・「画質優先」に設定すると画質は細やかになりますが、画像の動きはやや鈍くなります。
・「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますが、画質はやや粗くなります。

お買い上げ時 標準

1 通話中に [キー] を押す

・[キー] を押すたびに次の順に切り替わります。[キー] を押すと逆の順になります。
標準（表示なし）→ 画質優先（HQ）→ 動き優先（[アイコン]）→ 標準（表示なし）→ …

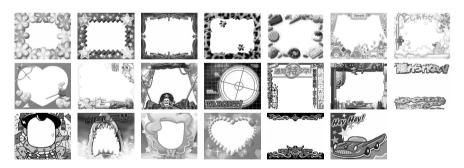
送信自画像にフレームを重ねる　フレーム選択

・自画像送信中の場合のみ、フレームを重ねることができます。
・表示サイズが 176 × 144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ダウンロードしたフレームは、表示サイズが 176 × 144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

1 通話中に Menu 8 1 を押す

2 フレームを選択する

・インカメラを使用中はディスプレイに鏡像（左右逆向きの画像）が表示され、相手には正像（正しい向きの画像）が送信されます。アウトカメラを使用中は、ディスプレイの表示と同じ画像が相手にも送信されます。
・自画像送信中に [キー] を押すと、フレーム送信が解除されます。

お買い上げ時に登録されているフレーム

・お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、i モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

送信画像に特殊な効果をかける　撮影効果モード

送信する画像に次の効果をかけることができます。自画像送信中の場合のみ変更できます。

項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン
フルオート		夜景		文字		ソフトタッチ	
感度アップ		トワイライト		ネガポジ		モノトーン（赤）	
超感度アップ		サーフ＆スノー		絵画		モノトーン（緑）	
逆光補正		スポーツ		版画		モノトーン（青）	
スポット測光		ペット		美白		モノクロ	
風景		グルメ		日焼け		セピア	

• 詳しくは☛P169

お買い上げ時　フルオート

1 **通話中に Menu 4 1 を押す**

2 **2 〜 9 を押す**

現在の効果

• 効果を解除するとき：1 を押す
• ◀▶ を押してページを切り替えられます。

送信画像の明るさ／色の濃さを設定する

• 明るさ・色の濃さは 5 段階で調整できます。
• 自画像送信中の場合のみ変更できます。
• 撮影効果モードの設定によっては明るさ／色の濃さを変更できない場合があります。

お買い上げ時　明るさ：3 段階目　色の濃さ：3 段階目

1 **通話中に Menu 4 2 を押す**

2 **▲▼ を押して明るさのスライダを選択し、◀▶ を押す**

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさの変化が確認できます。
• 調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

3 **▲▼ を押して色の濃さのスライダを選択し、◀▶ を押す**

調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、色の濃さの変化が確認できます。

4 **📖 を押す**

• 調整後、しばらくの間何も操作しなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

静止画を送信する　画像選択

送信する画像を静止画から選択します。
- フレーム送信中（☛P81）の場合は設定できません。
- ファイルサイズが 176 × 144（QCIF）以下で、FOMA 端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。FOMA 端末外への静止画の出力について（ファイル制限）☛P358

1 **通話中に [Menu][8][2] を押す**

2 **フォルダを選択して静止画を選択する**

- 静止画にカーソルを合わせて [□] を押すと静止画を表示できます。
- 静止画像送信中に [☆] を押すと、元の画像が表示されます。

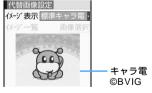
テレビ電話で表示する画像を変更する　テレビ電話画像選択

テレビ電話で相手に送信する代替画像、テレビ電話伝言メモ録音中画像、テレビ電話応答保留中画像、テレビ電話通話中保留画像を変更します。
- 次の静止画は設定できません。
  - ・サイズが 176 × 144（QCIF）を超える静止画
  - ・アニメーション、パラパラマンガ、連写画像
  - ・JPEG 形式、GIF 形式以外の静止画
  - ・FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画（ファイル制限）☛P358

代替画像を変更する

お買い上げ時　標準キャラ電

1 **待受画面で [Menu][8][8][4] を押す**

2 **[1] を押し、イメージ表示欄を選択する**

■ **標準のキャラ電を設定するとき**

① **[1] を押す**

「標準キャラ電」（ブンブン（Dimo））が設定されます。

■ **標準の静止画を設定するとき**

① **[2] を押す**

「標準画像」（カメラオフ（Camera off））が設定されます。

■ **その他のキャラ電を設定するとき**

① **[3] を押す**

② **「画像選択」を選択する**

③ **フォルダを選択してキャラ電を選択する**

- 設定するキャラ電にカーソルを合わせて [□] を押すとキャラ電を表示できます。

■ **その他の静止画を設定するとき**

① **[4] を押す**

② **「画像選択」を選択する**

③ **フォルダを選択して静止画を選択する**

- 設定する静止画にカーソルを合わせて [□] を押すと静止画を表示できます。

つづく

3 [カメラ]を押す

おしらせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合は代替画像は標準のキャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。
- イメージ表示欄で「イメージ」を選択し、代替画像を変更後に PIM ロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信されます。

伝言メモ録音中／応答保留／通話中保留の画像を変更する

お買い上げ時 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像：標準画像

1 待受画面で[Menu][8][8][4]を押す

2 [2]～[4]を押す

3 イメージ表示欄を選択して[2]を押す

伝言メモ画像の場合

- お買い上げ時の画像に戻すとき：[1]を押し、操作 5 へ進む

4 「画像選択」を選択して画像を選択する

- 操作方法は、代替画像設定でイメージ表示の「イメージ」を設定する場合と同じです。

5 [カメラ]を押す

おしらせ

- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。
- 伝言メモ画像／応答保留画像／通話中保留画像のイメージ表示欄で「イメージ」を選択し、画像を変更後にPIMロックを設定、またはプライバシーモードを起動（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）すると、標準画像が送信されます。

表示倍率を切り替える　ズーム

- 自画像送信中の場合のみ利用できます。

お買い上げ時 標準

1 通話中に[上下]を押す

- [上]を押すたびに次の順に切り替わります。[下]を押すと逆の順になります。
  アウトカメラ ：標準（x1）→ 2 倍（x2）→ 4 倍（x4）→ 6 倍（x6）→ 8 倍（x8）
  → 10 倍（x10）→ 12 倍（x12）→ 16 倍（x16）
  インカメラ ：標準（x1）→ 2 倍（x2）

おしらせ

● インカメラ、アウトカメラを切り替えると、ズームは解除されます。

インカメラ／アウトカメラを切り替える

・自画像送信中の場合のみ変更できます。

お買い上げ時 インカメラ

1 通話中に Menu 2 を押す

切り替わったカメラからの画像が表示されます。

インカメラ選択時

アウトカメラ選択時

・押すたびにインカメラとアウトカメラが切り替わります。
・カメラを切り替えても、フレーム、送信画像の明るさ／色の濃さの設定は保持されます。
・アウトカメラに切り替えるとき、レンズカバーを開けてください。アウトカメラ使用中にレンズカバーを閉じると、代替画像が相手に送信されます。「レンズカバーを開けて下さい」と表示されている間にレンズカバーを開けると自画像送信に戻ります。

接写モードに切り替える

約7～11cmのごく近い距離の画像を送信するときは、接写モードに切り替えて画像のピントを合わせることができます。

・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。

お買い上げ時 通常モード

1 通話中に Menu 4 3 を押す

■ **通常モードに戻すとき**

① Menu 4 3 を押す

おしらせ

● 接写モード中にインカメラに切り替えると、通常モードになります。

プッシュ信号（DTMF）を送出する　DTMF送出

・受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
・テレビ電話通話中で、(自画像送信中)／(代替画像送信中)／(キャラ電送信中)の場合のみプッシュ信号（DTMF）の入力が可能です。

1 通話中に Menu 9 を押し、ダイヤルキーを押す

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。

・プッシュ信号（DTMF）送出を解除するときは クリア を押します。
・自画像送信中は Menu 9 を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号（DTMF）送出ができます。
・プッシュ信号（DTMF）を送出すると、フレーム選択、画像選択は解除されます。

テレビ電話中の画面表示について設定する

親画面と子画面を切り替える

・通話終了後も設定内容が保持されます。

お買い上げ時 親画面:相手画像　子画面:自画像

1 通話中に [ロ] を押す

・押すたびに交互に切り替わります。
親画面：相手画像／子画面：自画像 ⟷ 親画面：自画像／子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

・通話終了後も設定内容が保持されます。

お買い上げ時 大

1 通話中に [ロ] を 1 秒以上押す

・押すたびに大→中→小→大→… の順に切り替わります。

コンパクトライトを点灯する

・アウトカメラ使用時のみ切り替えられます。
・通話中の設定操作などによって一時的にコンパクトライトが消灯することがあります。

1 通話中に [Menu][3] を押す

コンパクトライトが点灯します。点灯していた場合は消灯します。
・押すたびに点灯（[アイコン]）／消灯（表示なし）が切り替わります。

相手から送信されてくる画像の品質を設定する

・相手端末の機能によっては設定が有効にならない場合があります。

お買い上げ時 標準

1 通話中に [Menu][5] を押す

2 [1] ～ [3] を押す

・「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになりますがやや粗く、「画質優先」に設定すると画像は細やかになりますが動きはやや鈍くなります。

通話中に画面表示を設定する 通話中テレビ電話動作設定

・通話終了後も設定内容が保持されます。

お買い上げ時 テレビ電話画面設定:両方　子画面表示:自画像　画面サイズ設定:大　照明設定:常灯（標準）

1 通話中に [Menu][6] を押す

2 各項目を選択して設定する

・各設定項目について ☛P87「テレビ電話の設定を変更する」の操作 2

3 [ロ] を押す

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話動作設定

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画像を設定します。

・相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信設定があります。「ON」に設定するとテレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスで mova サービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。

お買い上げ時 音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大
発信時自画像送信：ON　送信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）

1 待受画面で Menu 8 8 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。
・「両方」以外に設定した場合、「子画面表示」は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

発信時自画像送信：相手に自画像を送信するかどうかを設定します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P124）の設定に従って動作します。

3 [m] を押す

おしらせ

● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
● 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンとつながったパケット通信中にテレビ電話をかけると、テレビ電話には接続されずに再発信が行われ、音声電話に接続されます。音声電話通話中や 64K データ通信中にはテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
● 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
● テレビ電話がつながった場合、音声通話への再発信動作は行いません。

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えができる端末であることを、相手の端末に通知するかどうかを設定します。

・音声電話通話中／テレビ電話通話中は、設定の変更はできません。
・サービスエリア外や電波の届いていない場所では、設定の操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

お買い上げ時 開始

つづく

1 **待受画面で Menu 8 8 6 1 を押す**

■ **停止するとき**

① **待受画面で Menu 8 8 6 2 を押す**

■ **設定内容を確認するとき**

① **待受画面で Menu 8 8 6 3 を押す**

2 **「はい」を選択する**

テレビ電話切替機能通知が開始されます。

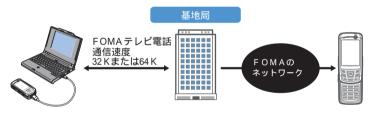
外部機器と接続してテレビ電話を使用する　テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続することで、外部機器からテレビ電話の着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイク（別売）やUSB対応Webカメラなどの機器を用意する必要があります。

・FOMA端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
・テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。

※本機能は、対応するアプリケーションや対応機器がリリースされた場合に利用可能なオプション機能です。ただし、2005年5月現在、対応アプリケーションや対応機器はリリースされておりません。

お買い上げ時　本体

1 **待受画面で Menu 8 8 5 を押す**

2 **1 または 2 を押す**

おしらせ

● 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
● キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA 端末で使用できる電話帳について

FOMA D901iS では、FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を利用できます。

・FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に登録できる項目は次のようになります。

○：登録可　×：登録不可

項目		FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳
電話帳登録件数		最大 700 件※1	最大 50 件
登録内容	名前・フリガナ	名前は全角 16 文字（半角 32 文字）まで、フリガナは半角 32 文字まで設定可能。	名前は全角 10 文字（半角 21 文字）まで、フリガナは全角 12 文字（半角 25 文字）まで設定可能。
	静止画・動画	1 人につき 1 件	×
	グループ	30 グループおよび「グループなし」に分類可能。	10 グループおよび「グループなし」に分類可能。
	電話番号・アイコン	1 人につき 5 番号まで、電話帳全体で 2105 番号まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1 人につき 1 番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。
	メールアドレス・アイコン	1 人につき 5 アドレスまで、電話帳全体で2105アドレスまで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。
	電話着信時の設定※2※3	○	×
	メール受信時の設定※2	○	×
	その他の設定※4	○	×
	メモリ番号	○	×
電話帳検索	全件表示	○	○
	グループ検索	○	○
	フリガナ検索	○	○
	ランキング検索	○	×
	メモリ番号検索	○	×
	電話番号検索	○	○
	シークレット検索	○	×
各種設定	発番号設定	○	×
	シークレットコード設定	○	×
	シークレット属性設定	○	×
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×
	テレビ電話通信速度設定	○	×
その他	電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×
	クイックダイヤル	○	×
	クイックメール	○	×
	サイト表示	○	×
	赤外線送信	○	○

※ 1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※ 2：着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションパターン・着信イルミネーションカラーの設定ができます。また、グループ別の着信設定ができます。
※ 3：テレビ電話代替画像も設定できます。
※ 4：URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名・誕生日の設定

名前の表示について

FOMA 端末電話帳、FOMA カード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前が表示されます。
また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも、電話帳に登録されている名前が表示されます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

・FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したときは、FOMA端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
・メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号@ docomo.ne.jp」の場合は、「@ docomo.ne.jp」を省略して登録しているときのみ電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。
・SMSを受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。

おしらせ

● FOMA端末電話帳にシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモード中のみ名前が表示されます。シークレット属性が設定されている電話帳データがリダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモなどに表示されている場合も同様です。
● シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でないときは、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。
● PIMロック中またはプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、通常発着信時や履歴などには相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。これらの制限を解除すると相手の名前は表示されます。
● 電話帳に登録した相手からメールの受信があると、電話帳に登録している名前が情報表示行にスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、情報表示行にはメールアドレスが表示されます。
● 電話着信時やメール・メッセージ受信時に電話番号や名前を表示しないように設定できます。
☛P124、P131

FOMA端末電話帳に登録する

電話帳登録

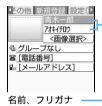
・最大登録件数☛P90
・圏外でも電話帳は登録できます。
・電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
miniSDメモリーカードを利用して、電話帳を保存できます（☛P346）。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管できます。
・FOMA端末の電話帳データをminiSDメモリーカードにバックアップできます。
・FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・シークレットモード中に登録した電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
・プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。
・ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によってはFOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

FOMA 端末に電話帳を登録する

1 **待受画面で Menu 4 2 を押す**

2 **名前を入力する（全角 16 文字（半角 32 文字）まで）**

・漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
・名前を入力しないと登録できません。

3 **📖 を押す**

新規登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正するとき**
① **名前欄を選択し、名前を修正して 📖 を押す**

■ **フリガナを修正するとき**
① **フリガナ欄を選択し、フリガナを修正する（半角 32 文字まで）**
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 **◎ を押して項目を選択し、入力する**

・各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

画像選択　：発着信時や電話帳データ確認時に表示する静止画や動画／ｉモーションを設定します。
・お買い上げ時の状態に戻すときは 5 を押します。
・登録相手が電話番号を通知してきた場合のみ、設定した画像が表示されます。

■ **静止画を設定するとき**
① **1 を押して画像のフォルダ一覧から静止画を選択する**
・横縦（または縦横）のサイズが 640 × 480 を超える静止画を選択すると、静止画を縮小して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して静止画を設定すると、電話帳用（96 × 72）に縮小した静止画が保存されます。
・電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガ、連写画像は最初のコマが表示されます。

■ **カメラで静止画を撮影するとき**
① **2 を押し、静止画を撮影して保存する**
・撮影する静止画のサイズは電話帳用（96 × 72）に自動的に設定されます。

■ **動画／ｉモーションを設定するとき**
① **3 を押してｉモーションのフォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択する**
・画像サイズが Sub-QCIF（128 × 96）、または、QCIF（176 × 144）の、映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
・選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

■ **ビデオカメラで動画を撮影するとき**
① **4 を押し、動画を撮影して保存する**
・撮影する動画のサイズは QCIF（176 × 144）に自動的に設定されます。また、音声は録音されません。

グループ：1 ～ 30 および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について☛P96

電話番号：市外局番から入力し（26 桁まで）、アイコンを選択します。

- 1人につき 5 番号まで登録できます。1 件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。

メールアドレス

：半角 50 文字まで入力できます。アイコンを選択します。

- 1人につき 5 アドレスまで登録できます。1 件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- メールアドレスは、メールアドレスの @ 以降のドメイン名まで正しく登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合は、携帯電話番号のみ登録してください。
- 相手がシークレットコードを登録しているとき☛P105

5 を押してその他画面を表示し、各項目を選択して設定する

URL：半角 256 文字まで入力できます。

テキストメモ：全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。

郵便番号：7 桁まで入力できます。

住所：全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。

会社名：全角 50 文字（半角 100 文字）まで入力できます。

役職名：全角 50 文字（半角 100 文字）まで入力できます。

誕生日：誕生日設定を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

6 を押して設定画面（電話／メール）を切り替え、各項目を選択して設定する

設定（電話）画面　設定（メール）画面

- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されます。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。
- 選択時にメロディ、動画／ i モーションを再生して確認するには☛P110

/ 着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択し、動画／ i モーションまたはメロディを選択します。

- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ i モーションのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音の設定の電話／テレビ電話の設定に従います。

/ 着信バイブレータ

：「はい」を選択して電話着信時や、メール受信時の振動を設定します。

- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレーターの設定に従います。

/ 着信イルミネーションパターン

：「はい」を選択して着信ランプの点灯パターンを設定します。

- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

/ 着信イルミネーションカラー

：「はい」を選択して着信ランプの点灯色を設定します。

- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）

：「はい」を選択して通話中に表示するキャラ電（☛P333）を設定します。

- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

7 を押す

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ メモリ番号を入力して登録するとき

① 0～699までの番号を入力する

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

8 を押す

電話帳

おしらせ

- 画像選択で画像を設定しても、電話発着信時の画面に画像を表示しないように設定できます。☛P123
- 184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手を184、186を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択しても送信できません。
- ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。
  - ｉモードメールアドレスをチャットメールに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
  - 電話帳やグループ設定でメール着信時の設定をしている場合は、発信元のメールアドレスと電話帳に登録されているメールアドレスがドメイン名を含めて完全に一致しないと設定どおりに動作しません。
- 画像選択に動画／ｉモーションを設定している相手に電話をかけた場合、発信中はディスプレイに動画／ｉモーションの最初のコマが表示されます。相手から電話がかかってきた場合、着信中はディスプレイに動画／ｉモーションが再生され、電話帳データに設定された着信音が鳴ります。
- 電話帳データの電話着信音や電話／テレビ電話の音の設定に、動画／ｉモーションが設定されている場合は、画像選択の設定に関わらず、着信音に設定された音声と映像のある動画／ｉモーションが再生されます。ただし、着信音に設定した動画／ｉモーションが音声のみ（歌手の歌声など映像のないｉモーション）の場合には、着信中はディスプレイに発着信時の画像に設定した画像が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳データに登録されている相手の名前は表示されず、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータなども動作しません。着信音やバイブレータは、FOMA端末の設定に従います。
- シークレット属性が設定されているFOMA端末電話帳データにテレビ電話代替画像を設定しても、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）の着信時の代替画像はFOMA端末の設定に従います。

FOMA カード電話帳に登録する

・最大登録件数☛P90

1 **待受画面で Menu 4 3 を押す**

2 **名前を入力する（全角 10 文字（半角 21 文字）まで）**

・漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
・全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10 文字までしか登録できません。
・名前を入力しないと登録できません。

3 **📖 を押す**

名前、フリガナ

FOMA カード登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正するとき**

① **名前欄を選択し、名前を修正して 📖 を押す**

■ **フリガナを修正するとき**

① **フリガナ欄を選択し、フリガナを修正する（全角 12 文字（半角 25 文字）まで）**

・フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
・全角／半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
・名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 **各項目を選択し、入力する**

・各項目が既に設定されているときは、その内容が表示されます。

グループ　：1 ～ 10 および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
・グループ設定について☛P96

電話番号　：市外局番から入力します。26 桁（FOMA カードの種類によっては 20 桁）まで入力できます。
・1 番号のみ登録できます。アイコンは設定できません。
・ポーズ（P）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）は登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。また、電話番号の先頭以外に「＋」を入力すると、「＋」以降を登録できません。

メールアドレス：半角 50 文字まで入力できます。
・1 アドレスのみ登録できます。アイコンは設定できません。

5 **📖 を押す**

おしらせ

● i モード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。i モードメールアドレスをチャットメールに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。

グループの名前や発着信動作を設定する　グループ設定

FOMA 端末電話帳や FOMA カード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA 端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。

・FOMA カード電話帳のグループ別設定はグループ名のみ変更できます。
・「グループなし」は、グループ名を変更したり、発着信動作の設定はできません。

1 待受画面で Menu 4 1 2 を押す

・FOMA カード電話帳のグループ名を変更するときは、Menu 4 1 2 [電話帳] を押します。

2 設定するグループにカーソルを合わせて Menu を押す

3 グループ名を設定する

・FOMA カード電話帳の場合は操作 5 へ進みます。
・FOMA 端末電話帳のグループ名は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力できます。
・FOMA カード電話帳のグループ名は、全角 10 文字（半角 21 文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10 文字までしか登録できません。

4 各項目を選択して設定する

・操作方法は「FOMA 端末に電話帳を登録する」の操作 6 と同じです。☛P93

電話発着信設定：電話着信音、発着信画像、電話着信バイブレータ、電話着信イルミネーションパターン、電話着信イルミネーションカラーを設定し、[電話帳] を押します。
・着信音に「着モーションを選択」を選択すると、発着信画像は「着信音連動」になります。ただし、音声のみの動画、ｉモーション（歌手など映像のないｉモーション）を「着モーション」に設定した場合は、「イメージを選択」、「静止画を撮影」、「初期値に戻す」を選択できます。

メール着信設定：メール着信音、メール着信バイブレータ、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーを設定し、[電話帳] を押します。

5 [電話帳] を押す

Menu 41

電話帳から電話をかける　電話帳検索

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

・電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。

・全件表示（50 音）☛P98
・グループ検索 ☛P98
・フリガナ検索 ☛P98
・ランキング検索※ ☛P98
・メモリ番号検索※ ☛P99
・電話番号検索 ☛P100
・行検索 ☛P100
・シークレット検索※ ☛P107

※：FOMA カード電話帳では利用できません。

- FOMA カード電話帳一覧でも利用できる検索方法では、[電話帳キー] を押すたびに FOMA 端末電話帳一覧と FOMA カード電話帳一覧が切り替わります。
- シークレット属性が設定されている電話帳データも含めて検索する場合は、シークレットモードに設定してから検索してください。
- FOMA カード電話帳一覧では、相手の名前の前に [アイコン] が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。

1 待受画面で [電話帳キー] を押す

全件表示（50 音）の場合

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50 音）の電話帳一覧（あ行のフリガナが登録されている電話帳）が表示されます。その後は、前回電話帳を利用した際に選択した検索方法の電話帳一覧が表示されます。

2 電話をかける相手にカーソルを合わせて [発信キー] を押す

- テレビ電話をかけるときは、テレビ電話をかける相手にカーソルを合わせて [テレビ電話キー] を押します。
- 電話番号を複数登録しているときは、発信先選択画面が表示されます。発信する電話番号を選択してください。

■ ｉモードメールを作成するとき

① **メールを送信する相手にカーソルを合わせて [メールキー] を押す**

- メールアドレスを複数登録しているときは、宛先選択画面でメールアドレスを選択します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☛P221
- 選択した相手の電話帳データに電話番号のみ登録されている場合は、電話帳一覧または詳細画面から [メールキー] を押すと SMS 作成画面が表示されます。
- 自局番号の詳細画面で [メールキー] を押すと、ｉモードメールを作成できます。

■ SMS を作成するとき

① **SMS を送信する相手にカーソルを合わせて [メールキー] を 1 秒以上押す**

- 電話番号を複数登録しているときは、宛先選択画面で電話番号を選択します。
- SMS の作成・送信方法☛P272
- 選択した相手の電話帳データに電話番号が登録されている場合は、詳細画面からも [メールキー] を押すことで SMS を作成できます。自局番号の詳細画面でも同様に操作できます。

■ サイトを表示するとき

① **目的の相手を選択し、[決定キー] を押して詳細（その他）画面を表示する**

② **URL にカーソルを合わせて [Menu][1][3] を押す**

- 自局番号の詳細画面でも同様に操作できます。

おしらせ

- ● 発信者番号の通知／非通知を切り替えたり、プレフィックスを付加して電話をかけられます。☛P52
- ● 電話帳一覧で [Menu][6] を押すと電話帳の検索方法を変更できます。

電話帳データを 50 音順に表示する　全件表示（50 音）

電話帳データを 50 音順（あ行→か行→さ行→…→その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし）の順）に表示します。

1 待受画面で Menu 4 1 1 を押す

2 ◎ を押して表示したい行を選択する

- ◎ の代わりに 0 ～ 9、＊、# を押すと、ダイヤルキーに割り当てられている行が表示されます。たとえば、1 を押すとあ行が表示されます。「その他」の行を表示するには、＊ または # を押します。

グループで検索する　グループ検索

- グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

1 待受画面で Menu 4 1 2 を押す

2 検索するグループを選択する

- 同一グループ内の電話帳データは次の順に表示されます。
  ①50 音順　②アルファベット順　③数字
  ④空白で始まるもの　⑤記号

名前で検索する　フリガナ検索

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

1 待受画面で Menu 4 1 3 を押す

2 フリガナを入力する

- フリガナは先頭の一部を入力して検索できます。フリガナを入力しなくても検索できます。

通話／メール回数の多い相手を検索する　ランキング検索

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、i モードメール送受信回数が多い順に表示（メール回数ランキング）できます。

- 通話回数、メール回数は 9999 回まで表示されます。

例 通話回数ランキングを表示するとき

1 待受画面で Menu 4 1 4 1 を押す

- 累積通話回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までの電話発着信回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

■ **メール回数ランキングを表示するとき**

① **待受画面で Menu 4 1 4 2 を押す**

- 累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までのメール送受信回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からの i モードメールの送受信がカウントの対象となります。

おしらせ

● 累積通話回数と累積メール回数が同じ場合は、次の順に表示されます。
①50 音順　② アルファベット順　③ 数字　④ 空白で始まるもの　⑤ 記号

● シークレット属性が設定されている相手も含めてランキングを表示するときは、シークレットモードに設定してから操作してください。

通話回数／メール回数をリセットする

1 電話帳を検索し、リセットする相手にカーソルを合わせて Menu 9 3 を押す

2 「はい」を選択する

- 個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がリセットされます。

メモリ番号で検索する

メモリ番号検索

FOMA 端末電話帳を、メモリ番号を入力して検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 待受画面で Menu 4 1 5 を押す

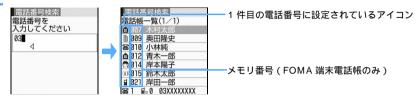
2 メモリ番号を入力する

- 100 の位や 10 の位の頭の 0 は省略できます。

電話番号で検索する　　電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 待受画面で Menu 4 1 6 を押す

2 電話番号の一部を入力する

おしらせ

● 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA端末の電話帳はメモリ番号の順に表示されます。FOMAカード電話帳は次の順に表示されます。
① 50音順　② アルファベット順　③ 数字　④ 空白で始まるもの　⑤ 記号

すばやく行検索する

ダイヤルキー 0 ～ 9 に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。
• 前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）を検索します。

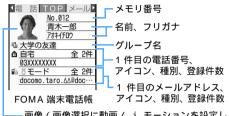
例「佐藤」を検索するとき

1 待受画面で 3 ［電話帳］ を押す

• 検索結果画面では、0 ～ 9、#、*、［方向キー］ を押して行を切り替えられます。

電話帳の登録内容を確認する

1 **電話帳を検索し、詳細表示する電話帳データを選択する**

- [上下キー] を押すと前後の電話帳データの詳細画面が表示されます。
- 着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に [!] が表示されます。

FOMA 端末電話帳

FOMA カード電話帳

■ **登録内容の詳細を表示するとき（FOMA 端末電話帳のみ）**

① **[右キー] を押す**

- [右キー] を押すたびに「詳細（TOP）画面」から「詳細（メール）画面」「詳細（その他）画面」「詳細（電話）画面」の順に切り替わります。[左キー] を押すと逆の順に切り替わります。

- 詳細（メール）画面には、累積メール回数と最終メール日時が表示されます。
- 詳細（電話）画面には、累積通話回数と最終通話日時が表示されます。

■ **詳細画面の登録内容をすべて表示するとき**

① **[田] を押す**

- [田] を押すと元の画面に戻ります。

おしらせ

● 累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、発信／送信した場合だけでなく、着信／受信した場合も対象になります。ただし、相手が電話に応答しなかったり、電波状況などの理由でｉモードメールが送信できなかったりした場合は、対象になりません。

電話帳を修正する

電話帳修正

電話帳データの内容を修正・コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

登録内容を修正する

1 **電話帳を検索し、修正する相手にカーソルを合わせて [Menu] [3] を押す**

2 電話帳データを修正する

・詳細について
☛P92「FOMA 端末に電話帳を登録する」操作 3 以降、☛P95「FOMA カード電話帳に登録する」操作 3 以降

3 [電話帳] を押す

・FOMA 端末電話帳の電話帳データを修正した場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号入力後に表示されるメッセージに従って、上書き登録か新規登録を選択してください。
上書き登録を選択した場合は、メモリ番号入力で番号を変更していても、以前の電話帳データは破棄されます。新規登録を選択した場合は、再度メモリ番号入力が表示されます。必要に応じて番号 (0 ～ 699) を入力してください。
・FOMA カード電話帳の電話帳データを修正した場合、登録方法を選択する旨の確認画面が表示されるので、上書き登録か新規登録を選択します。

おしらせ

● FOMA カード電話帳の電話帳データの電話番号に「✻」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。
● シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正できません。
● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1 件目に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、2 件目以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

電話帳データの内容をコピーできます。コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
・コピーした内容は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、何度でも貼り付けることができます。
・記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

1 電話帳を検索し、コピーする相手にカーソルを合わせて [Menu][7] を押す

2 [1] ～ [8] を押す

該当項目のデータが一時的に記録されます。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面、FOMA カード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、自局番号の詳細画面では [Menu] を押し、「コピー」を選択します。
● 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1 件目に登録されている内容がコピーされます。2 件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA 端末電話帳や自局番号の各詳細画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選択します。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

電話番号やメールアドレス、メモリ番号の順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA 端末電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。また、2 つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

1 電話帳を検索し、順序を入れ替える

■ **電話番号の順序を入れ替えるとき**

① **目的の相手に合わせて Menu 9 2 1 を押す**

② **1 件目に登録する電話番号を選択する**

選択した電話番号と 1 件目の電話番号が入れ替わります。

■ **メールアドレスの順番を入れ替えるとき**

① **目的の相手にカーソルを合わせて Menu 9 2 2 を押す**

② **1 件目に登録するメールアドレスを選択する**

選択したメールアドレスと 1 件目のメールアドレスが入れ替わります。

■ **メモリ番号を入れ替えるとき**

① **目的の相手にカーソルを合わせて Menu 9 2 3 を押す**

② **メモリ番号を入れ替える相手を選択する**

メモリ番号が入れ替わります。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」、「メールアドレス入替え」、「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーしたり、FOMA カード電話帳を FOMA 端末にコピーします。また、FOMA 端末電話帳を miniSD メモリーカードへ 1 件コピーまたはバックアップ（全件コピー）できます。

• コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループが、コピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

■ FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします（全角 10 文字（半角 21 文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10 文字まで）。
フリガナ	フリガナをコピーします（半角 25 文字まで）。半角カタカナは全角カタカナになります。
電話番号	1 件目に登録されている電話番号をコピーします（26 桁（FOMA カードの種類によっては 20 桁）まで ☛P36）。タイマー（T）が登録されている場合は、タイマー（T）のみ削除されます。また、電話番号の先頭以外に「＋」が入力されている場合は、「＋」以降の番号は削除されます。アイコンはすべて☎になります。
メールアドレス	1 件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角 50 文字まで）。FOMA カード電話帳では、アイコンはすべて📱になります。

※ FOMA カード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

電話帳

つづく

■ FOMA カード電話帳から FOMA 端末電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします。
フリガナ	フリガナをコピーします。全角カタカナは半角カタカナになります。
電話番号	電話番号をコピーします。アイコンは☎になります。
メールアドレス	メールアドレスをコピーします。アイコンはになります。

1 **電話帳を検索し、Menu 8 3 を押す**

2 **コピーする相手を選択する**

FOMA 端末電話帳の場合

• Menu を押すとすべての電話帳データを選択／解除できます。

3 **を押す**

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「赤外線／外部メモリ」→「FOMA カードへコピー」、FOMA カード電話帳の詳細画面では Menu を押し、「赤外線／メモリ内へコピー」→「メモリ内へコピー」を選択します。

電話帳を削除する

電話帳削除

1 人分の電話帳データを削除します。

1 **電話帳を検索し、削除する相手にカーソルを合わせて Menu 4 を押す**

2 **「はい」を選択する**

おしらせ

● FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳の詳細画面では Menu を押し、「電話帳削除」を選択します。

電話帳に各種機能を設定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定やテレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

• FOMA カード電話帳は、ここで説明する機能を設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する　発番号設定

お買い上げ時　設定なし

1　電話帳を検索し、設定する相手にカーソルを合わせて Menu 9 1 2 を押す

2　端末暗証番号を入力し、電話番号を選択する

3　1 または 2 を押す

・解除するとき：3 を押す

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
●「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
● 発番号設定をした電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
● 通話ごとに発信者番号の通知／非通知を指定したときは、電話番号ごとの発番号設定よりも優先されます。☛P51

テレビ電話をかけるときの通信速度を電話番号ごとに設定する　テレビ電話通信速度設定

お買い上げ時　64K

1　電話帳を検索し、設定する相手にカーソルを合わせて Menu 9 1 5 を押す

2　電話番号を選択する

3　1 または 2 を押す

・FOMA 端末にテレビ電話をかけるときは 1 を押します。

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
● 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、電話番号ごとの通信速度設定よりも優先されます。☛P52

メールアドレスにシークレットコードを設定する　シークレットコード設定

相手がメールアドレス（携帯電話番号 @docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索して i モードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1　電話帳を検索し、設定する相手にカーソルを合わせて Menu 9 1 4 を押す

2　端末暗証番号を入力し、メールアドレスを選択する

3 4桁のシークレットコードを入力する

・シークレットコード設定を解除するには、[クリア]を1秒以上押してシークレットコードを削除してください。

おしらせ

● 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
● FOMA端末電話帳の詳細画面では[Menu]を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
● シークレットコードを設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に[!]が表示されます。
● メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手にメール返信ができません。また、「携帯電話番号@ docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合、シークレットコードを設定しても、その相手にメールの返信ができません。電話帳データの「@docomo.ne.jp」を削除してから設定してください。
● 自局番号に、シークレットコードは設定できません。

他人に見られたくない電話帳を守る　シークレット属性

端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータにします。シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

電話帳にシークレット属性を設定する

・FOMAカード電話帳データには設定できません。
・シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 シークレットモードを設定する

2 電話帳を検索し、設定する相手にカーソルを合わせて[Menu][9][1][1]を押す

あ かきくけこ さ
電話帳一覧(1／1)
岸田一郎
岸本陽子
木下一郎
木村太郎
小林純
1 1 090XXXXXXXX

選択している相手にシークレット属性が設定されているときに点滅

■ 解除するとき
① シークレット属性が設定されている電話帳データにカーソルを合わせて[Menu][9][1][1]を押す

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。シークレット属性を解除する場合は Menu を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性解除」を選択します。
- シークレットモード中に電話帳データを登録・修正した場合、その電話帳データにはシークレット属性が設定されます。
- シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、受信メール一覧などに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションは表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。名前の表示☛P90
- 設定したシークレットコードは､電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で表示できます。

シークレット属性を設定した電話帳を検索する　シークレット検索

・検索できるのはシークレット属性が設定されている電話帳データだけです。
・シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 シークレットモードを設定する

2 待受画面で Menu 4 1 7 を押す

・以降の操作は通常の検索方法と同じです。☛P96

おしらせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中以外は検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。
- 前回シークレット検索を行った状態で電話帳一覧を表示した場合、シークレットモード中のときは、前回と同じシークレット検索の電話帳一覧が表示されます。シークレットモード中以外は、メモリ番号検索画面が表示されます。

電話帳の登録状況を確認する　登録件数確認

FOMA 端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 電話帳を検索し、Menu 9 4 を押す

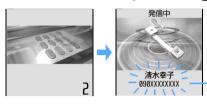
おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では Menu を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
- FOMA カード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面から Menu を押し、「登録件数確認」を選択します。
- 登録件数は、シークレット設定されている件数を含みます。

少ないキー操作で電話をかける　クイックダイヤル

FOMA 端末電話帳のメモリ番号 0 ～ 99 の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。
・電話帳データの 1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例 メモリ番号 2 の電話番号に電話をかけるとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は 2）を入力して 文字 を押す

電話帳の 1 件目の電話番号

・メモリ番号の前に 0 などは付けずに入力します。前に 0 などを付けて入力すると、電話はかかりません。
・文字 の代わりに A/a を押すと、テレビ電話をかけられます。

おしらせ

● 入力したメモリ番号の電話帳データに電話番号が登録されていない、または FOMA 端末電話帳に電話帳データが 1 件も登録されていない場合は、文字 または A/a を押すと該当するデータがない旨のメッセージが表示されます。

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

FOMA 端末から鳴る着信音を変える　音の設定

電話がかかってきたときや、メールやメッセージ R/F などを受信したときに鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音や、FOMA 端末を開閉したときに鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

・本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音、および通話保留音設定の保留音にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　電話：メロディ／パターン 1　メール：メロディ／パターン 1　チャットメール：メール連動
メッセージ R：メロディ／パターン 1　メッセージ F：メロディ／パターン 1
通話保留音：内蔵音（保留音・ボイス）　テレビ電話：メロディ／電話・メロディ A
スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音 1　スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音 1

1 待受画面で Menu 8 1 1 を押す

2 各項目を選択して設定する

■ **電話、テレビ電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音を設定するとき**

① **1 ～ 3（チャットメールの場合は 1 ～ 4）を押す**

・「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた ☛P340
・「着モーション」を選択したときは、メロディ欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
動画／ｉモーション一覧の見かた ☛P325
・「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
・チャットメールの着信音を「メール連動」に設定している場合は、メールの着信音の設定に従います。

■ **通話保留音を設定するとき**

① **1 または 2 を押す**

・「選択音」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた ☛P340
・「内蔵音」を選択すると、通話保留中にメッセージ（内蔵の「保留音・ボイス」）が流れます。

■ **スライドオープン、スライドクローズの効果音を設定するとき**

① **1 または 2 を押す**

・「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
メロディ一覧の見かた ☛P340
・「OFF」を選択すると、効果音は鳴りません。

3 [□] を押す

メロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには

● メロディ一覧でメロディにカーソルを合わせて [□] を押すと再生できます。[●] を押すと設定されます。
再生中は次の操作ができます。
・音量調整：[◁▷]　・前後のメロディの再生：[△▽]
● 動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションにカーソルを合わせて [□] を押すと再生できます。[クリア] を押して一覧画面に戻り、[●] を押すと設定されます。再生中は次の操作ができます。
・音量調整：[△▽]　・一時停止／再生：[●]　・停止：[□]　・早送り再生：[▷]

3D サウンドとは

3Dサウンド機能とは、ステレオスピーカー（または平型ステレオイヤホンセット（別売）など）を使用して、3次元で立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出す機能です。臨場感あふれるｉアプリのゲームや着信音、ｉモーションなどをお楽しみいただけます。
本機能は、FOMA端末を約20～30cm（個人差があります）程度離し、正面に持って聞いた場合に最も効果が現れます。正面から左右にずらした位置で聞いたり、近すぎたり遠すぎたりすると、効果が薄れてしまいます。

- メロディの動作設定のステレオ・3D サウンドを「ON」に設定すると、3D サウンドを立体音響でステレオスピーカーから再生できます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P341
- 立体感の感じかたには個人差があります。違和感がある場合は、ステレオ・3D サウンドを「OFF」に設定してください。

おしらせ

- サウンドレコーダーで録音した音声も「着モーション」に設定できます。この場合、音声のみ再生され、画面には着信画像に設定した画像が表示されます。
- 音声と映像のある動画／ｉモーションを着信音に、着信画像を「着信音連動」に設定しているときに着信音を「OFF」に設定し直すと、着モーションは再生されますが、着信音量は消音になります。
- 着信画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）またはメロディを着信音に設定すると、着信画像には標準画像が表示されます。
- 着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定していても、音声のみの動画／ｉモーションを着信音に設定すると、着信画像には標準画像が表示されます。
- 詳細情報（☛P357）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
- 着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定した場合、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）、パラパラマンガ、連写画像を設定していても動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。
- 音声電話通話中に音声電話の着信があった場合、着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されているか、または着信画像に動画／ｉモーションを設定していると、着信画面には最初のコマが表示されます。
- FOMA 端末をすばやく開閉すると、スライドオープン／スライドクローズの効果音は鳴らない場合があります。また、次の場合は、FOMA 端末を開閉しても効果音は鳴りません。
  - 発信中
  - 着信中
  - 応答保留中
  - 通話中
  - マナーモード中
  - アラーム鳴動中
  - メロディ再生中
  - 動画／ｉモーション再生中
  - 動画撮影中
  - キャラ電撮影中
  - 伝言メモ／音声メモ再生中
  - 伝言メモ応答ガイダンス再生中
  - ｉアプリ起動中
  - サウンドレコーダー録音中
  - 通話料金上限通知アラーム鳴動中
- スライドオープン／スライドクローズの効果音の音量は変更できません。効果音に 3D サウンド対応のメロディを設定できますが、3D 効果は無効になります。

■ 着信音の優先順位について

複数の機能で音声電話やテレビ電話の着信音を設定している場合は、次の優先順位で鳴ります。
① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳グループ別の設定
③ 音の設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は音の設定／テレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。
- 電話帳に着信音を設定していない場合、着信音の「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、電話帳に画像を設定していても、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。
- 着信音の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定し、電話帳に画像を設定しているときは、着信音は「着モーション」に設定した音声のみの動画／ｉモーションになり、着信画像は電話帳に設定した画像になります。

つづく

メロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。
- □のメロディは3Dサウンドに対応しています。
- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。

曲名（【 】は作曲者）
パターン1～5
電話・メロディA
電話・メロディB
電話・黒電話
電話・SuperBell"Z
電話・女性ボイス
メール・メロディA
メール・メロディB
メール・SuperBell"Z
メール・女性ボイス
メール・英語ボイス

曲名（【 】は作曲者）
アラーム・アナログ時計
アラーム・SuperBell"Z
アラーム・女性ボイス
スライド・オープン音1～3
スライド・クローズ音1～3
保留音・ボイス
ヴァーチャルトレイン
惑星から「火星」【HOLST GUSTAV】
おもちゃの兵隊のマーチ【JESSEL LEON】
森のくまさん【アメリカ民謡】

曲名（【 】は作曲者）
凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】
Rhapsody in Blue【GERSHWIN GEORGE】
四季～冬～【VIVALDI ANTONIO LUCIO】
ツァラトゥストラはかく語りき【STRAUSS RICHARD】
SUMMERTIME【GERSHWIN GEORGE】
ジムノペディ第1番【SATIE ERIK ALFREDI LE】
Bomb A Head! Returns!【富樫明生】
Heaven Is A Place On Earth【NOWELS RICHARD W JR】【SHIPLEY ELLEN】

録音許諾番号：T-0520095
※作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

着信やアラームを振動で知らせる　バイブレータ設定

音声電話やテレビ電話着信時、メールやメッセージR/Fなどの受信時、スケジュールアラーム通知時に振動でお知らせします。
- バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがありますので、ご注意ください。
- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータにもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　すべてOFF

1 待受画面で Menu 8 1 7 を押す

2 設定する項目を選択する
- チャットメールを選択したとき、チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメールを選択できません。
- スケジュールアラームは、電話の設定パターンで振動します。

3 1 ～ 5 を押す

パターンA　：0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1.5秒停止の繰り返しで振動します。
パターンB　：1秒振動→2秒停止の繰り返しで振動します。
パターンC　：0.25秒振動→0.25秒停止の繰り返しで振動します。
メロディ連動：音の設定で設定したメロディに合わせて振動します。
- メロディによっては連動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。

OFF　：振動しません。

- ◎を押すとカーソル位置のパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」と「OFF」の場合は振動しません。

4 を押す

・電話のバイブレータを設定したときは、待受画面にが表示されます（ただし、電話の着信音量を「消音」に設定しているときはが表示されます）。

おしらせ

●通話中に着信があった場合は振動しません。
●電話帳の電話着信バイブレータ、メール着信バイブレータを設定している場合は、電話帳の設定が優先され、次にグループ別の設定が優先されます。
●「OFF」に設定していても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

キーを押したときに鳴る音を設定する　キー確認音設定

お買い上げ時　キー確認音1

1 待受画面で Menu 8 1 4 を押す

2 1 〜 3 を押す

・を押すとカーソル位置のキー確認音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合は鳴りません。
・鳴らさないとき：4 を押す

おしらせ

●「OFF」に設定すると、次の音は鳴らなくなります。
・電池レベル表示時の確認音　・赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音
●キー確認音の音量は受話音量調整の設定に従います。
●「OFF」以外に設定しても、次の場合は、キー確認音は鳴りません。
・マナーモード中（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音を「OFF」以外に設定している場合は鳴ります）
・ｉアプリを起動している場合（を押すと鳴ります）
・プロテクトキーをスライドさせた場合
・を押した場合
●「OFF」に設定していても、通話中にダイヤルキーを押すと相手にプッシュ信号（DTMF）を送出できます。このとき、受話口からはプッシュ音が聞こえます。

充電時の確認音を設定する　充電確認音設定

充電の開始／終了時に確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

お買い上げ時　ON

1 待受画面で Menu 8 1 9 を押す

2 1 または 2 を押す

おしらせ

●「ON」に設定しても、次の場合は、充電確認音は鳴りません。
- マナーモード中
- ドライブモード中
- 音声電話通話中
- テレビ電話通話中
- 64Kデータ通信中
- ｉモード通信中
- パケット通信中

通話が切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム設定

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。
- 本機能は音声電話にのみ有効です。

お買い上げ時　アラーム高音

1 待受画面で Menu 8 7 4 を押す

2 1 または 2 を押す

- 鳴らさないとき：3 を押す

電話から鳴る音を消す　マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

お買い上げ時　未設定

1 待受画面で Menu または # を1秒以上押す

マナーモード選択で指定したマナーモードが設定され、待受画面に（マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

- プロテクトキーロック中は、Menu を1秒以上押しても設定／解除はできません。

■ **解除するとき**

① **待受画面で Menu または # を1秒以上押す**

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出るすべての音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

● 電話着信時やメール受信時などのバイブレータの動作は、バイブレータ設定には関わらず「パターンA」となります。

● アラーム起動時のバイブレータの動作は、アラーム設定に従います。

● スケジュールアラーム起動時は、マナーモードのバイブレータによる振動で動作します。

● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。

● 音声のある動画／ｉモーションやメロディの再生時には、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- マナーモード中でも、次の音は鳴ります。
  - カメラおよびビデオカメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
  - サウンドレコーダー録音時の録音確認音（シャッター音）
- マナーモード中は、通話料金上限通知を「ON」に設定し、アラームで通知する設定にしていても、メッセージのみ表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定に従ってアラームが鳴ります。

マナーモードを変更する

マナーモード選択

マナーモードの設定を変更できます（オリジナルマナーモード設定）。通常のマナーモードとオリジナルマナーモードのどちらを設定するかを選択できます。

お買い上げ時 通常マナーモード

1 待受画面で Menu 8 1 6 を押す

2 2 を押す

通常マナーモード：FOMA 端末から鳴る音を消し、着信を振動で知らせます。
オリジナルマナーモード：各種設定を変更できます。

- 1 を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1 つ前の画面に戻ります。

3 各項目を選択して設定する

バイブレータ：電話着信時やメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定で「OFF」に設定しているときは「パターン A」で振動します。
- 「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音：キー確認音を設定します。

電話着信音量：電話着信音量や i アプリの音量を設定します。ただし、「ステップトーン」に設定した場合の i アプリの音量は「レベル 4」です。

メール着信音量：メール着信音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音
：アラームやスケジュールアラームを鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、アラームやスケジュールアラームは各設定に従って鳴ります。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従います。
- 「OFF」に設定すると、アラームやスケジュールアラームは鳴りません。

マイク感度 UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

4 📖 を押す

オリジナルマナーモードの内容が設定されます。

待受画面の表示を変更する　待受画面設定

待受画面の表示をお好みに応じて変更できます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じ FOMA カードを挿入していないと、待受画面設定が無効になります。
- オールロック中や PIM ロック中（PIM ロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合）は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、PIM ロック中でも設定したデータが表示されます。
- 時計の表示を設定するには☛P130

画像・動画／ｉモーション・キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから保存した画像、動画／ｉモーション、キャラ電や、FOMA 端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像なども設定できます。

1 待受画面で [Menu][8][2][1] を押す

2 [1]、[3]、[4] のいずれかを押す

3 フォルダを選択し、待受画面に設定する画像・動画／ｉモーション・キャラ電を選択する

- 画像を確認するには、画像一覧で画像にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押すと設定されます。画像表示画面で次の操作ができます。
  - 前後の画面の表示：[◎]
  - 画像一覧に戻る：[クリア]
- キャラ電を確認するには、キャラ電一覧でキャラ電にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押してキャラ電一覧画面に戻り、[●] を押すと設定されます。キャラ電表示画面で次の操作ができます。
  - 全体アクションとパーツアクションの切り替え：[ｉ]
  - アクション一覧を表示：[✉]
  - 拡大表示と等倍表示の切り替え：[◎]
- 動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

■ キャラ電のアクションを設定するとき

① キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて [Menu] を押す

② 通常欄でアクションの種類を選択し、動作を選択する

- 不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
- 「全体アクション」「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
- 「直接入力」を選択した場合は、アクションに対応している数値を入力してください。☛P335
- 「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。

③ **アクション間隔欄でアクションを繰り返す間隔を選択する（1 ～ 5 秒）**
　・「OFF」に設定すると、最初の 1 回のみ選択したアクションが動作します。
④ **[メニュー] を押す**

4 「はい」を選択する

- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

おしらせ

● キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってアクションします。
　① 不在着信、未読メール
　② 通常
　・不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションを再生するには

● 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
　・再生：[クリア]／FOMA 端末を開く　・停止：[クリア]／FOMA 端末を閉じる／[PWR]
　・音量調整：[上下]
● アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像の場合は次の操作ができます。
　・再生：[クリア]／[PWR]／FOMA 端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる
　・一時停止／再生：[クリア]　・停止／先頭から再生：[PWR]　・停止：FOMA 端末を閉じる
● キャラ電の場合は次の操作ができます。
　・再生(アクション間隔を設定しているときは、設定した間隔で繰り返し再生)：[クリア]／FOMA端末を開く
　・停止：[クリア]／FOMA 端末を閉じる／[PWR]
● プロテクトキーロック中も、FOMA 端末を開閉して再生／停止できます。また、再生中はエニーキーで停止します。

お買い上げ時に登録されている待受画面用の画像／ｉモーション／キャラ電

■ 画像

（お買い上げ時）
©BVIG
■ ｉモーション

■ キャラ電 ☞P334

音／画面／照明設定

おしらせ

- ●アニメーションは16回まで繰り返して再生されます。
- ●Flash画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生後に一時停止します。待受画面に設定したFlash画像のメロディは再生されません。
- ●アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
- ●再生回数や再生期限などの制限が設定されている動画／ｉモーションは、待受画面に設定できません。
- ●テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は利用できません。
- ●動画／ｉモーションやキャラ電を待受画面に設定した場合、時計は小さく上部に表示されます。時計表示設定でデザインを「アナログ」に設定していても、「デジタル1」で表示されます。

画像をランダムに表示する　ランダムイメージ設定

画像を一定の時間ごとやFOMA端末を開くタイミングで、待受画面にランダムに表示できます。

1 待受画面で Menu 8 2 1 2 を押す

2 各項目を選択して設定する

フォルダ： 画像が保存されているフォルダをマイピクチャ内から選択します。
- ・表示できる画像がないフォルダは選択できません。

切替設定： 画像を切り替えるタイミングを設定します。
- ・「15秒毎」に設定すると、待受画面に戻ってから15秒毎に切り替わります。
- ・「1分毎」「15分毎」「1時間毎」に設定すると、時計に従って切り替わります（たとえば、「1分毎」に設定すると、毎分0秒に切り替わります）。
- ・「日替り」に設定すると、毎日0時に切り替わります。
- ・「スライドオープン」に設定すると、FOMA端末を開いたときに切り替わります。

3 [m] を押し、「はい」を選択する

- ・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

おしらせ

- ●次の画像は表示できません。
  - ・パラパラマンガ　・連写画像　・アニメーション　・Flash画像　・動画
- ●日付・時刻が設定されていない場合、切替設定で「スライドオープン」以外に設定しているときは、切り替わりません。
- ●現在、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガを作成しても、次の画像に切り替わるまでその画像が表示されています。それ以降は表示されません。
- ●選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動、削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がなくなると、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージ設定は解除されます（移動やパラパラマンガを作成した場合は、次の画像に切り替わるタイミングまで画像が表示されています）。
- ●切替設定を「スライドオープン」に設定していても、FOMA端末の開閉をすばやく繰り返すと、画像が切り替わらない場合があります。

ｉアプリ待受画面を設定する

- ・ｉアプリ待受画面に、複数のｉアプリは設定できません。
- ・お買い上げ時に登録されている次のｉアプリはｉアプリ待受画面に設定できます。
  - ・ウゴクフォトミラクル　・珍さん計画DXおこづかい帖プラス

1 **待受画面で Menu 8 2 1 5 を押す**

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 **ｉアプリを選択して、「はい」を選択する**

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面に[icon]または[icon]が表示されます。

おしらせ

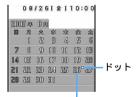
- ｉアプリ待受画面を操作するには☛P298
- ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しない場合があります。また、ｉアプリや設定によっては自動的に通信を行います。
- ｉアプリ待受画面を解除すると、その前に設定していた待受画面に戻ります。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、iアプリ待受画面を設定しても動作しません。また、ｉアプリ待受画面設定後にプライバシーモードを起動（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）すると、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。プライバシーモードを解除すると、ｉアプリ待受画面に戻ります。
- PIM ロック中は、ｉアプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。ただし、PIM ロックの対象となっているデータを設定していたときは、お買い上げ時の待受画面が表示されます。
- ｉアプリを待受画面に設定した場合、時計は小さく上部に表示されます。時計表示設定でデザインを「アナログ」に設定していても、「デジタル１」で表示されます。

待受画面にカレンダーを設定する

1 **待受画面で Menu 8 2 1 6 を押す**

2 **「はい」を選択する**

・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

カレンダーを設定すると

- 休日と祝日が赤で表示されます。休日と祝日の設定は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIM ロック中、オールロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは日付の右上にドットが表示されます。ただし、すべてのスケジュールにシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定していないと表示されません。また、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIM ロック中も表示されません。

おしらせ

- 日付・時刻が設定されていないときは、待受画面にカレンダーは表示されません。
- カレンダーを待受画面に設定した場合、時計は小さく上部に表示されます。時計表示設定でデザインを「アナログ」に設定していても、「デジタル１」で表示されます。
- 画像とカレンダーは同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像を設定している場合は、再生が停止／一時停止したときにカレンダーが表示されます。

待受画面の表示をカスタム設定する　カスタム待受

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、メモ、カレンダー、スケジュールを表示できます。エリアの分けかたは、次の 7 種類から選択できます。

パターン 1

パターン 2

パターン 3

パターン 4

パターン 5

パターン 6

パターン 7

1 **待受画面で Menu 8 2 1 8 を押す**

2 **を押してパターンを切り替える**

3 **エリアを選択し、1 ～ 5 を押す**

- 複数のエリアがある場合は、操作 3 を繰り返します。
- 画面の半分に満たないエリア（パターン 3 のエリア 1 設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定するとき

① 2 **を押す**
② **表示する情報を選択する**
- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

③ **を押す**

■ メモを設定するとき

① 3 **を押す**
登録済みのメモの一覧が表示されます。
② **表示するメモを選択する**
- を押すとメモの内容が表示されます。クリア を押すとメモ一覧に戻ります。メモ帳参照画面で を押すと設定されます。

4 **を押し、「はい」を選択する**

- ｉ アプリ待受画面が設定されているときは、さらに ｉ アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリ待受画面が解除されます。

おしらせ

● 表示する情報を設定したエリアと待受画面の時計表示が重なる場合、時計は小さく上部に表示されます。時計表示設定でデザインを「アナログ」に設定していても、「デジタル１」で表示されます。

カスタム待受画面の情報を確認する

1 待受画面で [ボタン] を押す

一番上のエリアが赤のカーソル枠で表示されます。

・[ボタン] を押すとカーソル枠を移動できます。

2 エリアを選択する

おしらせ

● イメージ設定でアニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像を設定していた場合、再生が停止／一時停止したときに情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。

・表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。

・各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

未読メール、メッセージ R、メッセージ F、不在着信、伝言メモのうち、選択している項目が新しい順に一覧表示されます。エリアを選択すると、先頭の項目の一覧画面が表示されます。

未読メール一覧：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

メッセージ R ／ メッセージ F

：受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージ R またはメッセージ F の一覧が表示されます。

不在着信一覧：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ一覧：録音日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ

メモ帳に登録されている内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ スケジュール

開始日時になっていないスケジュールが日時の早い順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。

・アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。

・長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりに「[アイコン] 開始日付～」と表示されます。開始日時が当日の場合は、「[アイコン] 開始日時」と表示されますが、開始日時が現在の日時を過ぎると、「[アイコン] 開始日付～」と表示が変わり、当日のまだ開始日時になっていないスケジュールの次に表示されます（開始日時順）。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。

・終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

つづく

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。
・カレンダーの見かたについては☛P119

おしらせ

- 表示する内容がないエリアは表示されません。
- シークレットモードを設定していない場合、シークレット属性が設定されているスケジュールは、カスタム待受画面には表示されません。また、シークレット属性が設定されている相手から電話の着信や伝言メモの録音があると、不在着信一覧や伝言メモ一覧を設定した新着情報エリアに名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、すべての未読メール、不在着信履歴、伝言メモ、スケジュールが新着情報エリアやスケジュールのエリアに表示されません。
- プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダ以外の未読メールが表示されます。
- PIM ロック中は、メモ帳やスケジュールのエリアに PIM ロック中である旨のメッセージが表示され、内容は表示されません。また、新着情報エリアには PIM ロック設定後の不在着信だけが表示されます。

画像以外の設定を解除する

動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。
・ランダムイメージ設定は解除されません。

1 待受画面で Menu 8 2 1 9 を押す

2 「はい」を選択する

・解除する前に画像を設定していた場合はその画像、設定していなかった場合はお買い上げ時の画像が待受画面に表示されます。

電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する　発着信画面表示設定

電話の発信時やメールの送受信時、ｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。
・電話の着信時に表示される画像を設定するには☛P62

電話発信時の画像を変更する　電話発信設定／テレビ電話発信設定　Menu 861 / Menu 881

音声電話やテレビ電話の発信時に表示される画像を設定します。

お買い上げ時　標準画像

1 待受画面で Menu 8 2 2 を押す

2 1 または 3 を押す

・音声電話発信時の画像を設定するときは 1 を押します。
・テレビ電話発信時の画像を設定するときは 3 を押します。

3 イメージ表示欄を選択し、[2] を押す

- お買い上げ時の画像を設定するとき：[1] を押す

4 「画像選択」を選択して画像を選択する

5 [□] を押す

おしらせ
● パラパラマンガ、連写画像を設定すると、最初のコマが表示されます。

発着信時に電話帳に設定した画像を表示する 人物画像表示設定

電話帳に登録されている相手との電話の発着信時に、電話帳に設定されている人物画像を表示できます。

お買い上げ時 ON

1 待受画面で [Menu][8][2][2][5] を押す

2 [1] を押す

- 表示しないとき：[2] を押す

■ 発着信画像の優先順位について

複数の機能で発着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①FOMA 端末電話帳の設定※

②FOMA 端末電話帳グループ別の設定

③音の設定／電話発信設定／電話着信設定／テレビ電話発信設定／テレビ電話着信設定

※：人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像は音の設定／テレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。

メール送受信時や問合せ時の画像を変更する メール送信画像設定／メール受信画像設定／問合せ画像設定

- 問合せ画像には Flash 画像を設定できません。

お買い上げ時 標準画像

1 待受画面で [Menu][8][2][2] を押す

2 [6] 〜 [8] を押す

- ｉモードメール、SMS 送信時の画像を設定するときは [6] を押します。
- ｉモードメール、SMS、メッセージ R/F 受信時の画像を設定するときは [7] を押します。
- ｉモード問合せ、SMS 問合せ時の画像を設定するときは [8] を押します。

3 画像を選択して登録する

- 操作方法は「電話発信時の画像を変更する」の操作 3 以降と同じです。☛P123

音／画面／照明設定

着信時に相手の名前や電話番号を表示する　着信表示設定

電話がかかってきたときに、名前と電話番号を表示するかどうかや、名前の文字サイズを設定します。また、ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、情報表示行に受信結果をスクロール表示するかどうかを設定します。

- 名前の表示については☛P90
- 本機能のメール／メッセージ着信時表示の設定は、情報表示行設定のメール／メッセージ着信時表示にも反映されます。

お買い上げ時　電話着信時電話番号:表示する　電話着信時名前表示:通常表示　メール／メッセージ着信時表示:表示する

1 **待受画面で Menu 8 2 2 9 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

電話着信時電話番号：電話がかかってきたときに電話番号を表示するかどうかを設定します。

電話着信時名前表示：電話がかかってきたときに名前を表示するかどうかや、文字サイズを設定します。

メール／メッセージ着信時表示

：ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、情報表示行に受信結果をスクロール表示するかどうかを設定します。

3 **□ を押す**

ディスプレイとキーの照明を設定する　照明設定

お買い上げ時　照明方法:点灯　点灯時間:10秒　範囲:ディスプレイ+キー　ディスプレイの明るさ:標準
AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 **待受画面で Menu 8 2 5 を押す**

2 **各項目を選択して設定する**

照明方法：点灯するかしないかを設定します。

- 「点灯」に設定すると、点灯時間で設定した時間点灯します。
- 「消灯」に設定すると、点灯しません。また、点灯時間・範囲・ディスプレイの明るさは設定できません。

点灯時間：点灯時間を設定します。

範囲　：ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。

- 「ディスプレイ+キー」に設定したときに点灯するキーは、文字、PWR、□、クリア、0～9、＊、＃です。

ディスプレイの明るさ

：ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

AC アダプタ接続時動作

：別売りのACアダプタ（卓上ホルダ）やDCアダプタに接続したときのディスプレイの点灯動作を設定します。

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイは上記の項目の設定に従って点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、ディスプレイは「高輝度」で点灯します。

3 [📖]を押す

おしらせ

● 点灯時間を「常時」以外に設定しているとき、約90秒間何も操作せずにいると、ディスプレイが自動的に消灯します（カメラ撮影中などを除く）。キー操作をしたり、電話の着信などがあると再び点灯します。
● 照明方法を「点灯」に設定していても、プロテクトキーロック中は、キーを押してもディスプレイやキーは点灯しません。ただし、[PWR]を押したときは、ディスプレイが点灯します。

画面のカラー配色を変更する　カラーテーマ設定

お買い上げ時　ホワイトスモーク

1 待受画面で[Menu][8][2][3]を押す

2 [1]～[9]を押す

- 24種類から選択できます。
- [左右キー]を押してページを切り替えられます。
- [上下左右キー]を押して配色の種類にカーソルを合わせると、その配色で画面が表示されます。
- 色名はイメージです。

おしらせ

● カラーテーマ設定を変更しても、サイト画面の配色には反映されません。

音／画面／照明設定

メニューの表示方法やデザインを設定する　メニュー設定

ノーマルメニューとカスタムメニューの表示形式を変更したり、メニューを選択した際に機能説明を表示させるかどうかなどの選択ができます。

- ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインは、次の4種類から選択できます。[Menu]を押したときに最初に表示される1階層目のメニューのデザインが変更できます。

タイプ1

タイプ2

タイプ3

タイプ4

お買い上げ時　ノーマル：タイルアイコン　カスタム：タイルアイコン　機能説明表示：ON　アイコンデザイン：タイプ 1　アイコン拡大表示：OFF　起動メニュー：ノーマル／シンプル　カスタムメニューショートカット：カスタム

1 待受画面で[Menu][A/a]を押す

2 各項目を選択して設定する

ノーマル：ノーマルメニューの表示形式を設定します。

カスタム：カスタムメニューの表示形式を設定します。

機能説明表示：機能説明を表示するかどうかを設定します。

アイコンデザイン：ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインを設定します。

アイコン拡大表示：メニュー選択時に、タイルアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：待受画面で[Menu]を押したときに表示されるメニューを設定します。

カスタムメニューショートカット
：カスタムメニューのショートカットの操作方法を設定します。
- 「ノーマル／シンプル」に設定すると、ノーマル／シンプルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
- 「カスタム」に設定すると、カスタムメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

3 [📖]を押す

音／画面／照明設定

メニューのデザインを変更する

メニューのアイコンや背景画像を変更して、メニュー画面のデザインを2パターン作成できます。
• アイコンは 96 × 96、背景画像は 240 × 240 より大きい画像は縮小して表示されます。

1 **待受画面で Menu A/a を押し、アイコンデザイン欄で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選択し、「カスタマイズ」を選択する**

2 **アイコンを変更する機能を選択し、画像フォルダ一覧から画像を選択する**

■ **メニューアイコンを解除するとき**

① **解除するアイコンにカーソルを合わせて Menu 1 を押し、「はい」を選択する**

• 全件解除するときは Menu 2 を押し、「はい」を選択します。

3 **✉ を押し、画像フォルダ一覧からメニュー画面の背景画像を選択する**

■ **背景を解除するとき**

① **Menu 4 を押し、「はい」を選択する**

4 **📖 を 2 回押す**

おしらせ

● パラパラマンガや Flash 画像、「アイテム」フォルダ内の画像は設定できません。また、アニメーションを設定すると最初のコマが表示されます。

● PIM ロック中は、アイコンデザインの「カスタム 1」、「カスタム 2」の設定内容を変更できません。

電池残量のマークを変更する　電池マーク設定

お買い上げ時　▮▮▮→▮▮→▮

1 **待受画面で Menu 8 2 4 を押す**

2 **1 ～ 3 を押す**

着信ランプの色と点灯パターンを設定する　イルミネーション設定

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときに着信ランプを点滅させるかどうかや、FeliCaマークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに着信ランプを点灯させるかどうかを設定します。また、通話中や着信時、FOMA 端末の開閉時などの着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のイルミネーションにもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　新着通知：OFF　通話中：OFF　テレビ電話着信：点滅／オーシャン　音声着信：点滅／オーシャン
メール着信：点滅／オーシャン　メッセージ R 着信：点滅／オーシャン　メッセージ F 着信：点滅／オーシャン
チャットメール着信：点滅／オーシャン　アラーム：OFF　スケジュール：OFF
メロディ再生：メロディ連動／レインボー　スライドオープン：ゆっくり点滅／オーシャン
スライドクローズ：ゆっくり点滅／オーシャン　IC カード：ON

1 **待受画面で Menu 8 2 6 を押す**

2 **新着通知欄を選択して 1 または 2 を押す**

- 「ON」に設定すると、不在着信（音声電話／テレビ電話／伝言メモ）があるときは音声着信のイルミネーションカラーに、未読情報（メール／チャットメール／ SMS）があるときはメール着信のイルミネーションカラーに、未読情報（メッセージ R/F）があるときはメッセージ R ／メッセージ F のイルミネーションカラーに従って、6 秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。
- 「OFF」に設定すると、新着情報があっても着信ランプは点滅しません。

3 **設定する項目のイルミネーションパターン欄を選択して 1 ～ 5 を押す**

- 「通話中」の場合は、「メロディ連動」は設定できません。
- を押すとカーソル位置のパターンで着信ランプが点灯／点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。ただし、「OFF」の場合は点灯／点滅しません。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」に設定すると、イルミネーションカラーが「レインボー」で点灯／点滅します。
- チャットメール着信を選択したとき、チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を選択できません。

4 **設定する項目のイルミネーションカラー欄を選択して 1 ～ 9 を押す**

- 色名はイメージです。
- を押してページを切り替えられます。
- を押すとカーソル位置の色で着信ランプが点灯／点滅します。
- チャットメール着信を選択したとき、チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を選択できません。

5 **IC カード欄を選択して 1 または 2 を押す**

- 「ON」に設定すると、FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに点灯します。

6 **を押す**

おしらせ

- 新着通知を「ON」に設定しているとき、新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って着信ランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話／伝言メモ）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／ SMS）
  ③ 未読情報（メッセージ R）
  ④ 未読情報（メッセージ F）
- 新着通知を「ON」に設定した場合、最初に新着情報があったときから約 6 時間経過しても新着情報がないときや、1 1（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても着信ランプの点滅は停止します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- アラーム設定やスケジュールでアラーム音に動画／ｉモーションを設定している場合や、音の設定で以下の着信音に「着モーション」または「OFF」を設定している場合、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定していても、イルミネーションカラーで設定した色で点滅します。
  - 電話
  - メール
  - チャットメール
  - メッセージ R
  - メッセージ F
  - テレビ電話
  - スライドオープン
  - スライドクローズ
- 通話中のイルミネーションカラーを設定していても、保留中は「ライム」で点滅します。
- FOMA 端末電話帳に着信動作を設定している相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、その設定に従って動作します。
- IC カードを「ON」に設定していても、おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、着信ランプが点灯しない場合があります。
- 電源が入っていない場合は、IC カードを「ON」に設定していても、着信ランプは点灯しません。
- IC カードを「ON」に設定した場合、おサイフケータイ対応ｉアプリが登録されていない読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときも、着信ランプは点灯します。

文字の大きさを変更する

フォント設定

全画面入力で文字を入力するときの、文字サイズ (5 種類) を変更できます。

最小：12 ドット　小：16 ドット　中（標準）：20 ドット　大：24 ドット　最大：28 ドット

お買い上げ時　中(標準)

1 待受画面で Menu 8 2 7 を押す

2 1 ～ 5 を押す

- を押すとカーソル位置の文字サイズで例が表示されます。

おしらせ

- メール本文を入力するときの文字サイズは変更されません。
- インライン入力時の文字サイズは変更されません。
- サイト画面やメッセージ R/F を表示するときの文字サイズも変更されます。ただし「最小」の場合は「小」で、「最大」の場合は「大」で表示されます。

時計の表示を設定する 時計表示設定

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、曜日の表示言語、時刻の表示形式（24 時間／12 時間）などを設定できます。

お買い上げ時 待受時計:デジタル 1 ／大きく表示／上／バイリンガルに従う　形式:24 時間表示

「デジタル 1」を大きく、中部に、12 時間で表示

「デジタル 2」を大きく、上部に、24 時間で表示

「デジタル 3」を小さく、下部に、12 時間で表示

「アナログ」を中部に表示

1 待受画面で Menu 8 5 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

待受時計：デザイン、サイズ、表示位置、曜日を設定します。
- デザインを「アナログ」に設定すると、サイズを設定できません。
- デザインを「表示なし」に設定すると、時計を表示しません。
- 曜日を「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

形式：24 時間表示と 12 時間表示のどちらで表示するかを設定します。
- 待受時計にアナログ時計を設定した場合は、形式の設定に関わらず、12 時間表示になります。

3 [□] を押す

おしらせ

- 待受画面設定で時計表示を設定するには、待受画面で Menu 8 2 1 7 を押します。
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイの右上に時刻が表示されます。24 時間表示／ 12 時間表示は、本機能の設定に従います。
- 次の場合に時計と表示エリアが重なるときは、本機能の設定に関わらず、時計は小さく上部に表示されます。デザインを「アナログ」に設定していても、「デジタル 1」で表示されます。
  - 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、カレンダーが表示されている場合
  - ｉアプリ待受画面が表示されている場合
  - カスタム待受画面で、表示する内容が設定されているエリアと時計の表示位置が重なる場合
- オールロック中は、本機能の設定に関わらず上部に表示されます。
- アナログ時計の時刻表示（針の向き）は目安です。

画面を英語表示に切り替える　バイリンガル

お買い上げ時　Japanese

1 待受画面で Menu 8 2 8 を押す

2 2 を押す

・日本語表示に切り替えるとき：1 を押す

おしらせ

● 英語表示に切り替えると、文字入力モードは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

情報表示行の表示を設定する　情報表示行設定

情報表示行にカレンダー、メモ帳またはスケジュールを表示したり、ｉ モードメール、SMS、メッセージ R/F 受信時に受信結果をスクロール表示できます。また、ディスプレイが消灯していてもアイコンや日付・時刻を表示できます。

・パーシャル時表示を「ON」に設定しているときのアイコンや日付・時刻の表示については ☛P26
・本機能のメール／メッセージ着信時表示は、着信表示設定のメール／メッセージ着信時表示にも反映されます。

お買い上げ時　通常時表示：1Weekカレンダー　パーシャル時表示：ON　メール／メッセージ着信時表示：表示する

1 待受画面で Menu 8 2 9 を押す

2 各項目を選択して設定する

通常時表示：ディスプレイ点灯中に表示する情報を「1Week カレンダー」「メモ帳」「スケジュール」から選択します。

パーシャル時表示：ディスプレイ消灯中にも表示するかどうかを設定します。

メール／メッセージ着信時表示

：ｉ モードメール、SMS、メッセージ R/F を受信したとき、受信結果をスクロール表示するかどうかを設定します。

3 📖 押す

1Week カレンダー表示に設定すると

当日を含む１週間のカレンダーが表示されます。スケジュール帳のカレンダーモード設定の表示モードの設定に従って、日曜日で始まるか月曜日で始まるかが切り替わります。

・スケジュールを登録してある日には、日付の右下にドットが表示されます。長期間スケジュールや繰り返し設定されている場合も、該当する日はすべてドットが表示されます。
ただし、次の場合にはドットは表示されません。
・PIM ロック中　・プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）
・オールロック中　・シークレットモードを設定していないときのシークレット属性のスケジュール
・休日と祝日が赤で表示されます。休日と祝日の設定は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIM ロック中、オールロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
・日付時刻が設定されていない場合は、日付時刻が設定されていない旨のメッセージが表示され、カレンダーは表示されません。

メモ帳表示に設定すると

１件目に登録されたメモ帳の内容が表示されます。

・FOMA 端末開閉時やディスプレイが点灯したときにメモ帳の内容が最後までスクロール表示されます。
・メモ帳の内容に改行が含まれている場合、改行は全角の空白に置き換えて表示されます。
・メモ帳が登録されていない場合やオールロック中は１ Week カレンダーが表示されます。
・PIM ロック中は、PIM ロック中である旨のメッセージが表示され、内容は表示されません。

スケジュール表示に設定すると

当日にスケジュールがあるときは、開始時刻になっていないスケジュールのうち、開始時刻が現在時刻に最も近いスケジュールの開始時刻と内容が表示されます。

・長期間スケジュールで現在時刻が開始時刻よりも早い場合は、開始時刻と内容が表示され、現在時刻が開始時刻を過ぎていて終了日より前である場合「開始日付～」と内容が表示されます。
・終日設定されている場合は「終日」と内容が表示されます。
・プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、オールロック中、および表示するスケジュールがない場合は１ Week カレンダーが表示されます。
・シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモード中以外では表示されません。
・FOMA 端末開閉時やディスプレイが点灯したときに内容が最後までスクロール表示されます。
・PIM ロック中は、PIM ロック中である旨のメッセージが表示され、内容は表示されません。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA 端末で利用する暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉ モードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA 端末を活用してください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

- 端末暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA 端末※、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
  ※：契約者ご本人が購入された携帯電話でない場合、受付できない場合があります。

あんしん設定

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモ e サイトでの各種手続き時にお使いいただく数字 4 桁の番号で、ご契約時に設定します。

- ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
  また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証等の確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「ユーザ ID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモ e サイトでも手続きできます。
  ※「ドコモ e サイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1 コード／ PIN2 コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという 2 つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。
PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードを FOMA 端末に差し込むたびに、または FOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する 4 ～ 8 桁の番号（コード）です。PIN1 コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2 コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請や積算料金リセットを行うとき、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する 4 ～ 8 桁の暗証番号です。

ｉ モードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉ モードの有料サービスのお申し込み・解約等を行う際には 4 桁の「ｉ モードパスワード」が必要になります。
ｉ モードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。

- ｉ モードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

おしらせ

● いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN1コード・PIN2コード／iモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
● 電話番号の下4桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。
● 端末暗証番号の入力に5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。電源をもう一度入れるか、正しい端末暗証番号を入力すると、累積回数はクリアされます。

端末暗証番号を変更する　端末暗証番号変更

・端末暗証番号には、4～8桁の数字を入力します。
・入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

お買い上げ時　0000

1 待受画面で Menu 8 3 5 を押す

2 現在の端末暗証番号を入力する

・正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。 を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

3 新しい暗証番号欄を選択し、新しい端末暗証番号を入力する

4 新しい暗証番号（確認）欄を選択し、操作3と同じ端末暗証番号を入力する

5 を押す

PINコードを設定する

・PIN1／PIN2コードは変更できます。
・PIN1／PIN2コードには、4～8桁の数字を入力します。
・入力したPIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

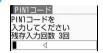
電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定する　PIN1コードON／OFF

ご契約時　OFF

1 待受画面で Menu 8 3 4 3 を押す

あんしん設定

2 [1あ] を押す

- PIN1 コードの入力をなしにするとき：[2か] を押す

3 PIN1 コードを入力する

- ご契約時の PIN1 コードは「0000」に設定されています。

PIN1 コード ON ／ OFF を「ON」に設定すると

FOMA 端末の電源を入れると PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力すると、待受画面が表示されます。
- 正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発着信や各種通信機能の操作ができません。
- PIN1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN1 コードがロックされます。[電源] を押して PIN ロックを解除してください。

おしらせ

- アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定している場合、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、電源が ON になり、PIN1 コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。[PWR] を押してアラームを停止させると、PIN1 コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディまたは i モーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラームが鳴ります。
- PIN1／PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定はFOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中の FOMA カードを差し替えてお使いになる場合は、これまでお使いの PIN1 ／ PIN2コード、PIN1コードON／OFFの設定のままご利用になれます。

PIN1 ／ PIN2 コードを変更する　　PIN1 ／ PIN2 コード変更

- PIN1 コードを変更するときは、PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定する必要があります。

ご契約時　PIN1 コード：0000　PIN2 コード：0000

1 待受画面で [Menu][8や][3さ][4た] を押し、[1あ] または [2か] を押す

2 端末暗証番号を入力し、現在の PIN1 ／ PIN2 コードを入力する

3 新しい PIN1 ／ PIN2 コード欄を選択し、新しい PIN1 ／ PIN2 コードを入力する

4 新しいPIN1／PIN2コード(確認)欄を選択し、操作3と同じPIN1／PIN2コードを入力する

5 ［□］を押す

- 現在の PIN1 ／ PIN2 コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。［□］を押して正しい PIN1 ／ PIN2 コードを入力してください。3 回連続して失敗すると、PIN1 ／ PIN2 コードがロックされます。［□］を押して PIN ロックを解除してください。

おしらせ

● PIN2 コードの入力を 3 回連続失敗して FOMA 端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などは可能ですが、PIN1 コードの入力を 3 回連続失敗して FOMA 端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PIN ロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

- PIN ロック解除コードは、お買い上げ時にお客様にお知らせします。
- PIN ロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA 端末、ご利用中の FOMA カード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 入力した PIN ロック解除コード、PIN1 ／ PIN2 コードは「*」で表示されます。

例 PIN1 コードのロックを解除するとき

1 **PIN コードロックの確認画面で［□］を押す**

2 **8 桁の PIN ロック解除コードを入力する**

3 **新しい PIN1 コード欄を選択し、新しい PIN1 コードを入力する**

4 **新しい PIN1 コード（確認）欄を選択し、操作 3 と同じ PIN1 コードを入力する**

5 ［□］**を押す**

PIN ロックが解除され、新しい PIN1 コードが設定されます。

おしらせ

● PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA 端末がロックされます。

あんしん設定

各種ロック機能について

FOMA 端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P139
遠隔ロック	FOMA 端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックと IC カードロックを設定し、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P139
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P141
PIM ロック	電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。PIM ロック中は電話帳に登録されている相手と電話の発着信を行ったり、メールを受信しても、相手の名前は表示されません。	P142
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにします。	P143
プライバシーモード設定	FOMA 端末が一定時間操作されなかった場合、自動的に電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、i モーション、スケジュール、i アプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P143
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤操作を防ぎます。	P145
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示されます。	P146
IC カードロック	IC カード機能を利用できないようにします。	P312

他の人が使用できないようにする　オールロック

各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防ぎます。

オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。
オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して[文字]を押します。このとき、緊急通報番号は「*」で表示されます。

- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。
- オールロックを設定しても、ICカードロックは設定されません。ICカードロックとオールロックの両方を設定するには、先にICカードロックを設定してから、オールロックを設定してください。
  ICカードロックを設定するには☛P312

お買い上げ時　未設定

1 **待受画面で[Menu][8][3][1][1]を押す**

2 **端末暗証番号を入力する**
「オールロック中」と表示されます。

■ **解除するとき**
① **待受画面で端末暗証番号を入力する**

おしらせ

- 電源を入れる／切るの操作はできます。また、自動電源ON／OFFを設定している場合、自動電源ON／OFFが行われます。
- オールロック中に電話がかかってきたときは、着信が拒否され、相手に話中音が流れますが、着信履歴には記録されます。オールロックを解除すると待受画面には[アイコン 1]（数字は件数）が表示されます。
- オールロック中もｉモードメールやSMS、メッセージR/Fは受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。
- オールロック中は、指定した日時になってもアラームやスケジュールアラームは動作しません。
- オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を5回続けて失敗すると、自動的に電源が切れます。

他の人が使用できないように遠隔からロックする　遠隔ロック

FOMA端末を紛失した場合などに、設定した動作条件でFOMA端末に電話をかけると、オールロックとICカードロックが設定され、他人が不正に使用できなくなります。

お買い上げ時　OFF

遠隔ロックの動作条件を設定する

1 **待受画面で[Menu][8][3][1][3]を押す**

つづく

2 端末暗証番号を入力し、各項目を選択して設定する

遠隔ロック ：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

監視時間(分)：最初に着信してから設定した回数分の着信があるまでの制限時間を設定します(1～10分)。制限時間を超えても設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。また、それまでカウントした着信回数はリセットされます。

着信回数(回)：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します(3～10回)。

発信元1～3：遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話も設定できます。

■ 発信元を設定するとき

① **発信元1～3欄を選択する**

② **発信元選択欄を選択し、[1] または [2] を押す**
・「発信者番号」に設定したときは、入力欄に電話番号を入力します。[電話帳] を押すと電話帳から入力できます。

③ **[メニュー] を押す**

3 [メニュー] を押す

おしらせ

● 発信元1～3に同じ番号を設定しても、遠隔ロックの動作は変わりません。
● 発信元に、ポーズ、タイマーが設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ、タイマー以降は削除されます。

遠隔ロックを設定する

設定した動作条件でFOMA端末に電話をかけて、遠隔ロックをかけます。
・発信者番号を通知して電話をかけてください。
・次の場合は、着信回数のカウントは開始されず、遠隔ロックは設定されません。
　・相手が電話に出た(応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます)
　・FOMA端末が通話中
　・FOMA端末が圏外、電源が入っていない、セルフモード中などで電話がかからない
・指定回数分の電話をかける前に次の状態になると、着信回数はリセットされます。
　・相手が電話に出た(応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます)
　・FOMA端末の電源が切られた
　・設定した監視時間が経過した
・オールロック中、ICカードロック中のFOMA端末でも、設定した動作条件で電話をかけると遠隔ロックを設定できます。
・プロテクトキーロック中に遠隔ロックを設定したときは、オールロックの解除はできますが、緊急通報はできません。

1 遠隔ロックで設定した条件でFOMA端末に音声電話をかける

ロックされた旨のガイダンスが流れ、FOMA端末は遠隔ロック中になります。

■ 解除するとき

遠隔ロック中のFOMA端末で端末暗証番号を入力し、次にICカードロックを解除してください。
・ICカードロックの解除について ☛P312

あんしん設定

おしらせ

- 着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効となります。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントされません。
- 着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼出時間が「0 秒」の場合を除く）。
- 伝言メモまたはオート着信機能が設定されているときは、遠隔ロックで発信元に設定した電話番号から電話がかかってくると、伝言メモの応答時間またはオート着信機能の自動着信機能時間の４秒後に伝言メモまたはオート着信機能が動作します。伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。
- 発信元に設定した電話番号の「186（＊31#)」／「184（#31#)」の設定に合わせて、発信時に「186（＊31#)」／「184（#31#)」を設定する必要はありません。
- 遠隔ロック中は、電話がかかってきても切断されます。発信元に設定している電話番号の場合は、ロック中である旨のガイダンスが流れ、切断されます。

Menu 894

発信や着信ができないようにする　セルフモード

電話の発着信、メールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で［クリア］を 1 秒以上押し、「はい」を選択する

セルフモードが設定され、待受画面に［self］が表示されます。

- メニューから操作した場合は、［1］を押し、「はい」を選択します。

■ **解除するとき**

① **セルフモード中に［クリア］を 1 秒以上押す**

- メニューから操作した場合は、［2］を押します。

おしらせ

- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に送られてきたｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターで、SMSはSMSセンターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ／SMS問合せをしてください。
- セルフモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、セルフモードは解除されます。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする　PIMロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- PIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信や着信は記録され、リダイヤルや着信履歴からの発信は可能です。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で Menu 8 3 1 2 を押す

2 端末暗証番号を入力し、1 を押す

PIM ロックが設定され、待受画面に が表示されます。

- 解除するとき：2 を押す

PIM ロックを設定すると

- 次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。
  - メール／チャットメール／ SMS ／メッセージ R/F※1
  - ｉMenu
  - Bookmark
  - Internet
  - 画面メモ
  - ラスト URL
  - ｉ モード問合せ
  - ｉ アプリ
  - ｉ アプリのバージョンアップ
  - 電話帳
  - 伝言メモ／音声メモ
  - マイピクチャ
  - ｉ モーション
  - メロディ
  - キャラ電
  - カメラ
  - ビデオカメラ
  - サウンドレコーダー
  - バーコードリーダー
  - miniSD カード
  - IC カードソフト一覧
  - スケジュール帳
  - 通話料金上限通知
  - メモ帳
  - イヤホンスイッチ発信設定
  - アラーム
  - ソフトウェア更新
  - 自局番号
  - スキャン機能
  - 赤外線によるデータ送受信
  - メニュー設定（アイコンデザインの「カスタム 1」「カスタム 2」の設定内容の変更）

  ※ 1：受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。
- メニューを表示すると、アイコンが で表示されたり、文字が薄く表示され、選択できません。
- 電話帳に登録されている相手から電話がかかってきても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。

おしらせ

- ● PIMロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIM ロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。
- ● PIMロックを設定すると、留守番電話サービスの伝言メッセージの件数が増加しても、通知音やバイブレータによる通知は行われません。
- ● 外部機器からの AT コマンドによる PIM ロックの設定／解除はできません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

ダイヤル発信を禁止する　ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話をかけること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- 電話帳とリダイヤルからの発信はできます。
- 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

お買い上げ時　OFF

1 待受画面で Menu 8 3 3 を押す

2 端末暗証番号を入力し、1 を押す

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面に が表示されます。

- 解除するとき：2 を押す

ダイヤル発信制限を設定すると

- 次の操作ができなくなります。
  - 着信履歴からの発信
  - 電話帳の修正、登録、削除
  - 自局番号の修正、リセット
  - Phone To（AV Phone To）、Mail To 機能
  - 外部機器との電話帳データの送受信
  - ｉ モードメール／ SMS の送信
（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能）
  - メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
  - ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

おしらせ

● 外部機器からの AT コマンドによるダイヤル発信制限の設定／解除はできません。

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする　プライバシーモード設定

プライバシーモードの動作を設定する

プライバシーモード中に電話帳やメール、マイピクチャなどを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードは手動で起動させたり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

お買い上げ時　電話帳･履歴:表示する　メール:表示する　マイピクチャ:表示する　ｉ モーション:表示する　スケジュール：表示する　ｉ アプリ：表示する　自動起動：OFF

1 待受画面で Menu 8 3 6 を押す

2 端末暗証番号を入力し、各項目を選択して設定する

- プライバシーモード中に、次の機能を利用するときに、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。また、待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

電話帳・履歴：電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するときの設定です。
メール：メールを表示するときの設定です。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するときの設定です。
iモーション：iモーションを利用するときの設定です。
スケジュール：スケジュールを利用するときの設定です。
iアプリ：iアプリを利用するときの設定です。
自動起動：プライバシーモードが自動起動するまでの時間を「操作なし5分後」「操作なし15分後」「操作なし30分後」から選択します。

3 [電話帳キー]を押す

4 [決定キー]を押す

おしらせ

● プライバシーモード中（マイピクチャ、iモーション、iアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、次の操作を行おうとすると、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

- 電話発信設定
- 電話着信設定
- テレビ電話発信設定
- テレビ電話着信設定
- メール送信画像設定
- メール受信画像設定
- 問合せ画像設定
- テレビ電話画像選択
- 電話帳新規登録／編集
- グループ設定の電話発着信設定
- 音の設定
- 待受画面設定のiアプリ設定
- 発番号なし動作設定
- メッセージ着信設定
- メール着信設定
- チャットメール着信設定
- スケジュールアラーム編集
- 自局番号編集

● プライバシーモード中（マイピクチャ・iモーションを「認証後に表示」に設定した場合）でも、待受画面設定、メニュー画面のアイコンや背景に設定した画像やiモーションは通常どおり表示されます。
●「自動起動」以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

1 待受画面で[メールキー]を1秒以上押す

■ 解除するとき

① **待受画面で[メールキー]を1秒以上押し、端末暗証番号を入力する**

- メールを「指定フォルダを非表示」に設定し、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面で[クリア]を1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

おしらせ

● プライバシーモードの制限対象である機能を利用中に、メニュー操作で一度端末暗証番号を入力すると、[電源] などを押して待受画面を表示するまで、その後の端末暗証番号の入力は不要です。プライバシーモード設定の複数の項目を「認証後に表示」に設定して起動中の場合も同様です。ただし、プライバシーモードの制限対象でない、端末暗証番号の入力が必要な機能については、起動する際に端末暗証番号の入力が必要です。
(例)
- 電話帳を利用中に一度端末暗証番号を入力すると、電話帳機能を終了するまで端末暗証番号の入力は不要です。
- マイピクチャと電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定し、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに端末暗証番号を入力するため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても端末暗証番号の入力は不要です。

● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、文字入力中の電話帳引用はできません。
● プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）は、FOMA端末電話帳で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを着信音や画像に設定しているときは、電話帳や電話帳グループ別の設定ではなく、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定に従って動作します。ただし、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
● プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）は、静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。また、FOMA端末電話帳をminiSDメモリーカードにコピーやバックアップしても、FOMA端末電話帳に設定された静止画は、コピーやバックアップされません。
● プライバシーモード中（ｉ モーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。

キーの誤操作を防止する　プロテクトキーロック

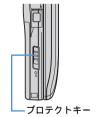
キー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤操作を防ぎます。

お買い上げ時　未設定

1 待受画面でプロテクトキーを下にスライドさせてから離す

プロテクトキーロックが設定され、待受画面に [鍵アイコン] が表示されます。

■ **解除するとき**

① **待受画面でプロテクトキーを下にスライドさせてから離す**

おしらせ

● プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。
- [文字] で音声電話、[V.電話] でテレビ電話を受ける
- エニーキーでアラーム音やメール着信音などを止める
- 遠隔ロック中にオールロックを解除する
- 着信中の電話を [電源] で保留する（応答保留）
- [電源] で実行中の機能を終了する

着信時やアラーム鳴動時、メールやメッセージ R/F 受信時などでも、プロテクトキーを下にスライドさせてから離すと解除できます。
● プロテクトキーロック中に、自動電源OFFによって電源が切れた場合は、プロテクトキーロックは解除されます。
● プロテクトキーロック中でも、[電源] を押すとディスプレイが点灯します。

シークレット属性が設定されている情報を表示する　シークレットモード

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定／解除する場合、シークレットモードを設定する必要があります。

お買い上げ時　未設定

1 **待受画面で Menu 8 3 2 を押す**

2 **端末暗証番号を入力する**

シークレットモードが設定され、が表示されます。

■ **解除するとき**

① **待受画面で PWR を押す**

おしらせ

● 電話帳データにシークレット属性を設定する ☛P106
● スケジュールデータにシークレット属性を設定する ☛P395

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する　メモリ別着信拒否／許可

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否／許可を設定します。

・本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否／許可を設定してから、着信拒否／許可を有効にしてください。設定項目と着信の拒否／許可の動作は次のとおりです。

メモリ別着信拒否／許可	電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
	着信許可	着信拒否	設定なし
許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※
拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
設定解除	着信する	着信する	着信する

※：設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手側には話中音が流れます。

・本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
・着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
・番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
・FOMA カード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 **電話帳を検索し、設定する相手にカーソルを合わせて Menu 9 1 3 を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、電話番号を選択する**

3 [1] または [2] を押す

・着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
・解除するとき：[3] を押す

おしらせ

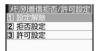
● FOMA端末電話帳の詳細画面では[Menu]を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
● 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更／登録後の電話番号に着信拒否／許可を設定してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

・本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
・拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

お買い上げ時 設定解除

1 待受画面で [Menu][8][6][5] を押す

2 端末暗証番号を入力し、[2] または [3] を押す

・解除するとき：[1] を押す

おしらせ

● 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
● ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。
● 本機能の設定に関わらず、着信拒否／許可を設定した電話番号に電話をかけられます。また、電話帳データも修正できます。

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する 発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

・電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定・音の設定より本機能の設定が優先されます。

お買い上げ時 すべて設定解除

1 待受画面で [Menu][8][6][3] を押す

2 端末暗証番号を入力する

3 [1] ～ [3] を押す

・通知されない理由ごとに操作 3 ～ 5 を繰り返します。
・非通知理由については☛P56

あんしん設定

つづく

4 各項目を選択して設定する

着信動作　：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、音の設定の電話に設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、着信を拒否します。
- 「着信音 OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「設定解除」「着信拒否」に設定すると、イメージ表示は設定できません。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- 「モーション」を選択したときは、「画像選択」を選択して動画／ｉモーションを選択します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

5 [□] を押す

あんしん設定

おしらせ

- ●「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に記録されます。
- ●電話番号が通知されないテレビ電話がかかってきた場合は、該当する発信者番号非通知理由の着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、音の設定／テレビ電話着信設定に従って動作します。
- ●ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。
- ●着信動作を「着モーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になり、着モーションが再生されます。
- ●着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。
- ●着信動作を「着モーション」に設定した後、「着信音 OFF」に設定し直した場合、「着モーション」に設定した動画／ｉモーションは再生されますが、着信音量は消音になります。
- ●メモリ登録外着信拒否を設定している場合に発信者番号が通知されない電話がかかってきたときは、本機能よりもメモリ登録外着信拒否の設定が優先されます。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする　呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時　OFF

1 待受画面で Menu 8 1 8 を押す

2 各項目を選択して設定する

着信呼出動作　：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します（1 ～ 99 秒）。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 📖 を押す

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

・設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答できます。その場合、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定していても、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。
・PIM ロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
・次の場合も、本機能が動作します。
　・電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知せずに電話をかけてきたとき
　・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

● 本機能の設定に関わらず、次の機能が設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
　・ドライブモード　・伝言メモ　・オート着信機能
　・留守番電話サービス　・転送でんわサービス
● メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりそれらの動作が優先されます。
● ｉ モードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。
● 呼出開始時間をオート着信機能設定、留守番でんわサービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する　メモリ登録外着信拒否

・番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
・呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時　OFF

1 待受画面で Menu 8 6 6 を押す

2 端末暗証番号を入力し、1 を押す

・解除するとき：2 を押す

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
- 着信を拒否しても、着信履歴には記録されます。
- 次の場合も、着信を拒否します。
  - 電話帳に登録されている相手でも発信者番号を通知せずに電話をかけてきたとき
  - シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき
- 発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
- ｉ モードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

次のようなあんしん設定があります。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信	P261
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
ｉ モードどうしのメールだけを受信／拒否します。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承認広告※メール拒否	
1 日に 1 台の ｉ モード携帯電話から送信される 200 通目以降の ｉ モードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時に ｉ モードを利用して、安否情報を登録／確認します。	ｉ モード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべての SMS または非通知 SMS の受信を拒否します。	SMS 一括拒否／非通知 SMS 拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P421
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass 対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P183、P209
IC カード機能を利用できないようにします。	IC カードロック	P312
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P503
障害を引き起こす可能性のあるデータを削除したり、アプリケーションの起動を中止したりして、FOMA 端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P507

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA 端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は、FOMA 端末で表示／再生するだけでなく、miniSD メモリーカードに保存したり、ｉ モードメールに添付して送信できます。

・miniSD メモリーカードをご利用になるには､別途 miniSD メモリーカードが必要となります｡miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

カメラの使いかた

カメラのご使用について

・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります｡また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
・レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
・直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
・レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、縞模様を減らすことが可能です。
・カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
・カメラ起動時やオートフォーカス起動時、カメラ切り替え時などにモーター音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
・FOMA 端末のインカメラは CMOS カメラです。薄暗い場所での撮影時などは、CCD カメラであるアウトカメラの映像と比較すると少し粗く見えることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

撮影時の留意事項

・レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
・撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P167
また、暗い場所ではコンパクトライトを補助光として利用してください。☛P157、P162
・[シャッター] または [カメラ] を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、[シャッター] または [カメラ] を押してから少しの間、FOMA 端末を動かさないようにしてください。なお、速く動いている被写体を撮影すると、[シャッター] または [カメラ] を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
・動きの激しいものを動画撮影すると、画像が乱れることがあります。
・インカメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像となります。静止画の場合、静止画設定で自動保存を「しない」に設定すると、鏡像でも保存できます。
・ｉ アプリからカメラ撮影を実行した場合､撮影した静止画や動画はマイピクチャや ｉ モーションのフォルダには保存されず、ｉアプリ内（ｉアプリによっては「ｉモード」フォルダや「デコメールピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、撮影した静止画や動画は、サーバへ自動的に送られる場合があります。
・保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、カメラ使用中に miniSD メモリーカードを抜かないでください。FOMA 端末の故障の原因になります。
・miniSD メモリーカードの空き容量が少なくなると撮影できないことがあります。miniSD メモリーカードに保存する場合は、十分な空き容量があることを確認してから撮影してください。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

・撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
・カメラは電池を非常に消費するため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せずに長時間放置しないようにしてください。
・設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

レンズカバーについて

アウトカメラで撮影するときはレンズカバーを開けます。
・待受画面でレンズカバーを開けるとカバーオープン音が鳴り、カメラが起動します。
・アウトカメラで撮影しているとき、撮影待機中にレンズカバーを閉じるとカバークローズ音が鳴り、カメラ／ビデオカメラが終了します。録画中や撮影した静止画／動画の確認中、設定中などに閉じたときは終了しません。
・マナーモード中はカバーオープン音／カバークローズ音は鳴りません。

この部分を押さえながら矢印の方向にスライドさせます。

著作権・肖像権について

FOMA 端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

きれいに撮影するために

撮影時は、図のように FOMA 端末を両手でしっかりと持ち、ぶれないようにしてください。
● レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
● セルフタイマー機能を利用すると、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。

撮影画面とファイルについて

撮影画面の見かた

- ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、カメラの切り替え、コンパクトライト起動、セルフタイマー起動、ズーム以外は操作できません。
- 動画撮影時、画像サイズをQVGA（320 × 240）に設定し横撮影に切り替えている場合は、下記のマークの代わりに ■STANDBY（撮影待機中）、● REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）が表示されます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

①ズーム　：画像の表示倍率を示します。☛P166
②明るさ　：画像の明るさを示します。☛P170
③色の濃さ　：画像の色の濃さを示します。☛P171
④撮影効果　：画像にかける撮影効果を示します。☛P169
⑤ホワイトバランス：ホワイトバランスの設定状態を示します。☛P170
⑥フレーム　：フレームの設定状態を示します。☛P168
⑦連続撮影　：連続撮影の設定状態を示します。☛P160
⑧画質／品質　：静止画の画質、動画の品質を示します。☛P169
⑨サイズ制限　：保存するファイルサイズの制限値を示します。☛P169
⑩画像サイズ　：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。☛P168
⑪撮影モード　：撮影モードを示します。
　：静止画☛P157　：動画☛P162　：音声☛P367
⑫保存先　：保存先を示します。☛P165
　：FOMA端末　：miniSDメモリーカード
⑬撮影種別　：撮影する動画の種類を示します。☛P165
⑭セルフタイマー　：セルフタイマー設定時にが表示されます。☛P166
オートフォーカス：オートフォーカスの起動状態を示します（静止画撮影時のみ）。☛P159
⑮接写モード　：接写モード時にが表示されます。☛P167
⑯コンパクトライト：コンパクトライト点灯時にが表示されます。☛P157、P162
⑰インジケータ　：**撮影待機中**
通常の撮影時は保存先の保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、撮影画像が保存されていなくても0にならないことがあります。

動画撮影中／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する撮影したサイズの割合を示します。

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

⑱カウンタ　：**撮影待機中**

通常の撮影時は現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる静止画の最大枚数（目安）または動画の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。静止画の手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数（最大で6）を示します。

動画撮影中／一時停止中

経過時間／残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を示します。

静止画像ファイル／動画ファイルについて

項　目	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG	MP4（MobileMP4）
符号化方式	―	映像：MPEG-4　音声：AMR
拡張子	jpg	3gp
タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 （例）2005年8月26日12時34分56秒の場合→20050826123456.jpg／.3gp ・撮影後、表示名やファイル名を変更できます。☛P357 ・FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、表示名・タイトル（動画のみ）・ファイル名は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に取り込めます。	

静止画の保存枚数について

FOMA 端末および miniSD メモリーカードに保存できる静止画の枚数は、画質、サイズ制限、画像サイズの設定や撮影状況によって変わります。

・画質、画像サイズ、サイズ制限は静止画設定で設定します。

■ FOMA 端末に保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画質＼画像サイズ	96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1728×2304
エコノミー	約827	約827	約827	約549	約424	約202	約202	約78	約57	約25
スタンダード	約827	約827	約718	約405	約321	約145	約141	約48	約35	約16
ファイン	約827	約718	約491	約245	約202	約85	約84	約27	約19	約11

■ miniSD メモリーカードに保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

容量・画質＼画像サイズ		96×72	128×96	176×144	240×320	352×288	640×480	480×640	960×1280	1200×1600	1728×2304
16MB	エコノミー	約2057	約1600	約1309	約847	約654	約313	約313	約121	約89	約39
	スタンダード	約1800	約1440	約1107	約626	約496	約225	約218	約74	約54	約26
	ファイン	約1600	約1107	約757	約378	約313	約132	約130	約41	約30	約17
32MB	エコノミー	約4246	約3303	約2702	約1748	約1351	約646	約646	約249	約184	約80
	スタンダード	約3716	約2972	約2286	約1292	約1025	約464	約450	約154	約112	約53
	ファイン	約3303	約2286	約1564	約782	約646	約272	約270	約86	約62	約35

動画の撮影時間について

動画の撮影時間は、品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。
・品質、撮影種別、画像サイズ、サイズ制限は動画／録音設定で設定します。

■ FOMA 端末に保存できる動画の撮影時間（目安）

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1回あたりの撮影時間（単位：秒）				FOMA 端末の最大撮影時間（単位：分）			
			品　質				品　質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290Kバイト）	128×96	画像+音声	約112	約70	約51	約21	約63	約39	約29	約11
		画像のみ	約190	約96	約71	約24	約108	約54	約40	約13
	176×144	画像+音声	約87	約44	約30	約11	約49	約25	約17	約6
		画像のみ	約128	約52	約36	約12	約72	約29	約20	約6
	320×240	画像+音声	約32	約17	約13	約6	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約36	約18	約14	約6	約20	約10	約7	約3
大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像+音声	約189	約119	約86	約36	約63	約40	約28	約12
		画像のみ	約321	約161	約120	約41	約108	約54	約40	約13
	176×144	画像+音声	約148	約74	約51	約19	約49	約24	約17	約6
		画像のみ	約217	約89	約61	約21	約73	約29	約20	約7
	320×240	画像+音声	約54	約29	約23	約10	約18	約9	約7	約3
		画像のみ	約61	約30	約24	約10	約20	約10	約8	約3

■ miniSD メモリーカードに保存できる動画の撮影時間（目安）

単位：分

ファイルサイズ制限	画像サイズ	撮影種別	容量：16MB				容量：32MB			
			品質				品質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付（290Kバイト）	128×96	画像+音声	約91	約57	約41	約17	約189	約118	約86	約35
		画像のみ	約155	約78	約58	約19	約321	約162	約120	約40
	176×144	画像+音声	約71	約36	約24	約9	約147	約74	約50	約18
		画像のみ	約104	約42	約29	約9	約216	約87	約60	約20
	320×240	画像+音声	約26	約13	約10	約4	約54	約28	約21	約10
		画像のみ	約29	約14	約11	約4	約60	約30	約23	約10
大容量メール添付（490Kバイト）	128×96	画像+音声	約91	約57	約41	約17	約189	約119	約86	約36
		画像のみ	約155	約78	約58	約19	約321	約161	約120	約41
	176×144	画像+音声	約71	約35	約24	約9	約148	約74	約51	約19
		画像のみ	約105	約43	約29	約10	約217	約89	約61	約21
	320×240	画像+音声	約26	約14	約11	約4	約54	約29	約23	約10
		画像のみ	約29	約14	約11	約4	約61	約30	約24	約10
制限なし	128×96	画像+音声	約91	約57	約41	約17	約189	約119	約86	約36
		画像のみ	約155	約78	約58	約19	約321	約161	約120	約41
	176×144	画像+音声	約71	約35	約24	約9	約148	約74	約51	約19
		画像のみ	約105	約43	約29	約10	約217	約89	約61	約21
	320×240	画像+音声	約26	約14	約11	約4	約54	約29	約23	約10
		画像のみ	約29	約14	約11	約4	約61	約30	約24	約10

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

カメラで静止画を撮影する

・着信音量を消音に設定している場合やマナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。

静止画を撮影する

1 待受画面でレンズカバーを開く

着信ランプが青で点灯し、カメラが起動して静止画撮影モードになります。

・ を1秒以上押してもカメラを起動できます。
・撮影待機中は次の操作ができます。

：コンパクトライトの点灯（）／消灯（表示なし）切り替え※
：全画面モード／標準画面モード切り替え
・全画面モードにすると、画面下部のマークやガイド行が消え、撮影画像を確認しやすくなります。
：インカメラ／アウトカメラ切り替え
1秒以上：静止画撮影モード／動画撮影モード切り替え
※：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

2 被写体にカメラを向けて または を押す

静止画撮影画面

シャッター音が鳴り、コンパクトライトと着信ランプが赤で点灯し、静止画が撮影されます。撮影した静止画の確認画面が表示されます。

・静止画設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作3以降の操作は不要です。
・ を使用してオートフォーカスで撮影できます。☛P159

3 撮影した静止画を確認する

・静止画をすぐに保存するときは操作4に進みます。
・保存しないで取り直すときは を押します。
・画像サイズが待受用（240 × 320）より小さい場合は、 を押すと撮影した静止画を拡大表示できます。 を押すと元に戻ります。

■ 撮影した静止画をメールに添付して送信するとき

① を押す

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P230

・保存先をminiSDメモリーカードに設定していても、FOMA端末に保存されます。
・画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると9000バイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
・撮影・保存した静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。

カメラ

■ **待受画面に設定するとき**

① **Menu 2 1 を押し、「はい」を選択する**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した静止画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ **電話帳の画像に登録するとき（画像サイズが電話帳用（96 × 72）の場合のみ）**

① **Menu 2 を押し、2 または 3 を押して「はい」を選択する**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する電話帳データを選択します。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、電話帳の画像に登録できません。

■ **タイトルを変更するとき**

① **Menu 3 1 を押し、タイトルを入力して 📖 を押す（全角・半角を問わず 31 文字（連続撮影した画像は 30 文字）まで）**

■ **明るさや色のバランスを補正するとき**

① **📖 を押す**

画像補正モードになります。以降の操作 ☛P323

- 画像サイズが CIF（352 × 288）以下の場合のみ補正できます。

■ **鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時のみ）**

① **Menu 4 1 を押す**

- 撮影した画像にフレームが設定されている場合や、画像サイズが横長 VGA（640 × 480）で撮影日時が「日付」または「日付 + 時刻」に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ **正像表示／鏡像表示を切り替えるとき（インカメラ撮影時のみ）**

① **Menu 4 2 を押す**

■ **保存先を FOMA 端末／ miniSD メモリーカードに切り替えるとき**

① **Menu 6 を押す**

■ **保存されている画像を一覧表示するとき**

① **Menu 7 を押し、1 または 2 を押す**

4 **📷 または 📷 を押す**

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

■ **保存した静止画をすぐに確認するとき**

① **📖 を押し、確認する静止画を選択する**

- 確認後 クリア を 2 回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは 📖 を押してフォルダを選択し、静止画を選択します。クリア を 3 回押すと静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉ アプリからカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。
- 撮影した静止画のファイルサイズがサイズ制限の設定値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか画像サイズを小さくして保存します。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

● 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは撮影できません。確認画面の指示に従って不要な画像を削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してください。
● 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。
● 静止画の撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話がかかってきた場合、撮影を中断します。シャッター音が鳴り既に静止画を撮影している場合、自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話終了後に確認画面が表示されます。
● 静止画の保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
● 静止画の撮影中にメールを受信しても、撮影は中断されず、そのまま撮影を継続できます。
● 電話帳またはメールからカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  ・メールの作成　・待受画面の設定　・電話帳の画像登録
  ・補正　・保存先の切り替え　・画像の一覧表示
● 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
  ・ズーム　・撮影効果　・フレーム　・連続撮影　・画質　・サイズ制限　・画像サイズ
● miniSDメモリーカードが取り付けられていないときやminiSDメモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。
● 画像サイズを4M（1728×2304）に設定して撮影したとき、撮影した静止画のファイルサイズが500Kバイトを超えることがあります。この場合、静止画を赤外線通信で送信できません。また、静止画のminiSDメモリーカードへの保存またはコピー／移動はできますが、miniSDメモリーカードからFOMA端末へはコピー／移動できません。

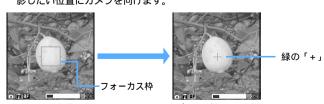
オートフォーカスで撮影する

[カメラキー]を半押ししてピントを合わせ、その状態のまま全押しすると、より鮮明な静止画を撮影できます。
・[カメラキー]には半押しと全押しがあるため、他のキーと比べ押したときの感触が異なります。
・ピントを合わせられる距離は、通常モードで約30cm以上、接写モードで約7～30cmです。
・以下の場合はオートフォーカス操作はできません。
  ・インカメラ撮影時　・セルフタイマー使用中　・撮影効果を「夜景」に設定しているとき

1 待受画面でレンズカバーを開く

カメラが起動して静止画撮影モードになります。
・[カメラキー]を1秒以上押してもカメラを起動できます。

2 被写体にカメラを向けて[カメラキー]を半押しする

オレンジのフォーカス枠とAF（黒）が表示されます。ピントが合うと確認音が鳴り、フォーカス枠が緑の「＋」に、AFがAF（緑）に変わります。
・ピントが合わないときは、フォーカス枠が赤の「＋」に変わり、AF（赤）が表示される場合があります。
・緑の「＋」が表示されないうちに[カメラキー]を全押しすると、ピントが合わない静止画が撮影されますのでご注意ください。
・ピントを画面の中央以外に合わせたいときは、一度ピントを合わせた後、[カメラキー]を半押ししたまま撮影したい位置にカメラを向けます。

[カメラキー]を半押し　ピントがあった状態

3 をさらに、シャッター音が鳴るまで押し込む（全押し）

コンプパクトライトと着信ランプが赤で点灯し、静止画が撮影されます。

- ピントを合わせた後、から指を離してを押しても撮影できます。
  - から指を離して「+」が消えても、ピントは合ったままです（フォーカスロック）。
  - 別の被写体にピントを合わせるには、被写体にカメラを向け、を半押しします。
- 自動保存を「しない」に設定している場合、確認画面で操作できる機能や、撮影した静止画の保存先、保存するときの操作は通常の撮影時と同じです。

おしらせ

- ピントを合わせることができない距離に被写体がある場合は、設定している撮影モードに応じた最良のピントで撮影されます。
- 自動連写時にオートフォーカスで撮影したときは、1 枚目と同じピントで残りの静止画が撮影されます。手動連写時は、撮影するたびにオートフォーカスでピントを合わせることができます。
- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
  - 色の濃淡がない被写体を撮影する場合
  - 動いている被写体を撮影する場合
  - 暗い場所で撮影する場合
  - FOMA 端末を動かしながら撮影する場合
  - 撮影範囲内にライトなどがある場合
- オートフォーカス機能の使用中は、、以外のキー操作が無効になり、撮影機能の設定を変更できません。

カメラ

連続撮影する

設定した枚数分を自動で連写する自動連写と、設定した枚数分を 1 枚ずつ手動で連写する手動連写があります。

- 連続撮影できる枚数は最大 6 枚です。静止画設定で枚数を設定できます。
- 画像サイズが電話帳用（96 × 72）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、4M（1728 × 2304）のときは連続撮影できません。また、電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは連続撮影できません。ただし、ｉアプリの種類によっては連続撮影できる場合もあります。

1 待受画面でレンズカバーを開く

カメラが起動して静止画撮影モードになります。

- を 1 秒以上押してもカメラを起動できます。

2 連続撮影の種類を選択する

連続撮影のマーク

■ **自動連写に設定するとき**

① Menu 5 1 **を押す**

連続撮影のマークがから に変わります。

■ **手動連写に設定するとき**

① Menu 5 2 **を押す**

連続撮影のマークがからに変わります。

- 解除するとき：Menu 5 3 を押す
- 7 を押し、でマークを切り替えてを押しても設定できます。

3 被写体にカメラを向けて または を押す

自動連写のときは、自動連写用のシャッター音が鳴り、撮影枚数分の静止画が約 0.4 秒間隔で連続で撮影されます。手動連写のときは、シャッター音が鳴り、最初の 1 枚が撮影されます。以降、1 枚ごとにまたはを押して撮影します。撮影枚数分の撮影が終了すると、撮影した静止画の確認画面が表示されます。

- 静止画設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影枚数分の撮影が終了すると、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作 4 以降の操作は不要です。
- 手動連写を途中で中断するには を押します。自動保存を「する」に設定している場合、それまでに撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定している場合、確認画面が表示されます。
- 撮影時は、コンパクトライトが赤で点灯します。また、着信ランプが、インカメラ自動連写時は赤、アウトカメラ撮影時・インカメラ手動連写時は色を変えながら点灯します。

4 連続撮影した静止画を確認する

- を押すたびに一枚表示とサムネイル表示が切り替わります（2 枚以上撮影したとき）。
- 一枚表示時に を押すと前の画像に、 を押すと次の画像に切り替わります。
- 確認画面で操作できる機能は通常の撮影時と同じです。
- 保存しないで撮り直すときは クリア を押します。

5 または を押す

連続撮影した静止画がまとめて 1 件の画像として保存されます。

- 静止画の保存先や、保存時の動作は通常の撮影時と同じです。

■ 表示されている静止画 1 枚だけを保存するとき（アウトカメラ撮影時）

① を 1 秒以上押して「はい」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が保存されます。

■ 表示されている静止画 1 枚だけを正像／鏡像を切り替えて保存するとき（インカメラ撮影時）

① を 1 秒以上押して、「正像保存」または「鏡像保存」を選択する

- サムネイル表示のときはカーソル位置の画像が保存されます。

■ 連続撮影した静止画をすべて鏡像で保存するとき（インカメラ撮影時）

① Menu 4 1 を押す

■ 連続撮影した静止画の中から保存する画像を選択するとき（サムネイル表示時）

① Menu 5 2 を押し、静止画を選択する

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。 を押すとサムネイル表示に戻ります。

② を押して「はい」を選択する

選択した静止画だけが保存されます。

- インカメラ撮影時は正像保存するか鏡像保存するかの確認画面が表示されます。「正像保存」または「鏡像保存」を選択します。

おしらせ

- ● 連続撮影した静止画は、パラパラマンガの解除機能で 1 枚ずつの画像にできます。このとき、画像のファイル名の末尾に「-1」～「-6」の番号が付きます。
- ● 手動連写中に電話がかかってきたり、アラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、その時点で撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。
- ● 自動連写中に電話がかかってきたり、アラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、撮影が続行されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。着信音およびアラーム音はシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。

ビデオカメラで動画を撮影する

動画撮影

音声付きの動画を撮影します。

- 通話中や音声録音中は動画を撮影できません。他の機能をすべて終了させてから撮影してください。
- 着信音量を消音に設定している場合やマナーモード中でも、撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 待受画面で を 1 秒以上押す

着信ランプが青で点灯し、ビデオカメラが起動して動画撮影モードになります。

- 撮影待機中は次の操作ができます。

：コンパクトライトの点灯（）／消灯（表示なし）切り替え※

：縦撮影／横撮影切り替え（画像サイズが QVGA（320 × 240）のときのみ）※

：インカメラ／アウトカメラ切り替え

1 秒以上：動画撮影モード／静止画撮影モード切り替え

※：アウトカメラ撮影時のみ操作できます。

2 レンズカバーを開け、被写体にカメラを向けて または を押す

動画撮影画面

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、コンパクトライトが赤、着信ランプが色を変えながら 2 秒間隔で点滅し、撮影が開始されます。が に切り替わります。

- 撮影を一時停止するときは を押します。コンパクトライトが赤、着信ランプが緑で点灯し、 が に切り替わります。 を押すと、撮影を再開します。

3 または を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、動画の撮影が終了します。撮影した動画の確認画面が表示されます。

- 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した動画が保存され、撮影画面に戻ります。操作 4 以降の操作は不要です。
- 撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。
- 一時停止中に を押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。

4 撮影した動画を確認する

- 動画をすぐに保存するときは操作 5 に進みます。
- 保存しないで撮り直すときは を押します。
- 動画を再生するには を押します。動画／録音設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ 撮影した動画をメールに添付して送信するとき

① を押す

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、FOMA 端末に保存されます。
- 撮影した動画のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は、添付できません。
- 画像のサイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、添付できません。
- 動画の品質を「HQ ＋（最高品質）」に設定している場合は、添付できません。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ 待受画面に設定するとき

① [Menu][2][1] を押し、「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、待受画面に設定できません。

■ 電話帳の画像に登録するとき

① [Menu][2] を押し、[2] または [3] を押して「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する電話帳データを選択します。
- 画像のサイズが Sub-QCIF（128 × 96）または QCIF（176 × 144）で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ登録できます。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、登録できません。

■ タイトルを変更するとき

① [Menu][3][1] を押し、タイトルを入力して [□] を押す（全角・半角を問わず 31 文字まで）

- 変更したタイトルは動画保存後に有効になります。

■ テロップを挿入するとき

① [Menu][3][2] を押し、「はい」を選択する

撮影した動画が FOMA 端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作 3 以降と同じです。☛P331

- 画像のサイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、挿入できません。
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、挿入できません。

■ 保存先を FOMA 端末／ miniSD メモリーカードに切り替えるとき

① [Menu][5] を押す

- 撮影した動画のファイルサイズが 490K バイトを超える場合は、切り替えられません。

■ 保存されている動画を一覧表示するとき

① [Menu][6] を押し、[1] または [2] を押す

5 [●] または [📷] を押す

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

① [□] を押し、確認する動画を選択する

- 確認後 [クリア] を 2 回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは [□] を押してフォルダを選択し、動画を選択します。[クリア] を 3 回押すと動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからビデオカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影／録音中にインジケータやカウンタ表示の更新が遅くなることがあります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- サイズ制限を「制限なし」に設定している場合、撮影／録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されない場合があります。
- 動画／音声の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、撮影／録音できません。確認画面の指示に従って不要な動画や音声を削除するか、サイズ制限の設定を変更してください。

● 連続 10 時間以上撮影した動画／音声を miniSD メモリーカードに保存した場合、動画／音声を正しく表示・再生できないことがあります。
● 撮影／録音中に電話がかかってきたりアラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、その時点で撮影／録音が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。
● 保存中に電話がかかってきた場合、着信画像が表示されますが、保存は継続されます。
● 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存され、[キー] を押すと撮影／録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定しているときは、[キー] を押すと確認画面が表示されます。撮影／録音画面に戻っても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影はできません。
● 撮影／録音中にアラームや電池アラームが鳴り撮影や録音が中止された場合、保存した動画／音声の最後にアラームや電池アラームが録音されることがあります。
● 電話帳またはメールからビデオカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
・メールの作成　・待受画面の設定　・電話帳の画像登録
・テロップの作成　・保存先の切り替え　・動画の一覧表示
● 以下の項目は、アウトカメラとインカメラで別々に設定します。カメラを切り替えたときに設定は引き継がれません。
・ズーム　・撮影効果　・フレーム　・品質　・サイズ制限　・撮影サイズ　・撮影種別
● miniSD メモリーカードが取り付けられていないときや miniSD メモリーカードが起動中のときは、確認画面で利用できない機能があります。

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する　静止画設定・動画／録音設定

・電話帳、メール、ｉ アプリからカメラ、ビデオカメラを起動したときは設定できません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

お買い上げ時
●静止画設定
画像サイズ：待受用（240 × 320）　画質：スタンダード　撮影日時：なし　サイズ制限：制限なし
セルフタイマー間隔：10 秒　連続撮影枚数：6 枚　自動保存：しない　保存先：本体
自動終了時間：1 分後　シャッター音：シャッター音 1　カバーオープン音：カバーオープン音 1
カバークローズ音：カバークローズ音 1　照明設定：常灯
●動画／録音設定
品質：STD（標準）　撮影種別：画像＋音声　サイズ制限：メール添付　撮影サイズ：QCIF（176 × 144）
セルフタイマー間隔：10 秒　自動再生：しない　自動保存：しない　保存先：本体
自動終了時間：1 分後　シャッター音：シャッター音 1　照明設定：常灯

例 静止画設定を変更するとき

1 待受画面でレンズカバーを開き、[Menu][8] を押す

■ **動画／録音設定を変更するとき**
① **待受画面で [カメラ] を 1 秒以上押し、[Menu][7] を押す**

2 各項目を選択して設定する

3 [キー] を押す

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	設定 静止画	設定 動画／録音	説　明
画像サイズ※	○	×	撮影する静止画の画像サイズを設定します。☛P168 • インカメラ撮影時は縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、4M（1728 × 2304）に設定できません。
画質※	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。☛P169
撮影日時	○	×	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
品質※	×	○	保存する動画／音声ファイルの品質を設定します。☛P169
撮影種別※	×	○	撮影／録音する動画／音声の種類を設定します。 ：画像＋音声　：画像のみ　：音声のみ（サウンドレコーダー）
サイズ制限※	○	○	保存するファイルサイズの制限値を設定します。☛P169
撮影サイズ※	×	○	撮影する動画の画像サイズを設定します。☛P168
セルフタイマー間隔	○	○	セルフタイマー使用時にシャッターが切れるまでの時間を設定します（2～15秒）。
連続撮影枚数	○	×	連続撮影する枚数を設定します（2 ～ 6 枚）。
自動再生	×	○	確認画面を表示したときに動画／音声を自動的に再生するかどうかを設定します。
自動保存	○	○	「する」に設定すると、撮影した静止画や動画／音声が、設定されている保存先に自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影／録音後に確認画面が表示されます。
保存先	○	○	保存先を設定します。
自動終了時間	○	○	何も操作していないときにカメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音	○	○	撮影確認音（シャッター音）をシャッター音 1 ～ 5 から選択します。 • を押すとカーソル位置の音が鳴ります。
カバーオープン音	○	×	レンズカバーを開けてカメラを起動したときに鳴る音を、カバーオープン音 1 ～ 3 または「OFF」から選択します。 • を押すとカーソル位置の音が鳴ります。ただし「OFF」では鳴りません。
カバークローズ音	○	×	レンズカバーを閉じてカメラ／ビデオカメラを終了したときに鳴る音を、カバークローズ音 1 ～ 3 または「OFF」から選択します。（設定は静止画設定で行いますが、ビデオカメラ終了時の音も変わります。） • を押すとカーソル位置の音が鳴ります。ただし「OFF」では鳴りません。
照明設定	○	○	「常灯」に設定すると、撮影画面／録音画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P124）に従います。

※：アウトカメラとインカメラで別々に設定される項目です。アウトカメラ使用中に設定するとアウトカメラの設定、インカメラ使用中に設定するとインカメラの設定が変更されます。

おしらせ

● 静止画設定で画像サイズを電話帳用（96 × 72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
● 静止画設定の画像サイズの CIF（352 × 288）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、4M（1728 × 2304）とサイズ制限の「9000 バイト」は同時に設定できません。また、画像サイズの UXGA（1200 × 1600）、4M（1728 × 2304）とサイズ制限の「500K バイト」は同時に設定できません。
● 動画／録音設定の品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と撮影種別の「音声のみ」は同時に設定できません。また、保存先を「本体」に設定している場合、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
● 各種設定リセットを行っても、静止画設定、動画／録音設定はお買い上げ時の状態に戻りません。

いろいろな方法で撮影する

ズームする

各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

カメラの種類	画像サイズ	ズーム段階		最大表示倍率
		静止画撮影時	動画撮影時	
アウトカメラ	電話帳用（96 × 72）	65 段階	－	28 倍
	Sub-QCIF（128 × 96）	65 段階	9 段階	28 倍※
	QCIF（176 × 144）	65 段階	8 段階	16 倍
	待受用（240 × 320）	65 段階	－	8 倍
	QVGA（320 × 240）縦撮影	－	3 段階	4 倍
	QVGA（320 × 240）横撮影	－	5 段階	8 倍
	CIF（352 × 288）	65 段階	－	6 倍
	横長 VGA（640 × 480）	65 段階	－	3 倍
	縦長 VGA（480 × 640）	65 段階	－	4 倍
	SXGA（960 × 1280）	65 段階	－	3 倍
	UXGA（1200 × 1600）	6 段階	－	2 倍
	4M（1728 × 2304）	－	－	ズーム不可
インカメラ	電話帳用（96 × 72）	2 段階	－	2 倍
	Sub-QCIF（128 × 96）	2 段階	2 段階	
	QCIF（176 × 144）	2 段階	2 段階	
	待受用（240 × 320）	2 段階	－	
	QVGA（320 × 240）縦撮影	－	2 段階	
	CIF（352 × 288）	2 段階	－	
	横長 VGA（640 × 480）	2 段階	－	

※：動画撮影時は 20 倍

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [↕] を押す

ズームのマーク
スライダ

押すたびにスライダの目盛が移動します。
- [1] を押し、[↕] で目盛を移動してから [●] を押しても変更できます。
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

■ **静止画撮影のとき**

アウトカメラ [T/W] ↔ [T/W] ↔ [T/W] ↔ [T/W] ↔ [T/W]
標準 … 最大

インカメラ [x1]：標準 [x2]：2 倍

■ **動画撮影のとき**

[x1]：標準 [x2]：2 倍 [x4]：4 倍 [x6]：6 倍 [x8]：8 倍
[x10]：10 倍 [x12]：12 倍 [x16]：16 倍 [x20]：20 倍

セルフタイマーを使う

設定した時間が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりすることができます。
- シャッターが切れるまでの時間は静止画設定または動画／録音設定で設定できます。

1 静止画撮影画面で Menu 4 ／動画撮影画面で Menu 3 を押す

セルフタイマーが設定され、◎が表示されます。

- 解除するとき：もう一度 Menu 4 ／ Menu 3 を押す

2 被写体にカメラを向けて [ボタン] または [カメラ] を押す

セルフタイマーのマーク

カウントダウン音が鳴り、コンパクトライトが赤、着信ランプが緑で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくにつれ点滅間隔が短くなり、設定した時間が経過するとシャッター音が鳴り、撮影されます。

- セルフタイマーを途中で中止するときは [クリア] を押します。
- セルフタイマーのカウントダウン中にアラームやスケジュールアラームの設定時刻になったり、[ボタン] を押すと、撮影は中止されます。

近くのものを撮影する　接写モード

オートフォーカスで約 7 ～ 30cm のごく近い距離を撮影するときは、接写モードで撮影すると被写体にピントを合わせることができます。オートフォーカスを利用しない場合は、約 7 ～ 11cm でピントが合います。インカメラ撮影時は利用できません。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で # を押す

接写モードのマーク

接写モードに切り替わり、[接写] が表示されます。

- 解除するとき：もう一度 # を押す
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

カメラ

撮影時の設定を変更する

フレーム、画像サイズ、画質／品質、サイズ制限、撮影効果、ホワイトバランス、明るさ、色の濃さを設定できます。

- 以下の設定はカメラ／ビデオカメラを終了しても保持されます。
  - ・画像サイズ　・画質／品質　・サイズ制限　・明るさ　・色の濃さ
- 動画撮影で、撮影種別を「音声のみ」に設定しているときは、品質、サイズ制限以外は設定できません。

お買い上げ時　フレーム：なし　画像サイズ：〈静止画〉待受用（240 × 320）〈動画〉QCIF（176 × 144）画質／品質：〈静止画〉スタンダード〈動画〉STD（標準）　サイズ制限：〈静止画〉制限なし〈動画〉メール添付　撮影効果:フルオート　ホワイトバランス:オート　明るさ:± 0　色の濃さ:± 0

例 フレームを設定するとき

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [ボタン] を押し、フレームのマークにカーソルを合わせる

マークの名前　現在の設定
フレームのマーク

- 他の設定を変更するときも同様にマークにカーソルを合わせます。
- マークには左から順に 1 ～ 9、0 のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークにカーソルが移動します。

1：ズーム ☛P166	5：ホワイトバランス	9：サイズ制限
2：明るさ	6：フレーム	0：画像サイズ
3：色の濃さ	7：連続撮影 ☛P160	
4：撮影効果	8：画質／品質	

つづく

2 [↕] を押してフレームを切り替え、[●] を押す

- 他の設定を変更するときも同様に [↕] でマークを切り替えて [●] を押します。
- 撮影効果、ホワイトバランス、フレーム、連続撮影、画質／品質、サイズ制限、画像サイズは、対応するキー（[4] ～ [9]、[0]）を押して値を切り替え、[●] を押しても設定できます。

フレーム

FOMA 端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。

[■]：フレーム設定中　[■]：フレーム解除

- お買い上げ時に FOMA 端末に保存されているフレームは、QCIF（176 × 144）、待受用（240 × 320）の画像サイズに対応しています。☛P321
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96 × 72）、横長 VGA（640 × 480）、縦長 VGA（480 × 640）、SXGA（960 × 1280）、UXGA（1200 × 1600）、4M（1728 × 2304）、動画の画像サイズを QVGA（320 × 240）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、メール、ｉ アプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。
- 解除するとき：[6] を 1 秒以上押す

おしらせ

● 静止画撮影時は [Menu][7][1]、動画撮影時は [Menu][5][1] を押すと、一覧からフレームを選択できます。
● 画像サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば画像サイズが QCIF（176 × 144）のときに 144 × 176 のフレーム）を選択した場合、フレームが右 90 度回転して表示されます。このとき、静止画撮影時は [Menu][7][3]、動画撮影時は [Menu][5][3] を押すと、フレームが 180 度回転します。画像サイズとフレームの縦横が同じ場合は回転できません。
● 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、静止画撮影時は [Menu][7][4]、動画撮影時は [Menu][5][4] を押すと、追加したフレームが選択可能になります。
● 静止画の場合、撮影した画像を保存した後でもフレームを重ねることができます。

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影モード	画像サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96 × 72）	96×72	ｉ モードメールに添付したり、デコメールへ貼り付けたりして ｉ モード端末やパソコンなどに送信できます。
	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	待受用（240 × 320）	240×320	
	CIF（352 × 288）	352×288	ｉ モードメールに添付して ｉ モード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時にサイズを待受用（240 × 320）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	横長 VGA（640 × 480）	640×480	
	縦長 VGA(480 × 640)※	480×640	
	SXGA（960 × 1280）※	960×1280	
	UXGA(1200 × 1600)※	1200×1600	
	4M（1728 × 2304）※	1728×2304	
動画撮影	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	ｉ モードメールに添付して ｉ モード端末やパソコンなどに送信できます。
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	QVGA（320 × 240）	320×240	ｉ モードメールに添付できません。

※：アウトカメラ撮影時のみ有効な画像サイズです。

- ｉ モード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大 500K バイトです。
- ｉ モード端末で見る際に最も適したサイズは、待受用（240 × 320）サイズです。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

カメラ

・他の機能を実行しているときは 4M（1728 × 2304）に設定できないことがあります。また、他の機能を実行中にカメラを起動したときは、画像サイズが 4M（1728 × 2304）から UXGA（1200 × 1600）に変更されることがあります。

画質／品質

■ 画質（静止画撮影時）

エコノミー：最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。
スタンダード：標準的な画質です。
ファイン：最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。

■ 品質（動画撮影時）

長時間：最も低い品質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。
標準：標準的な品質です。
高品質：画像の動きがなめらかになります。
最高品質：最も高い品質です。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。

サイズ制限

■ 静止画撮影時

撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか、画像サイズを小さくして保存します。

9000バイト：ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。
500Kバイト：ファイルサイズを変更せずにｉモードメールに添付できます。
制限なし：ファイルサイズを制限しません。

・撮影した静止画をｉモードメールに添付してｉモード端末に送信するときは「制限なし」以外に設定します。
・画像サイズが UXGA（1200 × 1600）または 4M（1728 × 2304）のときは変更できません。
・画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

■ 動画撮影時

撮影中に動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

メール添付：ファイルサイズを 290K バイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。
大容量メール添付
：ファイルサイズを 490K バイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
制限なし：ファイルサイズを制限しません。動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合は選択できません。

・撮影した動画をｉモードメールに添付してｉモード端末に送信するときは「制限なし」以外に設定します。

撮影効果

色合いや、撮影場所に応じた設定を、24 種類から選択できます。

フルオート：最も標準的な撮影モードです。通常はこのモードで使ってください。
感度アップ：カメラの感度がアップし、暗い所でも被写体が写りやすくなります。
超感度アップ：わずかな光でも被写体をモノクロ画像として抽出して撮影できます。
逆光補正：逆光により顔などが暗くなってしまうのを、明るくなるように調整します。
スポット測光：画面中央部の明るさに画像全体の明るさを合わせます。

つづく

風景 ：自然や街並みを鮮やかに撮影できます。彩度とシャープネスがやや強めに設定されます。
夜景 ：シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮りやすくなります。手ぶれに注意してください。
トワイライト ：夕暮れの風景を美しく撮影できます。彩度が高めで、紫がかった写真になります。
サーフ＆スノー：海や空の青色や、雪の白色を鮮やかに再現します。
スポーツ ：シャッタースピードが高速に設定され、動く被写体もぶれにくくなります。
ペット ：シャッタースピードが速め、彩度が高めに設定されます。
グルメ ：料理やお菓子の撮影に適したモードです。
文字 ：文字の輪郭が強調されます。
ネガポジ ：色を反転させて撮影します。ネガフイルムのような表現になります。
絵画 ：油絵のようなタッチで撮影できます。
版画 ：黒と白のコントラストを生かした木版画風の画像を撮影できます。
美白 ：肌が明るく、白く見えるように調整されます。室内での撮影をおすすめします。
日焼け ：肌が小麦色に見えるように調整されます。屋外での撮影をおすすめします。
ソフトタッチ ：輪郭が柔らかい画像になります。
モノトーン（赤）：赤系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノトーン（緑）：緑系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノトーン（青）：青系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノクロ ：白黒写真の色合いで撮影できます。
セピア ：セピア調の色合いで撮影できます。

- インカメラ撮影中は超感度アップ、ネガポジ、絵画、版画には設定できません。自動連写時は夜景に設定できません。
- 夜景モードでは色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
- スポーツモード、ペットモードでは明るい場所で撮影してください。室内や暗い場所で撮影すると、ノイズが出る場合があります。
- グルメモードや文字モードで近距離で撮影するときは、接写モードに切り替えてください。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。
オート ：ホワイトバランスを自動的に調整します。
太陽光 ：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。
くもり ：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
蛍光灯 ：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。
電球 ：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

- 撮影効果を超感度アップ、風景、サーフ ＆ スノー、版画、モノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときは設定できません。

明るさ

：－ 2　：－ 1　：± 0　：＋ 1　：＋ 2

- 撮影する画像によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影効果を超感度アップ、トワイライト、版画、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

色の濃さ

：－２　：－１　：±０　：＋１　：＋２

- 撮影する画像によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影効果を超感度アップ、文字、版画、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

撮影時の設定を初期値に戻す

- 以下の設定をお買い上げ時の設定に戻します。
  ・撮影効果　・ホワイトバランス　・ズーム　・明るさ　・色の濃さ　・接写モード
- 撮影効果とズームは、アウトカメラ撮影時はアウトカメラの設定、インカメラ撮影時はインカメラの設定だけが戻ります。

1 **静止画撮影画面で Menu 6 7 ／動画撮影画面で Menu 4 7 を押す**

2 **「はい」を選択する**

通話中に撮影した画像を送信する　ワンショットメール

音声電話通話中に撮影した静止画を、ｉモードメールに添付して通話中の相手に送信します。

- 本機能を利用するには、静止画設定で保存先を「本体」に設定してください。
- 通話直前にキャラ電撮影を起動していると、撮影できない場合があります。

1 **通話中に を押す**

2 **静止画を撮影する**

- 静止画設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメール添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した画像を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した画像がサムネイル表示されます。 を押して、送信する静止画にカーソルを合わせます。

3 **を押し、「はい」を選択する**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P230
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「9000バイト」を選択すると 9000 バイトより小さいファイルサイズで FOMA 端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが 9000 バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは クリア を押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面で クリア を押します。

4 ｉモードメールを作成して送信する

バーコードリーダーを利用する　　バーコードリーダー

カメラを使ってJANコードやQRコードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toを利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- バーコードリーダーはアウトカメラのみ利用できます。
- JANコードとQRコード以外のバーコードおよび2次元コードは読み取れません。
- バーコードの種類やサイズによっては読み取れないことがあります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れないことがあります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。☛P464

JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードの1つです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
左のJANコードでは、「4942857119176」という文字情報が読み取れます。

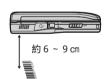
QRコードとは

縦横方向の模様で英数字や文字（漢字・カナ・絵文字）、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードの1つです。
左のQRコードでは、「FOMA D901iS」という文字情報が読み取れます。

コードを読み取る

バーコードリーダーを起動すると自動的に接写モードに切り替わります。
アウトカメラをコードから約6～9cm離して読み取ってください。

1 待受画面で Menu 6 4 を押す

バーコードリーダーが起動します。

2 レンズカバーを開ける

- コード読み取り中は次の操作ができます。

：コンパクトライトの点灯（ ）／消灯（表示なし）切り替え
：通常モード（表示なし）／接写モード（ ）切り替え
  - サイズの大きいコードを読み取るときは通常モードに切り替えてください。

カメラ

3 コードを読み取る

アウトカメラをコードに合わせると、自動的にコードが読み取られます。正しく読み取れると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- データが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが、保存はできます。
- サブメニュー表示中など、読み取りを停止しているときは、画面右上の⌛が⌛に変わります。

■ **コードを読み取り直すとき**

① [📖] または [Menu][2] を押す

4 [Menu][4] を押す

読み取ったデータがFOMA端末に保存されます。

- 既にデータが5件保存されているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して保存されているデータを削除してください。

■ **読み取ったデータの文字情報をコピーするとき**

① [Menu][1] を押す

② コピーの開始位置を選択する

- 文字情報全体をコピーするときは [Menu][●] を押します。

③ コピーの終了位置を選択する

分割されたQRコードを読み取る場合

複数（最大16個）に分割されているデータは、画面に表示されるメッセージに従って、次々に読み取ってください。

- 途中で読み取りを中止するには、[クリア] を押します。既に読み取ったQRコードのデータを破棄するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」を選択してください。

QRコードの総数分のマス
緑：最後に読み取った　青：読み取り済み　グレー：まだ読み取っていない

残りのQRコード数／QRコードの総数

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で [Menu] を押し、「モード切り替え」→「バーコードリーダー」を選択してもバーコードリーダーに切り替わります。
- バーコードリーダー画面で [Menu][3] を押し、[1] または [2] を押すと、静止画撮影、動画撮影に切り替えられます。待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は、切り替えられません。
- バーコードリーダーに対応しているiアプリからもバーコードリーダーを起動できます。iアプリから起動した場合、読み取ったデータはiアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、「読み取り日時＋ファイル項番.拡張子」になります。拡張子はJANコードでは「jan」、QRコードでは「qr」です（例：2005年8月26日12時34分にJANコードを読み取った場合は「20050826123400.jan」）。同じ日時に保存したデータが既に保存されている場合は、ファイル項番が+1されます。ただし、FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名の日時部分は「------------」になります。ファイル名は変更できません。

カメラ

読み取ったデータを利用する

• 読み取りデータにより、行える操作は異なります。

例 情報を電話帳に登録するとき

1 待受画面で Menu 6 4 を押し、レンズカバーを開ける

2 □ を押し、データを選択する

■ **読み取りデータを削除するとき**

① **削除する読み取りデータにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押し、「はい」を選択する**

• すべて削除するときは、Menu 3 2 を押して端末暗証番号を入力し、「はい」を選択します。

3 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせ、新規登録するときは Menu 3 1、更新登録するときは Menu 3 2 を押し、1 または 2 を押す

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

• 更新登録するときは、登録する電話帳データを選択します。

■ **情報を電話帳に一括登録するとき**

①「**電話帳登録」を選択し、1 または 2 を押す**

電話帳登録画面が表示されます。データによっては名前やフリガナなども入力されます。

■ **メールを送信するとき**

① **メールアドレスまたは「メール作成」を選択する**

メール作成画面が表示されます。

•「メール作成」を選択した場合、データによっては題名、本文も入力されます。

■ **サイトまたはインターネットホームページに接続するとき**

① **URL を選択し、「はい」を選択する**

■ **URL をブックマークに登録するとき**

① **URL にカーソルを合わせて Menu 3 3 を押す、または「ブックマーク登録」を選択する**

② **保存するフォルダを選択する**

•「ブックマーク登録」を選択した場合、データによってはサイト名も登録されます。

■ **ｉ アプリを起動するとき**

①「**ｉ アプリ起動」を選択する**

■ **音声電話またはテレビ電話をかけるとき**

① **電話番号を選択し、カスタム発信の各項目を選択して発信条件を設定する** ☛P52

② **Menu を押し、「はい」を選択する**

■ **静止画を保存するとき**

① **静止画のファイル名を選択し、「保存」を選択する**

•「表示」を選択すると、静止画が表示されます。

② **各項目を選択して設定し、□ を押す** ☛P358

③ **静止画の保存先を選択する**

■ **メロディを保存するとき**

① **メロディのファイル名を選択し、「保存」を選択する**

•「再生」を選択すると、メロディが再生されます。

② **表示名を入力し、□ を押す**

メロディがデータ BOX のメロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

ｉモード

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

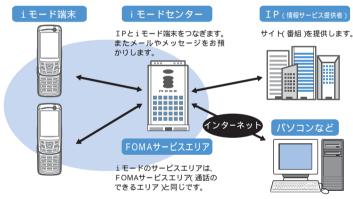
ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

・サイト（番組）接続
ｉMenuからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

・インターネット接続
ｉモード端末にホームページアドレス(URL)を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

・ｉモードメール
ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやり取りができます。

サービスのしくみ

・ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ

●新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。

●movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。なお、サイトによってFOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。また、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」でご確認できます。☛P177

●ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金等につきましては、ｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

●ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。
• サイトの表示方法☛P182

※画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

メニュー名	機　能
1 マイメニュー	よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。☛P187 ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。
2 週刊ｉガイド	新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。
3 メニューリスト	すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。
4 とくするメニュー	楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2コミュニケーションズ）。
5 ｉエリア	今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。
6 かんたん検索	「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。
ｉアプリサーチ	ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。
便利サイトサーチ	メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。
7 マイボックス	サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。
8 オプション設定	ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。
9 お知らせ&ヘルプ	ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則などを掲載しています。
■ 料金&お申込	料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。
ENGLISH	ｉMenuを英語表記に変更できます。

おしらせ

● サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
● IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
● ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
● デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

こんなこともできます

■ ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

・ｉモーションを取得するには☛P306　・ｉモーションを再生するには☛P324

・ｉモーションを自動再生設定するには☛P308

■ 着モーション／着うた®

ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。

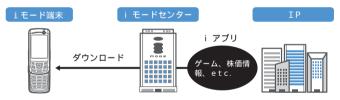
・着モーションを設定するには☛P110、P327

・「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードしたりすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

・ｉアプリをダウンロードするには☛P284　・ｉアプリを起動するには☛P286

・ｉアプリを自動起動するには☛P296

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけたりすることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

・ｉアプリ待受画面を設定するには☛P118

■ ｉアプリ DX

ｉアプリ DX では、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

・ｉアプリ DX とは☛P282

■ 3D サウンド

3D サウンド対応 ｉ モード端末では、ステレオスピーカー(または平型ステレオイヤホンセット(別売)など)により立体的に広がりのある音や空間的に移動する音を作り出すことができ、臨場感あふれる ｉ アプリのゲーム、ｉ モーションや着信音などをお楽しみいただけます（3D サウンド対応のコンテンツの場合となります)。

• 3D サウンドとは☛P111

■ キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話対応端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メール添付やFOMA 端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません)。

• キャラ電をダウンロードするには☛P197
• キャラ電設定をするには☛P83、P335
• キャラ電の撮影☛P336
• キャラ電の確認☛P334
• キャラクタの操作方法☛P335

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※

また、ｉ アプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

• 赤外線通信モードにするには☛P360、P304

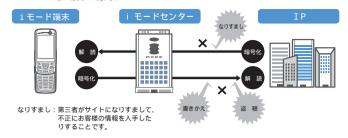
■ SSL 通信

SSL とは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL ページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL 通信には、ｉ モード端末から特別な操作なしに、端末内の CA 証明書を利用し、SSL に対応したサイト（SSL ページ）を表示するものと、FirstPass センターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSL に対応したサイト(SSL ページ)を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。☛P208

• FirstPass センターに接続中は、メールの送受信、メッセージ R/F の受信ができません。

• ｉ モード端末に保存されている CA 証明書を利用するには☛P208

・FirstPass のユーザ証明書を利用するには☛P209

■ FOMA カード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納している FOMA カードを、ｉ モード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉ モーションなどのファイルの動作を制限します。また、別の FOMA カードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源を ON にした場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。☛P35

※カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリから ｉ モード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※着信音や待受画面設定など、ｉ モード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉ メロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲を ｉ モード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。☛P195

■ ｉ アニメ

サイトからお好みのアニメーション画像を ｉ モード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。☛P194

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様の ｉ モード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージ R（リクエスト）とメッセージ F（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージ R）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージ F）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

・メッセージサービスの受信方法は☛P203、P239
・メッセージ F（フリー）の設定について、2004 年 10 月 1 日以降に FOMA の新規ご契約と同時に ｉ モードをお申込みの場合は、メッセージ F 設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージ F 設定をお客様ご自身で「受信しない」設定に変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
　※上記の場合以外のお客様がメッセージ F をご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
　詳細は ｉ モードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。
・電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージ R/F は ｉ モードセンターに保管されます。
・ｉ モードセンターでのメッセージ R/F の保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージ R/F は削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージ R/F から順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージ R	300 件	72 時間
メッセージ F	300 件	72 時間

・ｉ モードセンターに保管されたメッセージ R/F は、ｉ モード問合せ☛P239 により受信できます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。

トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

・メッセージRの画面の見かたは☛P206

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の4桁の数字に変更してください。☛P187

ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

・表示方法は☛P188

おしらせ

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のインターネットホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。

ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージR/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源をONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示・再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データを受信・ダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

おしらせ

- miniSDメモリーカードを利用することにより、メールやブックマークなどの内容を保存できます。
  また、パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトと FOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに転送・保管できます。

サイトを表示する

1 待受画面で [i] [1] を押す

- iモード接続中画面で [CLR] を押すと、接続が中止されます。
- サイト表示中に [8] を1秒以上押すと、iモードが切断されます。
- [1]、[2] などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2 「[3] メニューリスト」を選択する

- ページ取得中に [□] を押すと、ページの取得が中止されます。

3 見たい項目を選択する

サイトに接続されます。以降同様に目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら [PWR] を押し、「はい」を選択する

おしらせ

● サイト表示中にｉMenuに戻る場合は [Menu] を押し、「ｉMenu」を選択します。

● サイトからお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」が送信されます。送信される「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために使われます。
送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）等に通知されることはありません。

● サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、[□] を押します。

● 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。

- ：表示・効果設定で画像を表示しない設定にしているときや、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
- ：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき
- ：画像のURLの誤りなど画像取得できないとき

● ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外ではご利用になれません。

SSLページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。
• SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。
• FirstPass 対応ページに接続するには、ユーザ証明書を FirstPass センターからダウンロードし、緑色の FOMA カードに保存する必要があります。青色の FOMA カードを差し込んでいる場合は FirstPass センターに接続できません。

SSLページに接続する

SSL通信開始の画面が表示されます。SSLページが表示されると画面右上に が表示されます。

■ **SSLページ表示中に証明書を表示するとき**

① **Menu 9 2 を押す**

• 証明書の内容 ☛P208

SSLページから通常ページに進む

確認面画が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、画面右上の が消えます。

FirstPass 対応ページに接続する

次の画面が表示されます。

①**「はい」を選択する**
② **PIN2 コードを入力する**
ユーザ証明書が送信され、FirstPass 対応ページが表示されます。

おしらせ

● サイトとの通信の安全性が確認できない場合、接続するかどうかの確認画面が表示されます。接続するときは「はい」、接続しないときは「いいえ」を選択します。
● SSL通信を行うには、接続サイトと FOMA 端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。☛P208
● FirstPass 対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。

Menu 25

最後に表示したページに再接続する　ラスト URL

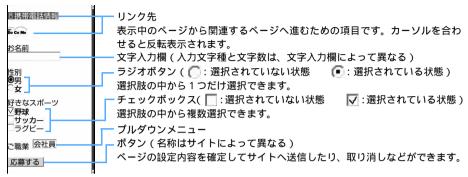
ラスト URL を利用すると最後に表示したページに簡単に再接続できます。
• ページによっては、表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なることがあります。

1 待受画面で i 5 を押す
• ラスト URL が記録されていないときは、ラスト URL がない旨のメッセージが表示されます。

2 ● を押す

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ｉモード接続中、サイトによっては次のような操作ができます。

■ **リンク先の表示**

① **[上下] を押して項目にカーソルを合わせて [決定] を押す**

- 画像にリンクが設定されている場合もあります。画像にカーソルを合わせて（枠で囲まれます）[決定] を押すと、リンク先が表示されます。
- [1]、[2] などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

■ **文字の入力**

① **[上下] を押して文字入力欄にカーソルを合わせて [決定] を押す**

② **文字を入力する**

- ｉモードパスワードなどを入力した場合、「*」で表示されることがあります。
- 文字入力画面で [Menu][8][2] を押すと、バーコードリーダーで読み取った内容を入力できます。

■ **ラジオボタンの選択**

① **[上下] を押してラジオボタンにカーソルを合わせて [決定] を押す**

■ **チェックボックスの選択**

① **[上下] を押してチェックボックスにカーソルを合わせて [決定] を押す**

- [☑] を選択すると [□] に戻ります。

■ **プルダウンメニューの選択**

① **[上下] を押してプルダウンメニューにカーソルを合わせて [決定] を押す**

② **メニュー項目を選択する**

- サイトによっては､プルダウンメニュー選択画面で [上下] を押して項目にカーソルを合わせて [決定] を押す操作を繰り返して複数の項目が選択できます。選択後は [□□] を押します。

■ **ボタンの選択**

① **[上下] を押してボタンにカーソルを合わせて（実線枠で囲まれます）[決定] を押す**

おしらせ

● ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄で入力／設定した内容は、登録したブックマークや画面メモには反映されません。

Flash 機能

Flash とは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを表示できます。また、Flash を利用した画像（Flash 画像）を i モード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に設定することもできます。

- Flash 画像によっては、お客様の i モード端末の端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の登録データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は「利用する」に設定されています。なお、Flash 画像が利用する登録データには次のものがあります。
  ・電池残量　・受信レベル　・時刻情報　・着信音量設定　・バイリンガル設定　・機種情報

Flash 画像について

- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。
- Flash 画像を利用したサイトでは、操作は同じですが、表示が異なる場合があります。
- Flash 画像によっては、画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定された Flash 画像のメロディは再生されません。
- Flash 画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しない Flash 画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生した Flash 画像は保存できません。
- Flash 画像によっては◆の表示の有無によらず、Flash 画像の操作ができない場合があります。
- Flash 画像を再度動作させる場合は、Menu 9 6 を押してください。
- Flash 画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、Menu 9 3 を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- Flash 画像によっては、再生中に FOMA 端末を振動させる場合があります。バイブレータ設定を「OFF」に設定しても振動しますのでご注意ください。
- FOMA 端末に保存した Flash 画像をデータ BOX などから再生するときも、効果音やバイブレータは動作します。ただし、Flash 画像中の項目選択操作は行えないため、項目を選択して効果音やバイブレータを動作させることはできません。
- 再生中に 30 秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには、0 ～ 9、＊、#、文字、iα、メール、カメラ、◎ のいずれかのキーを押してください。
- 再生中に他の画面に切り替えた場合、再度表示すると Flash 画像の先頭から再生されます。

前のページに戻る／進む

FOMA 端末は、ページの履歴をキャッシュに最大 20 件記録しています。これにより前のページに戻ったり、次のページに進めたりできます。

- キャッシュとは、表示したページのデータを一時的に記録する端末内の場所のことです。◎ を押して、通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは、通信を行います。
- FirstPass センター接続中（☛P209）は本機能を利用できません。

おしらせ

- ページ A →ページ B →ページ C の順に表示（①、②）した後でページ A に戻り（③、④）、ページ D に進む（⑤）と、ページ A →ページ B →ページ C の表示履歴は消去されます。ページ D からページ A には戻れますが、さらにページ B には戻れません。

  A ①→ ←④ B ②→ ←③ C
  A ⑤↓ D

- サイトの表示履歴が満杯になるとキャッシュ内の履歴が消去される場合があり、[戻る] を押しても前のページ戻れないことがあります。
- 履歴が削除されたページを再度表示する場合や、最新情報を読み込むように設定（作成）されたページを表示する場合は、再度通信が行われ新しいページが表示されます。ただし、表示するページによっては履歴が記録されていても通信を行う場合があります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- i モードを終了すると、キャッシュ内の履歴はすべて消去されます。
- Flash 画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。

画面をスクロールする

すべての行が表示されていないとき、またはリンク項目が選択できるときは▲や▼が表示されます。

- [上下] を押してスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- [iアプリ]、[メール] を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールとなります。

情報を再読み込みする

接続の中断などでサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うと表示できることがあります。

1 サイト表示中に [Menu][5] を押す

表示中のサイトの URL を表示する

1 サイト表示中に [Menu][9][1] を押す

おしらせ

- URL 履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧では [メモ] を押します。

マイメニューを使う

マイメニュー

サイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトを簡単に表示できます。

- 最大45件登録できます。
- 登録にはｉモードパスワードが必要です。ｉモードご契約時には「0000」に設定されています。
- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスで利用していた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。ただし、FOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもありますので、その場合は再登録が必要です。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」で確認できます。☛P177
- ｉMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉMenuのメニューリスト内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイトを表示し、「マイメニュー登録」を選択する

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、該当する番号のキーを押すか、該当する項目を選択します。

2 ｉモードパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 「決定」を選択する

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉMenuで「1 マイメニュー」を選択する

2 表示するサイトを選択する

ｉモードパスワードを変更する

ｉモードパスワード変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワード（4桁の数字）に変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 ｉMenuで「8 オプション設定」を選択し、「2 ｉモードパスワード変更」を選択する

2 現在のパスワード欄を選択し、ｉモードパスワードを入力する

3 新パスワード欄を選択し、新しいｉモードパスワードを入力する

4 新パスワード確認欄を選択し、操作3と同じｉモードパスワードを入力する

5 「決定」を選択する

- 入力内容に誤りや抜けがあるとエラー画面が表示されます。「再入力」を選択し操作し直します。

Menu 231

インターネットホームページを表示する　インターネット接続

- ｉモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。

1 待受画面で [i] [3] [1] を押す

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 URLを入力して [i] を押す（半角256文字まで）

- 「/」「.」「-」などの記号は、英字入力モード時に [1] を押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、英字入力モード時に [*] を押して入力できます。

おしらせ

- ●サイト画面では [Menu] を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
- ●インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。
- ●受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。[●] を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。

Menu 232

URL履歴を使って表示する　URL履歴

FOMA端末は、接続したインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 待受画面で [i] [3] [2] を押す

2 表示するインターネットホームページのURLを選択する

- URLが途中までしか表示されていないときは、URLにカーソルを合わせて [i] を押します。

■ URL履歴を削除するとき

①削除するURLにカーソルを合わせて [Menu] [4] [1] を押す

- すべて削除するときは [Menu] [4] [2] を押し、端末暗証番号を入力します。

②「はい」を選択する

ｉモード

おしらせ

- サイト画面では Menu を押し、「Internet」→「URL 履歴」を選択します。
- URL 履歴が 20 件を超えた場合は、一番古い URL 履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する　文字コード

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に Menu 9 5 1 を押す

- 押すたびに文字コードが、自動選択→ SJIS → EUC → JIS → UTF8 の順に切り替わります。操作を 5 回繰り返すと元の表示に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。

おしらせ

- 操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する　ブックマーク

同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。ブックマークを選択するだけで、登録したページをすばやく表示できます。

- 最大登録件数 ☛P33
- URL が半角 256 文字を超えるサイトはブックマークに登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

- ブックマークを 20 個のフォルダに分類できます。

1 ブックマークに登録するサイトを表示して Menu 2 1 を押す

2 登録先フォルダを選択する

おしらせ

- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL 履歴一覧では Menu を押し、「Bookmark 登録」を選択します。サイト画面で Menu を押し、「Internet」→「URL 履歴」を選択して URL 履歴一覧を表示しても同様に操作できます。
- ブックマークが最大登録件数を超えるときは、登録済みのブックマークを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。
- 既に同じ URL が登録されているときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
上書きする場合は「はい」を選択します。

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 **待受画面で 📖2 を押す**

2 **フォルダを選択する**

：ブックマークなし　：ブックマークあり

3 **表示するブックマークを選択する**

■ **URLを確認するとき**

① **確認するブックマークにカーソルを合わせて を押す**

おしらせ

● サイト画面では Menu を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 **待受画面で 2 を押す**

2 **変更するフォルダにカーソルを合わせて Menu 3 を押す**

3 **フォルダ名を変更して を押す（全角8文字（半角16文字）まで）**

ブックマークのタイトルを変更する

• 登録されているブックマークのURLを変更する操作ではありません。

1 **待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **変更するブックマークにカーソルを合わせて を押す**

3 **タイトル名を変更して を押す（全角12文字（半角24文字）まで）**

• タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧ではURLが表示されます。
• タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21文字を超える場合、ブックマーク一覧では全角で9文字、半角で19文字と「…」が表示されます。

少ないキー操作でサイトに接続する　ツータッチ登録

ブックマークをツータッチ登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

1 **待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **登録するブックマークにカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

• 解除するとき：解除するブックマークにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☞P342

3 登録先を選択する

・アイコンの番号（0～9）が、サイト表示に使用するキー（0～9）に対応します。

おしらせ

● ブックマーク一覧では、登録されたブックマークのマークが から0～9に変わります。
● 待受画面で [i][8][1] を押すと、ツータッチ登録されているブックマーク一覧が表示されます。ブックマークにカーソルを合わせて [Menu][1] を押し、「はい」を選択するとツータッチ登録を解除できます。

ツータッチでサイトを表示する

1 待受画面でツータッチ登録した番号のダイヤルキー（[0] ～ [9]）を押し、[i] を押す

■ **ツータッチサイト一覧からサイトを表示するとき**

① **待受画面で [i][8][1] を押す**
② **ブックマークを選択する**

ブックマークを削除する

・ブックマークのフォルダは削除できません。

1 待受画面で [i][2] を押し、フォルダを選択する

■ **全件削除するとき**

① **フォルダ一覧で [Menu][2] を押し、端末暗証番号を入力して操作 3 に進む**

■ **フォルダ内のブックマークを全件削除するとき**

① **フォルダにカーソルを合わせて [Menu][1] を押し、端末暗証番号を入力して操作 3 に進む**

2 削除するブックマークにカーソルを合わせて [Menu][3][1] を押す

■ **複数削除するとき**

① **[Menu][3][2] を押し、ブックマークを選択する**
　・[●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
② **[□] を押す**

■ **フォルダ内のブックマークを全件削除するとき**

① **[Menu][3][3] を押し、端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

おしらせ

● ツータッチ登録されているブックマークを削除すると、ツータッチ登録も解除されます。

ブックマークを移動／コピーする

ブックマークを別のフォルダに移動したり、miniSD メモリーカードにコピーできます。

例 ブックマークを 1 件移動するとき

1 待受画面で [i][2] を押し、フォルダを選択する

iモード

つづく

2 移動するブックマークにカーソルを合わせて Menu 6 1 を押す

■ 複数移動するとき

① Menu 6 2 を押し、ブックマークを選択する

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ miniSD メモリーカードへ 1 件コピーするとき

① Menu 6 3 1 を押し、「はい」を選択する

■ miniSD メモリーカードへバックアップ（全件）するとき

① Menu 6 3 2 を押す

② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

3 移動先のフォルダを選択する

ブックマークを並べ替える　ソート

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

- アクセス日付順、タイトル名順、URL 順、アクセス回数順が選択できます。

お買い上げ時 アクセス日付順

1 待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する

2 Menu 7 を押し、1 ～ 4 を押す

おしらせ

- ブックマークの表示を終了すると、並び順は「アクセス日付順」に戻ります。
- タイトル名順の場合、タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、タイトルがなく URL 表示になっているものが混在していると、50 音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する　画面メモ

画面メモを保存する

- 最大保存件数 ☛P33
- 保存できるファイルサイズは、画面内の画像などを含め 1 件あたり最大 100K バイトです。

1 画面メモに保存するサイトを表示して Menu 4 1 を押す

- サイトのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

おしらせ

- 画面メモの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画面メモを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまで FOMA 端末内の画面メモを削除してください。保護されている画面メモは上書きされません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

画面メモを表示する

1 待受画面で [Menu下][4] を押す

2 表示する画面メモを選択する

：通常の画面メモ　：保護されている画面メモ

・画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☛P184

おしらせ

● サイト画面では [Menu] を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。
● 画面メモ表示中に Flash 画像を再度動作させるときは、[Menu] を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 待受画面で [Menu下][4] を押す

2 変更する画面メモにカーソルを合わせて [A/a] を押す

3 タイトル名を変更して [□] を押す（全角 12 文字（半角 24 文字）まで）

・タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。

おしらせ

● 画面メモ表示中は [Menu] を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

・最大保護件数 ☛P33

例 1 件保護するとき

1 待受画面で [Menu下][4] を押す

2 保護する画面メモにカーソルを合わせて [Menu][1][1] を押す

画面メモが保護され、マークが から に変わります。

・解除するとき：解除する画面メモにカーソルを合わせて [Menu][1][3] を押す

■ 複数保護するとき

① [Menu][1][2] を押し、画面メモを選択する
　・[●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。ただし、最大保護件数を超える場合は全選択できません。
② [□] を押す

■ 複数解除するとき

① [Menu][1][4] を押し、画面メモを選択する
　・[●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
② [□] を押す

■ 全件解除するとき

① [Menu][1][5] を押す

おしらせ

● データ一括削除を行うと保護した画面メモもすべて削除されます。☛P412
● 画面メモ表示中は Menu を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

・保護されている画面メモは削除できません。全件削除でも保護されている画面メモは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

例 1 件削除するとき

1 待受画面で ▽ 4 を押す

2 削除する画面メモにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ **複数削除するとき**

① **Menu 2 2 を押し、画面メモを選択する**

・ ● で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **□ を押す**

■ **全件削除するとき**

① **Menu 2 3 を押し、端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

iモード

おしらせ

● 画面メモ表示中は Menu を押し、「削除」を選択します。

サイトやメッセージから画像を取得する 画像保存

サイトやメッセージ R/F、ｉ アプリなどから、画像やフレームなどを取得し保存します。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定できます。

・最大保存件数 ☛P33
・保存できる画像のファイルサイズは 1 件あたり最大 100K バイトです。
・GIF 形式、JPEG 形式、Flash 形式の画像を保存できます。

例 サイトからダウンロードするとき

1 画像のあるサイトを表示して Menu 6 を押す

2 画像を選択する

・保存する画像に枠が付きます。

3 各項目を選択して設定する

- サイトからダウンロードした画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）は表示名以外は変更できません。
- 表示名は全角・半角を問わず36文字まで入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
- コメントは全角・半角を問わず100文字まで入力できます。
- フレーム候補、スタンプ候補を設定するときは、設定する項目を選択して［1］または［2］を押します。

4 ［］を押し、保存先を選択する

- ［Menu］を押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☛P315

おしらせ

- 既に保存している画像と同じ表示名、ファイル名で画像を保存できます。
- 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（または縦横）のサイズが、GIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合があります。
- 横縦（または縦横）のサイズが352×288を超える画像はフレーム候補にできません。また、横縦（または縦横）のサイズが240×320を超える画像はスタンプ候補にできません。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内の画像を削除してください。
  - 削除する前に画像一覧で［］を押すと画像の表示、［Menu］を押すと詳細情報の表示ができます。

サイトからメロディをダウンロードする　iメロディ

サイトからメロディをダウンロードし、再生・保存します（iメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定できます。

- 最大保存件数☛P33
- 保存できるメロディのサイズは1件あたり最大100Kバイトです。
- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

1 メロディのあるサイトを表示し、メロディを選択する

- ダウンロード中に［］を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- 再生するとき：「再生」を選択する
- 保存を中止するとき：「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択する

3 ［］を押す

メロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。☛P340

- 表示名は全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

おしらせ

- メロディによっては正しく再生できない場合があります。
- マナーモード中に再生すると、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
- メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまで FOMA 端末内のメロディを削除してください。
  - 削除する前にメロディ一覧で [□] を押すとメロディの再生、[Menu] を押すと詳細情報の表示ができます。

サイトから PDF データをダウンロードする

サイトから PDF データをダウンロードし、表示・保存します。保存した PDF データは「マイドキュメント」から表示できます。

- 最大保存件数 ☛P33
- 保存できる PDF データのサイズは 1 件あたり最大 2M バイトです。
- データサイズの大きいPDFデータをダウンロードした場合、高額のパケット通信料となることがありますので、ご注意ください。

1 PDF データのあるサイトを表示し、PDF データを選択する

PDF データがダウンロードされ、PDF 対応ビューアに表示されます。☛P370

- すでに同じ PDF データが保存されているときは、PDF データによっては上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は「はい」を選択します。
- ダウンロード中に [⏻] を押すと、ダウンロードを中止します。
- PDF データにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して [□] を押します。

2 [Menu][2] を押す

3 [□] を押し、保存先を選択する

- 表示名は全角・半角を問わず 36 文字まで入力できます。
- ガイド行に「miniSD」が表示された場合は、[iα] を押すと miniSD メモリーカードに保存できます。
- すべてのページをダウンロードしていなくても、ダウンロードしたところまで保存されます。

おしらせ

- 次の PDF データをダウンロードする場合、ダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。
  - 500K バイトを超えている PDF データ
  - 正しく表示できるか不明な PDF データ
- 2M バイトを超える PDF データをダウンロードした場合、最大サイズを超えているためダウンロードできない旨のメッセージが表示され、ダウンロードできません。なお、サイズが不明の場合は 2M バイトまでダウンロードして表示されます。
- PDF データを部分的にダウンロードした場合、PDF データ表示中に [Menu][8] を押すと残りのデータをダウンロードできます。
- 同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、しおりやマークの内容が異なるときは、異なるしおりやマークが追加で保存されます。ただし、しおりやマークの合計がそれぞれ 10 件を超えると、最大登録件数を超える旨のメッセージが表示されます。画面の指示に従い、登録可能件数になるまでしおりやマークを削除してください。
- [⏻] を押してダウンロードを中止したり、通信が切断されたりして途中までしか保存されていないPDFデータの場合、マイドキュメントからPDFデータを選択すると、再ダウンロードされます。PDFデータによっては再ダウンロードできない場合があります。
- PDF データの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末または miniSD メモリーカードに保存されている PDF データを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまで FOMA 端末または miniSD メモリーカード内の PDF データを削除してください。miniSD メモリーカード内の PDF データを削除するときはネットワークが切断されます。
  - 削除する前に PDF データ一覧で [Menu] を押すと PDF データの詳細情報の表示ができます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードし、保存します。

- 最大保存件数 ☛P33
- 保存できるキャラ電のサイズは 1 件あたり最大 100K バイトです。

1 キャラ電のあるサイトを表示し、キャラ電を選択する

- ダウンロード中に [□] を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

- 表示するとき：「表示」を選択する
- 保存を中止するとき：「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択する

3 [□] を押す

キャラ電は、キャラ電の「モード」フォルダに保存されます。☛P334

- 表示名は全角・半角を問わず 36 文字まで入力できます。
- コメントは全角・半角を問わず 100 文字まで入力できます。

おしらせ

- キャラ電の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているキャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き領域に達するまで FOMA 端末内のキャラ電を削除してください。
  - 削除する前にキャラ電削除画面で [□] を押すとキャラ電の表示、[Menu] を押すと詳細情報の表示ができます。
  - キャラ電撮影中にマルチタスクを利用してキャラ電をダウンロードした場合は保存できません。キャラ電撮影を終了して保存してください。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、ｉ モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

ｉ モードの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F など）の電話番号やメールアドレス、URL から、音声電話の発信（Phone To）、テレビ電話の発信（AV Phone To）、メールの作成（Mail To）、サイトへの接続（Web To）が行えます。

- サイトによっては、利用できない機能があります。

1 サイトを表示し、電話番号、メールアドレス、または URL を選択する

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URL のみ選択できます。

■ Phone To（AV Phone To）のとき

カスタム発信の画面が表示されます。

① カスタム発信の各項目を選択して設定する

② [Menu] を押して「はい」を選択する

- 利用できる電話番号の最大桁数は 26 桁（＋で始まる番号は＋を含め 27 桁）です。

ｉモード

■ **Mail To のとき**
選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。
① **i モードメールを作成して送信する**
- SMS は作成できません。
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To 機能を利用できないことがあります。
- 利用できるメールアドレスの最大文字数は 50 文字です。

■ **Web To のとき**
選択した URL サイトに接続されます。
- 利用できる URL の最大文字数は約 2000 文字です。

URL をコピーする

表示中のサイトや画面メモの URL をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと、直前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトの URL をコピーするとき

1 サイトの URL を表示して Menu 7 を押す

2 コピーする範囲の開始位置を選択し、終了位置を選択する
- 開始位置を指定する前に Menu を押すと全文が選択されます。
- 開始位置を指定し直すときは クリア を押します。
- 開始位置指定後に Menu、 を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

おしらせ
- URL 履歴一覧、ワンタッチサイト一覧、画面メモ一覧では Menu を押し、「URL コピー」を選択します。ブックマーク一覧では Menu を押し、「URL 入力／URL コピー」→「URL コピー」を選択します。これらの画面から操作する場合は URL 全体がコピーされます。
- メールに URL をコピーするには、サイト画面で Menu を押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトの URL が本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する 電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージ R/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。
- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例 サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示する
- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 **登録する電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせて、新規登録するときは Menu 8 1、登録済みの電話帳データに追加するときは Menu 8 2 を押す**

3 **FOMA 端末電話帳に登録するときは 1、FOMA カード電話帳に登録するときは 2 を押す**

4 **電話帳データを登録する**

■ **新規登録するとき**

選択した電話番号やメールアドレスがあらかじめ入力されています。

① **名前などを設定して登録する**

- 電話帳の登録方法☛P91、P95

■ **登録済みの電話帳データに追加するとき**

① **登録する電話帳データを選択する**

② **内容を確認し、登録する**

- 電話帳の登録方法☛P91、P95

おしらせ

- 画面メモ表示画面では Menu を押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージ R/F 詳細画面では Menu を押し、「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

URL を電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧から URL を電話帳に登録します。新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。

- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例 ブックマーク一覧から登録するとき

1 **待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する**

2 **登録するブックマークにカーソルを合わせて、新規登録するときは Menu 8 1、登録済みの電話帳データに追加するときは Menu 8 2 を押す**

3 **電話帳データを登録する**

■ **新規登録するとき**

① **名前などを設定して登録する**

- を押して設定（その他）画面を表示すると URL が確認できます。
- 電話帳の登録方法☛P91

■ **登録済みの電話帳データに追加するとき**

① **登録する電話帳データを選択する**

② **内容を確認し、登録する**

- を押して設定（その他）画面を表示すると URL が確認できます。
- 電話帳の登録方法☛P91

おしらせ

● 画面メモ一覧では Menu を押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。
● サイト画面から URL を表示した場合は登録できません。
● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

ｉモードの設定を行う

ｉモード設定

Menu 282

接続待ち時間を設定する

接続待ち時間設定

ｉモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

お買い上げ時　60 秒間

1 **待受画面で [Menu][8][2] を押す**

2 **[1] ～ [3] を押す**

おしらせ

●「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりｉモードセンターとの接続が中断されることがあります。

Menu 283

ｉモードから接続先を変更する

ISP 接続通信

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　モード（FOMA カード）

■ ISP 接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）へ接続できます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

・ISP 接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。

※ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ プロバイダ契約について

・ISP 接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
・プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
・お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。

・登録できる接続先は最大 10 件です。
・通信中は接続先を設定／変更できません。

1 待受画面で [iモード][8][3] を押す

2 編集するユーザ設定にカーソルを合わせて [Menu] を押し、端末暗証番号を入力する

■ iモードを利用する設定に戻すとき
①「iモード（FOMA カード）」を選択し、操作 5 に進む

■ 以前に設定した接続先に変更するとき
① 接続先を選択し、操作 5 に進む

3 各項目を選択して設定し、[m] を押す

・接続先名称は全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力できます。
・接続先は半角英数字で 99 文字まで入力できます。
・接続先アドレスは半角英数字で 30 文字まで入力できます。
・[Menu] を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

4 編集した接続先を選択する

5 [m] を押す

Menu 291

画像表示、照明、効果音を設定する

表示・効果設定

サイトや画面メモ、メッセージ R/F などの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash 再生時）を設定します。

お買い上げ時 画像:表示する　アニメーション:表示する　登録データ利用設定:利用する　照明設定:端末設定に従う　効果音設定：ON

1 待受画面で [iモード][9][1] を押す

2 各項目を選択して設定する

画像：画像を表示するかどうかを設定します。
・「表示しない」に設定すると、「アニメーション」「登録データ利用設定」は設定できません。

アニメーション：アニメーションの表示を設定します。

登録データ利用設定
：Flash 画像を表示するときの、FOMA 端末内の登録データの利用を設定します。

照明設定：ディスプレイの照明方法を設定します。
・「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☛P124）に従います。
・「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

効果音設定：Flash 再生音を設定します。

3 [m] を押す

おしらせ

- サイト画面では Menu を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- 画像を「表示する」に設定しても、画像が正しく表示されない場合があります。
- 画像を「表示しない」に設定すると画像は表示されず、Flash 画像も表示されません。また、画像の位置に（メッセージ R/F では ）が表示されます。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉ モードメールに Web To 機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定したときは、アニメーションの最初のコマが表示されます。なお、「表示しない」に設定しても Flash 画像は再生されます。
- メッセージ R/F の場合、本文に組み込まれている画像の表示／非表示が設定できます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定の ON ／ OFF もメッセージ R/F には影響しません。
- 表示・効果設定の登録データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量設定、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

Menu 292

サイトの表示色を設定する　表示色設定

お買い上げ時　文字／背景:指定しない　リンク色:指定しない

1 待受画面で Menu 9 2 を押す

2 文字／背景欄を選択して 1 を押す

- 文字色／背景色を指定しないとき：2 を押し、操作 5 に進む

文字／背景：文字色／背景色を設定します。
- 「指定しない」に設定すると、「文字色」「背景色」は設定できません。

リンク色　：リンク色を設定します。
- 「指定しない」に設定すると、「未表示」「表示済」「選択時」は設定できません。

3 文字色欄を選択し、色を選択する

- 表示例が選択されている色で表示されます。
- 文字色の初期設定は黒です。16 色から選択できます。

4 背景色欄を選択し、色を選択する

- 背景色の初期設定は白です。16 色から選択できます。

5 操作 2 ～ 4 と同様にリンク色を設定する

- リンク色の初期設定は、「未表示」が青、「表示済」が赤、「選択時」が背景色と同色です。

6 ［□］を押す

iモード

おしらせ

● リンク色（表示済）はリンク先の画面が履歴に記録されている間だけ有効です。記録が消えると「未表示」の色になります。
● 色を設定したとき、サイトによっては文字が見えにくくなったり、見えなくなったりする場合があります。その場合は色の設定を変更してください。

メッセージR/Fを受信したときは　メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

・最大保存件数 ☛P33

1 メッセージR/Fを受信する

とまたはが点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

・メッセージ受信中画面で を押すと受信を中止します。
・受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。ただし、自動表示設定に設定したメッセージR/Fを受信した場合は、受信前の画面に戻る前に、未読のメッセージR/Fの内容が表示されます。
・早く受信前の画面に戻すときは クリア を押します。

おしらせ

● 受信表示設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
● 次の場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。メッセージR/Fを受信する場合は、ｉモード問合せを行ってください。
　・電源が入っていないとき　・テレビ電話中　・セルフモード中　・受信に失敗したとき
　・圏外のとき　・SMS受信中　・赤外線通信中
　・未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
● 情報表示行設定または着信表示設定でメール・メッセージの受信結果を表示しない設定にしている場合は、受信結果はスクロール表示されません。
● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のメッセージR/Fがある間は着信ランプが点滅します。
● FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。

● メッセージR/Fの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古いメッセージR/Fに上書きされます。ただし、未読のメッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fには上書きされません。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。

・未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には（赤）や（赤）が表示されます。☛P25

● ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは や（☛P24）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが や に変わります。

ｉモードセンターの保管件数☛P180

● 途中で受信に失敗した場合などにメッセージR/Fを受信し直すには、メッセージR/Fのｉモード問合せを行ってください。ただし、メッセージR/Fが最大保存件数を超えたときは、未読メッセージR/Fの内容を表示したり、不要メッセージR/Fを削除したり、保護を解除したりする必要があります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で 2 または 3 を押す

・受信したメッセージRは「メッセージR」、メッセージFは「メッセージF」に保存されます。

2 フォルダを選択し、メッセージR/Fを選択する

・メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P264

・メッセージR/Fの見かた☛P206

Menu 2731

メッセージR/Fを自動的に表示する 自動表示設定

メッセージR/Fを受信したときに、その内容を自動的に表示できます。
メッセージRとメッセージFを両方受信したときに、優先するメッセージも設定できます。

お買い上げ時 メッセージR優先

例 メッセージRのみを表示するとき

1 待受画面で 7 3 1 を押す

2 1 を押す

・メッセージFのみを表示するとき：2 を押す
・メッセージRを優先して表示するとき：3 を押す
・メッセージFを優先して表示するとき：4 を押す
・メッセージR/Fを自動的に表示しないとき：5 を押す

おしらせ

- 自動表示設定をすると、メッセージ R/F の受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージ R/F の内容が自動表示されます。
- メッセージ R/F の内容は約 15 秒間表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージ R/F は未読の状態で保存されます。
- 待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合、ｉモード問合せでメッセージ R/F を受信した場合は自動表示されません。
- マルチタスク中は自動表示できません。

Menu 2734

メッセージ R/F 着信時の動作を設定する　メッセージ着信設定

お買い上げ時　着信音選択:メロディ／パターン１　着信イルミネーション設定:点滅／オーシャン　バイブレータ設定:OFF　鳴動時間（秒）:10

1 **待受画面で ［メニュー］［7］［3］［4］ を押す**

2 **メッセージ R は ［1］、メッセージ F は ［2］ を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

着信イルミネーション設定
：着信ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。

バイブレータ設定
：バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）
：着信音が鳴動している時間を設定します（1 〜 30 秒）。

4 **［決定］ を押す**

おしらせ

- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- メッセージ着信設定は音の設定と連動しているため、本機能でメッセージ R/F の着信音を変更した場合は音の設定も同様に変更されます。

Menu 271 / Menu 272

保存されているメッセージ R/F を表示する　メッセージ R ／メッセージ F

- 未読のメッセージ R/F があるときは待受画面に［R］または［F］が表示されます。

例　メッセージ R を表示するとき

1 **待受画面で ［メニュー］［7］［1］ を押す**
- メッセージ F を表示するとき：［メニュー］［7］［2］ を押す

2 表示するメッセージRを選択する

おしらせ

● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているメッセージR/Fを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量でメロディが自動的に再生されます。再生を途中で停止させるときは クリア を押します。
● 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
・画像をFOMA端末に取得できます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。
・画像を受信できなかったときは、受信し直すことができます。☛P207
・画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです。☛P182
・本文中の画像は削除できません。

メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

・メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

■ メッセージR/F一覧画面の見かた

メッセージR/F一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。メッセージR/F欄には、受信日時とタイトルが表示されます。

① ：未読　：既読　：保護
② ：画像あり　：画像＋メロディあり
　：メロディあり　：添付ファイル異常

・受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ メッセージR/F詳細画面の見かた

メッセージR/F詳細画面では、上部に状態マーク、添付マーク、メッセージR/F番号が表示されます。

：受信日時　：タイトル

・ を押すと前後のメッセージR/Fを表示できます。

おしらせ

● 添付ファイルがある場合、メッセージR/F詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。
・添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。

種　類	マーク
画像 (☛P241)	：メール添付やFOMA端末外への出力可　：画像データ異常 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可
メロディ (☛P244)	：メール添付やFOMA端末外への出力可　：メロディデータ異常 ：メール添付やFOMA端末外への出力不可

● メッセージR/F詳細画面から電話番号やメールアドレスを選択して電話帳に登録したり、URLを選択してブックマークに登録したりできます。☛P198、P189
● メッセージR/F詳細画面中の電話番号やメールアドレス、URLから電話をかけたり、ｉモードメールを送ったり、サイトを表示したりできます。☛P197

メッセージR/F内の画像を再読込みする　再読込み

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときは、画像を受信し直します。

- 表示・効果設定で、画像を「表示しない」に設定しているときは、再読込みを行っても画像は受信できません。
- 画像によっては再読込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 メッセージR/Fを選択する

- は未受信の画像データがあることを示します。

3 Menu 1 を押す

画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する　メッセージ保護

- 最大保護件数☛P33
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

例　1件保護するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 保護するメッセージR/FにカーソルをあわせてMenu 2 1 を押す

メッセージR/Fが保護され、マークが から に変わります。

- 解除するとき：解除するメッセージR/FにカーソルをあわせてMenu 2 3 を押す

■ **複数保護するとき**

① **Menu 2 2 を押し、メッセージR/Fを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。ただし、保護されていないメッセージR/Fが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② **を押す**

■ **複数解除するとき**

① **Menu 2 4 を押し、メッセージR/Fを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ **全件解除するとき**

① **Menu 2 5 を押す**

おしらせ

● データ一括削除を行うと保護したメッセージR/Fもすべて削除されます。

● メッセージR/F詳細画面ではMenu を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する　　メッセージ削除

・保護されているメッセージR/Fは削除できません。全件削除でも保護されているメッセージR/Fは削除されずに残ります。保護を解除してから削除してください。

例 メッセージR/Fを1件削除するとき

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 削除するメッセージR/Fにカーソルを合わせて Menu 1 1 を押す

■ **既読のメッセージR/Fのみを削除するとき**

① Menu 1 2 を押す

■ **複数削除するとき**

① Menu 1 3 を押し、メッセージR/Fを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ **全件削除するとき**

① Menu 1 4 を押し、端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

おしらせ

● メッセージR/F詳細画面では Menu を押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ　　表示種別

・すべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。

1 メッセージR/F一覧を表示する

2 Menu 3 を押す

3 1 ～ 4 を押す

おしらせ

● メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
●「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

証明書を表示して有効／無効を設定する　証明書表示／使用設定

お買い上げ時　CA 証明書 1 ～ 9、それ以外は FOMA カードの設定に従う

証明書を表示する

・ユーザ証明書はダウンロードすると表示されます。
・青色の FOMA カードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 待受画面で [メニュー][8][4] を押す

2 表示する証明書を選択する

おしらせ

● CA 証明書　… 認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
● ドコモ証明書　… FirstPass センターや FirstPass 対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめ緑色の FOMA カード内に保存されています。
● ユーザ証明書　… FirstPass 対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPass センターで発行申請を行い、ダウンロードすると緑色の FOMA カード内に保存されます。
● 証明書の表示内容
　証明書の所有者
　　CN=　…(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
　　O=　…(Organization) 会社名など
　　C=　…(Country) 国名
　証明書の発行者
　　CN=　…(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
　　OU=　…(Organization Unit) 会社の部署など
　　O=　…(Organization) 会社名など
　有効期限
　シリアル番号
● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 待受画面で [メニュー][8][4] を押す

2 設定する証明書にカーソルを合わせて [Menu] を押す
・押すたびに有効／無効が切り替わります。

3 [辞書] を押す
チェックされている証明書が有効となって設定されます。

FirstPass を設定する　ユーザ証明書操作

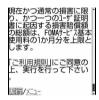
FirstPass センターに接続して、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードします。
・青色の FOMA カードではご利用になれません。
・FirstPass センターに接続する場合、日付・時刻の設定を行ってください。
・FirstPass センターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
・FirstPass センターに接続中は、メールの送受信やメッセージ R/F の受信はできません。

つづく

1 待受画面で 8 5 を押す

2 「次へ」を選択し、「1 証明書発行」を選択する

■ 発行された証明書を失効させるとき

①「次へ」を選択し、「3 その他」を選択する
②「1 証明書失効」を選択し、「はい」を選択する
③ PIN2 コードを入力し、「実行」を選択する
④「次へ」を選択する
⑤「実行」を選択する

3 「実行」を選択する

4 PIN2 コードを入力する

・60 秒以内に PIN2 コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

5 「ダウンロード」を選択し、「実行」を選択する

・ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☛P209

おしらせ

● FirstPass センターに接続した際のパケット通信料は無料です。

● ユーザ証明書は、お客様が FOMA 契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は緑色の FOMA カードに保存され、FirstPass に対応しているサイトで利用できます。

● 添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末をパソコンに接続して、FirstPass を使った通信ができます。詳しくは CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」(PDF 形式)をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン 6.0 以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。
- PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMA カードの紛失、盗難にあった場合などは、ドコモショップなど窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

Menu 286

証明書発行接続先を変更する 証明書発行接続先設定

FirstPass以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時 ドコモ

1 待受画面で [メニュー][8][6] を押す

2 接続先欄を選択し、[2] を押す

・FirstPassに接続する設定に戻すときは、[1] を押し、操作5に進みます。

3 ユーザ設定接続先欄を選択し、接続先を入力する（半角英数字99文字まで）

4 ユーザ設定初期画面URL欄を選択し、URLを入力する（半角英数字100文字まで）

5 [メール] を押す

メール

ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの設定を行う

チャットメールを使う

SMS（ショートメッセージ）を使う

FOMA 端末のメール機能について

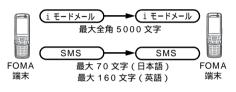
FOMA 端末では、ｉ モードメール、SMS の 2 種類のメール機能を利用できます。
- ｉ モードメールをご利用いただくには、ｉ モードのご契約が必要です。
- SMS は、ｉ モードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

メール機能の送受信について

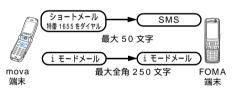
FOMA 端末→ FOMA 端末

ｉ モードメール、SMS のどちらも使用できます。

FOMA 端末→ mova 端末

FOMA 端末から mova 端末へのメッセージ送信には ｉ モードメールを使用します。
※ FOMA 端末から mova 端末へ SMS を送信することはできません。

※：mova 端末の設定により異なります。

mova 端末→ FOMA 端末

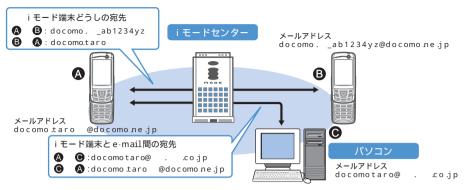
mova端末から送られた ｉ モードメールとショートメールを受信できます。ショートメールは SMS として受信します。

※ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。
- FOMA 端末からショートメールを送信することはできません。特番 1655 をダイヤルしても送信することはできません。
- FOMA 端末では、mova 端末から送られてきたショートメールを SMS として受信します。

ｉ モードメールについて

ｉ モードを契約するだけで、ｉ モード端末（mova 含む）間はもちろん、インターネットを経由して e-mail とのメールのやりとりができます。
ｉ モードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規に ｉ モードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉ モード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)abc1234 ～ 789xyz@docomo.ne.jp
- **お客様のメールアドレスの確認方法（詳細は ｉ モードご契約時にお渡しいたします『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。）**
  ｉMenu → 8 オプション設定→ 1 メール設定→アドレス確認

- ｉ モード端末（mova 含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。

・パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

・メールの送信方法は☛P221　・メールの受信方法は☛P236

■ **メール選択受信**
ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☛P238

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法
ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→【各設定】

・詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ **メールアドレス変更【アドレス変更】**
たとえば「docomo.ΔΔ_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ **シークレットコード登録【メールアドレス設定（その他設定）→シークレットコード登録】**
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて4桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ **メールアドレスリセット【メールアドレス設定（その他設定）→アドレスリセット】**
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ **メールアドレス確認【アドレス確認】**
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ **メール受信／拒否設定**
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① **ドメイン指定受信【メール受信設定（受信／拒否設定）→ドメイン指定受信】**
・au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
・また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② **アドレス指定受信／拒否**
【メール受信設定（受信／拒否設定）→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】
・受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ｉモードメールのみ受信／拒否
【メール受信設定（受信／拒否設定）→ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】
・ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。
④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
【メール受信設定（その他設定）→ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】
・1日に1台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。
⑤未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】
・受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています）。
※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。
⑥SMS拒否【メール受信設定（その他設定）→SMS拒否設定／確認】
・すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないよう設定したり、設定の状況を確認することができます。

■ メール設定状況確認【設定状況確認】
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ メールサイズ制限【メールサイズ制限】
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ メール機能停止【メール機能停止】
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがな、絵文字など）	半角文字（英字、数字、カタカナなど）
題名	15文字	30文字
メールアドレス	－	50文字
本文	5000文字	10000文字

おしらせ
● ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
● 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
● movaサービスへｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
● 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
● ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉ モードセンターに届いたメールは、すぐにお客様の ｉ モード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信設定「ON」時は、メールは ｉ モードセンターに保管されます。
ｉ モードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大 3 回再送されます。その他、設定により、ｉ モードセンターに保管されている ｉ モードメールを選択して受信できます。

おしらせ

● ｉ モードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
ｉ モードメール	207 ～ 1000 件 (約 2M バイトまで)	720 時間

● 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
● 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉ モードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このとき ｉ モード端末には またはが表示されます。
なお、メール選択受信設定「ON」時は、保管件数を超えても または は表示されません。
● ｉ モードセンターに保管されているメールは、ｉ モード問合せやメール選択受信により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージ R/F も合わせて受信できます。
● ｉ モード端末でメールを受信すると ｉ モードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールは ｉ モード端末に保存されます。
● 極端に容量の大きいメールは ｉ モードセンターで受け付けないことがあります。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

・メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉ モードメールに添付して送受信できます（メール添付や FOMA 端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません）。

・送信するには☛P229　・受信したときは☛P244

・画像添付メール

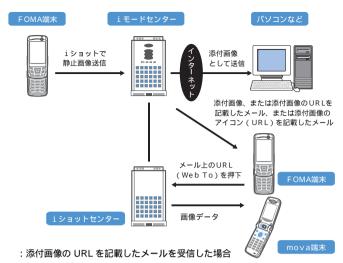
サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルを、ｉ モードメールに添付して送受信できます（メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません）。

・送信するには☛P229　・受信したときは☛P241

■ ｉ ショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用 URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。
mova 端末へ送信できるメール本文は最大全角 184 文字（369 バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

・送信するには☛P229　・受信したときは☛P241

※：添付画像の URL を記載したメールを受信した場合

・ｉ ショットセンターでは最大 10 日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
・ｉ モード端末が、送信できるのは最大 500K バイトまでの静止画となります。また、20K バイトより大きい画像を添付して ｉ モード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ ｉ モーションメール

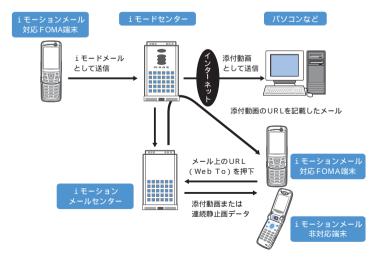
ｉ モーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画を ｉ モーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・ｉ モーションメールを送信するには☛P229　・ｉ モーションメールを受信したときは☛P242

・サービスのしくみ

ｉ モーションメールに添付された動画ファイルは ｉ モーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。

ｉ モーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されている URL を押下して動画を取得することができます。

ｉ モーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉ モーションが連続静止画に変換され、URL の記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されている URL を押下し、連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像を保管しています。最大保管期間を超えた場合は自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が、受信できるのは最大500Kバイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLの記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法☛P223　• デコメール送信方法☛P223
- 対応機種･･･90Xiシリーズ、70Xiシリーズ、F880iES※
  ※：F880iESは受信のみ対応

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大5件）に送信できます。☛P222

- 通信料は、1通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTO、CC、BCCから選択できます。
ただし、TOが1件もない場合は、メールを送信できません。☛P222

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA端末間で文字メッセージをやりとりできます。

- 送信方法☛P272　• 受信方法☛P274　• 問合せ方法☛P275

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者とお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P275）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※

※：半角の英数字と記号（。｢｣､･゛゜を除く）を送信できます。
　記号（｜＾{}[]˜¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

おしらせ

- SMSでは題名は送信できません。
- SMSの本文に半角カタカナ、絵文字を使用すると、受信側で正しく表示されない場合があります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないか圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

メール

おしらせ

- SMS センターでの SMS の最大保管期間は 72 時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P275
- 保管期間が超過した SMS は自動的に削除されます。
- SMS センターに保管されている SMS は、SMS 問合せにより受信できます。☛P275
- FOMA 端末で SMS を受信すると、SMS センターに保管されていた SMS は削除されます。受信した SMS は FOMA 端末に保存されます。

こんなこともできます

■ **送達通知**

送信した SMS が相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。☛P275

■ **FOMA カードへの保存**

受信した SMS や送信した SMS を FOMA カードに保存できます。☛P276

Menu 1

メールメニューを表示する　メールメニュー

メールメニューには FOMA 端末に用意されているメールの機能が表示されます。機能によっては、ショートカットが用意されているものがあります。

1 待受画面で ✉ を押す

メニュー	機　能	参照先
受信メール	受信メールを表示します。	P246
新規メール	i モードメールを新規に作成して送信します。	P221
チャットメール	相手と会話をするようにメールをやりとりします。	P266
未送信メール	送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールを表示します。	P246
送信メール	送信済みのメールを表示します。	P246
問合せ	i モードセンターに i モードメールやメッセージ R/F があるかどうか、または SMS センターに SMS があるかどうかを問い合わせます。また、問い合わせ内容の設定とメール選択受信の設定をします。	P239、P275
SMS	SMS を新規に作成して送信します。また、SMS の各種設定や FOMA カード（UIM）内の送受信 SMS を表示します。	P272
テンプレート読込み	テンプレートの内容を表示してメールを作成します。	P233
メール設定	メールに関する各種機能の設定をします。	P257

ｉモードメールを作成して送信する

1 待受画面で ✉ を１秒以上押し、✉To 欄を選択する

メール作成画面

本文に半角で入力できる残りの文字数

2「直接入力」を選択し、宛先を入力する（半角 50 文字まで）

- ｉモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、宛先によく使う「@」「．」「-」などの記号は、英字入力モード時に 1 を押すと入力できます。また、「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などは、英字入力モード時に ＊ を押すと入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のｉモード端末の電話番号に続けて 4 桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する

② 電話帳を検索してメールアドレスを選択する

■ メールグループから入力するとき

メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。

①「メールグループ」を選択する

② 宛先に追加するメールグループを選択する

- 既に入力されている宛先との合計が 5 件を超えるメールグループは追加できません。
- Menu を押すとメールグループの詳細を確認できます。

3 Sub 欄を選択し、題名を入力する（全角 15 文字（半角 30 文字）まで）

4 Text を選択し、本文を入力する（全角 5000 文字（半角 10000 文字）まで）

- ファイルを添付しているときは入力できる文字数が減ります。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。
- 空白も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾できます。☛P223

■ 署名を挿入するとき

① Menu 5 を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。☛P260
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

5 [送信] を押す

- 接続中画面で [終話] を押すと接続が中止されます。送信中画面で [送信] を押すと送信が中止されます。ただし、操作のタイミングによっては送信されることがあります。

メール

おしらせ

- メールアドレスが登録されている電話帳データにカーソルを合わせて［メール］を押しても、ｉモードメールを作成できます。
- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。
- 10000バイトを超えるメールが他のアプリケーションとの競合により自動保存される場合は、作成中のメールを一部保存できない場合があります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- メールの本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角の空白に置き換わります。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。
- 一部の絵文字は、相手のｉモード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」からｉモードメールを編集・送信できます。
- 送信が正常に終了したときは、ｉモードメールは「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合に宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成できません。「未送信メール」から不要なｉモードメール、SMSを削除してください。☛P255
- 宛先のTO、CC、BCCの設定は変更できます。☛P223
- テンプレートを利用して手早くメールを作成できます。☛P232
- メモリ番号0～99の電話帳に登録されている相手には簡単な操作でｉモードメールを作成・送信できます（クイックメール）。

宛先を追加する　宛先追加

ｉモードメールは最大5人の相手に同時に送信（同報送信）できます。
- 宛先には［To］（TO）、［Cc］（CC）、［Bcc］（BCC）の3種類があります。
  - ［To］欄には、直接の送信相手の宛先を入力します。
  - ［Cc］欄には、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先を追加します。
  - ［Bcc］欄には、他の送信相手に知らせたくない宛先を追加します。［Bcc］欄に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。
- ［To］欄に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせて［メール］を押す

宛先欄が追加されます。
- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

■ **CC、BCCを追加するとき**

① ［Menu］［6］を押す
② 入力方法を選択する

③「CC」または「BCC」を選択し、メールアドレスを入力する
- 「TO」も選択できます。
- 「メールグループ」を選択した場合は、あらかじめメールグループに設定してあるTO、CC、BCCで表示されます。

■ 宛先のTO、CC、BCCを変更するとき
① 変更する宛先にカーソルを合わせて Menu 8 を押す
② 変更する宛先種別を選択する

■ 追加した宛先欄を削除するとき
① 削除する宛先欄にカーソルを合わせて Menu 7 を押す
②「はい」を選択する
- 宛先欄が1件のときは入力されているアドレスのみが削除されます。

2 追加された宛先欄に宛先を入力して送信する
- 操作方法は宛先欄が1件の場合と同じです。

おしらせ
- To 欄と Cc 欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
- 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。 を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する

デコメール

iモードメールの本文に、文字サイズや文字色、背景色の変更や、撮影した静止画や画像の挿入などの装飾（デコレーション）を行い、デコメールを作成できます。
デコメールの作成方法には、デコレーションを指定してから文字を入力する方法（☛P224）と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法（☛P228）があります。作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認できます。

■ 装飾例

❶ 文字色を変更する

❷ 文字サイズを変更する

❸ 画像を挿入する

❹ 文字を点滅させる

❺ 文字をテロップにする

❻ 文字をスウィングさせる

❼ 文字の表示位置を変更する

❽ ライン（罫線）を挿入する

❾ 背景色を変更する

■ デコメール作成の流れ

ステップ 1　メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉモードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ2　装飾した文字や画像を入力する

[✉] を押し、装飾方法を選択して文字を入力します。

ステップ 2　文字を入力して装飾する

装飾する開始位置で [ｱ/a] を押し、終了位置で [●] を押します。装飾方法を選択します。

・編集中に [Menu][8] を押すと、装飾を確認できます。

ステップ 3　装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

おしらせ

● 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[クリア] を 1 秒以上押すと、装飾データも含めて文字が削除されます。
● 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間がたつと自動的に停止します。
● パソコンなど、デコメール対応 FOMA 端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で [Text] を選択する

2 [✉] を押す

3 装飾を選択し、文字を入力する

装飾選択画面

装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて [●] を押すと、その装飾が選択状態になります。複数のマークを選択状態にすれば、複数の装飾を同時に設定できます。ただし、「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

- 複数の装飾を連続して設定するときは、装飾選択画面でマークにカーソルを合わせて [Menu] を押します。
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力するときは、入力位置にカーソルを合わせて [✉] を押し、[ｱ/a] を押します。解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「文字位置（空行時のみ）」「テロップ（空行時のみ）」「スウィング（空行時のみ）」です。

■文字色　：文字またはライン（罫線）挿入時の色を変更します。
文字サイズ：文字サイズを変更します。
画像挿入　：画像を挿入します。
点滅　：文字を点滅して表示します。
テロップ　：文字を流して表示（テロップ表示）します。
スウィング　：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。
文字位置　：文字および画像挿入時の表示位置を変更します。
ライン挿入　：ライン（罫線）を挿入します。
背景色　：本文の背景色を変更します。
元に戻す　：1 つ前の状態に戻します。

メール

4 [Menu][8] を押し、装飾を確認する

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

5 確認が終わったら [決定] を押す

■ 装飾を変更するとき

① [Menu][1][8] を押し、開始位置にカーソルを合わせて [決定] を押す

- 以降の操作は「範囲を指定してから文字を装飾する」の操作 3 以降と同じです。☛P228

■ 装飾をすべて解除するとき

① [Menu][1][9] を押す

6 [決定] を押す

7 [送信] を押す

- 送信せずにテンプレートとして登録できます。☛P233

おしらせ

● メール本文の入力画面で [Menu] を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

デコメール装飾選択画面の操作

- （　）内の装飾例番号は P223（装飾例）の番号です。

■ 文字色を変更するとき（装飾例 ❶）

① ■を選択する

② 文字色を選択して文字を入力する

- 標準の 20 色または「その他の色」の 64 色から選択できます。
- 絵文字の文字色も変更されます。範囲を選択して文字色を「指定なし」にすると元の色に戻ります。☛P228

■ 文字のサイズを変更するとき（装飾例 ❷）

① T（または T T）を選択する

② 文字サイズを選択して文字を入力する

■ 画像を挿入するとき（装飾例❸）

① [画像アイコン] を選択する

②「本体」を選択して、フォルダ、画像の順に選択する

- miniSD メモリーカード内の画像を挿入するときは、「miniSD カード」を選択して、[1] または [2] を押し、フォルダ、画像の順に選択します。
- 静止画を撮影して挿入するときは、「静止画を撮影」を選択して、静止画を撮影します。静止画のサイズは自動的に電話帳用（96 × 72）に設定されます。

文字位置（[左寄せ] [センタリング] [右寄せ]）で指定されている位置に画像が挿入されます。

- 動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量を超える画像は選択できません。

「デコメールピクチャ」の「青空」を挿入したとき

■ 文字を点滅させるとき（装飾例❹）

① [点滅アイコン] を選択して文字を入力する

入力した文字が点滅します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）

① [テロップアイコン] を選択して文字を入力する

- [開始マーク] と [終了マーク] の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）

① [スウィングアイコン] を選択して文字を入力する

- [開始マーク] と [終了マーク] の間に文字を入力します。

■ 文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）

① [左寄せ]（または [センタリング] [右寄せ]）を選択する

② 文字の表示位置を選択して文字を入力する

- カーソルがある行に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。

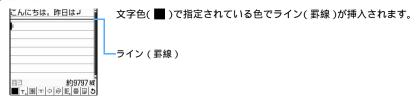
「右寄せ」にしたとき

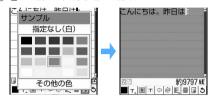
メール

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ ライン（罫線）を挿入するとき（装飾例❽）

① ≣ を選択する

文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更するとき（装飾例❾）

① を選択し、背景色を選択する

・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

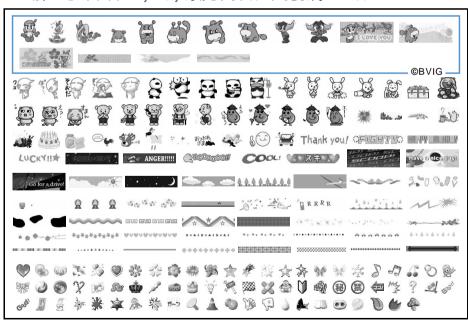
■ 1つ前の状態に戻すとき

① ↺ を選択する

直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■「デコメールピクチャ」フォルダに保存されている画像

・お買い上げ時は、「デコメールピクチャ」フォルダに次の画像が保存されています。削除した場合は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

メール

範囲を指定してから文字を装飾する

メール本文に既に入力されている文字や、既に装飾されている文字の、装飾の変更を行います。
- 操作４の（　）内の装飾例番号はＰ223（装飾例）の番号です。
- ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。装飾を指定してから操作してください。

1 **メール作成画面で Text を選択する**

2 **装飾する文字範囲の開始位置にカーソルを合わせて [A/a] を押す**

3 **装飾する文字範囲の終了位置にカーソルを合わせて [決定] を押す**

- カーソルを文頭に移動するとき：Menu を押す
- カーソルを文末に移動するとき：[本] を押す
- 文章すべてを選択するとき：[メール] を押す

4 **装飾方法を選択する**

- 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。☛P224
- **文字色を変更するとき（装飾例❶）：1 を押し、文字色を選択する**
  ライン（罫線）の色も変更されます。
- **文字のサイズを変更するとき（装飾例❷）：2 を押し、1 ～ 3 を押す**
- **文字を点滅させるとき（装飾例❹）：3 1 を押す**
  解除するとき：3 2 を押す
- **文字をテロップにして右から左へ動かすとき（装飾例❺）：4 1 を押す**
  解除するとき：4 2 を押す
- **文字を左右にスウィングさせて動かすとき（装飾例❻）：5 1 を押す**
  解除するとき：5 2 を押す
- **文字の表示位置を変更するとき（装飾例❼）：6 を押し、1 ～ 3 を押す**
  画像の表示位置も変更されます。
- **文字をコピーするとき：7 を押す**
- **文字を切り取るとき：8 を押す**
- **1つ前の状態に戻すとき：9 を押す**
  直前に行った装飾または文字入力が解除されます。
- **続けて文字を装飾するとき：Menu を押し、操作4を繰り返す**

5 **[決定] を押して範囲指定を解除し、[決定] を押す**

6 **[本] を押す**
- デコメールを送信せずにテンプレートとして登録できます。☛P233

おしらせ

- メール本文の入力画面で Menu を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
- メール本文の入力画面で Menu 8 を押すと、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。

テンプレートをダウンロードする

サイトからメールテンプレートをダウンロードします。お買い上げ時は30件のテンプレートが登録されています。

・最大保存件数☛P33

1 サイトを表示中に、ダウンロードするメールテンプレートを選択する

・ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択する

・保存を中止するとき：「戻る」を選択して確認画面で「いいえ」を選択する
・テンプレートの内容を確認するとき：「プレビュー」を選択する

3 を押す

ダウンロードしたメールテンプレートは、「テンプレート読込み」に登録されます。

・お買い上げ時に登録されているテンプレート以外のテンプレートが登録されているときは、そのテンプレートに上書き登録できます。 を押し、上書きするテンプレートを選択します。
・表示名は全角・半角を問わず20文字まで入力できます。
・ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

- サイトからダウンロードしたメールテンプレートは、メール作成画面で編集できます。
- テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、不要なテンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内のテンプレートを削除してください。

ファイルを添付する

添付ファイル

i モードメールに静止画やメロディを添付して送信します。また、FOMA端末で撮影した動画などを添付して、i モーションメールとして送信できます。

・添付可能なファイルは次のとおりです。

項　目	メロディ	10000バイト以内の静止画※1（JPEG、GIF）	10000バイトを超え500Kバイトまでの静止画※1	500Kバイトまでの動画／i モーション※2
1件のメールに添付可能な最大件数	10件※3		1件	
添付ファイルの条件	メロディ（MFi）は添付不可	パラパラマンガ、連写画像は添付不可	静止画（JPEG）のみ添付可能	再生制限が設定されているものは添付不可※4

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URL が記載されたメールまたはメールの添付ファイルとして受信します。
※2：受信側の機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。パソコンで動画／ｉモーションを再生するには☛P490
※3：静止画とメロディを合計最大 10 件、メール本文を含め最大 10000 バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。
※4：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

- 本文（添付したメロディ・静止画を含む）の残りのデータ量が全角 100 文字（半角 200 文字）（デコメールでは全角 200 文字（半角 400 文字））分未満の場合は、動画／ｉモーション、10000 バイトを超える静止画を添付できません。
- メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMA カード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- mova 端末に静止画（JPEG 形式の静止画 1 枚）を添付して送信すると、相手の端末は URL が記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。
- 10000 バイトを超える GIF 形式の静止画はメールに添付できません。
- ｉモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大 500K バイトまで添付可能です。また、QCIF（176 × 144）、Sub-QCIF（128 × 96）以外の動画は容量に関わらず添付できません。
- サウンドレコーダーで録音したデータはｉモーションとして保存され、メールに添付できます。
- メロディを送信する場合、受信側が FOMA D901i、D901iS 以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

1 メール作成画面で［添付］欄を選択する

2 添付するファイルの種類を選択し、ファイルを選択する

■ 静止画を添付するとき

①「イメージ」を選択する

②「本体」を選択し、フォルダを選択する

- miniSD メモリーカード内の静止画を選択するときは「miniSD カード」を選択し、［1］または［2］を押し、フォルダを選択します。
- 静止画を撮影して添付するときは「静止画を撮影」を選択して静止画を撮影し、操作 3 に進みます。撮影する静止画のサイズは自動的に待受用（240 × 320）に設定されます。
- 静止画にカーソルを合わせて［□］を押すと静止画を表示できます。一覧に戻るには［クリア］を押します。
- 添付できない静止画は表示されません

③ 静止画を選択する

メール作成画面の添付欄に、選択した静止画のファイル名が表示されます。
添付する静止画は画像サイズ、ファイルサイズの順にチェックされます。

- 画像サイズが QVGA（320 × 240）を超える JPEG 形式の静止画の場合は、待受サイズ（QVGA）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が 10000 バイトを超えていた場合は、変換した画像をデータ BOX に保存するかどうかの確認画面が表示されます。
  データ BOX に保存しない場合、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、変換した画像は保存されません。このため、メールを「未送信メール」に保存して編集する場合、画像の添付は解除されています。また、「送信メール」のメールを表示する場合は、添付した画像は表示できません。
- ファイルサイズが 500K バイトを超える JPEG 形式の静止画の場合は、メールに添付可能なサイズに変換され、データ BOX に保存するかどうかの確認画面が表示されます。このとき、処理に時間がかかることがあります。
- miniSD メモリーカードの場合、10000 バイトを超え 500K バイトを超えない静止画を選択すると、FOMA 端末へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ 動画／ｉモーションを添付するとき（ｉ モーションメール）

①「ｉ モーション」を選択する

②「本体」を選択し、フォルダを選択する

- miniSD メモリーカード内の動画／ｉモーションを選択するときは「miniSD カード」を選択し、フォルダを選択します。
- 動画を撮影して添付するときは「動画を撮影」を選択し、動画を撮影し、操作 3 に進みます。撮影する動画のサイズは自動的に QCIF（176 × 144）に設定されます。
- 動画／ｉモーションにカーソルを合わせて [□] を押すと動画／ｉモーションを再生できます。一覧に戻るには [クリア] を押します。
- 本体の場合、添付できない動画／ｉモーションは表示されません。

③ 動画／ ｉ モーションを選択する

メール作成画面の添付欄に選択した動画／ｉモーションのファイル名が表示されます。

- miniSD メモリーカードの場合、添付できない動画／ｉモーションを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。
- miniSDメモリーカードの場合、10000バイト以内の動画／ｉモーションを選択すると、FOMA端末へコピーするかどうかの確認画面が表示されます。

■ メロディを添付するとき

①「メロディ」を選択する

②「本体」を選択し、フォルダを選択する

- miniSD メモリーカード内のメロディを選択するときは「miniSD カード」を選択しフォルダを選択します。
- メロディにカーソルを合わせて [□] を押すとメロディを再生できます。一覧に戻るには [クリア] を押します。
- 本体の場合、添付できないメロディは表示されません。

③ メロディを選択する

メール作成画面の添付欄に選択したメロディのファイル名が表示されます。

- miniSD メモリーカードの場合、添付できないメロディを選択すると、そのデータは選択できない旨のメッセージが表示されます。

3 [□] を押す

おしらせ

- 10000 バイトを超える静止画を QVGA サイズ（240 × 320）に縮小できます。☞P318
  QVGA サイズは待受画面のサイズであり、ｉ モード端末に送信するのに適したサイズです。
- 10000 バイトを超える JPEG 形式の静止画を添付したメールを ｉ モード端末に送信した場合は、ｉ ショットセンターで ｉ モード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。
- メロディや GIF 形式の静止画を添付したメールを mova 端末に送信した場合は、添付ファイルは削除されて相手に送信されます。
- マナーモード中にメロディを再生しようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディの動作設定で設定されている音量で再生されます。

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示する

2 解除する添付欄にカーソルを合わせて [✉] を押す

■ 添付ファイルを変更するとき

① 変更する添付欄にカーソルを合わせて [□] を押す

② ファイルを添付する ☞P229

3「はい」を選択する

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめ i モードメールの内容を登録しておく機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単に i モードメールを作成できます。また、デコメールテンプレートは、レイアウトや装飾が既に決められているデコメール用の雛形です。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信できます。デコメールテンプレートとメールテンプレートは、同じ操作で読み込みます。

• お買い上げ時は次のデコメールテンプレートが登録されています。

I Love You ©BVIG / Thank You! ©BVIG / How Are You? ©BVIG / ありがとう / おめでとう！ / 誕生日おめでとう

元気？ / 頑張れ / 調子はどう？ / おつかれさま / ラッキー！ / 幸せ気分

好きです… / お願い / 電話します / お茶しよ～ / たまには / 旅にでようよ

遊ぼう / ドライブ / おはよ！ / いい一日を / おやすみ / 反省してます

さみしい / アッタマきた！ / 忙しい忙しい / モー大変 / 飲んでやる！ / ツマンナーイ

• 作成したテンプレートを登録できます。
• SMS には使用できません。

メール作成時にテンプレートを使う　　テンプレート読込

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。

• ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。

1 メール作成画面で Menu 5 1 を押す

2 読み込むテンプレートを選択する

：10000 バイト以内の静止画あり　　：メロディあり
：10000 バイト以内の静止画＋メロディあり

- 入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」または「すべて読込み」を選択し、テンプレートを選択するとメールは上書きされます。読み込みを中止するときは クリア を押してください。「本文のみ読込み」を選択すると、メール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。
- 1 件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

3 メールを編集して送信する

Menu 18

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

1 待受画面で 8 を押す

2 表示するテンプレートを選択する

- 詳細画面で を押すと前後のテンプレートを表示できます。

3 を押す

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

4 メールを編集して送信する

おしらせ

- 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されているテンプレートを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは クリア を押します。
- テンプレート一覧で詳細情報を確認・変更する場合は Menu を押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。

テンプレートの内容を登録する　テンプレート登録

作成したメールまたは送受信したメールをテンプレートとして登録できます。
- 最大保存件数 ☛P33
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存できます。
- 動画／ｉモーション、10000 バイトを超える静止画はテンプレートに登録できません。
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと登録できません。

1 メール作成画面で Menu 5 2 を押し、「はい」を選択する

2 📖 を押す

- 登録済みのテンプレートに上書きするときは ✉ を押し、上書きするテンプレートを選択して「はい」を選択します。お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。
- 表示名は全角・半角を問わず20文字まで入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

● メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
● テンプレートを登録するときに日付・時刻が設定されていないと、ファイル名は「--------------」になります。また、題名が入力されていないと表示名は「--------------」になります。
● テンプレート保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、不要なテンプレートを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末内のテンプレートを削除してください。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

例 テンプレートを1件削除するとき

1 待受画面で ✉ 8 を押す

2 削除するテンプレートにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ **複数削除するとき**

① Menu 2 2 を押し、テンプレートを選択する
- ⊙ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② 📖 を押す

■ **全件削除するとき**

① Menu 2 3 を押し、端末暗証番号を入力する

3 「はい」を選択する

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する　ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存する

- 最大保存件数 ☛P33

1 メール作成画面で Menu 2 を押す

ｉモードメールが「未送信メール」に保存されます。

- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと保存できません。

送信・保存した i モードメールを編集・送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 待受画面で [✉][4] を押し、フォルダを選択する

- SMS には [SMS] が表示されます。
- 送信メールのときは [✉][5] を押し、フォルダを選択します。

2 編集するメールを選択する

- 送信済みのメールを再編集するときは、編集するメールにカーソルを合わせて [□] を押します。
- スライド編集設定で未送信メール、送信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中に FOMA 端末を開くと編集画面が表示されます。

3 メールを編集して送信する

おしらせ

● 送信メール詳細画面で [□] を押しても編集できます。

● 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている送信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。再生を途中で止めるときは [クリア] を押します。

手早くメールを作成する　クイックメール

FOMA 端末電話帳のメモリ番号 0 ～ 99 の相手には、簡単な操作で i モードメールや SMS を作成できます。

・ i モードメールの場合は1件目のメールアドレス、SMSの場合は1件目の電話番号が宛先となります。

例 メモリ番号 23 のメールアドレスに i モードメールを送信するとき

1 待受画面でメモリ番号（この場合は [2][3]）を押して [✉] を押す

電話帳の 1 件目のメールアドレスが宛先に設定されます。

- メモリ番号の前には 0 を付けずに入力します。0 を付けると、 i モードメールは作成できません。
- i モードメールの作成・送信方法 ☛P221

電話帳の 1 件目のメールアドレス

■ **SMS を作成するとき**

① 待受画面でメモリ番号を押して [✉] を 1 秒以上押す

- SMS の作成画面が表示されます。電話帳の 1 件目の電話番号が宛先に設定されます。
- SMS の作成・送信方法 ☛P272

おしらせ

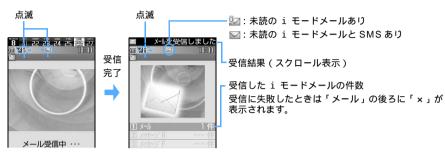
● 入力したメモリ番号の電話帳データにメールアドレス（SMS の場合は電話番号）が登録されていない場合、または電話帳データが登録されていない場合は、宛先または電話帳データが登録されていない旨のメッセージが表示されます。[■] を押すと宛先が設定されていないメール（メッセージ）作成画面が表示されます。

● シークレット属性が設定されている電話帳データの場合は、シークレットモードにしてから操作してください。

ｉモードメールを受信したときは　メール自動受信

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

・最大保存件数☛P33

1 ｉモードメールを受信する

と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。

メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

・メール受信中に を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。

・受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻すときは クリア を押します。

メール

おしらせ

● 受信表示設定を「操作優先」に設定していると、FOMA端末で他の機能を使用中にメールを受信しても受信中画面や受信結果画面は表示されません。☛P266

● プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信したメールが、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダにすべて保存された場合は、受信結果画面は表示されず、メール着信音／着信ランプも動作しません。プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、受信結果のスクロール表示に発信元とタイトルは表示されません。

● 情報表示行設定または着信表示設定でメール･メッセージの受信結果を表示しない設定にしている場合は、受信結果はスクロール表示されません。

● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のｉモードメールがある間は着信ランプが点滅します。

● メール選択受信設定を「ON」に設定すると、メールを自動的に受信せずに、必要なメールだけを選択して受信できます。

● 新しいｉモードメールが届くと、ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやチャットメールも合わせて受信します。

● FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。

● TO、CC、BCCを設定できる相手からのメールを受信した場合、自分がTO、CC、BCCのどれに当てはまるかを確認できます。☛P248

● 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに送信者にエラーメッセージとともに返信されることがあります。

● ｉモードメールではメロディや静止画を添付ファイルとして送受信できます。ｉモードメールに対応していない添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、題名の下に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。

● 受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉモードセンターで削除され、受信できません。添付可能なデータ量☛P229

● 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、オプション設定の「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超える場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。

● FOMA 端末電話帳にメール着信設定のある相手から i モードメールを受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
- メールアドレスが @ 以降のドメイン名を含めて完全に一致すると電話帳の設定に従って動作し、名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録しているときのみ電話帳の設定に従って動作し、名前が表示されます。
- 複数の i モードメールを同時に受信したときは、最後に受信した i モードメールの条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
- シークレット属性を設定した電話帳データに登録されている相手からメールを受信した場合は、シークレットモード中だけ相手の名前が表示され、電話帳データの設定に従って着信音やバイブレータなども動作します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。

● 次の場合に送られてきた i モードメールは i モードセンターに保管され、一定の時間をおいて最大 3 回再送されます。
- 電源が入っていないとき
- テレビ電話中
- セルフモード中
- 受信に失敗したとき
- 圏外のとき
- SMS 受信中
- メール選択受信設定が「ON」のとき
- 赤外線通信中
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき

● 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。

● 未読メールと保護されているメールによって保存領域が満杯で上書きできないときは、i モードメールの受信は中止され、画面には や が表示されます。☛P24

● i モードセンターに i モードメールが残っているときは、 や （☛P24）が表示されます。ただし、i モードメールがあっても表示されない場合もあります。また、i モードセンターの保管件数（☛P217）が満杯になったときは、マークが や に変わります。

● 途中で受信に失敗した場合などに i モードメールを受信し直すには、 i モード問合せまたはメール選択受信設定を行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。

● 自分宛ての i モードメールは送信直後に自動受信できない場合があります。 i モード問合せを行ってください。

新着 i モードメールを表示する

1 メール・メッセージ受信結果画面で 1 を押す

- 受信した i モードメールは「受信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

2 フォルダを選択し、メールを選択する

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P264
- 受信メールの見かた ☛P246
- メール連動型 i アプリ用のフォルダを選択すると、対応する i アプリが起動します。

おしらせ

● プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定している場合）にフォルダ一覧を表示させる場合は、端末暗証番号の入力が必要です。また、プライバシーモード中（i アプリを「認証後に表示」に設定している場合）にメール連動型 i アプリ用のフォルダを選択した場合、端末暗証番号の入力が必要です。

ｉモードメールを選択して受信する　メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

メールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管され、左記のメッセージが表示されます。

- メールを受信してもメール着信音や着信バイブレータは動作しません。
- ✉以外のキーを押すとメッセージが消えます。

おしらせ

- ●オールロック中、PIMロック中には、センターにメールが届いてもメッセージが表示されません。
- ●メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、「ｉモード問合せ」を行うと、すべてのメールを受信します。不要なメールを受信したくない場合は、問い合わせ項目からメールを外してください。☛P261
- ●メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

Menu 163

メールを選択受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールの題名などを確認し、必要なメールだけを選択して受信します。不要なｉモードメールを受信せずに削除することもできます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 待受画面で ✉ 6 3 を押す

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

：静止画ファイル添付あり
：メロディファイル添付あり
：ｉモーション添付あり

2 メールごとに「保留」を選択し、「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択する

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。ｉモード問合せなどで受信できます。
- ｉモードセンターに保管されている全メールを削除するときは「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」を選択し、「決定」を選択する

Menu 161 / Menu 26 / ✉61 / ⬇6

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる　ｉモード問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などにｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。ｉモード問合せ設定でメッセージ R/F も問い合わせをするように設定している場合は、同時にメッセージ R/F もあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合がありますのでご了承ください。

1 待受画面で ✉ ✉ を押す

ｉモード問合せが実行されます。ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていれば受信します。

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。ただし、約 15 秒経過しても元の画面には戻りません。ｉモードメールを表示せずに待受画面に戻すときは クリア を2回押します。

ｉモードメールに返信する　ｉモードメール返信

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信 SMS や、mova 端末（ｉモードをご契約）から送信されたショートメールには返信できません。

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

2 返信するメールにカーソルを合わせて 📖 を押す

引用文字

To 欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、Sub 欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ）、Text 欄には「>」と受信メール本文が入力されています。

- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。

■ **FOMA 端末を閉じているとき**

スライド編集設定で受信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中に FOMA 端末を開くと返信画面が表示されます。

■ **複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信するとき**

① Menu 1 2 を押す

- 発信元と、自分以外のすべての宛先に返信できます。

3 メールを編集して送信する

- 返信すると、次回受信メール一覧画面を表示したときに受信メールのマークが ✉ から ↩、または ✉ から ↩ に変わります。

メール

おしらせ

● 受信メール詳細画面では [ロ] を押します。
● 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
● 受信メール本文中の添付データ（ｉ アプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
● 複数の宛先に送られた受信メールから [✉] を押すか FOMA 端末を開いて返信する場合は、操作する画面により [To] に表示されるメールアドレスが異なります。
受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と自分以外のすべての宛先のメールアドレスが表示されます。

ｉ モードメールを他の宛先に転送する　ｉ モードメール転送

・SMS も同様に転送できます。受信したメールの種別でそれぞれ転送されます。

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

2 転送するメールにカーソルを合わせて [✉] を押す

[Sub] 欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉ モードメールのみ）、[Text] 欄には受信メールの本文が入力されています。
・添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されています。

3 メールを編集して送信する

・転送すると、次回受信メール一覧画面を表示したときに受信メールのマークが から 、または から に変わります。

おしらせ

● 受信メール詳細画面では [Menu] を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
● メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
● 受信メール本文中の添付データ（ｉ アプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
● 受信メールの添付ファイル（静止画、メロディ）のうち、メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
● 10000 バイトを超える静止画が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
● 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、[ロ] を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

添付されている静止画を表示・保存する

画像表示・保存

静止画を表示する

1 待受画面で［✉］［1］を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されているｉモードメールを選択する

受信ﾒｰﾙ 1/ 16
05/08/26 16:54
docomotaro@ΔΔ.□□□.c…
写真
いい写真が撮れたので送ります。
SAKURA.jpg 4.1KB

メール本文の下には、静止画とファイル名、ファイルサイズが表示されます。

［アイコン］：メール添付や FOMA 端末外への出力可
［アイコン］：メール添付や FOMA 端末外への出力不可
［アイコン］：10000バイトを超える静止画添付／取得されていない10000バイトを超える静止画
［アイコン］：取得済みの 10000 バイトを超える静止画
［アイコン］：取得失敗の静止画の添付あり
［アイコン］［アイコン］：静止画データ異常

■ **静止画の表示／非表示を切り替えるとき**
① **ファイル名を選択する**

■ **静止画のタイトルを確認するとき**
① **タイトルを確認する静止画のファイル名にカーソルを合わせて［Menu］［6］［2］を押す**

■ **10000 バイトを超える静止画の URL を表示するとき**
① **URL を表示する静止画のファイル名にカーソルを合わせて［Menu］［6］［3］を押す**
・取得する前に表示するときは、メール本文の「保存期限」にカーソルを合わせて［Menu］［6］［2］を押します。

おしらせ

● 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSD メモリーカード内のメール詳細画面に添付されている静止画からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。
● 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、miniSD メモリーカード内のメール詳細画面からタイトルを確認する場合は、静止画のファイル名にカーソルを合わせて［Menu］を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
● 取得できる静止画は、JPEG 形式または GIF 形式で最大 100K バイトです。
● 静止画が添付されている受信メールを表示したときは、添付された静止画は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文に挿入されている静止画は自動的に表示されますが、添付された静止画は自動的に表示されません。画像を表示するときは静止画のファイル名を選択します。
● デコメールでは、メール詳細画面で本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。
● ｉモードメールに添付された 10000 バイトを超える JPEG 形式の画像は、自動的に取得されます。自動取得された画像は、自動的にマイピクチャの「［ｉ］モード」フォルダに保存されます。メール受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により、自動的に取得できなかった場合は、ｉモードメール中の「保存期限」を選択することにより、画像を取得できます。
● 静止画の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
● 静止画によっては正しく表示できない場合があります。

静止画を保存する

保存した静止画は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。静止画の編集で使用するフレームやスタンプとしても保存できます。

・最大保存件数 ☛P33

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されている i モードメールを選択する

3 保存する静止画のファイル名にカーソルを合わせて [Menu][6][3] を押す

・メール添付や FOMA 端末外への出力を禁止されている静止画（ファイル制限に「あり」と表示）では各項目の内容を変更できません。操作 5 に進みます。

■ **デコメール内に表示されている画像を保存するとき**

① [Menu][4][4] を押し、画像を選択する

4 各項目を選択して設定する

・設定方法は、「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作 3 と同じです。☛P195

5 [📖] を押し、保存先を選択する

・保存した静止画は、待受画面などに設定できます。☛P315

おしらせ

● 送信メールに添付した静止画も同様の操作で保存できます。

● 取得した静止画のファイル名は、36 文字まで保存されます。ファイル名には半角英数字と「.」、「-」、「_」が使用できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

● 横 352 ×縦 288 を超える静止画はフレーム候補にできません。

● 横縦（または縦横）のサイズが 240 × 320 を超える静止画はスタンプ候補にできません。

● 横縦（または縦横）のサイズが GIF 形式は 640 × 480、JPEG 形式は 1728 × 2304 を超える静止画は保存できません。また、JPEG の種類によっては保存できないものもあります。

● 画像の保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い保存可能な空き容量が確保できるまで FOMA 端末内の画像を削除してください。

・削除する前に画像一覧で [📖] を押すと画像を、[Menu] を押すと画像の詳細情報を表示できます。

i モーションメールから i モーションを再生・保存する

発信元がメールに添付した動画／ i モーションは i モーションメールセンターに保管され、i モーションの閲覧のための URL が記載されたメールを受信します。この URL を選択して、i モーションを取得し、再生したり保存できます。保存した i モーションは「i モーション」から再生したり待受画面に設定できます。

・最大保存件数 ☛P33

・取得できる i モーションは、最大 500K バイトです。

・再生時の音量は i モーションの動作設定に従います。

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

2 ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択する

3 ｉモーションのURLを選択し、「はい」を選択する

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの取得・再生が始まります。

ｉモーションメールセンターでのｉモーションの保存期限
ｉモーション閲覧用URL
ｉモーションが添付されていることを示す

・再生画面の操作方法☛P326

4 再生が終了したら「保存」を選択する

・「再生」を選択するとｉモーションが再生されます。
・「情報表示」を選択するとｉモーションの情報が表示されます。

5 [書]を押す

取得したｉモーションはｉモーションの「[]モード」フォルダに保存されます。
・表示名は全角・半角を問わず36文字まで入力できます。

■ 待受画面に設定するとき

・映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが320×240を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。

① [Menu][7]を押して「はい」を選択する
・拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
・ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。
・動画／ｉモーションを待受画面に設定したときの動作☛P117

6 「戻る」を選択する

おしらせ

● 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、ファイル名を選択して、同様に再生できます。ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
● ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉモーションメールセンターに保存されたｉモーション閲覧用URL1件につき50回まで取得できます。50回を超えた場合は、ｉモーションの取得ができなくなります。
● メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☛P490
● miniSDメモリーカード内のメールを表示するとき、動画／ｉモーションが添付されている場合は、動画／ｉモーションを表示できません。
● マナーモード中に音声のある動画／ｉモーションを再生する場合は、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションの動作設定で設定されている音量で再生されます。

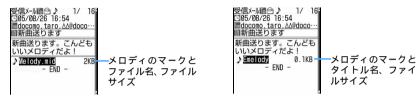
ｉモードメールからメロディを再生・保存する　メロディ再生・保存

・発信元が FOMA D901i、D901iS 以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。

メロディを再生する

1 待受画面で [メール][1] を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されているｉモードメールを選択する

・添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって 2 種類あります。

本文の後に表示（SMF 形式）　本文中に表示（MFi 形式）

♪：メール添付や FOMA 端末外への出力可
♪©：メール添付や FOMA 端末外への出力不可
♪× ♪×©：メロディデータ異常

3 再生するメロディを選択する

・再生を途中で止めるときは [クリア] を押します。

■ **タイトルを確認するとき**

① **メロディにカーソルを合わせて [Menu][6][5] を押す**

・本文中に表示されているメロディのタイトルを確認するとき：メロディにカーソルを合わせて [Menu][6][4] を押す

■ **データを文字として表示するとき（データ表示）**

① **メロディにカーソルを合わせて [Menu][6][5] を押す**

・タイトル表示に戻すとき：データ表示されているメロディの先頭行にカーソルを合わせて [Menu][6][5] を押す
・本文の後に表示されるメロディではこの機能は利用できません。

おしらせ

● データ表示時にメロディを再生・保存するにはメロディの先頭行にカーソルを合わせて [Menu] を押し、「添付ファイル」→「再生」「保存」を選択します。
● MFi 形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、メールの受信日時が表示されます。
● 添付ファイル自動再生設定で添付メロディを「自動再生する」に設定している場合、メロディが添付されている受信メールを表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量で、メロディが自動的に再生されます。
● マナーモード中は、再生を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。
● 送信メール、メールテンプレート、miniSD メモリーカード内のメールの添付メロディも同様に再生できます。

　※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

メロディを保存する

保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定したりできます。
・最大保存件数☛P33

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

2 メロディが添付されている i モードメールを選択する

3 保存するメロディにカーソルを合わせて [Menu][6][2] を押す
・既に設定されている表示名が表示されます。表示名を設定するときはメロディの保存画面で表示名を入力します（全角 25 文字（半角 50 文字）まで）。

4 [📖] を押す
メロディの「i モード」フォルダに保存されます。

おしらせ
● 送信メール詳細画面ではメロディにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
● メロディの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA 端末に保存されているメロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従い FOMA 端末内のメロディを削除してください。
・削除する前にメロディ一覧で [📖] を押すとメロディを再生、[Menu] を押すとメロディの詳細情報を表示できます。

添付ファイルを削除する

添付ファイル削除

受信メールに添付されている静止画、添付メロディを削除します。
・本文中に表示されるメロディ、 i アプリが起動できるリンク項目は削除できません。
・10000 バイトを超える静止画は、マイピクチャの「i モード」から削除してください。

例 添付されている静止画を削除するとき

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

2 静止画が添付されている i モードメールを選択する

3 削除する静止画のファイル名にカーソルを合わせて [Menu][6][4] を押す
・添付ファイルを一括削除するときは [Menu][6][5] を押します。

4 「はい」を選択する
・削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

おしらせ
● 10000 バイトを超える静止画を削除した受信メールを表示すると、保存期間が薄く表示され、選択できなくなります。
● 送信メール詳細画面では、静止画、メロディにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「添付ファイル」→「削除」／「一括削除」を選択します。

受信／送信メール BOX のメールを表示する　受信メール BOX ／送信メール BOX

受信／送信／未送信のｉモードメールや SMS を確認できます。受信済みのメールは「受信メール」に、送信済みのメールは「送信メール」に保存されます。また、送信せずに保存したメールや送信に失敗したメールは「未送信メール」に保存されます。

・最大保存件数 ☛P33

例 受信メールを表示するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押す

- 送信メールを表示するとき：✉ 5 を押す
- 未送信メールを表示するとき：✉ 4 を押す

2 フォルダを選択する

受信メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールを表示するときは、フォルダにカーソルを合わせて Menu 1 を押します。

3 表示するメールを選択する

- 電話番号、メールアドレス、URL から、それぞれ電話発信、ｉモードメール送信、サイト表示ができます。電話番号やメールアドレス、URL を電話帳に登録したり、URL をブックマークに登録することもできます。本文などのコピーもできます。☛P255

メール

おしらせ

● パソコンから装飾されたメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があると、パソコン上と同じ動作にならない場合があります。

● メール本文の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ）が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。

● デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては画像やｉモーション取得先 URL の文字色と重なって URL が見えない場合があります。

● プライバシーモード中は、プライバシーモード設定の設定内容により、以下のようになります。
- メールを「認証後に表示」に設定した場合、フォルダ一覧を表示させるには、端末暗証番号の入力が必要です。
- メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合は、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定しているフォルダは表示されません。フォルダ一覧画面で クリア を 1 秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

フォルダ一覧画面の見かた

■ 受信メールフォルダ一覧画面の見かた

受信メールフォルダ一覧画面では、上部に保存領域の使用率とページ番号／総ページ数が表示されます。

(グレー)：メールなし　　(黄)：未読メールなし
：未読メールなし（プライバシー ON）
：未読メールなし（メール連動型 ｉ アプリで利用）
：未読メールあり
：未読メールあり（プライバシー ON）
：未読メールあり（メール連動型 ｉ アプリで利用）

■ 送信／未送信メールフォルダ一覧画面の見かた

送信メールフォルダ一覧画面では、上部にページ番号／総ページ数が表示されます。

(グレー)：メールなし　　(黄)：メールあり
：プライバシー ON　　：メール連動型 ｉ アプリ

おしらせ

● 受信メールは、「受信 BOX」フォルダと最大 45 個のフォルダ（メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダ 5 個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに受信した ｉ モードメールと SMS は「受信 BOX」フォルダに保存されますが、受信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。

● 送信メール、未送信メールはそれぞれ「送信 BOX」フォルダまたは「未送信 BOX」フォルダと、最大 15 個のフォルダ（メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダ 5 個を含む）に分類して保存できます。お買い上げ時の設定では、新たに送信した ｉ モードメールと SMS は、「送信 BOX」フォルダに保存されますが、送信時に自動的に他のフォルダに振り分けることもできます。

● メール連動型 ｉ アプリを削除した場合でも、それに対応したメールフォルダが残っていればメールを表示できます。

● メール連動型 ｉ アプリ用のフォルダを選択すると、それに対応する ｉ アプリが起動します。

受信／送信／未送信メール BOX の一覧画面／詳細画面の見かた

■ 受信メール BOX 一覧画面の見かた

受信メール BOX 一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には受信日時、発信元、題名（SMS では本文の先頭）が表示されます。

① ：未読　　：未読（返信不可）　　：既読　　：既読（返信不可）
　：既読（返信済み）　　：既読（転送済み）　　：保護　　：保護（返信不可）
　：保護（返信済み）　　：保護（転送済み）
※返信済み／転送済みは後から行ったマークが優先表示されます。

メール

② ：10000バイト以内の静止画あり　：メロディあり
：10000バイト以内の静止画＋メロディあり　：10000バイトを超える静止画あり
：添付ファイルあり（1行表示の場合）　：SMS
：ｉアプリToあり
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

※ ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画が添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディが添付されていてもマークは表示されません。

- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信したｉモードメールによっては題名が表示されない場合があります。
- データ異常のSMSには が表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。
- メール一覧の表示形式を選択できます。

■ 送信／未送信メールBOX一覧画面の見かた

送信メールBOX一覧画面では、上部にフォルダ名、ページ番号／総ページ数が表示されます。メールの一覧には送信日時、宛先、題名（SMSでは本文の先頭）が表示されます。

マークなし：未保護　：保護
：10000バイト以内の静止画　：メロディ
：10000バイト以内の静止画＋メロディ　：ｉモーション
：10000バイトを超える静止画
：添付ファイルあり（1行表示の場合）　：SMS
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

※ ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画が添付されているときは、10000バイト以内の静止画やメロディの添付を示すマークは表示されません。

- 送信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信日時の表示には日付・時刻の設定が必要です。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。
- メール一覧の表示形式を選択できます。

■ 受信メール詳細画面の見かた

受信メール詳細画面では、上部に宛先マーク※、状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数が表示されます。

※：TO、CC、BCCのいずれで送られてきたのかを示します（ｉモードメールの場合）。

：受信日時　：発信元
：宛先（TO）　：宛先（CC）（ｉモードメールのみ）
：宛先（BCC）（ｉモードメールのみ）
：題名（SMSは「受信SMS」、「SMS送達通知」、「留守番 着信通知」）
：発信元（返信不可）
：宛先（TO）（返信不可）（ｉモードメールのみ）
：宛先（CC）（返信不可）（ｉモードメールのみ）

- 文字サイズは変更できます。
- データ異常のSMSには が表示されます。

メール

■ 送信済みメール詳細画面の見かた

送信済みメール詳細画面では、上部に状態マーク、添付ファイル／ SMS マーク、メール番号／件数が表示されます。

- ：送信日時　　　　　：宛先（TO）
- ：宛先（CC）（ｉ モードメールのみ）
- ：宛先（BCC）（ｉ モードメールのみ）
- ：題名
- ・文字サイズは変更できます。

おしらせ

● ｉ モードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMS では、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。

- ・メールアドレスが @ 以降のドメイン名を含めて完全に一致すると名前が表示されます。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録しているときや、電話帳に登録している電話番号が一致したときに名前が表示されます。
- ・シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスや電話番号が登録されている場合は、シークレットモードを設定していないと名前は表示されません。
- ・プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、プライバシーモードを解除しないと名前は表示されません。

● SMS および送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信 SMS	SMS 送達通知	留守番着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、受信メール一覧の発信元には名前が表示されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、名前は表示されません。

※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」（非通知に設定して送られてきた場合）
「公衆電話」（公衆電話から送られてきた場合）
「通知不可能」（発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合）

● 添付ファイルや ｉ アプリが起動できるリンク項目がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。

種　類	マーク	参照先
静止画	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：10000 バイトを超える静止画添付／取得されていない 10000 バイトを超える静止画 ：取得済みの 10000 バイトを超える静止画 ：取得失敗の静止画の添付あり ：静止画データ異常	P241
メロディ	：メール添付や FOMA 端末外への出力可 ：メール添付や FOMA 端末外への出力不可 ：メロディデータ異常	P244
ｉ アプリが起動できるリンク項目	α	P298

● 受信メールの既読と未読を変更できます。メールにカーソルを合わせ、未読メールを既読にするときは Menu 5 1、既読メールを未読にするときは Menu 5 2 を押します。

- ・未読メールを複数選択して既読に変更するには Menu 5 3、既読メールを複数選択して未読に変更するには Menu 5 4 を押します。変更するメールを選択して 田 を押し、「はい」を選択します。
- ・フォルダ内の未読メールをすべて既読に変更するには Menu 5 5、フォルダ内の既読メールをすべて未読に変更するには Menu 5 6 を押し、「はい」を選択します。
- ・保護されているメールの未読／既読は変更できません。

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

- 「受信メール」では「受信 BOX」フォルダとメール連動型 i アプリ用のフォルダ以外に最大 40 個作成できます。
- 「送信メール」「未送信メール」では「送信 BOX」フォルダ、「未送信 BOX」フォルダとメール連動型 i アプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大 10 個作成できます。
- 「送信 BOX」フォルダ、「未送信 BOX」フォルダ、「受信 BOX」フォルダとメール連動型 i アプリ用のフォルダのフォルダ設定は変更できません。

例 受信メールのフォルダを追加するとき

1 待受画面で [メール][1] を押す

・送信メール ☛P246　　・未送信メール ☛P246

2 [Menu][1] を押す

■ **フォルダ設定を変更するとき**

① **変更するフォルダにカーソルを合わせて [Menu][3] を押す**

3 各項目を選択して設定する

フォルダ名　：メールのフォルダ名を設定します（全角 8 文字（半角 16 文字）まで）。

プライバシー：「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 [本] を押す

おしらせ

● メール連動型 i アプリをダウンロードすると、「受信メール」「送信メール」「未送信メール」のフォルダ一覧にそのメール連動型 i アプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名にはダウンロードしたメール連動型 i アプリ名が設定され、変更できません。

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信 BOX」フォルダ、「送信 BOX」フォルダ、「未送信 BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してから削除してください。
- メール連動型 i アプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応する i アプリがあるときは削除できません。

例 受信メールのフォルダを削除するとき

1 待受画面で [メール][1] を押す

・送信メール ☛P246　　・未送信メール ☛P246

2 削除するフォルダにカーソルを合わせて [Menu][2] を押す

3 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

メールの件数を確認する　フォルダ内メール件数

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

例　受信メールの保存件数を確認するとき

1　待受画面で [✉] [1] を押す

・送信メール☛P246　・未送信メール☛P246

2　件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて [Menu] [5] を押す

おしらせ

● メール一覧では [Menu] を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

1　メール詳細画面を表示する

・受信メール☛P246　・送信メール☛P246　・メールテンプレート☛P233

2　確認する発信元または宛先を選択する

おしらせ

● 複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細画面で [Menu] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。受信／送信／未送信メール一覧では、アドレスを表示するメールにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元と自分以外の宛先が表示されます（「TO:」「CC:」も表示されます）。

受信／送信メールをフォルダに移動する　メール移動

保存してあるメールを別のフォルダや miniSD メモリーカードに移動／コピーします。

例　受信メールを他のフォルダに 1 件移動するとき

1　待受画面で [✉] [1] を押し、フォルダを選択する

・送信メール☛P246　・未送信メール☛P246

2　移動する受信メールにカーソルを合わせて [Menu] [4] [1] [1] を押す

■ **複数移動するとき**

① [Menu] [4] [1] [2] を押し、メールを選択する

・ [●] で選択／解除が切り替わり、 [Menu] で全選択／全解除できます。

② [📖] を押す

■ **フォルダ内のすべての受信メールを移動するとき**

① [Menu] [4] [1] [3] を押す

■ **miniSD メモリーカードへ 1 件コピーするとき**

① [Menu] [4] [4] [1] を押し、「はい」を選択する

メール

■ miniSD メモリーカードへバックアップ（全件）するとき
① Menu 4 4 2 を押す
② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

3 📷 を押し、移動先フォルダを選択する

4「はい」を選択する

おしらせ

● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを並べ替える　ソート

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。
- 日付順、送信者順（送信メールでは宛先順）、タイトル順が選択できます。
- 「未送信メール」「FOMA 受信 SMS」「FOMA 送信 SMS」の並び順は変更できません。

お買い上げ時　日付順

例 受信メール一覧を並べ替えるとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する
- 送信メール ☛P246

2 Menu 7 4 を押す
■ 送信メールを並べ替えるとき
① Menu 5 を押す

3 1 〜 3 を押す

おしらせ

● 受信メール一覧、送信メール一覧の表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
● 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
● タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、50 音順と一致しない場合があります。
● 同じフォルダ内に SMS が含まれていると、一覧画面では SMS はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順でソートした場合、50 音順と一致しません。

受信／送信メールから電話をかける　電話発信

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。
- 電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。
- シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ電話をかけられます。

例 受信メールから電話をかけるとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する
- 送信メール ☛P246

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

2 電話をかけるメールにカーソルを合わせて Menu 6 を押す

・受信メール／送信メール詳細画面では Menu 7 を押します。

3 カスタム発信の各項目を選択して設定する

4 Menu を押し、「はい」を選択する

受信／送信メールを保護する　メール保護

「受信メール」、「送信メール」、「未送信メール」を保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。

・最大保護件数 ☛P33

・未読メールは保護できません。

例 受信メールを 1 件保護するとき

1 待受画面で ✉ 1 を押し、フォルダを選択する

・送信メール ☛P246　・未送信メール ☛P246

2 保護するメールにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

メールが保護され、マークが次のいずれかに変わります。

受信メール　　　　：(既読)、(返信不可)、(返信済み)、(転送済み)

送信／未送信メール：

・解除するとき：解除するメールにカーソルを合わせて Menu 3 4 を押す

■ 複数保護するとき

① Menu 3 2 を押し、メールを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。ただし、保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

② を押す

■ フォルダ内の受信メールを全件保護するとき

① Menu 3 3 を押す

■ 複数解除するとき

① Menu 3 5 を押し、メールを選択する

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② を押す

■ 全件解除するとき

① Menu 3 6 を押す

おしらせ

● データ一括削除を行うと保護したメールもすべて削除されます。

● メール詳細画面では Menu を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

● 送信／未送信メール一覧では Menu を押し、「保護」→「1 件保護」「複数保護」「全件保護」／「1 件保護解除」「複数保護解除」「全件保護解除」を選択します。

● 全件保護の途中で最大保護件数を超える場合は、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

受信／送信メールを削除する

メール削除

「受信メール」、「送信メール」、「未送信メール」から不要なメールを削除します。
・保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除をしてから削除してください。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	全メール（未読も削除）	○	×	×
フォルダ内 - 既読	フォルダ内の既読メール	○	○	×
フォルダ内 - 全件	フォルダ内の全メール（未読も削除）	○	○	×
フォルダ内 -7 日経過	フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読も削除）	○	○	×
フォルダ内 -14 日経過		○	○	×
フォルダ内 -30 日経過		○	○	×
1 件削除	選択したメール 1 件	×	○	○
複数削除	選択した複数メール	×	○	×

1 待受画面で [メール][1] を押す

■ **全件削除するとき**

① **[Menu][4][6] を押し、端末暗証番号を入力して操作 4 に進む**

2 フォルダを選択して [Menu][2] を押す

・メールを 1 件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせて [Menu][2] を押します。

3 [1] 〜 [7] を押す

■ **複数削除するとき**

① **[2] を押し、メールを選択する**

・[決定] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② **[電話帳] を押す**

■ **フォルダ内の受信メールを全件削除するとき**

① **[4] を押し、端末暗証番号を入力する**

4 「はい」を選択する

おしらせ

● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	削除されるメール	実行する画面		
		フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	全メール	○	×	×
フォルダ内一全件	フォルダ内の全メール	○	×	×
全件削除	フォルダ内の全メール	×	○	×
1 件削除	選択したメール 1 件	×	○	○ （送信メールのみ）
複数削除	選択した複数メール	×	○	×

例 送信メールを 1 件削除するとき

1 待受画面で [✉][5] を押す

■ **全件削除するとき**

① [Menu][4][2] を押し、端末暗証番号を入力して操作 4 に進む

2 フォルダを選択する

3 削除する送信メールにカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押す

■ **複数削除するとき**

① [Menu][2][2] を押し、メールを選択する

• [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [📖] を押す

■ **フォルダ内の送信メールを全件削除するとき**

① [Menu][2][3] を押し、端末暗証番号を入力する

4 「はい」を選択する

おしらせ

● 未送信メールも同様の操作で削除できます。
● フォルダ一覧では [Menu] を押し、「メール削除」を選択します。
● メール詳細画面では [Menu] を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URL があるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり（Phone To ／ AV Phone To）、i モードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、表示中の i モードメール、SMS の本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

• 操作方法はサイトからの Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To と同じです。
• パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のｉモードメール、SMS、メールテンプレート中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。
- FOMA カード内の SMS の場合、本文コピーと宛先コピー、送信者コピーができます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例 受信メール詳細画面からコピーするとき

1 コピーする項目を含む受信メール詳細画面を表示する
- 選択項目コピーの場合は、コピーする項目にカーソルを合わせます。

2 Menu 2 を押す

3 コピー方法を選択する

本文コピー　：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
題名コピー　：題名をコピーします。
選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選んでコピーします。
- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。☛P198「URL をコピーする」操作 2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示し、文字を貼り付ける

おしらせ
- 送信メール詳細画面、メールテンプレート詳細画面、FOMAカード内のSMS詳細画面ではMenuを押し、「移動／コピー」／「コピー」を選択します。
- メールに Date To 形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。

電話番号やアドレス、URL を電話帳に登録する

表示中のｉモードメール、SMS 中のメールアドレス、電話番号、URL を電話帳に登録できます。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

例 受信メール詳細画面から電話帳登録するとき

1 登録する項目を含むメールを表示する

2 電話帳に登録する項目にカーソルを合わせて Menu 4 を押す

3 新規登録するときは 1、登録済みの電話帳データに追加するときは 2 を押す
- 以降の操作は「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作 3 以降と同じです。☛P199

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

おしらせ

- 送信メール詳細画面、FOMA カード内の SMS 詳細画面、miniSD メモリーカード内のメール詳細画面では Menu を押し、「登録」を選択します。
- 表示中の ｉ モードメールや SMS のメールアドレスや電話番号、URL にカーソルを合わせていなければ登録操作はできません。ただし、受信メールでは発信元、送信メールでは宛先（複数宛先のときは選択可能）にカーソルを合わせて電話帳に登録することはできます。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URL をブックマークに登録する

表示中の ｉ モードメール、SMS の本文中に URL があるとき、その画面から直接、URL をブックマークに登録できます。

例 受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 **登録する URL を含むメールを表示する**

2 **URL にカーソルを合わせて Menu 4 を押し、 3 を押す**

3 **登録先フォルダを選択する**

おしらせ

- 送信メール詳細画面、FOMA カード内の SMS 詳細画面では Menu を押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール

FOMA 端末のメール機能を設定する

メール設定

設定できるメール機能は次のとおりです。

機能名	内　容	参照先
メール振り分け設定	受信／送信メールを自動的にフォルダに振り分けます。	P258
署名設定	メールに添付する署名を設定します。	P260
ｉ モード問合せ設定	ｉ モードセンターに問い合わせる内容を設定します。	P261
メール選択受信設定	メールを自動受信せず、選択して受信できるようにします。	P261
メールグループ設定	複数の宛先をメールグループとして設定します。	P261
メール返信引用設定	メールに返信するときに、受信メールを引用するかどうかを設定します。	P263
メール一覧表示設定	受信／送信メールの表示形式を設定します。	P263
メール受信添付ファイル設定	受信メールの添付ファイルを受信するかどうかを設定します。	P263
添付ファイル自動再生設定	メロディが添付されたメールを表示したときに、自動再生するかどうかを設定します。	P264
表示種別	「受信メール」「送信メール」のメール一覧に表示するメール種別を設定します。	P264
フォントサイズ	メールを表示したときの文字の大きさを設定します。	P265
メール着信設定	メールを受信したときの動作を設定します。	P265
受信表示設定	FOMA端末操作中にメールを受信したときの表示を優先するかどうかを設定します。	P266

メールを自動的にフォルダに振り分ける　メール振り分け設定

受信／送信したｉモードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。
- 受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

振り分け条件を設定する

- 設定した振り分け条件を実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P260
- 条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分け直されません。
- 通常のメールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに振り分けることもできます。この場合、メール連動型ｉアプリの振り分け条件が優先されます。

例 受信メールを振り分けるとき

1 待受画面で [✉][9][3] を押す

2 [1] を押す

1行目には、受信振り分け設定／送信振り分け設定のON／OFFが表示されます。2行目以降は、登録済みの振り分け条件が優先順位順に一覧表示されます。

To：送信メールアドレス　From：受信メールアドレス　No：メモリ番号
電話帳登録なし：電話帳登録なし　題名：題名　グループ：グループ
条件なし：条件なし

- 送信メールを振り分けるとき：[2] を押す

3 [Menu][1] を押し、振り分け条件を指定する

振り分け条件の指定
1 メールアドレス
2 題名
3 メモリ番号
4 グループ
5 電話帳登録なし
6 条件なし

振り分け条件の指定画面

■ **メールアドレスを指定するとき**

指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角50文字まで）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けできます。

① **[1][2] を押し、メールアドレスを入力し、[□] を押す**
- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定するときは [1][1] を押し、入力するアドレスのある電話帳を選択して、メールアドレスを選択します。

■ **題名を指定するとき**

指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15文字まで）。SMSは題名では振り分けできません。

① **[2] を押し、題名を入力し、[□] を押す**

■ **メモリ番号を指定するとき**

指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

① **[3] を押し、メモリ番号を入力する**
② **電話帳データを選択する**

メール

■ グループを指定するとき

グループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。

① 4 を押す

② FOMA端末電話帳のグループを指定するときは 1、FOMAカード電話帳のグループを指定するときは 2 を押す

③ グループを選択する

■ 電話帳登録なしを指定するとき

電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

① 5 を押す

■ 条件なしを指定するとき

条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

① 6 を押す

4 振り分け先フォルダを選択する

・メール連動型iアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがiアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 優先順位を指定する

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

・1件目の条件を登録するときは［最後に追加する］を選択します。

・最後に追加するときは［最後に追加する］を選択します。

・優先順位の高い条件から順に並べます。

・登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

おしらせ

● 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を2件設定した場合、次のように振り分けられます。

① 優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。

② 優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信BOX」フォルダまたは「送信BOX」フォルダに保存されます。

● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定、あるいはメールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に振り分け条件を設定する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

● 発信元の端末がiモード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるため、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。

振り分け条件を確認・変更する

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 または 2 を押す

つづく

3 確認する振り分け条件を選択する

- 条件を確認中でも振り分け条件の変更ができます。

■ 登録済みの振り分け条件を変更するとき

① 変更する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 2 を押す

- 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作 3 以降と同じです。☛P258

②「変更する」を選択する

■ 優先順位を変更するとき

① 変更する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 5 を押す

② 移動する位置を選択する

- 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

■ 条件を削除するとき

① 削除する振り分け条件にカーソルを合わせて Menu 3 を押し、「はい」を選択する

- 条件をすべて削除するときは、Menu 4 を押して端末暗証番号を入力し、「はい」を選択します。

振り分けるかどうかを設定する

- 「ON」に設定しても、振り分け条件を設定しないと振り分けられません。

お買い上げ時　受信振り分け設定：ON　送信振り分け設定：ON

例 受信メールを振り分けるとき

1 待受画面で ✉ 9 3 を押す

2 1 を押し、Menu 6 を押す

- 送信メールを設定するとき：2 を押し、Menu 6 を押す

3 1 を押す

- メールを自動振り分けしないとき：2 を押す

Menu 194

メールの署名を登録する

署名設定

ｉモードメールや SMS の本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

- 署名は全角 50 文字（半角 100 文字）まで入力できます。

お買い上げ時　自動挿入：する　署名：未設定

1 待受画面で ✉ 9 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

自動挿入：署名を自動挿入するかどうかを設定します。
- 自動挿入しない場合は「しない」を選択します。

署名：署名の内容を設定します。

3 📖 を押す

おしらせ

- 署名も本文の文字数に含まれます。
- 署名を自動挿入しない設定にしたときは、メール作成時にサブメニューから選択して挿入できます。
- 署名に電話番号やメールアドレス、URL を入れておくと、ｉモード端末にｉモードメールを送信した場合、相手が Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能を使うことができます。
- SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。

Menu 164 / Menu 2732 / ⬇732

センター問い合わせの内容を設定する　ｉモード問合せ設定

• お買い上げ時はメール、メッセージ R、メッセージ F のすべてに☑が付いています。問い合わせをしない場合は、☐にしてご利用ください。

お買い上げ時　すべて選択

1 待受画面で ✉ 6 4 を押す

2 問い合わせ項目を選択する

• Menu を押すと全選択／全解除できます。いずれかの項目を選択しないと登録できません。

3 📖 を押す

Menu 196

メールを選択して受信できるようにする　メール選択受信設定

お買い上げ時　OFF

1 待受画面で ✉ 9 6 を押す

2 1 を押す

• メールを選択して受信しないとき：2 を押す

Menu 198

宛先をメールグループに登録する　メールグループ設定

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。

• メールグループは最大 20 件登録できます。1 つのメールグループには、最大 5 件のメールアドレスを登録できます。

1 待受画面で ✉ 9 8 を押す

2 📖 を押す

■ **メールグループ名を編集するとき**

① **編集するメールグループにカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

■ **メールグループをコピーするとき**

① **コピーするメールグループにカーソルを合わせて Menu 3 を押す**

■ **メールグループを 1 件削除するとき**

① **削除するメールグループにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押し、「はい」を選択する**

つづく

■ メールグループを全件削除するとき

① Menu 4 2 を押す

② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

3 メールグループ名を入力して [□] を押す（全角 8 文字（半角 16 文字）まで）

• 続けて別のメールグループを登録する場合は、[□] を押します。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択する

■ メールアドレスを編集するとき

① 編集するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて Menu 1 を押す

② メールアドレスを変更して [□] を押す

■ メールアドレスを 1 件削除するとき

① 削除するメールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて Menu 2 を押し、「はい」を選択する

■ メールアドレスの詳細を表示するとき

① Menu 3 を押す

• メールアドレスが電話帳に登録されていない、またはプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳の名前は表示されません。

② メールアドレスの確認が終わったら [●] を押す

5 [✉] を押し、各項目を選択して設定する

宛先種別：TO、CC、BCC を設定します。

• TO は、直接の送信相手の宛先です。

• CC は、直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい宛先です。

• BCC は、他の送信相手に知らせたくない宛先です。BCC の宛先は、他の送信相手には表示されません。

アドレス：メールアドレスを入力します（半角 50 文字まで）。

• 電話帳から選択するときは [A/あ] を押します。☛P96

6 [□] を押す

• 既に電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。

• 他のメールアドレスを追加する場合は、操作 5 から繰り返します。

7 [□] を押す

メールグループにメールアドレスが登録されます。

おしらせ

● 電話帳に登録しているメールアドレスをメールグループに登録している場合は、電話帳の名前を変更するとメールグループの表示も変更されます。

● 宛先種別に TO がないと、メールを送信できません。

● メールグループから宛先を入力するには ☛P221

Menu 195

返信時に本文を引用するかどうかを設定する　メール返信引用設定

ｉモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

お買い上げ時　引用:する　引用文字:>(半角)

1 待受画面で ✉ 9 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

引用　：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
- 「しない」を選択したときは、操作3に進みます。

引用文字：全角1文字（半角2文字）まで入力できます。
- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 📖 を押す

Menu 1991

メール一覧の表示形式を設定する　メール一覧表示設定

「受信メール」「送信メール」のメール一覧の表示形式を設定します。
- 「未送信メール」「FOMAカード（UIM）受信SMS」「FOMAカード（UIM）送信SMS」では設定に関わらず、2行表示されます。

お買い上げ時　2行表示

2行表示

1行表示

カーソルを合わせているメールの発信元（送信メールでは宛先）

1 待受画面で ✉ 9 9 1 を押す

2 1 または 2 を押す

Menu 197

添付ファイルを受信するかどうかを設定する　メール受信添付ファイル設定

ｉモードメールに添付されている静止画、添付メロディを受信するかどうかを設定します。

お買い上げ時　画像:受信する　メロディ:受信する

1 待受画面で ✉ 9 7 を押す

2 各項目を選択して設定する

画像　：画像を受信するかどうかを設定します。

メロディ：メロディを受信するかどうかを設定します。

つづく

3 [メール]を押す

おしらせ

- 画像を「受信しない」に設定した場合、デコメールに挿入された画像も受信できません。
- 受信しない添付ファイルは i モードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
- メール本文中に貼付された MFi 形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

Menu 1992 / Menu 2733 / ⬇733

メロディを自動再生するかどうかを設定する　添付ファイル自動再生設定

メロディが添付されている i モードメールやメッセージ R/F を表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時　自動再生する

1 待受画面で [メール][9][9][2]を押す

2 [1]または[2]を押す

おしらせ

- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージ R/F を表示すると、メロディが 1 回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。

表示するメールの種別を選ぶ　表示種別

指定した種別のメールだけを表示します。

- 「受信メール」ではすべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。
- 「送信メール」ではすべて表示、保護のみ表示が選択できます。
- 「未送信メール」「FOMA カード（UIM）受信 SMS」「FOMA カード（UIM）送信 SMS」の表示種別は選択できません。

お買い上げ時　すべて表示

例　受信メールの表示種別を選択するとき

1 待受画面で [メール][1]を押し、フォルダを選択する

- 送信メール☛P246

2 [Menu][7][2]を押す

3 [1]～[4]を押す

おしらせ

- 受信メール一覧や送信メール一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

　※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

メールの文字の大きさを変更する　フォントサイズ

受信メールや送信メール、メールテンプレートなどの内容を表示するときの文字サイズを変更します。
- 設定は受信メール、送信メール、メールテンプレート、miniSD メモリーカード内のメールすべてに反映されます。
- メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。

お買い上げ時　中(標準)

大：24 ドット

中：20 ドット（標準）

小：16 ドット

例　受信メール詳細画面から操作するとき

1　待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する

2　メールを選択して [Menu][3][1] を押す
- メールテンプレートを表示しているときは、[Menu][4][1] を押します。

3　[1] ～ [3] を押す

おしらせ
- miniSD メモリーカード内の受信メールや送信メール、未送信メールの詳細画面では [Menu] を押し、「フォントサイズ」を選択します。
- 文字サイズの変更は次に設定を変更するまで保持されます。

Menu 191

メール着信時の動作を設定する　メール着信設定

ｉモードメール、SMS を受信したときの動作を設定します。

お買い上げ時　着信音選択:メロディ／パターン 1　着信イルミネーション設定:点滅／オーシャン　バイブレータ設定:OFF　鳴動時間（秒）: 10

1　待受画面で [✉][9][1] を押す

2　各項目を選択して設定する

着信音選択　:「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

着信イルミネーション設定
:着信ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。

バイブレータ設定
:バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）:着信音が鳴動している時間を 1 ～ 30 秒の間で設定します。

つづく

メール

3 [□] を押す

おしらせ

- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。☛P93
- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定でメロディ連動に設定しても連動しないことがあります。

Menu 1993

メール受信通知を設定する　受信表示設定

FOMA 端末の操作中に i モードメールや SMS、メッセージ R/F を受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　通知優先

1 待受画面で [✉][9][9][3] を押す

2 [1] または [2] を押す

操作優先 ：受信中画面および受信結果画面を表示しません。
通知優先 ：受信中画面および受信結果画面を表示します。

おしらせ

- 「通知優先」に設定していても、音声電話中、データ通信中、カメラ起動中、i アプリ動作中、ストリーミングタイプの i モーション再生中、アラーム鳴動中などは受信中画面および受信結果画面は表示されず、メール着信音／着信ランプも動作しません。
- 「操作優先」に設定すると、次の場合には受信中画面や受信結果画面が表示されず、メール着信音／着信ランプも動作しません。
  - 待受中以外のとき（他の機能が起動中）
  - オールロック中
  - ドライブモード中
  - PIM ロック中
  - カメラ起動中
  - アラーム鳴動中

チャットメールを作成して送信する　チャットメール作成・送信

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは 1 つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをメンバーリストに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」（半角または全角）の題名が付いたメールとして届きます。相手がこのメールに返信するとチャットメールとして受信できます。

チャットメール画面の見かた

① 送受信履歴

でスクロールできます。

- 送受信履歴が一画面内に表示しきれない場合は、Menu 5 1 を押すと先頭行に移動し、Menu 5 2 を押すと最終行に移動して表示されます。

② 詳細表示欄

最新またはカーソルを合わせたチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角 250 文字（半角 500 文字）までです。

左右の欄下に◀▶が表示されているときは、でページを切り替えます。

：メンバーリストに未登録の同報アドレスあり

③ 本文入力欄

Menu 13

チャットメンバーを登録する

チャットメンバー設定

- チャットメンバーに登録できるのは、最大 5 件です。

1 待受画面で 3 を押す

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、Menu 7 を押して操作 3 に進みます。

2 「はい」を選択する

3 を押す

4 アドレス欄を選択してメールアドレスを入力する（半角 50 文字まで）

■ **電話帳から検索するとき**

① を押す

② **電話帳を検索してメールアドレスを選択する**

- ｉモード端末のメールアドレスをチャットメンバーに登録する際は、「@docomo.ne.jp」を省略せずに登録してください。ただし、メールアドレスが「携帯電話番号 @docomo.ne.jp」の場合は「@docomo.ne.jp」を省略して入力してください。
- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

5 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する（全角 4 文字（半角 8 文字）まで）

- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの @ より前の部分の先頭から 8 文字が表示されます。

6 文字色欄を選択して文字色を選択する

- 青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。
- チャットメール画面ではニックネームが選択した色で表示されます。

つづく

7 [⊡]を押す

- 他のメンバーを追加登録する場合は[✉]を押して、操作 4 〜 7 を繰り返します。

8 [⊡]を押す

メンバーリストが表示されます。

おしらせ

- 同じメールアドレスは複数登録できません。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）にチャットメールを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは、ｉ モードメールの「送信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 待受画面で[✉][3]を押す

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択し、本文を入力する（全角 250 文字（半角 500 文字）まで）

- スライド編集設定でチャットメールを「ON」に設定している場合、チャットメール画面で FOMA 端末を開くと本文を入力できます。

■ **チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付けるとき**

① **コピーする本文のあるチャットメールにカーソルを合わせて[Menu][6]を押し、範囲を指定する**
- 範囲の指定方法☛P465

② **本文入力欄を選択し、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[Menu][3]を押す**

■ **受信したメールの同報アドレス全員に返信するとき**

① **[Menu][2][2]を押す**

■ **送信するメンバーを選択するとき**

① **[Menu][3]を押し、宛先を選択する**
- [●]で選択／解除が切り替わり、[Menu]で全選択／全解除できます。

② **[⊡]を押す**

3 [⊡]を押す

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

おしらせ

● チャットメールは、以下の操作でも表示できます。
  • 受信メール一覧でチャットメールにカーソルを合わせて Menu 7 5 を押す
  • 送信メール一覧でチャットメールにカーソルを合わせて Menu 7 4 を押す
  • 受信／送信したチャットメールの詳細画面で Menu 3 3 を押す
● 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメールから送信してください。
● ｉ モードメールまたはメッセージ R/F の受信中は、チャットメールを送信できません。受信中に送信したチャットメールは、自動的に最大 3 回再送信されます。
● プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）にチャットメールを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

チャットメールを受信する　チャットメール受信

チャットメールを受信したときは、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名に「チャットメール」（全角・半角を問わず）を含むメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。
• チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は「受信BOX」フォルダに保存されるため、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールは ｉ モードメールとして「受信 BOX」フォルダに保存されます。
• メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 受信メール一覧でチャットメール画面に読み込む受信メールにカーソルを合わせて Menu 7 5 を押す
  • 受信メール詳細画面では Menu 3 3 を押します。
  • 読み込むメールの発信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、送信者アドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P267
  • デコメールやパソコンから受信した HTML メールは、チャットメール画面には読み込めません。

ｉ モードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面で Menu 1 を押す
チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。

おしらせ

- イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読のチャットメールがある間は着信ランプが点滅します。
- チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。
- ｉモード問合せでチャットメールを受信すると、同時にｉモードメールも受信します。
- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では本文中に電話番号やメールアドレス、URLが含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toは行えず、ｉアプリToの機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、「受信メール」からチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 「受信メール」からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--／--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、「受信メール」では既読になります。
- メール連動型ｉアプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信したメールはチャットメール画面に表示されます。

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で同報アドレスを確認したいメールにカーソルを合わせて Menu 4 を押す

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されます。またメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。表示された名前のメールアドレスを確認する場合は ● を押します。

■ **未登録の同報者をチャットメンバーとして登録するとき**

① 📖 を押す

- 以降の操作は「チャットメンバーを登録する」の操作5以降と同じです。☛P267

■ **同報アドレスをコピーするとき**

① Menu 2 を押す

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

- 受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面で Menu 9 を押し、「はい」を選択する

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容の変更や、メンバーを追加または削除します。メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 待受画面で ✉ 3 を押す

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☛P267

2 Menu 7 を押す

3 編集するメンバーにカーソルを合わせて Menu 1 を押し、編集する

■ メンバーを1件削除するとき

① 削除するメンバーにカーソルを合わせて Menu 2 を押す

②「はい」を選択する

■ メンバーの詳細を表示するとき

① 詳細を表示するメンバーを選択する

・メンバー全員の詳細をまとめて確認するときは Menu 3 を押します。

② 詳細の確認が終わったら を押す

■ メンバーを追加するとき

① Menu 4 を押す

■ メンバー全件をメールグループと入れ替えるとき

① Menu 5 を押す

② 入れ替えるメールグループを選択し、「はい」を選択する

チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

4 を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 待受画面で 3 を押す

2 Menu 8 を押す

3 ニックネーム欄を選択してニックネームを入力する（全角4文字（半角8文字）まで）

・ニックネームを入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

4 文字色欄を選択して文字色を選択する

5 を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で PWR または クリア を押す

2 「いいえ」を選択する

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

・「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

おしらせ

● 未送信、作成中のチャットメールは、「未送信メール」に保存され、次回のチャットメール起動時に表示されます。ただし、メールの保存領域の空きが足りないときは保存されません。

チャットメール着信時の設定を行う　チャットメール着信設定

お買い上げ時　着信動作設定:メール着信動作に従う

1 待受画面で [メール][9][2] を押す

2 各項目を選択して設定する

着信動作設定：着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、以下の項目を設定できます。

着信音選択：「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P110

着信イルミネーション設定
：着信ランプの点灯パターンと色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。

バイブレータ設定：バイブレータの動作を設定します。

鳴動時間（秒）：着信音が鳴る時間を設定します（1～30秒）。

3 [電話帳] を押す

おしらせ

● 同時に複数のメールを受信した場合に本設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する　SMS作成・送信

SMSを作成して送信します。送信せずに保存することもできます。
- 最大保存件数☛P33
- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側で正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

例 宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 待受画面で [メール][7][1] を押し、[To] 欄を選択する

2 「直接入力」を選択し、宛先（相手の電話番号）を入力する

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、To 欄に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（0 を 1 秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

■ 電話帳から検索するとき

①「電話帳参照」を選択する

② 電話帳を検索して電話番号を選択する

3 Text を選択し、本文を入力する

- SMS 設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず 70 文字まで入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
- SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角 160 文字まで入力できます。英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）が使用できます。半角空白も本文の文字数に含まれます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは # を押します。改行も本文の文字数に含まれます。

■ 署名を挿入するとき

① Menu 4 を押す

- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。
- 署名の文字数も本文の文字数に含まれます。

4 📖 を押す

■ SMS を送信せずに保存するとき

① Menu 2 を押す

- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。
- 保存した SMS を再編集して送信できます。☛P235

おしらせ

- 本文入力時に定型文を利用して顔文字やあいさつ、返事などを入力できます。
- 文字の装飾はできません。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめ SMS 設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定は SMS の作成開始後に変更することもできます。
- 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMS が「未送信メール」に保存されます。「未送信メール」から SMS を編集・送信できます。☛P235
- 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信メール」に保存されます。送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。ただし、保護されている送信メールには上書きされません。残しておきたい送信メールは保護してください。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合、SMS が相手の FOMA 端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。
- 発信者番号通知が「通知しない」に設定されていても、SMS 送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
- 本文入力時に、改行が含まれている定型文を挿入すると、改行は半角の空白に置き換わります。
- 送信する文字種により送信できない文字があります。☛P219
- SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、署名は挿入できません。
- 送信文字種が英語の場合、一部の記号（｜ ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）に電話帳を利用する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

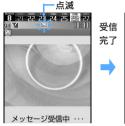
● 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMS を作成できません。「未送信メール」から不要な i モードメール、SMS を削除してください。☛P255
● メモリ番号 0 ～ 99 の電話帳に登録されている相手には簡単に SMS を作成・送信できます（クイックメール）。
● 受信、送信、未送信の SMS 一覧／詳細画面の見かた☛P247

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは　SMS 受信

SMS は自動的に受信し、画面表示や着信音、着信ランプ、バイブレータでお知らせします。受信した SMS は「受信メール」に保存されます。

・最大保存件数☛P33

1 SMS を受信する

受信完了

：未読の SMS あり
：未読のSMSと i モードメールあり
受信結果（スクロール表示）
受信した SMS の件数
受信に失敗したときは「メール」の後ろに「×」が表示されます。

が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。
• メッセージ受信中に [PWR] を押すと受信を中止します。
• 受信結果画面が表示されてから約 15 秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻すときは [クリア] を押します。

■ **受信した SMS をすぐに読むとき**

① **受信結果画面で [●] または [1] を押す**

• 受信した SMS に返信（☛P239）したり、他の宛先に転送（☛P240）できます。
操作方法は i モードメールの場合と同様です。ただし、発信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信 SMS には返信できません。

おしらせ

● 受信表示設定を「操作優先」に設定していると、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
● プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）に自動受信した SMS が、フォルダ設定のプライバシーが「ON」のフォルダにすべて保存された場合は、受信結果画面は表示されず、メール着信音／着信ランプも動作しません。プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は、受信結果のスクロール表示に発信元は表示されません。
● 情報表示行設定または着信表示設定でメール・メッセージの受信結果を表示しない設定にしている場合は、受信結果はスクロール表示されません。
● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未読の SMS がある間は着信ランプが点滅します。
● FOMA 端末で SMS を受信すると、SMS センターに保管されている SMS は削除されます。
● mova 端末から送信したショートメールは、FOMA 端末では SMS として受信します。

● FOMA 端末電話帳にメール着信設定のある相手から SMS を受信した場合は、その設定に従って動作します。電話帳との照合は次のように行われます。
- 複数の SMS を同時に受信したときは、最後に受信した SMS に設定されている条件に従いメール着信音や着信バイブレータ、着信ランプが動作します。
- シークレット属性を設定した電話帳データに登録されている相手から SMS を受信した場合は、シークレットモード中だけ相手の名前が表示され、電話帳データの設定に従って着信音やバイブレータなども動作します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、登録されている相手の名前は表示されず、登録されている着信音やバイブレータなども動作しません。

● ｉモードメール、メッセージ R/F 受信中は、SMS を自動受信しません。SMS 問合せを行ってください。
● 途中で受信に失敗した場合などに SMS を受信し直すには、SMS 問合せを行ってください。ただし、受信メールが最大保存件数まで達しているときは、あらかじめ未読メールの内容表示（☛P246）、不要メールの削除（☛P254）、保護解除（☛P253）などを行う必要があります。
● 受信メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、一番古い受信メールに上書きされます。ただし、未読メールと保護されているメールには上書きされません。残しておきたい受信メールは保護してください。
- 未読メールと保護されているメールが満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはやが表示されます。☛P24
- FOMA カードに SMS が最大件数（20 件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面にはやが表示されます（☛P24）。FOMA 端末に移動するか、FOMAカード内のSMSを削除してください。☛P278、P279

● 受信した SMS に直接 FOMA カードへの保存が指定されている場合は、直接 FOMA カードに保存されます。ただし、FOMA カード内の SMS が 20 件に達している場合は、SMS を受信できません。不要な SMS を削除してから再度、SMS 問合せを行ってください。

Menu 162

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる　SMS 問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間に SMS が届いていないかを問い合わせます。
- 電波状態によっては SMS 問合せができない場合があります。

1 待受画面で [✉][6][2] を押す

SMS センターに SMS が保管されていれば受信します。

おしらせ

● SMS 問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

Menu 174

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う　SMS 設定

通常は SMSC、アドレス、Type of Number の設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　送達通知：要求しない　それ以外は FOMA カードの設定に従う

1 待受画面で [✉][7][4] を押す

2 各項目を選択して設定する

送信文字種：日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知　：SMS を送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間　：送信した SMS を相手が受け取れないときに、SMS センターで保管する期間を選択します。

SMSC　　：ドコモ以外の SMS サービスを受ける場合に設定します。
- 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します（半角 20 文字まで）。

Type of Number
：「international」「unknown」のいずれかを設定します。
- SMSC に「その他」を設定しアドレス欄に数字のみ、または「＊」、「#」を含んだ番号を入力した場合は、「unknown」に設定してください。

3 [□] を押す

おしらせ
- SMS の作成画面では [Menu] を押し、「SMS 設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定できます。また、作成中の SMS にだけ有効です。
- SMS 一括拒否／非通知 SMS 拒否を設定できます。☛P216

メール

SMS（ショートメッセージ）を FOMA カードに保存する　FOMA カード保存 SMS

送受信した SMS を、FOMA 端末から FOMA カードに移動またはコピーします。

SMS（ショートメッセージ）を FOMA カードに移動／コピーする

- 最大保存件数 ☛P33
- 「未送信メール」の SMS は、FOMA カードに保存できません。
- 送信 SMS を移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に FOMA カードの「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信 SMS を FOMA カードに 1 件移動するとき

1 待受画面で [✉][1] を押し、フォルダを選択する
- 送信 SMS ☛P246

2 移動する SMS にカーソルを合わせて [Menu][4][2][1] を押す

■ **複数移動するとき**

① [Menu][4][2][2] を押し、SMS を選択する
- [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [□] を押す

■ **1 件コピーするとき**

① コピーする SMS にカーソルを合わせて [Menu][4][3][1] を押す

■ 複数コピーするとき

① Menu 4 3 2 を押し、SMS を選択する

• ● で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② ▭ を押す

3 「はい」を選択する

おしらせ

● 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「FOMA カードへ移動」または「FOMA カードへコピー」を選択します。

● FOMA カードに SMS が 20 件保存されているときは移動／コピーできません。FOMA カードから不要な SMS を削除してください。

Menu 172 / Menu 173

FOMA カード内の SMS（ショートメッセージ）を表示する

例 受信 SMS を表示するとき

1 待受画面で ✉ 7 2 を押す

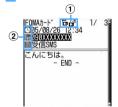
FOMA 受信 SMS 一覧画面では、SMS は 2 行で表示されます。1 行目には受信日時と発信元または宛先が表示され、2 行目には本文の先頭または「SMS 送達通知」が表示されます。

✉ ：未読（返信可） ✉ ：未読（返信不可）

なし：既読（返信可） ✉ ：既読（返信不可）

☑ ：送達通知

• 一覧の既読／未読のマークは、FOMA カード内の SMS を表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
• 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
• 送信 SMS を表示するときは ✉ 7 3 を押します。

2 SMS を選択する

FOMA カード内の受信 SMS 詳細画面では、上部にメッセージ番号／件数が表示されます。

① ：受信（返信可） ：既読（返信不可）
 ：送信 ：送達通知
 ：FOMA カード内の SMS

② ：日時 To：宛先
 From：発信元 ：発信元（返信不可）
 ：題名「受信 SMS」「送信 SMS」「SMS 送達通知」

• 送達通知の詳細画面には、宛先が表示されます。発信元は「SMS Center」と表示されます。
• 送信 SMS を FOMA カードに移動／コピーした場合、FOMA カード内の送信 SMS から送信日時のデータが消去されます。

メール

おしらせ

- FOMA カード内の SMS からも、受信 SMS の返信／転送、送信 SMS の再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信 SMS、送信 SMS と同じです。
- FOMA カード内の SMS から返信／転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA 端末の送信メールに保存されます。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に、FOMA カード内の受信 SMS、送信 SMS を表示するには、端末暗証番号の入力が必要です。

FOMA カード内の SMS（ショートメッセージ）を FOMA 端末に移動／コピーする

FOMA カードに保存されている SMS を、FOMA 端末の「受信メール」、「送信メール」に移動またはコピーします。

- 送信 SMS を移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信 SMS を FOMA 端末に 1 件移動するとき

1 待受画面で [メール][7][2] を押す

- 送信 SMS を移動／コピーするとき：[メール][7][3] を押す

2 移動する SMS にカーソルを合わせて [Menu][3][1] を押す

■ **複数移動するとき**

① [Menu][3][2] **を押し、SMS を選択する**

- [決定] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [i] **を押す**

■ **1 件コピーするとき**

① **コピーする SMS にカーソルを合わせて** [Menu][3][3] **を押す**

■ **複数コピーするとき**

① [Menu][3][4] **を押し、SMS を選択する**

- [決定] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

② [i] **を押す**

3 [決定] を押す

4 移動先フォルダを選択し、「はい」を選択する

おしらせ

- FOMA カード内の SMS 詳細画面では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「本体メモリへ移動」「本体メモリへコピー」を選択します。
- メールの保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていない SMS や i モードメールがあっても上書きされません。不要な SMS、i モードメールを削除してください。

FOMA カード内の SMS（ショートメッセージ）を削除する

- 送信 SMS を削除した場合、対応する送達通知が FOMA カード内にある場合は、同時に削除されます。

例 FOMA カード内の受信 SMS を 1 件削除するとき

1 待受画面で ✉ 7 2 を押す

- 送信 SMS を削除するときは ✉ 7 3 を押します。

2 削除する SMS にカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ 複数削除するとき

① Menu 2 2 を押し、SMS を選択する

- ● で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② 📖 を押す

■ 全件削除するとき

① Menu 2 3 を押し、端末暗証番号を入力する

■ 送達通知を全件削除するとき

① Menu 2 4 を押し、端末暗証番号を入力する

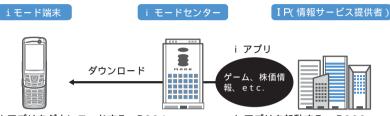
3 「はい」を選択する

おしらせ

● FOMA カード内の SMS 詳細画面では Menu を押し、「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉ モード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉ アプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

・ｉアプリをダウンロードする☛P284
・ｉアプリを自動起動する☛P296
・ｉ アプリを起動する ☛P286

おしらせ

- ｉアプリによっては、ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ｉアプリによっては実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。☛P288

登録データを利用する

ｉアプリには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

・電話帳登録
・スケジュール登録
・アイコン情報利用
・データ BOX からの画像取得
・ブックマーク登録
・データ BOX への画像保存

おしらせ

- ｉ アプリにより画像が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、または ｉ アプリ内に保存されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できない ｉ アプリがあります。

ｉ アプリ DX とは

ｉアプリ DX では、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

ｉアプリ DX では、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージ R/F）
- データ BOX からの画像取得
- データ BOX への画像保存
- データ BOX への動画保存
- データ BOX への着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話発着信、メール送受信、メッセージ R/F 受信）

おしらせ

- ｉアプリ DX では、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- ｉアプリ DX を起動するには日付・時刻の設定が必要です。
- ｉアプリ DX により画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ DX 内に保存されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリ DX があります。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリはｉアプリ DX の一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

おサイフケータイ対応ｉアプリとは

おサイフケータイ対応ｉアプリを使って、IC カード内のデータの読み書きを行い、電子マネーや乗車券をダウンロードすることや、その残高や利用履歴を FOMA 端末上で参照するなど、便利な機能がご利用いただけます。

- おサイフケータイ対応ｉアプリを利用すると、ご契約しているサービスの IP（情報サービス提供者）などに IC カード内の情報が送信されます。
- おサイフケータイとは☛P310

こんなこともできます

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にできます。☛P298

- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ ｉアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。☛P296

■ カメラ撮影

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。

- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。☛P304

■ **赤外線通信**

ｉ アプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。☛P304

- 赤外線通信機能に対応した ｉ アプリで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ **赤外線リモコン**

ｉ アプリから、赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。☛P366
たとえばプリインストールされている「G ガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAV リモコンとして利用することができます。☛P292

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

サイトから ｉ アプリをダウンロードする

サイトから ｉ アプリをダウンロードして FOMA 端末に保存します。

- 最大保存件数☛P33
- 電波状況などにより ｉ アプリのダウンロードに失敗した場合、その ｉ アプリは FOMA 端末に保存されません。

1 ｉ アプリのあるサイトを表示し、ｉ アプリを選択する

選択した ｉ アプリがダウンロードされます。

- ダウンロードを中止するには [終話] を押し、「はい」を選択します。

■ **ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき**

ｉ アプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリがダウンロードされます。

- [m] を押すと、ダウンロードする ｉ アプリの詳細情報を確認できます。

■ **選択した ｉ アプリが既に異なる FOMA カードでダウンロードされているとき**

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードした ｉ アプリが上書きされます。

■ **登録データや携帯電話／ FOMA カード（UIM）の製造番号を利用する ｉ アプリをダウンロードするとき**

確認画面が表示されます。「はい」を選択すると ｉ アプリがダウンロードされます。

- ガイド行に「ガイド」と表示された場合、[m] を押すと、その ｉ アプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ **選択した ｉ アプリが既にダウンロードされているとき**

「ダウンロード済みです」と表示されます。ｉ アプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると ｉ アプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

2 ｉ アプリを保存するフォルダを選択する

3 各項目を選択して設定する

アプリ待受画面：ｉ アプリ待受画面に対応している ｉ アプリを ｉ アプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。
通信設定：ｉ アプリに通信させるかどうかを設定します。
アイコン情報：ｉ アプリにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

- ｉ アプリによっては設定できない項目があったり、設定画面が表示されないことがあります。

4 (i-mode key)を押し、「はい」を選択する

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

・「いいえ」を選択すると、サイト画面に戻ります。

おしらせ

● プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）にｉアプリをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
● ｉアプリの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリは元に戻りません。
● ICカードロック中はおサイフケータイ 対応ｉアプリをダウンロードできません。
● ICカード内のデータ容量によっては、ｉアプリの保存領域に空きがあってもおサイフケータイ 対応ｉアプリをダウンロードできない場合があります。この場合は、画面の指示に従いICカード内に保存可能な空き容量が確保できるまでおサイフケータイ 対応ｉアプリを削除してから、再度ダウンロードしてください。ただし、ダウンロードするｉアプリの種類によっては、削除対象とならないｉアプリがあります。また、ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
● アイコン情報を「利用しない」に設定すると、ｉアプリが動作しない場合があります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。

・メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるとダウンロードできません。その場合は、メール連動型ｉアプリを削除してからダウンロードしてください。☛P301
・同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ｉアプリが新しくなった場合はバージョンアップできます。

おしらせ

● プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップをする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
● メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。
● ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが既にFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」または「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る　ソフト情報表示設定

ダウンロード時、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　OFF

1 待受画面でMenu 3 2 3を押す

2 [1] を押す

- ｉアプリの情報を表示しないとき：[2] を押す

ｉアプリを起動する

1 待受画面で [iアプリ] を１秒以上押す

■ ツータッチｉアプリのみ表示するとき

① [Menu][3][2][6] を押す

ツータッチｉアプリ一覧が表示されます。操作３に進みます。

■ ICカードソフト（おサイフケータイ対応ｉアプリ）のみ表示するとき

① [Menu][6][7] を押す

ICカードソフト一覧が表示されます。操作３に進みます。

2 フォルダを選択する

：ｉアプリなし　：ｉアプリあり

3 起動するｉアプリを選択する

① ：通常のｉアプリ　：ｉアプリ DX
　：メール連動型ｉアプリ
② ：ｉアプリ待受画面に設定できる
　：ｉアプリ待受画面に設定中
③ ：自動起動設定中
　：IP（情報サービス提供者）による停止状態
④ 0～9 ：ツータッチ登録されている
⑤ ：保護されている
　：SSLページからダウンロードした
　：SSLページからダウンロードし保護されている
⑥ ：ワンタッチボタンに登録されている
⑦ ：おサイフケータイ対応ｉアプリ

- 起動を中止するには [PWR] を押し、「終了する」を選択します。

■ 通信するｉアプリのとき

起動するｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。

- 通信設定について☛P288

ｉアプリを終了するには

ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

- [PWR] を押し、「終了する」を選択しても終了できます。

おしらせ

- ３Dポリゴン※エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。
  ※：多角形(三角形や四角形など)を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリによってはイージーセレクタープラスが4方向または８方向に有効になります。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、電話着信音の音量調整に従います。ただし、音量調整で「ステップトーン」に設定している場合は「レベル4」になります。

● ドライブモード中は、ｉアプリ動作中のバイブレータ、サウンドは動作しません。
● プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）にｉアプリを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
● 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、[✉]を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます。ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  • 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「０秒」に設定している場合を除く）
  • スケジュールアラームや、アラーム設定の設定時刻になったとき
  • 他の機能に切り替えたとき
● 圏外にいる場合や、登録データが使用できない場合、ｉ アプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
● 指定した別のｉアプリを起動できるｉアプリを利用すると、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。ただし、起動するｉアプリが設定されていない場合は、ｉアプリを選択する必要があります。また、起動するｉアプリが設定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。
● ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネットから取得した画像、ｉアプリがデータ BOX から取得した画像などです。
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみ行えます。再度、ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください
● ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
● IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA 端末は通信を行い、[ｉ]が点滅します。この場合、通信料はかかりません。
● ｉアプリ作成者の方へ
  ｉ アプリを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。待受画面で[Menu][3][3][4]を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリが保存されていないときは表示できません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する　セキュリティエラー履歴

ｉ アプリが登録データなどを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときに、ｉ アプリ名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。
• セキュリティエラー履歴は最新の 20 件まで記録されます。

1 待受画面で[Menu][3][3][3]を押す

■ 履歴をすべて削除するとき

① [📖]を押して「はい」を選択する

ｉアプリの詳細情報を表示する　詳細情報

ｉ アプリの名前やバージョンなど、ｉ アプリの詳細情報を確認します。

1 待受画面で[▽]を 1 秒以上押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認するｉアプリにカーソルを合わせて[📖]を押す

3 詳細情報を確認する

- 表示される項目はｉアプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、[□]を押すと、サイトの証明書を確認できます。

ｉアプリの動作条件を設定する　動作設定

- ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。

1 待受画面で[ｉ]を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 設定するｉアプリにカーソルを合わせて[Menu][7]を押す

3 各項目を選択して設定する

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。

ｉアプリ待受画面：ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定するかしないかを設定します。

ｉアプリ待受画面通信設定
：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。

通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信させるかどうかを設定します。「起動ごとに確認」に設定すると、ｉアプリを起動するたびに通信するかどうかの確認画面が表示されます。

アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

メールからの起動：メールからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※
：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更されます。

変更ごとに確認画面を※
：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※
：ｉアプリが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照されます。

※：ｉアプリDXのみ設定できます。

4 [□]を押す

- 「ｉアプリ待受画面」を「設定する」に設定したときは、現在の待受画面の設定を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- 通信を許可する設定にすると、ｉアプリが自動的にネットワークに接続します。ネットワークに接続したときは通信料がかかりますのでご注意ください。
- ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリによっては自動的に通信を行う場合があります。
- 本機能の設定によっては、ｉアプリからのネットワーク接続やアイコン情報（未読メール、電池残量など）の利用ができなくなります。

● 通信設定を「通信しない」に設定した場合は、ｉアプリが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
● ｉアプリ待受画面のアイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
● プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉアプリ待受画面に設定しても、ｉアプリ待受画面は起動しません。

ｉアプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する　照明設定・バイブレータ設定

照明動作を設定する

・ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定に従います。
・ドライブモード中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は動作しません。

お買い上げ時 端末設定に従う

1 待受画面で Menu 3 2 4 を押す

2 1 または 2 を押す

端末設定に従う：ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。☛P124
ソフトに従う　：照明の点灯をｉアプリが制御します。

バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータの動作を許可します。
・ドライブモード中は、本設定に関わらずｉアプリ動作中のバイブレータは動作しません。

お買い上げ時 ON

1 待受画面で Menu 3 2 5 を押す

2 1 を押す

・バイブレータの動作を許可しないとき：2 を押す

プリインストールｉアプリを使う

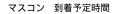
お買い上げ時は次のｉアプリが内蔵されています。

ゲームソフト	・電車でGO！ 3Dサウンド山手線一周（夕焼け編）
その他のｉアプリ	・ウゴクフォトミラクル　・ｉアニメっちゃメーラーDX ・Gガイド番組表リモコン　・電子マネー「Edy」　・便利！多機能電卓 ・珍さん計画DXおこづかい帖プラス

一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。
・ウゴクフォトミラクル、珍さん計画DXおこづかい帖プラスはｉアプリ待受画面に設定できます。
・お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除してしまったときは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。
「My D-style」には、ｉMenuの「3 メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2005年5月現在）。

電車でGO！3Dサウンド山手線一周（夕焼け編）

電車の運転手になって、運転規則とダイヤを守って電車を運転し、最終目的駅を目指すゲームです。
• 山手線内回り（東京駅発～東京駅着）を運転できます。

■ ゲーム画面と使用するキー

キー	操作
↑	：マスコンレベルダウン／ブレーキ増加
↓	：マスコンレベルアップ／ブレーキ減少
●	：マスコンOFF、ブレーキ解除
←→ ＊ ＃	：警笛
Menu	：制限速度確認
FOMA端末開閉※2	：ドア閉め

※1：持ち時間が0になるとゲームオーバーです。
※2：FOMA端末を開き、すぐに閉じます。

■ 遊びかた

① **出発**：停車中に「ドアが閉まります　ご注意ください」と表示されたら、5秒以内にFOMA端末をいったん開いて閉じます。車内信号が点灯したら、ブレーキを解除し、マスコンレベルを上げて出発します。
② **走行**：マスコンレベル、ブレーキを調整し、制限速度を守って走行します。
③ **停車**：停車駅に近づいたらブレーキで減速し、規定の停止位置に停車します。

■ ゲームモードについて

3つのゲームモードがあります。

モード	説　明
一周モード（はじめから）	東京駅から山手線を一周します。途中経過を保存できます。※
一周モード（つづきから）	保存した区間から再開します。
エリアモード	全区間を5区間ずつに区切ったエリア単位で遊びます。一周モードでクリアしたエリアから選択できます。

※：以下の場合に途中経過を保存できます。
• [クリア]を押して「タイトルに戻る」を選択した場合　• ゲームオーバー時　• 全区間クリア時

ｉアニメっちゃメーラーDX

文字に色や動きなどの効果を付けたり、キャラクタのアニメーションを付けたりして、楽しいメールを作れます。

■ メール作成を開始する

ｉアニメっちゃメーラーDXを実行するとトップ画面が表示されます。トップ画面から「新規作成」を選択して、メール作成を開始します。

■ 本文を作成する

プレビュー画面で文字を入力します。効果（エフェクト）も設定できます。
- カーソルを移動して [決定] を押し、文字を入力します。
- [クリア] で文字を削除できます。[#] で改行できます。
- 本文は全角 140 文字（半角 280 文字）まで送信できます。ただし、エフェクトを設定すると送信データ量が増えるため、送信できる文字数は少なくなります。

入力文字数（エフェクト含む）／送信可能文字数

アニメーションやエフェクトを使うには [メニュー] を押し、項目を選択します。

項　目	説　明
1. ステージエフェクト	メールの背景色と背景パターンを選択できます。 • 色を「ホワイト」にすると見えないパターンがあります。
2. テキストエフェクト	文字の色やサイズ、動きを設定できます。始点と終点で [決定] を押すとカテゴリの一覧が表示されます。カテゴリを選択し、エフェクトを選択します。
3. キモチアニメ	キャラクタのアニメーションを挿入できます。挿入したアニメにカーソルを合わせて [決定] を押し、セリフを入力します。
4. アニメっちゃ絵文字	ｉアニメっちゃメーラー DX の絵文字を入力できます。
5. エフェクト解除	テキストエフェクトを解除します。解除する範囲の始点と終点で [決定] を押します。

■ 送信する

プレビュー画面で [メニュー] を押し、「送信」を選びます。
- [メニュー] を押して「途中保存（1 件のみ可能）」を選択すると、作成中の本文を保存できます。宛先は保存されません。既に保存されているメールがあると上書きされます。

■ その他の機能

トップ画面から選択して以下の操作が行えます。

項　目	説　明
受信ボックス	受信メールを表示します。
送信ボックス	送信メールを表示します。
未送信ボックス	送信に失敗したメールを表示します。
制作途中データ	送信しないで途中保存したメールを表示します。
センター問い合わせ	FOMA 端末のメールメニューを表示します。メールメニューからｉモード問合せを実行できます。

- ｉアニメっちゃメーラー DX から受信したメール、ｉアニメっちゃメーラー DX で送信または保存したメール以外は表示できません。
- 受信ボックス、送信ボックス、未送信ボックスのメニューから返信、転送、再送信が行えます。

おしらせ

● メールの受信側にもｉアニメっちゃメーラー DX が必要です。ｉアニメっちゃメーラー DX のメールは、FOMA 端末のメール機能やパソコンなどのメールソフトでは正しく表示できません。

Gガイド番組表リモコン

※画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。番組タイトル・番組内容・開始／終了時間・Gコード®を知ることができます。好きな番組を予約リストに登録するとスケジュール帳に登録され、番組開始時にアラームを鳴らすことができます。さらにテレビ番組のジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索をすることが可能です。また、テレビ、ビデオ、DVDのリモコン操作ができます。DVD／ハードディスクレコーダーに赤外線録画予約することも可能です（一部対応していない機種もあります）。

- はじめて「Gガイド番組表リモコン」をお使いになるときは、初期設定をし、利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『FOMA iモード操作ガイド』をご覧ください。

電子マネー「Edy」

電子マネー「Edy」とは、タッチするだけで支払いができる、簡単・便利なプリペイド型の電子マネーサービスです。
電子マネー「Edy」はビットワレット株式会社が提供するサービスです。ご利用の際には注意事項を確認し、利用約款に同意された上で、初期設定を実行してください。

初期設定・サービス登録（無料）

▼

チャージ（入金）
- 店頭でのEdyチャージ（入金）
- iモードでのEdyチャージ(入金)※

使う（お支払い）
- 店頭でのお支払い
- Mobile Edy(ネットでのお支払い)※

便利な機能
- 残高・履歴照会
- Edyギフトのお受取り

サポート
- 機種変更の「Edy」に関するお手続き※
- 故障時の「Edy」に関するお手続き※

※：事前にサービス登録が必要です。

電子マネー「Edy」の詳しいサービス内容やご利用可能店舗、およびFOMAの機種変更・故障・紛失時などに発生する電子マネー「Edy」に関する諸手続きにつきましては、インターネットホームページおよびiモードサイトをご覧いただくか、Edy救急ダイヤルまでご連絡ください。

- 本サービスについてのお問い合わせ先：ビットワレット株式会社
- Edyに関する情報については、Edyのiモードサイトおよびホームページをご覧ください。
  iモードサイト：http://imode.edy.jp　ホームページ：http://www.edy.jp
- Edyに関する諸手続きでお困りの場合は：
  Edy救急ダイヤル　0570-081-999（PHSは不可）
  受付時間：9:00 ～ 21:00（全日）
  ※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いないようにおかけください。
- FOMA端末に設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

iモードサイト
アクセス用QRコード

おしらせ

- 電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」または「サービスメニュー」機能の使用時など、ｉモード通信を利用する際はパケット通信料がかかります。
- ソフト動作設定の通信設定を「通信しない」に設定している場合やセルフモード中は、ｉモード通信を行えないため、電子マネー「Edy」の初期設定や「主なメニュー」または「サービスメニュー」機能を使用できませんのでご注意ください。
- Mobile Edy（ネットでのお支払い）をご利用の際は、Edyセンターからの決済開始メールを受信する必要があります。ドメイン指定受信を設定している場合は、ドメインに「@bitwallet.co.jp」を登録してください。
- 機種変更しても、変更前に使用されていたEdy対応携帯電話は、Edyカードとしてご利用いただけます。廃棄する際にはご注意ください。

便利！多機能電卓

基本的な計算のほかに、ワリカン計算などいろいろな計算ができます。

■ 基本計算のしかた

タイトル画面から「基本計算」を選択すると、電卓画面が表示されます。

計算方法は通常の電卓と同様です。＋－×÷は で選びます。 で計算結果を表示します。

数字を間違えたときは 、最初から計算し直すときは を押します。

- を押して「計算一覧表示」を選択すると計算中の内容、「過去計算一覧表示」を選択すると、過去の計算内容（5件まで）を表示できます。

■ いろいろな計算

タイトル画面から選択します。

項　目	説　明
ワリカン計算	「男性」「女性」などの属性ごとに負担の割合（0.1 ～ 2.0）と人数を設定して「ワリカン！」を選択すると、金額が表示されます。
ゴチルーレット	金額をルーレットで決めます。総額と人数、本気度（人ごとに金額にどのくらいの差をつけるか）を設定して「開始」を選択するとルーレットが回り、 を押すと金額が表示されます。以降、一人ずつ でルーレットを回し、 で決定します。
時間計算	スタート時から終了時までの時間を計算します。スタート日時、終了日時は を押し、 で変更箇所を選んで で数字を増減し、 で確定します。日時設定後に「決定」を選択すると、時間が表示されます。 を押して、表示単位を選択できます。また、「あと何日？」では現在から指定日時までの時間、「あれから何日？」では指定日時から現在までの時間が計算できます。
カロリー計算	摂取カロリーの合計を計算します。最初に性別、年齢などを入力すると、カロリー計算画面が表示されます。 **基本必要カロリー** **前の週の平均カロリー** **1日のカロリーの合計** **1日に食べたものを入力** カーソルを入力したい位置に移動して を押し、食品リストから選択します。カロリー量レベルを示すアイコンが入力されます。アイコンにカーソルを合わせると食品名を確認できます。 ・計算されるカロリーは概算であり、厳密なものではありません。 ・カロリーの超過・不足は、性別・年齢ごとの標準必要カロリーに対する過不足を示したものです。
いろいろ変換	距離や広さ・重さの単位、西暦／和暦など各種の変換ができます。変換したい元の単位に値を入力し確定すると、各単位での値が表示されます。

ウゴクフォトミラクル

D901iSで撮影した画像を、メロディに合わせていろいろなエフェクト(効果)をかけて表示するｉアプリです。ｉアプリ待受画面にも対応しています。

- トップ画面から「遊ぶ」を選択し、メニュー画面から項目を選択します。「撮影する」または「マイピクチャから選択」で静止画を撮影または選択後、「再生する」を選択してください。

項　目	説　明
撮影する	カメラを起動し静止画を撮影します。静止画はデータBOXのマイピクチャには保存されません。
マイピクチャから選択	マイピクチャから、FOMA端末で撮影した静止画を選択します。 • VGA(480×640)を超える画像も選択できますが、VGA(480×640)以下の画像を選択することをおすすめします。
再生する	撮影または選択した静止画を再生します。
待受設定方法	ｉアプリ待受画面の設定方法を表示します。設定すると、待受画面で画像を再生できます。メロディは鳴りません。待受画面で クリア を押して実行画面を表示すると、画像を撮影/選択したりメロディ付きで再生できます。
Q&A(サイトへアクセス)	ウゴクフォトミラクルのサイトに接続し、Q&Aページを表示します。

珍さん計画DXおこづかい帖プラス

スケジューラーとおこづかい帳機能を備えたｉアプリです。ｉアプリ待受画面にも対応しています。

スケジュールのアイコン

所持金
表示位置を変更したり表示を消すには、 を押し、「所持金表示設定」を選択して「右下」「左下」「非表示」を選択します。

■ スケジューラ機能

予定を登録できます。ｉアプリ待受画面に設定すると、登録日にアイコンが表示されます。

項　目	説　明
登録	を押して「予定設定」を選択し、スケジュールの内容を設定し を押します。 • 1日に登録できるスケジュールは最大3件です。
確認	を押して「予定確認」を選択します。 を押して「修正」「削除」を選択するとスケジュールを修正、削除できます。

■ おこづかい帖機能

毎月の収入と出費を記録できるおこづかい帖です。所持金の額によって珍さんの部屋の内装が変わります。

項　目	説　明
おこづかい設定	・ を押して「おこづかい設定」を選択し、おこづかい日、現在の所持金、毎月のおこづかいを設定します。 を押して登録します。 ・当日の日付をおこづかい日に設定した場合、来月になるまで入金されません。所持金から入金してください。 ・2ヶ月以上起動しないと、前月の1ヶ月分だけおこづかいが入金されます。
毎月の支払いの設定	メニューから「毎月の支払い」を選択し、家賃など毎月支払う金額を設定します。
毎日の出費、臨時収入の入力	を押して「おこづかい帖」を選択し、書き込み欄から出費の内容と支払方法を選択し、金額（100円単位）を入力します。 ・「りんじ収入」を選択すると、入力した金額が所持金に追加されます。 ・以前のおこづかい帖を表示するときは、書き込み欄の出費内容にカーソルを合わせて を押します。 書き込み欄

ワンタッチで i アプリを起動する　ワンタッチボタン

ワンタッチ登録をする

・ワンタッチ登録できる i アプリは1件です。お買い上げ時は i アプリ“電子マネー「Edy」”が登録されています。

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 登録する i アプリにカーソルを合わせて Menu 9 1 を押す

・解除するとき：解除する i アプリにカーソルを合わせて Menu 9 1 を押す

ワンタッチで i アプリを起動する

1 待受画面で を1秒以上押す

おしらせ

● ワンタッチボタンにどの i アプリが登録されているかを確認できます。☛P303

ツータッチで i アプリを起動する　ツータッチ i アプリ

ツータッチ登録をする

・ツータッチ登録できる i アプリは最大10件です。

つづく

1 **待受画面で [▽] を 1 秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **登録する i アプリにカーソルを合わせて [Menu][9][2] を押す**

- 解除するとき：解除する i アプリにカーソルを合わせて [Menu][9][2] を押す

3 **登録先を選択する**

- 番号 0 ～ 9 は、i アプリを起動するときに使用するダイヤルキー [0] ～ [9] に対応しています。

ツータッチで i アプリを起動する

1 **待受画面でダイヤルキー（[0] ～ [9]）を押し、[▽] を 1 秒以上押す**

i アプリを自動起動する

i アプリごとに自動起動の条件を設定し、一括して自動起動を行うかどうかを設定します。

- i アプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。

自動起動するかどうかを設定する　自動起動設定

- 「OFF」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定した i アプリも自動起動しません。

お買い上げ時　ON

1 **待受画面で [Menu][3][2][2] を押す**

2 **[1] または [2] を押す**

自動起動の日時を設定する　自動起動情報登録

i アプリごとに自動起動の ON ／ OFF や起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、 i アプリによって異なります。
- i アプリによっては自動起動できないものがあります。
- 自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 **待受画面で [▽] を 1 秒以上押し、フォルダを選択する**

2 **設定する i アプリにカーソルを合わせて [Menu][6] を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

ユーザ設定：自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。
- 「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

時刻　：自動起動する時刻を入力します。

繰り返し　：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
・「1 回のみ」に設定した場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
・「毎日」に設定すると、時刻欄で設定した時刻に毎日自動起動します。
・「毎週」に設定した場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週　：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付　：繰り返しを「1 回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

アプリ設定 1 ～ 4
：ｉアプリ DX によっては、動作中に自動起動の条件を最大 4 つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4 [□]を押す

おしらせ

● 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ｉアプリは起動しません。また、次の理由でｉアプリが起動しなかったとき（※の場合を除く）は、待受画面にが表示され、ｉアプリ名・日時・起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
- FOMA 端末の電源が入っていない場合※
- FOMA カード動作制限中（プリインストールｉアプリを除く）
- FOMA カードを認識できない場合（プリインストールｉアプリを除く）
- 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※
- 自動起動の間隔が短すぎたとき※
- 通話中、通信中
- 待受画面以外が表示されているとき、ｉアプリ待受画面の操作中
- 他の機能が動作中
- オールロック中、PIM ロック中
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）
- アラームやスケジュールアラーム鳴動中（自動起動と同一時刻の場合も含む）
- IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき

● 複数のｉアプリを同時刻に自動起動するように設定しても、起動するｉアプリは 1 つだけです。起動できなかったｉアプリの情報は起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。

● FOMA 端末の日付・時刻よりも前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する　起動失敗履歴

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、ｉアプリ名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 起動失敗履歴は最大 20 件記録されます。20 件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 待受画面で [Menu][3][3][1] を押す

■ **履歴をすべて削除するとき**
① [□]を押して「はい」を選択する

ｉアプリ

サイトやメールから ｉ アプリを起動する　ｉ アプリ To

サイトや ｉ モードメールの ｉ アプリを起動できるリンク項目を選択したときや、FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたときに、ｉ アプリが起動します（ｉ アプリ To）。

1 **サイトや ｉ モードメールの ｉ アプリを起動できるリンク項目を選択する**

2 **「はい」を選択する**

サイト接続が終了し、ｉ アプリが起動します。

おしらせ

- ｉ アプリ To で起動する ｉ アプリが FOMA 端末に保存されていないと、指定された ｉ アプリがない旨のメッセージが表示され、起動できません。ただし、ｉ アプリによっては保存されていなくても、サイトからダウンロード後、すぐに起動するものがあります。
  - ダウンロード後すぐに起動する ｉ アプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
  - ダウンロード後すぐに起動した ｉ アプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、FOMA 端末に保存できない ｉ アプリもあります。
- 起動する ｉ アプリを ｉ アプリ To で起動しないように設定している場合は、メッセージが表示され ｉ アプリを起動できません。☛P288
- 赤外線通信、バーコードリーダー、読み取り装置（リーダー／ライター）を利用して、ｉ アプリを起動することもできます。

ｉ アプリ待受画面を操作する　ｉ アプリ待受画面

ｉ アプリを待受画面に設定し、待受画面から ｉ アプリを起動して操作します。ｉ アプリ待受画面を設定しているときは、画面上部に または が表示されます。

・あらかじめ ｉ アプリを待受画面に設定しておく必要があります。☛P118

おしらせ

- ｉ アプリ待受画面を設定中に FOMA 端末の電源を入れると、ｉ アプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉ アプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何も操作せずに約 5 秒たつと、自動的に ｉ アプリ待受画面が起動します。自動電源 ON によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的に ｉ アプリ待受画面が起動します。
- 通信を行う ｉ アプリを ｉ アプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- プライバシーモード中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉ アプリ待受画面は動作しません。
- ｉ アプリ待受画面を設定中にオールロックまたは PIM ロックを起動すると、ｉ アプリ待受画面は一時的に解除されます。ロックを解除すると ｉ アプリ待受画面が再度起動します。
- ｉ アプリ待受画面に設定されている ｉ アプリが IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉ アプリ待受画面が解除されます。
- ｉ アプリ待受画面の起動中に ｉ アプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉ アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ｉ アプリ名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。
- ｉ アプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。

ｉ アプリ待受画面の ｉ アプリを起動する

ｉ アプリ待受画面に設定している ｉ アプリを起動するには、ｉ アプリ待受画面から ｉ アプリの画面に切り替えます。

1 **ｉ アプリ待受画面で [クリア] を押す**

ｉ アプリの画面に切り替わり、画面上部の[アイコン]または[アイコン]が点滅します。

2 **ｉ アプリを操作する**

ｉ アプリを終了して ｉ アプリ待受画面に戻る

1 **ｉ アプリ動作中に [PWR] を押す**

2 **「終了する」を選択する**

ｉ アプリが終了し、ｉ アプリ待受画面が起動します。画面上部のマークが[アイコン]から[アイコン]、または[アイコン]から[アイコン]に変わります。

- ｉ アプリを終了して ｉ アプリ待受画面に戻る方法は、ｉ アプリによって異なります。[クリア]を押すと戻る ｉ アプリもあります。
- 「終了する」を選択しても ｉ アプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。画面上部の[アイコン]、[アイコン]が消えます。
- ｉ アプリを終了しないとき：「キャンセル」を選択する

おしらせ

● ソフト一覧で ｉ アプリ待受画面に設定している ｉ アプリにカーソルを合わせて [Menu] を押し、「[アイコン] アプリ待受画面」を選択しても解除できます。

ｉ アプリ待受画面の終了履歴を表示する　異常終了履歴

ｉ アプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ｉ アプリ名と日時が記録されます。
- 異常終了履歴は最大 20 件記録されます。20 件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。

1 **待受画面で [Menu] [3] [3] [2] を押す**

■ **履歴をすべて削除するとき**

① **[□] を押して「はい」を選択する**

ｉ アプリを管理する

ｉ アプリをバージョンアップする　バージョンアップ

ｉ アプリが更新されている場合は、バージョンアップできます。
- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されている ｉ アプリはバージョンアップできません。

1 **待受画面で [▽] を 1 秒以上押し、フォルダを選択する**

2 バージョンアップする i アプリにカーソルを合わせて Menu 5 を押し、「はい」を選択する

- バージョンアップが必要ない場合は、i アプリが最新である旨のメッセージが表示されます。

おしらせ

- バージョンアップすると、i アプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去されることがあります。
- i アプリによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバから i アプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- i アプリによっては、実行時に自動的にバージョンアップするものがあります。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成してカテゴリごとに i アプリを整理します。また、フォルダの並び順を変更できます。

フォルダを作成する

- フォルダは最大 20 個作成できます。

1 待受画面で [i] を 1 秒以上押す

2 Menu 4 を押す

■ **フォルダ名を変更するとき**

① フォルダ名を変更するフォルダにカーソルを合わせて Menu 1 を押す

■ **フォルダの並び順を変更するとき**

① 順番を変更するフォルダにカーソルを合わせて Menu を押し、5 または 6 を押す

選択したフォルダの並び順が 1 つ上または下に変わります。

3 フォルダ名を入力して [□] を押す（全角 8 文字（半角 16 文字）まで）

フォルダを削除する

- i アプリが保存されているフォルダを削除すると、フォルダ内の i アプリも削除されます。ただし、保護されている i アプリがある場合は、フォルダを削除できません。

1 待受画面で [i] を 1 秒以上押す

2 削除するフォルダにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

- フォルダ内に i アプリが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

3 「はい」を選択する

- 削除するフォルダ内にメール連動型 i アプリが含まれている場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、i アプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は，i アプリやメールフォルダは削除できません。
- 削除するフォルダに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応 i アプリが含まれる場合は、それ以外の i アプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P246
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、画面の指示に従いプライバシーモードを解除してください。

ｉアプリを保護する

・最大保護件数☛P33

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 保護するｉアプリにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

ｉアプリが保護され、ソフト一覧画面で または が表示されます。

・解除するとき：解除するｉアプリにカーソルを合わせて Menu 3 1 を押す

■ **複数保護／解除するとき**

① **Menu 3 2 を押し、ｉアプリを選択する**

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ **フォルダ内のすべてのｉアプリを保護／解除するとき**

① **Menu 3 3 を押し、端末暗証番号を入力する**

おしらせ

- データ一括削除を行うと、保護されているｉアプリもすべて削除されます。☛P412

ｉアプリを削除する

・ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されます。
・ｉアプリによっては、ｉアプリを起動してICカード内のデータを削除しないと削除できないものがあります。
・おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

1 待受画面で を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 削除するｉアプリにカーソルを合わせて Menu 2 1 を押す

■ **複数削除するとき**

① **Menu 2 2 を押し、ｉアプリを選択する**

・ で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。

② **を押す**

■ **フォルダ内のすべてのｉアプリを削除するとき**

① **Menu 2 3 を押す**

② **端末暗証番号を入力し、「すべて削除」または「保護以外削除」を選択する**

・フォルダ内のすべてのｉアプリまたは保護されていないすべてのｉアプリが削除されます。

3 「はい」を選択する

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、ｉアプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はｉアプリもメールフォルダも削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内のデータを削除しないと削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをすべて削除するときは、フォルダにカーソルを合わせて[Menu]を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メール一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P246
- 保護されているｉアプリは「1件削除」または「複数削除」では削除できません。保護されているｉアプリを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号を入力して、「すべて削除」を選択してください。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）は端末暗証番号の入力が必要です。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、ｉモードサイトの「My D-style」からダウンロードできます。☛P289
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、画面の指示に従いプライバシーモードを解除してください。

ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 待受画面で[ｉ]を1秒以上押し、フォルダを選択する

2 移動するｉアプリにカーソルを合わせて[Menu][4][1]を押す

■ 複数移動するとき

① [Menu][4][2]を押し、ｉアプリを選択する
- [●]で選択／解除が切り替わり、[Menu]で全選択／全解除できます。

② [□]を押す

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを移動するとき

① [Menu][4][3]を押す

3 移動先のフォルダを選択し、「はい」を選択する

おしらせ

- 待受画面で[Menu][6][7]を押しておサイフケータイ対応ｉアプリのみを一覧表示したときは、ｉアプリを他のフォルダに移動することはできません。

ｉアプリを並べ替える　ソフトの並べ替え

お買い上げ時　ダウンロード日時順

1 待受画面で[Menu][3][2][1]を押す

2 1 ～ 5 を押す

- 「ダウンロード日時順」および「使用日時順」では、FOMA 端末の日付・時刻で設定されている日時順に並び替わります。
- 「名前順」の場合、ｉ アプリ名に全角／半角の文字や英字が混在していると、50 音順と一致しないことがあります。
- 「使用回数順」にはｉ アプリ待受画面として起動した回数は含みません。使用回数はｉ アプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「ソフトのサイズ順」の場合、ｉ アプリのファイルサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並び替わります。

フォルダ内のｉ アプリの件数を確認する　フォルダ内ソフト件数

1 待受画面で を 1 秒以上押す

2 ｉ アプリの件数を確認するフォルダにカーソルを合わせて を押す

：通常のｉ アプリ　　：ｉ アプリ DX
：メール連動型ｉ アプリ　　：おサイフケータイ対応ｉ アプリ

ｉ アプリの設定状況を確認する　ソフト情報表示

1 待受画面で を 1 秒以上押す

2 を押す

ソフト保存領域：保存されているｉ アプリの総容量がバーと数値で表示されます。
ソフト保存件数：保存されているｉ アプリの総件数が表示されます。
アプリ待受画面：ｉ アプリ待受画面に設定しているｉ アプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。
ワンタッチボタン：ワンタッチボタンに設定しているｉ アプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。
自動起動：次回の自動起動に設定しているｉ アプリの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

ｉ アプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれ機能に対応したｉ アプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。

ｉ アプリから電話をかける

1 カスタム発信の各項目を選択して発信条件を設定する

- カスタム発信の設定方法☛P52

2 Menu を押して「はい」を選択する

設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉ アプリは中断されます。
- ｉ アプリによって操作方法が異なったり、電話をかけられない場合があります。

iアプリからサイトに接続する

1 サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択する

iアプリが終了し、サイトが表示されます。

- iアプリ待受画面からはサイトに接続できません。
- iアプリによって操作方法が異なったり、サイトに接続できない場合があります。

iアプリからカメラ機能を利用する

1 iアプリを操作してカメラ撮影を行う

- iアプリによっては、自動的にカメラが起動する場合があります。

おしらせ

- iアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はマイピクチャまたはiモーションの「カメラ」フォルダには保存されず、「モード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダ、またはiアプリ内に保存されます。また、撮影した画像はiアプリから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。
- iアプリによって画像サイズ、撮影サイズなどの変更やフレームなどを設定できる場合があります。

iアプリからバーコードリーダーを利用する

1 iアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはiアプリで利用・保存される旨のメッセージが表示されます。

iアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 iアプリを操作して赤外線通信を行う

- 赤外線通信によってiアプリ起動データを受信し、iアプリを起動することもできます。
- 赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

ｉモーション

ｉモーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はｉモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません）。
ｉモーションには大きく分けて以下の2つのタイプがあります。ｉモーションがどのタイプであるかは、サイトにより異なります。

種類		説明
タイプ	再生動作	
標準タイプ（保存可※）	データを取得しながら再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
	データを取得後に再生（最大500Kバイト）	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生します。
ストリーミングタイプ（保存不可）	データを取得しながら再生（最大2Mバイト）	ｉモーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わったｉモーションのデータは消去され、FOMA端末に保存できません。

※：ｉモーションによっては、保存できないものもあります。

サイトからｉモーションを取得する

1 ｉモーションのあるサイトを表示し、ｉモーションを選択する

ｉモーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。
- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、取得しながら再生します。再生が終了すると取得が完了した旨のメッセージが表示されますが、保存はできません。
- ｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとすると、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプのｉモーションを取得できます。☛P308

■ データを取得しながら再生するｉモーションのとき

受信済みのデータ量／全体のデータ量

ｉモーションを取得しながら再生します。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ［決定］：一時停止／再生（標準タイプのみ）　［上下］：音量調整
  - ［本］：中断（ストリーミングタイプ）
    停止（標準タイプ。［決定］を押すと先頭から再生）
  - ［Menu］：詳細情報の表示
- 再生を一時停止または停止しても、データの受信は継続します。
- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。
- ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

■ データを取得後に再生するｉモーションのとき

取得が完了すると、自動的に再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  [決定]：一時停止／再生　[上下]：音量調整　[右]：早送り再生
  [メール]：停止（取得が完了した旨のメッセージ表示）
  [Menu]：詳細情報の表示
- ｉモーションの自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

2 「保存」を選択する

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。
- ｉモーションをもう一度再生するときは「再生」を選択します。
- ｉモーションの詳細情報を表示するときは「情報表示」を選択します。
- ｉモーションを保存しないときは「戻る」を選択します。標準タイプの場合は確認画面が表示されますので、「いいえ」を選択します。

3 表示名を入力して [メール] を押す（全角・半角を問わず36文字まで）

取得したｉモーションは、ｉモーションの「[i]モード」フォルダに保存されます。
- [Menu] を押して、ｉモーションを待受画面や着信音、着信画像などに設定できます。☛P327

■ 取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されているとき

テロップ中に電話番号（Phone To、AV Phone To）やメールアドレス（Mail To）、サイト（Web To）などのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとリンク先に接続するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、リンク先に接続します。
- Phone To（AV Phone To）の場合は、[メール] を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、リンク先に接続する前に保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ 待受画面に設定するとき

① [Menu][1] を押して「はい」を選択する
- 拡大表示できる動画／ｉモーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面を解除して、選択した動画／ｉモーションが待受画面に設定されます。

■ 着モーションに設定するとき

① [Menu][2] を押し、[1] 〜 [6] を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① [Menu][2] を押し、[7] または [8] を押す
② 設定する電話帳データを選択する
③ 内容を確認して [メール] を押す
- 既に着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について☛P102「登録内容を修正する」操作3

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

① [Menu][3] を押し、[1] または [2] を押す
- 既に着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- 動画／ｉモーション設定の制限事項☛P327

おしらせ

- ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、停止したり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
- データを取得しながら再生するｉモーションでも、サイトの状況などによって取得中は再生できない場合があります。
- 旧バージョンのｉモーションを取得した場合は、文字化けすることがあります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存可能な空き容量が確保できるまでFOMA端末に保存されている動画／ｉモーションを削除してください。

Menu 293

ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する　ｉモーション設定

ｉモーションを自動的に再生するかどうかや取得するｉモーションのタイプを設定します。

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する　ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

1 待受画面で［Menu］［9］［3］を押す

2 各項目を選択して設定する

自動再生設定：標準タイプのｉモーションを取得中、または取得完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。
- 「自動再生しない」に設定しても、ｉモーション取得完了後「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定
：取得するｉモーションのタイプを設定します。
- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3 ［□］を押す

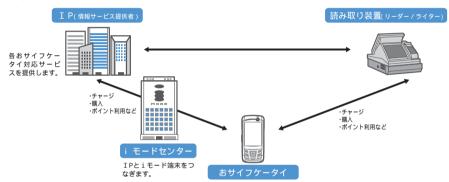
おしらせ

- サイト画面では［Menu］を押して「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

ｉモーション

おサイフケータイ　ｉモード FeliCa

おサイフケータイとは

ｉ モード端末のIC カード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモード FeliCa ）やIC カードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCa とは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触IC カードの技術方式の１つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り装置（リーダー／ライター・注）にかざすだけで電子マネーを使ってショッピングの支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど携帯電話が実生活の中でますます便利な道具になります。
また、従来の FeliCa に対応した非接触 IC カードと比べ、おサイフケータイ内の IC カードに電子マネーをサイトから入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。
※IC カード機能をご利用いただくには、IC カード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードしてください。
（注）IC カードの読み書きを行う装置です。

- 各おサイフケータイ対応サービスの申し込み・利用方法につきましてはそれぞれ異なりますので、IP（情報サービス提供者）などのお問い合わせ先にご連絡ください。また、各おサイフケータイ対応サービスのご利用にあたっての注意事項については『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。
- 端末暗証番号および各サービスのパスワードの管理にはご注意ください。
- ご利用の各おサイフケータイ 対応サービスのサービス名や問い合わせ先などは、メモをとり保管してください。おサイフケータイの故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、IC カード内のデータが消失・変化してしまう場合があります。修理の場合、データは原則としてお客様自身で消去していただきますので、あらかじめご了承ください。万が一、IC カード内のデータが消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。IC カード内のデータを消去する場合や、消失・変化してしまった場合の対応は、各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスの IP（情報サービス提供者）などにお問い合わせの上、ご確認ください。
- ドコモショップなど窓口にて、他のおサイフケータイへの交換時および故障取替時に、IC カード内のデータを新機種へコピーすることはできません。対応方法につきましては各おサイフケータイ対応サービスにより異なりますので、事前にご契約しているサービスの IP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。
- おサイフケータイ対応 ｉ アプリも通常の ｉ アプリと同じように、自動起動や削除、フォルダ管理などの操作を行うことができます。
- おサイフケータイの紛失にはご注意ください。万が一紛失してしまった場合、ご利用いただいていたおサイフケータイ対応サービスに関することは、ご契約しているサービスのIP（情報サービス提供者）などにお問い合わせください。ただし、ICカード機能の制限を行うことはできませんので、ご注意ください。

おサイフケータイの利用方法

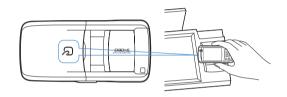
ステップ 1　おサイフケータイ 対応 i アプリをダウンロードする ☛P284

お買い上げ時にはおサイフケータイ 対応 i アプリ「電子マネー「Edy」」が登録されています。

ステップ 2　おサイフケータイ 対応 i アプリを起動して IC カード内のデータの読み書きを行う

おサイフケータイ対応 i アプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認できます。

ステップ 3　FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざす

FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用できます。この機能はおサイフケータイ対応 i アプリを起動せずに利用できます。

おしらせ

- FOMA 端末の FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざすときに、FOMA 端末に強い衝撃を与えないでください。
- 通話中や i モード接続中でもおサイフケータイを利用できますが、i モード接続中におサイフケータイ対応 i アプリを起動できません。
- 電源を切った状態でも FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして IC カードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラーム音が鳴った後で充電しなかった場合は、利用できない場合があります。その場合は電池パックを充電してください。また、電源を切った状態では、おサイフケータイ 対応 i アプリを起動した IC カード内のデータの読み書きはできません。
- FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしたとき、i アプリが起動することがあります。ただし、起動対象の i アプリが FOMA 端末にあらかじめ保存されていない場合や、i アプリ To で起動しないように設定されている場合は、起動しません。

おサイフケータイ対応 i アプリを起動する

FOMA 端末に保存されているおサイフケータイ対応 i アプリや、ダウンロードしたおサイフケータイ対応 i アプリを起動します。

1 **待受画面で Menu 6 7 を押す**

2 起動するおサイフケータイ対応 ｉ アプリを選択する

・各 ｉ アプリの設定内容を示すマークの意味については、「ｉ アプリを起動する」の操作 3 をご覧ください。☛P286
・サブメニューの項目については、「ｉ アプリ」をご覧ください。☛P282

■ **終了するには**

おサイフケータイ対応 ｉ アプリごとに設定されている方法で終了してください。
・ を押してから「終了する」を選択しても、終了できます。

おしらせ

● おサイフケータイ 対応 ｉ アプリ起動中は、FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざしても IC カードを利用できないことがあります。
● テレビ電話通話中はおサイフケータイ 対応 ｉ アプリの一部の操作ができないことがあります。
● 次のような場合、動作中のおサイフケータイ 対応 ｉ アプリは中断され、IC カードへのデータの読み書きも中断されます。その場合、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
・電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定している場合を除く）
・アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
・他の機能に切り替えたとき
● 通話中やアラーム鳴動中に を押しておサイフケータイ 対応 ｉ アプリの画面に切り替えたときの動作は、ご利用のおサイフケータイ 対応サービスによって異なります。
● 圏外で通信できなかったり、登録データが使用できない場合、おサイフケータイ 対応 ｉ アプリによっては起動しなかったり、正常に動作しないことがあります。
● プライバシーモード中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）におサイフケータイ 対応 ｉ アプリを起動する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

Menu 8314

IC カード機能を使用できないようにする

IC カードロック

IC カードロックを設定すると、FeliCa マークを読み取り装置（リーダー／ライター）にかざして IC カードを利用したり、おサイフケータイ 対応 ｉ アプリを使用したりできなくなります。

・電源を切っても本機能の設定は有効です。
・オールロック中は本機能を設定できません。IC カードロックとオールロックの両方を設定するには、先に IC カードロックを設定してから、オールロックを設定してください。
・遠隔ロックを起動すると、オールロックと同時に IC カードロックも設定されます。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で を 1 秒以上押し、「はい」を選択する

IC カードロックが設定され、待受画面に が表示されます。
・メニューから操作した場合は、端末暗証番号を入力し、 を押します。

■ **解除するとき**

① **待受画面で を 1 秒以上押し、端末暗証番号を入力する**
・メニューから操作した場合は、端末暗証番号を入力し、 を押します。

おしらせ

● 電池パックを取り外すと IC カードロックが自動的に設定されます。解除するときは、電池パックを取り付けて電源を入れてください。
● IC カードロック中に電源を切ったり、電池残量が空になって電源が切れても、設定は解除されません。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

miniSD メモリーカードを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

PDF 対応ビューアを使いこなす

画像を表示する

マイピクチャ

FOMA 端末のデータ BOX のマイピクチャに保存されている画像を表示します。

1 待受画面で [メール]/[1] を押す

2 フォルダを選択する

マイピクチャ 1/1
カメラ
iモード
デコメールピクチャ
アイテム
プリインストール
データ交換
アルバム1
アルバム2

各フォルダには次のような画像が保存されています。

カメラ　：カメラやキャラ電で撮影した画像、PDF データから切り出した画像

iモード　：サイトや i モードメール、i アプリから取り込んだ画像

デコメールピクチャ
：お買い上げ時に内蔵されているデコメール用画像、サイトやバーコードリーダーから取り込んだ画像

アイテム　：お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたアイテム画像

プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されている画像

データ交換：バーコードリーダーで取り込んだ画像、miniSD メモリーカードから移動／コピーした画像、データ通信で受信した画像

アルバム　：他のフォルダから移動した画像
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛354
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSD メモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるときは [表示切替] を押し、[1] または [2] を押します。miniSD メモリーカードの操作方法☛P350

3 表示する画像にカーソルを合わせる

カーソル位置の画像の表示名とマーク

サムネイル表示のとき

① ② ③④
カメラ 1/1
ジョンの挨拶
我が家の愛犬
20050826145824
20050826145810
20050826140206
20050826132509
20050826113512
20050826101208
20050826100010

タイトル表示のとき

画像一覧

① 取得元
[内蔵]：内蔵　[iモード]：i モード　[カメラ]：カメラ
[フレーム]：フレーム、スタンプ　[データ交換]：データ交換　[キャラ電]：キャラ電

② 画像の種類
表示なし：静止画　[連写]：連写画像、パラパラマンガ
[アニメ]：アニメーション、Flash

③ ファイル形式
GIF：GIF 画像　JPG：JPEG 画像　[SWF]：SWF（Flash 画像）

④ ファイル制限
[→]（青）　：メール添付・FOMA 端末外出力可
[→]（グレー）：メール添付・FOMA 端末外出力不可

- [表示切替] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- FOMA カード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では [制限] で表示されます。
- 表示名などを変更できます。☛P357

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ 画像をメールに添付して送信するとき

① 送信する画像にカーソルを合わせて [メール] を押す

選択した画像が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 静止画のファイルサイズが9000バイトよりも小さい場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- 静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、待受サイズへの変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P230
- メールに添付できる画像について☛P229

4 [決定] を押して画像を確認する

- [左右] を押すと前後の画像に切り替わります。
- 表示領域サイズ（240×240）より大きい画像は縮小表示されます。画像が縮小表示されているときは、[決定] を押すと等倍表示できます（ただし、D901iSで撮影した静止画以外で、サイズが1224×1632を超える場合、等倍表示できない場合があります）。等倍表示中は [上下左右] でスクロールできます。[決定] を押すと縮小表示に戻ります。
- アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash画像を表示すると、自動的に再生されます。再生中は次の操作ができます。

  [決定]：一時停止／再生　[Menu][0]：リトライ（先頭から再生）

  [i]：スロー再生（パラパラマンガ・連写画像の停止中のみ）

おしらせ

- プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定している場合）に画像を表示する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- 画像によってはサムネイルが正しく表示されない場合があります。
- 他の機能を実行しているときは、横縦（または縦横）のサイズが1224×1632を超える画像の等倍表示やメール添付（待受サイズに変換しない場合）ができないことがあります。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 待受画面で [上][1] を押し、フォルダを選択する

2 設定する画像にカーソルを合わせて [Menu][2] を押す

3 設定する項目を選択する

■ 待受画面に設定するとき

① [1] を押して「はい」を選択する

- 画像が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

■ 電話帳に新規登録するとき

① [2] を押す

- 電話帳登録について☛P91

■ 既に登録されている電話帳に更新登録するとき

① [3] を押し、更新する電話帳データを選択する

- 既に画像が設定されていたときは、選択した画像に置き換わります。

■ 電話発着信画像に設定するとき

① [4] を押し、[1] または [2] を押す

■ テレビ電話の発着信画像や代替画像、保留画像などに設定するとき

① 5 を押し、1 〜 6 を押す

・画像サイズが 176 × 144 を超える画像、および FOMA 端末外に出力不可の画像は、代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像に設定できません。

■ メール送信画像／受信画像、問合せ画像に設定するとき

① 6 を押し、1 〜 3 を押す

・メール送信画像／受信画像に設定した画像は、メッセージ R/F、SMS を送受信したときにも表示されます。

■ メニューアイコンに設定するとき

① 7 または 8 を押し、0 〜 9 を押す

選択した画像がアイコンデザインの「カスタム 1」または「カスタム 2」のメニューアイコンに設定されます。

・パラパラマンガ、Flash 画像、「アイテム」フォルダ内の画像はメニューアイコンに設定できません。

おしらせ

● 画像表示画面では Menu を押し、「イメージの利用」を選択します。
● 待受画面や電話帳に設定している画像を削除すると、それぞれの画像はお買い上げ時の設定に戻ります。
● 画像のサイズによっては、画面に表示しきれないことがあります。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画（最大 6 枚）を選択してパラパラマンガを作成します。

・アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像およびサイズが 640 × 480 を超える静止画はパラパラマンガに登録できません。
・パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。

1 待受画面で 1 を押し、フォルダを選択する

2 Menu 4 1 を押す

■ 解除するとき

連写画像を 1 枚ずつの静止画に分けることもできます。

① 解除するパラパラマンガにカーソルを合わせて Menu 4 2 を押す

3 パラパラマンガに登録する画像を選択する

選択した順に画像の上に 1 〜 6 の番号が表示されます。

・すべての選択を解除するとき：Menu を押す
・ を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

4 を押す

5 表示名を入力して を押す（全角・半角を問わず 36 文字まで）

画像一覧にパラパラマンガの最初のコマが表示され、 と表示名が表示されます。

おしらせ

● 画像表示画面では Menu を押し、「パラパラマンガ」→「作成」または「解除」を選択します。

データ表示／編集／管理

静止画を編集する

マイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目とその内容は次のとおりです。

編集項目	内　容	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※
サイズ変更	サイズを変更します。	1728 × 2304 (拡大／縮小は 352 × 288)
切出し	任意のサイズに切り出します。	1728 × 2304
明るさ／色調	明るさや色調を変更します。	352 × 288
効果	特殊な効果をかけます。	240 × 320
反転／回転	反転／回転します。	480 × 640
フレーム	フレームを重ねます。	352 × 288
スタンプ貼付	スタンプを貼り付けます。	352 × 288
テキスト貼付	文字を貼り付けます。	352 × 288
切抜き	任意の部分を切り抜きます。	240 × 320
サイズ制限保存	ファイルサイズを制限して保存します。	1728 × 2304
補正	色や明るさのバランスを補正します。	352 × 288

※： 画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

- 次の画像は編集できません。
  - アニメーション、パラパラマンガ、連写画像、Flash 画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - サイズが 1728 × 2304 を超える静止画、縦横のどちらかのサイズが 8 ドットより小さい静止画
- D901iS で撮影した静止画以外で、サイズが 1224 × 1632 を超える場合、編集できない場合があります。
- 編集した画像をパソコンなどで表示すると、FOMA 端末で透過表示されていた部分は白になります。

1 待受画面で [カメラ][1] を押し、フォルダを選択する

2 編集する静止画にカーソルを合わせて [本] を押し、[Menu] を押す

- 補正するには ☛P323

3 編集項目を選択し、静止画を編集する

編集メニュー画面

[1]：サイズ変更 ☛P318
[2]：切出し ☛P318
[3]：明るさ／色調 ☛P319
[4]：効果 ☛P320
[5]：反転／回転 ☛P320
[6]：フレーム ☛P320
[7]：スタンプ貼付 ☛P321
[8]：テキスト貼付 ☛P322
[9]：切抜き ☛P322
[0]：サイズ制限保存 ☛P323

4 編集が終わったら [保存] を押し、「保存」を選択する

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。
  フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について ☛P358

おしらせ

- 表示領域より大きい静止画は縮小表示されます。ただし、スタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き、サイズ変更の拡大／縮小時は等倍で表示されます。
- 静止画や編集方法によっては、編集結果がイメージと異なることがあります。
- 編集と保存を繰り返し行うと、画質が劣化することがあります。
- 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
- 静止画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

サイズを変更する

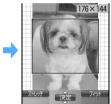
・静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で [1] を押す

2 画像サイズを変更する

■ **指定したサイズに変更するとき**

① **[1] ～ [8] を押す**

指定したサイズと静止画の縦横比が同じ場合は、サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。[上下] ／ [左右] を押してサイズ枠の位置を調整し [決定] を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。

・縦横比を無視して静止画全体を指定したサイズに収める場合は、[Menu] を押します。
・縦横比を保持したまま静止画全体を指定したサイズに収める場合は、[メール] を押します。

■ **拡大／縮小するとき**

① **[9] を押し、[左右] を押してサイズを拡大または縮小する**

縦横比を保持したまま、5% ずつ拡大／縮小します。画面の右上には現在の画像サイズと拡大／縮小率が表示されます。

・[Menu] を押すと 20% ずつ縮小、[メール] を押すと 20% ずつ拡大します。
・横縦（または縦横）のサイズが 352 × 288 まで拡大できます。
・縦横どちらかのサイズが 8 ドットになるまで縮小できます。

② **[決定] を押す**

静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

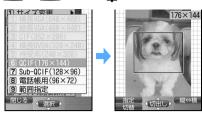
サイズや範囲を指定して、静止画の一部を切り出します。

・16 × 16 より小さい画像は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で [2] を押す

2 画像を切り出す

■ **指定したサイズに切り出すとき**

① [1] ～ [8] を押し、[方向キー] を押して切り出し枠の位置を調整する

- [ ] を押すたびに、切り出し枠の縦横が切り替わります。
- [ ] を押すたびに、切り出しサイズが切り替わります。
- 範囲指定に切り替えるには [Menu] を押します。

② [ ] を押す

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ **範囲を指定して切り出すとき**

① [9] を押す

範囲指定枠が点線で表示され、範囲指定枠の左上に✣が表示されます。

② [方向キー] を押して✣の位置を調整し、[ ] を押す

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に✣が表示されます。

③ [方向キー] を押して✣の位置を調整し、[ ] を押す

切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。

- [ ] の代わりに [ ] を押すと、左上位置を再度変更できます。
- [ ] を押した後に [方向キー] を押すと、範囲指定枠を移動できます。

④ [ ] を押す

指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で [3] を押す

2 明るさや色調を変更する

■ **明るさを調整するとき**

① [1] を押し、明るさを調整する

- 1段階ずつ増減するには [ ] を押します。
- 最大にするには [ ]、最小にするには [Menu] を押します。

② [ ] を押す

静止画編集画面に戻ります。

■ **色調をモノトーンまたはセピアにするとき**

① **[2] または [3] を押す**

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で [4] を押す

2 効果を選択する

静止画に効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし　：ぼかします。
球面　　：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。
エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。
うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。
きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。
モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で [5] を押す

2 静止画を反転／回転させる

- 次の操作ができます。

[上下キー]：上下反転　[左右キー]：左右反転　[Menu]：左 90 度回転　[本]：右 90 度回転

3 [決定] を押す

静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

1 編集メニュー画面で [6] を押す

編集している静止画と同じサイズのフレームが一覧表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択する

3 フレームを重ねた画像を確認したら [決定] を押す

静止画編集画面に戻ります。

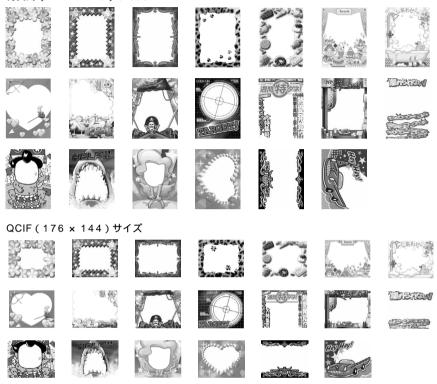
- フレームを切り替えるには、[上下キー] を押します。
- フレームを 180 度回転させるには、[Menu] を押します。

データ表示／編集／管理

お買い上げ時に登録されているフレーム

・お買い上げ時に登録されているフレームを削除した場合は、iモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

■ 待受用（240 × 320）サイズ

■ QCIF（176 × 144）サイズ

スタンプを貼り付ける

1 編集メニュー画面で 7PQRS を押す

編集している静止画よりも小さいサイズのスタンプが一覧表示されます。

・詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。

2 スタンプを選択する

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 ◎ を押してスタンプを貼り付ける位置を調整し、● を押す

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

・続けて別の位置に貼り付けることができます。

・貼り付けたスタンプをすべて削除するには、Menu を押します。

・効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 [キー] を押す

静止画編集画面に戻ります。

お買い上げ時に登録されているスタンプ

文字を貼り付ける　テキスト貼付

1 編集メニュー画面で [8] を押す

2 各項目を選択して設定する

テキスト　：文字を入力します（全角 20 文字（半角 40 文字）まで）。
文字の種類　：文字の種類を設定します。
文字のサイズ：文字のサイズを設定します。
文字色　：文字の色を設定します。
文字縁取り色：文字の縁取りの色を設定します。
背景色　：文字の背景色を設定します。
貼り方　：「まとめて」に設定すると文字をまとめて貼り付けられます。「一字ごと」に設定すると、1 文字ずつ異なる位置に貼り付けられます。

3 [キー] を押す

設定した文字（貼り方が「一字ごと」の場合は最初の文字）が画面の中央に表示されます。

4 [キー] を押して文字を貼り付ける位置を調整し、[キー] を押す

効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。
- 続けて別の位置に貼り付けることができます。
- 貼り付けた文字をすべて削除するには、[Menu] を押します。
- 貼り方が「一字ごと」の場合は、[キー] を押すたびに 1 文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字が表示されます。
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

5 [キー] を押す

静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で [9] を押す

[カーソル] が画面の中央に表示されます。

2 を押して切り抜く色に を合わせ を押す

の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。
- 続けて別の部分を切り抜けます。

3 を押す

静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

ファイルサイズを 9000 バイト以下、100K バイト以下、500K バイト以下に制限して保存します。

1 編集メニュー画面で を押し、サイズを選択する

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- サイズが 352 × 288 を超える静止画は、9000 バイトに設定できません。また、サイズが 480 × 640 を超える静止画は、100K バイトに設定できません。
- 他の機能を実行しているときは、横縦（または縦横）のサイズが 1224 × 1632 を超える画像のサイズ制限保存ができないことがあります。

明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては、補正しても表示があまり変化しないことがあります。

1 待受画面で を押し、フォルダを選択する

2 補正する静止画にカーソルを合わせて を 2 回押す

画像補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

3 を押して補正モードを切り替える

レベル

静物　：静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景　：背景を適切に補正します。
風景　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け　：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ　：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。
- を押して ～ を押しても、補正モードを選択できます。

4 補正効果のレベルを調整し、 を押す

- 1 段階ずつ増減するには を押します。
- 最大にするには 、最小にするには を押します。

データ表示／編集／管理

5 を押し、「保存」を選択する

補正した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について ☛P358

画像の動作条件を設定する　動作設定

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり　番号表示：あり　コメント表示：あり　小さい画像の拡大：なし　効果音再生：あり

1 待受画面で を押す

2 を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示：「あり」に設定すると 12 枚のサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

タイトル表示：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：画像表示画面で件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：表示領域よりも小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。

効果音再生：画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

4 を押す

おしらせ

● 画像一覧、画像表示画面では を押し、「動作設定」を選択します。

Menu 52

動画／ｉモーションを再生する　ｉモーション

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。

- 画像サイズが 48 × 48 ～ 320 × 240 の動画／ｉモーション（MP4 ファイル、ASF ファイル）を再生できます。

1 待受画面で を押す

　※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

2 フォルダを選択する

各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されています。

カメラ　：ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声

モード　：サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション

プリインストール　：お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換　：miniSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション、データ通信で受信した動画／ｉモーション

アルバム　：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛354
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるときは を押します。miniSDメモリーカードの操作方法☛P350

3 再生する動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

サムネイル表示のとき

タイトル表示のとき

動画／ｉモーション一覧

① 取得元
：内蔵　：ｉモード　：カメラ
：データ交換　：キャラ電

② 再生制限
：再生制限なし　：回数制限あり　：期限制限あり
：期間制限あり

③ ファイルの種類
MP4：MP4　MP4：しおり付きMP4
ASF：ASF※　ASF：しおり付きASF※

※：miniSDメモリーカードに保存されているもののみ再生できます。

④ ファイル制限
（青）　：メール添付・FOMA端末外出力可
（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションは、サムネイル表示ではで表示されます。
- 表示名などを変更できます。☛P357

■ 動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき（ｉモーションメール）

① 送信する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて を押す

選択した動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P229

4 [key] を押して動画／ｉモーションを再生する

① **再生音量**：現在の音量を示します。

② **再生状態**

[icon]：再生中　[icon]：停止中　[icon]：一時停止中

③ **ファイルの種類**

[icon]：音声のみ　[icon]：音声＋映像
[icon]：テキストのみ　[icon]：映像＋テキスト
[icon]：映像のみ　[icon]：音声＋映像＋テキスト
[icon]：音声＋テキスト

④ **拡大／縮小表示**

[icon]：拡大表示中　[icon]：縮小表示中　表示なし：等倍表示中

- 拡大表示するかどうかは、動作設定で設定できます。

⑤ **再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとしおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると先頭から再生されます。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

[key]：一時停止／再生　[key]：停止
[key]：早送り再生　[key]（停止中）：先頭から再生
[key]：音量調整　[クリア]：一覧画面に戻る

■ しおりを設定するとき

① **再生中、しおりを設定したい箇所で [key] を押し、「はい」を選択する**

- 既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しい位置にしおりが設定されます。
- 続けて再生するには [key] を押します。
- しおりを解除するには、再生を停止させてから [key] を押します。
- 再生制限が設定されているｉモーションでは設定できません。また、電話帳登録画面やメール作成画面、音や画面の設定画面、ｉアプリなどから再生したときは設定できません。

■ 画像の縦横を切り替えるとき

① **[key] を押す**

- 押すたびに画像の縦横が切り替わります。
- テロップ入りの動画／ｉモーションでは切り替えられません。

おしらせ

- 他の機能の影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では[icon]で表示されます。
- 着信やスケジュールアラームが鳴るなど、動画／ｉモーションの再生中に他の機能が起動すると、再生が中断されます。他の機能を終了し [key] を押すと、中断した位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると中断した位置から再生され、「いいえ」を選択すると先頭から再生されます。
- ｉアプリで動画／ｉモーションを再生しているときにメールやメッセージR/Fなどを受信すると、正しく再生できないことがあります。
- マナーモード中に音声のある動画／ｉモーションを再生すると確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉモーションの動作設定の音量で再生されます。
- プライバシーモード中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）に動画／ｉモーションを再生する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- 音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、動画／ｉモーションを再生できません。

ｉモーションに再生制限が設定されているとき

再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

再生制限	状　態	確認内容
回数制限	再生回数残あり	「あと×回（× / 総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期限制限	期限内	「（年 / 月 / 日 時 : 分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。
期間制限	期間内	「（年 / 月 / 日 時 : 分）～（年 / 月 / 日 時 : 分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
	期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。[キー]を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
	期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA 端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーション、画像サイズが 320 × 240 を超えるｉモーションは待受画面に設定できません。
- 電話帳、着モーション（着信音）、着信画像には、画像サイズが Sub-QCIF（128 × 96）、または QCIF（176 × 144）の動画／ｉモーションを設定できます。ただし、電話帳、着信画像には映像のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。
- 着モーション（着信音）、着信画像には、詳細情報の着信音設定、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ設定できます。

1 待受画面で [キー][2] を押し、フォルダを選択する

2 設定する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて [Menu][2] を押す

3 設定する項目を選択する

■ **待受画面に設定するとき**

① **[1] を押して「はい」を選択する**

- 動画／ｉモーションが拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 待受画面に設定した動画／ｉモーションを再生するには☛P117

■ 電話帳に新規登録するとき

① [2] を押す

・電話帳登録について ☛P91

■ 既に登録されている電話帳に更新登録するとき

① [3] を押し、更新する電話帳データを選択する

・既に動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーションに設定するとき

① [4] を押し、[1] 〜 [6] を押す

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき

① [4] を押し、[7] または [8] を押す

② 設定する電話帳データを選択する

③ 内容を確認して [□] を押す

・既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
・メモリ番号入力について ☛P102「登録内容を修正する」操作 3

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定するとき

① [5] を押し、[1] または [2] を押す

・既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ

● 次の動画／ｉモーションは、着モーションや着信画像に設定できません。
・赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他の FOMA 端末に転送してから、もう一度 FOMA 端末に戻したもの
・miniSD メモリーカードから FOMA 端末にコピー／移動したもの（FOMA 端末からコピー／移動した動画／ｉモーションを、もう一度 FOMA 端末にコピー／移動した場合も含む）

動画／ｉモーションを編集する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

・編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
  ・自端末で撮影した動画
  ・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限、再生制限がないもの
・お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションは編集できません。また、ASF 形式の動画など、ファイル形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。
・編集中に動画／ｉモーションを再生したときのマークの意味とキー操作について ☛P326

静止画を切り出す　キャプチャ

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します（キャプチャ）。
・テロップはキャプチャした静止画に表示されません。

1 **待受画面で [i][2] を押し、フォルダを選択する**

2 **キャプチャする動画／ｉモーションを選択する**

選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 **再生中の任意の位置で [Menu][3] を押す**

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

4 画像を確認して を押す

静止画がキャプチャされ、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 続けてキャプチャするには、 を押して再生を再開してから、操作 3 ～ 4 を繰り返します。

■ **キャプチャした静止画をメールに添付して送信するとき**

① **を押す**

キャプチャした静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。

- 静止画のファイルサイズが 9000 バイト以下の場合は、本文へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとメール本文へ貼り付けることができます。
- 動画の画像サイズや撮影時の品質の設定によっては、メールに添付できません。

おしらせ

- 一時停止中または再生終了後でもキャプチャできます。
- キャプチャした静止画をメールに添付して mova 端末に送信すると、相手は URL 付きのメール（ｉ ショットメール）として受信します。

動画を切り出す　選択切り出し

動画／ｉ モーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉ モーションにカーソルを合わせて Menu 4 1 を押す

選択切り出しモードになり、再生時間の下に が表示されます。

- 動画／ｉ モーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 （始点）を押し、切り出しを終える位置で （終点）を押す

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- （始点）を押した後で操作をやり直すには クリア、切り出しを中断するには Menu を押します。
- （終点）を押さずに最後まで再生すると自動的に切り出しが終了します。終点はファイルの最後より約 1000 バイト分、手前に設定されます。

■ **切り出しサイズの上限を設定するとき**

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

① ** （始点）を押す前の画面で Menu を押す**

② **「メール添付（小）」（290K バイト）、「メール添付（大）」（490K バイト）または「設定なし」（切り出し元のファイルサイズ）を選択する**

- 切り出し中の動画／ｉ モーションのファイルサイズが設定した切り出しサイズに達したときは、自動的に切り出しが終了します。
- 切り出し元の動画／ｉ モーションのファイルサイズが 490K バイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力して を押す（全角・半角を問わず36文字まで）

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生するとき**

① **を押す**

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき**

① **を押す**

切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P229

おしらせ

● 同じ動画／ｉモーションから複数切り出せます。

ファイルサイズを指定して切り出す　サイズ切り出し

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。ただし、上限は、切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 待受画面で 2 を押し、フォルダを選択する

2 切り出す動画／ｉモーションにカーソルを合わせて Menu 4 2 を押す

- 動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 切り出すサイズを入力する

サイズ切り出し
切り出すサイズを
入力してください
(10～285Kﾊﾞｲﾄ)
切り出しサイズ(Kﾊﾞｲﾄ)
10
元サイズ:286Kﾊﾞｲﾄ

■ **メール添付サイズに設定するとき**

- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

① Menu **を押す**

② **「メール添付(小)」(290Kバイト)または「メール添付(大)」(490Kバイト)を選択する**

- 「メール添付（小）」を選択すると「290」、「メール添付（大）」を選択すると「490」が切り出しサイズに設定されます。

4 表示名を入力して を押す（全角・半角を問わず36文字まで）

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生するとき**

① **を押す**

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき**

① **を押す**

切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P229

おしらせ

- 同じ動画／ｉモーションから複数切り出せます。
- 切り出した動画／ｉモーションは、指定したファイルサイズよりも小さくなることがあります。

テロップを挿入する　テロップ編集

- 挿入できるテロップ数は、動画／ｉモーションにより異なります（最大10個）。
- 既に挿入されているテロップの内容は変更できません。新しくテロップを挿入する場合、既に挿入されているテロップはすべて削除されます。

1 待受画面で［↑］［2］を押し、フォルダを選択する

2 テロップを挿入する動画／ｉモーションにカーソルを合わせて［Menu］［4］［3］［1］を押す

- 既にテロップが挿入されている場合は、削除してテロップ編集を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ テロップを削除するとき

① ［Menu］［4］［3］［2］を押して「はい」を選択する

挿入されているすべてのテロップが削除されます。操作9に進みます。

3 各項目を選択して設定する

表示間隔　：テロップの配置のしかたを設定します。
- 「ユーザ指定」に設定すると、テロップの挿入位置を任意に指定できます。
- 「等間隔」に設定したときはテロップ数を指定します。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数　：表示間隔を「等間隔」に設定したときに、テロップ数を入力します（1～10）。

4 ［□］を押す

- 表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは、確認メッセージが表示され、再生時間の下に［■］が表示されます。操作5に進みます。
- 表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作7に進みます。

5 ［●］を押して再生を開始し、テロップの挿入位置で［●］を押す

再生は中断しません。［●］を押すたびに、テロップの挿入位置が設定されます。

- 再生を開始すると先頭に1箇所目の挿入位置が設定されます。
- 設定を終了するには［□］を押します。操作6に進みます。
- 挿入位置を9箇所設定するか、動画／ｉモーションの再生が終了すると、自動的に設定を終了します。操作6に進みます。
- 先頭から最後まで1つのテロップを表示するときは、［●］を押して再生を開始し、［□］を押します。

6 「はい」を選択する

7 テロップ欄を選択して、文字を入力する（全角20文字（半角40文字）まで）

■ **テロップを装飾するとき**

① **装飾するテロップにカーソルを合わせて ✉ を押す**

② **各項目を選択して設定する**

テロップ1～10
：テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。文字を入力できます。

文字色：文字の色を設定します。「指定なし」に設定すると白になります。
- 文字色を設定しても絵文字には反映されません。

背景色：テロップの背景色を設定します。「指定なし」に設定すると黒になります。

スクロール動作
：文字のスクロール動作を設定します。
- 「スクロール・イン」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示されます。
- 「スクロール・アウト」に設定すると、最初は表示されている文字が移動しながら徐々に見えなくなります。
- 「スクロール・イン＆アウト」に設定すると、最初は見えない文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に見えなくなります。
- 「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向
：スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：文字の大きさを設定します。

下線：文字に下線を付けるように設定します。

点滅：文字が点滅するように設定します。

③ **📖 を押す**

8 📖 を押す

- テロップ挿入前の動画／ｉモーションのファイルサイズが300Kバイト以下の場合、テロップ挿入後のファイルサイズが300Kバイトを超えると、メール添付（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は ● を押します。

9 表示名を入力して 📖 を押す（全角・半角を問わず36文字まで）

テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生するとき**

① **🅰 を押す**

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信するとき**

① **✉ を押す**

テロップを挿入した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて ☛P229

データ表示／編集／管理

動画／ｉモーションの動作条件を設定する　動作設定

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　表示画像の拡縮：なし　アルバムリピート再生：ON　照明設定：常灯
音量：レベル 3　サラウンド：OFF

1 待受画面で [i][2] を押す

2 [Menu][5] を押す

3 各項目を選択して設定する

一覧の画像表示
：「あり」に設定すると 12 枚のサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

表示画像の拡縮
：「あり」に設定すると、表示領域と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。
「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示します。

アルバムリピート再生
：アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：「常灯」に設定すると、動画／ｉモーションの一覧表示中や再生中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P124）に従います。

音量：動画／ｉモーション再生時の音量を設定します。

サラウンド：動画／ｉモーション再生時にサラウンド効果を有効にするかどうかを設定します。

4 [📖] を押す

おしらせ
● 動画／ｉモーション一覧では [Menu] を押し、「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

・キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
・サイトなどからキャラ電をダウンロードして保存することもできます。
・キャラ電のアクションには、キャラクタ全体が動く「全体アクション」と、部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によってはパーツアクションがないものもあります。

全体アクション：
喜ぶ

全体アクション：
愛情

パーツアクション：
足　ジャンプ

Menu 54

キャラ電を表示する

キャラ電

お買い上げ時は次のキャラ電が「プリインストール」フォルダに保存されています。

©BVIG
ブンブン（Dimo）

女の子

男の子

1 待受画面で [○][4] を押す

2 フォルダを選択する

各フォルダには次のようなキャラ電が保存されています。

iモード：サイトからダウンロードしたキャラ電

プリインストール
：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているキャラ電

フォルダ：他のフォルダから移動したキャラ電
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☞354
- フォルダ名は作成時に任意に付けられます。

3 表示するキャラ電を選択する

キャラ電一覧

① **取得元**
　：ｉモード　　：内蔵

② **ファイル制限**
　（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

- 表示名などを変更できます。☞P357

■ **キャラ電を利用してテレビ電話をかけるとき**

① **利用するキャラ電にカーソルを合わせて [テレビ電話] を押す**

② **電話番号入力欄を選択して電話番号を入力し、[テレビ電話] を押す**

- [電話帳] を押すと、電話帳から電話番号を入力できます。
- [Menu] を押すと、発信方法や番号通知などの設定を変更できます。☞P52
- テレビ電話の操作のしかた☞P74

■ キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定するとき

① 代替画像に設定するキャラ電にカーソルを合わせて [メール] を押す

・キャラ電表示画面で [カメラ] を 1 秒以上押しても設定できます。

■ キャラ電を待受画面に設定するとき

① 設定するキャラ電にカーソルを合わせて [Menu][4] を押す

② アクションの種類とアクション間隔を設定し、[iモード] を押す

・設定内容は「キャラ電のアクションを設定するとき」の操作 ② 〜 ③ と同じです。☛P116

③「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択する

・ｉアプリ待受画面が設定されているときは、さらにｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

4 キャラ電を操作する

アクションモード

ACTION：全体

PARTS：パーツ

・ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。

・アクションを中止するには、[0] を押します。

■ 拡大表示と等倍表示を切り替えるとき

① 拡大表示するには [▲]、等倍表示するには [▼] を押す

・最初にどちらで表示するかを設定するには、フォルダ一覧で [Menu][4] を押し、[1] または [2] を押します。

■ キャラ電を切り替えるとき

① [Menu][9][1] を押し、フォルダを選択する

② 表示するキャラ電を選択する

■ アクションを一覧表示するとき

① [メール] を押す

設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。

・アクションを選択すると、キャラ電が動きます。

■ 全体アクションとパーツアクションを切り替えるとき

① [メール] を 1 秒以上押す

・押すたびに全体アクションとパーツアクションが切り替わります。

■ お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧

ブンブン（Dimo）

全体アクション

1 喜ぶ	3 悲しむ	5 ラブラブ	7 ノーリアクション	9 びっくり
2 怒る	4 ありがとう	6 ごめんなさい	8 バイバイ	

女の子／男の子

全体アクション

1 喜ぶ	4 怒る	7 挨拶	#1 悩む	#4 あきれる
2 ガッツポーズ	5 泣く	8 うなずく	#2 称える	
3 愛情	6 ダメ	9 さよなら	#3 お願い	

パーツアクション

11 頭 右を向く（ループ）	16 頭 上下に振る	24 胴体 前に傾く（ループ）
12 頭 左を向く（ループ）	17 頭 回転する	31 右手 挙げる（ループ）
13 頭 上を向く（ループ）	21 胴体 右を向く（ループ）	41 左手 挙げる（ループ）
14 頭 下を向く（ループ）	22 胴体 左を向く（ループ）	51 足 しゃがむ（ループ）
15 頭 左右に振る	23 胴体 後ろを向く（ループ）	52 足 ジャンプ

おしらせ

- キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。
- キャラ電表示中に電話をかけたり受けたりしたとき、通話終了後はキャラ電表示に戻りません。音声電話のときはキャラ電一覧に、テレビ電話のときは待受画面に戻ります。
- お買い上げ時に保存されているキャラ電を削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

キャラ電を撮影する

キャラ電撮影

・撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。画像ファイルの保存形式☛P155

キャラ電撮影画面の見かた

①② ③ ④⑤⑥ アクションモード ☛P335

① **撮影モード**
　：静止画撮影モード　：動画撮影モード

② **保存先※**
　：FOMA端末　：miniSDメモリーカード

③ **撮影種別**
　：動画＋音声　動画のみ（マイクなし）
　：動画のみ（マイクあり）　：静止画

④ **画像サイズ**
　：（静止画／動画ともに固定）

⑤ **画質／品質※**
　静止画撮影時　：エコノミー　：スタンダード　：ファイン
　動画撮影時　：LP　：STD　：HQ　：HQ＋

⑥ **サイズ制限※**
　静止画撮影時　：制限なし
　動画撮影時　：メール添付（290Kバイト）
　　：大容量メール添付（490Kバイト）

※：静止画設定または動画設定で設定を変更できます。☛P339

静止画を撮影する

1 **待受画面で を押し、フォルダを選択する**

2 **撮影するキャラ電にカーソルを合わせて を押す**
キャラ電撮影画面が表示されます。

3 **撮影種別に が表示されるまで を繰り返し押す**
- 押すたびに →→→ の順で切り替わります。 を押しても に切り替えられます。

■ **キャラ電を切り替えるとき**
① **を押し、フォルダを選択する**
② **撮影するキャラ電を選択する**

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

4 撮影したいアクションを実行し、[撮影]を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- キャラ電の操作方法☛P335 操作 4
- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

■ **保存した静止画をすぐに確認するとき**

① [i]を押し、確認する静止画を選択する

- 確認後 [クリア] を 2 回押すと、キャラ電撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは [i] を押してフォルダを選択し、静止画を選択します。[クリア] を 3 回押すとキャラ電撮影画面に戻ります。

■ **キャラ電撮影の静止画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき**

静止画確認画面が表示されます。

- 静止画確認画面では次の操作ができます。

[撮影]：静止画の保存　　[A/a]：取消（保存せずに静止画を消去）

[Menu]：保存先の切り替え　　[メール]：メール作成

おしらせ

- 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は、編集・転送・メール添付ができません。
- キャラ電撮影中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後はキャラ電撮影に戻りません。音声電話のときはキャラ電一覧に、テレビ電話のときは待受画面に戻ります。
- 画像の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。確認画面の指示に従って不要な画像を削除してください。
- 電話着信音量調整を「消音」に設定している場合やマナーモード中は、撮影確認音（シャッター音）は鳴りません。

動画を撮影する

1 待受画面で [カメラ][4] を押し、フォルダを選択する

2 撮影するキャラ電にカーソルを合わせて [i] を押す

キャラ電撮影画面が表示されます。

3 [A/a] を押して動画の撮影種別を選択する

- 押すたびに[動画+音声]→[動画のみ（マイクあり）]→[動画のみ（マイクなし）]→[静止画]の順で切り替わります。[Menu][3]を押し、[1]～[3]を押しても[動画+音声]、[動画のみ（マイクあり）]、[動画のみ（マイクなし）]に切り替えられます。

動画＋音声：送話口からの音声付きでキャラ電を録画します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）：映像のみを録画します。マイクは音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）：映像のみを録画します。マイクは無効となります。

■ **キャラ電を切り替えるとき**

① [Menu][1][1] を押し、フォルダを選択する

② 撮影するキャラ電を選択する

データ表示／編集／管理

4 撮影したいアクションを実行し、[撮影キー] を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始されます。[アイコン]が[アイコン]に切り替わります。

- キャラ電の操作方法 ☛P335 操作 4
- 撮影中もアクションを実行できます。
- 撮影を一時停止するときは [撮影キー] を押します。[アイコン]が [アイコン] に切り替わります。[撮影キー] を押すと、撮影を再開します。

5 [ボタン] を押す

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影した動画が ｉ モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。
- 動画の撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認するとき

① [ボタン] を押し、確認する動画を選択する

- 確認後 [クリア] を 2 回押すと、キャラ電撮影画面に戻ります。
- 保存先が miniSD メモリーカードのときは [ボタン] を押してフォルダを選択し、動画を選択します。[クリア] を 3 回押すとキャラ電撮影画面に戻ります。

■ キャラ電撮影の動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき

動画確認画面が表示されます。

- 動画確認画面では次の操作ができます。

[撮影キー] ：動画の保存　[ボタン] ：動画の再生　[ボタン] ：取消（保存せずに動画を消去）
[Menu] ：保存先の切り替え　[メールキー] ：メール作成

おしらせ

- ●撮影中にキーを押したり充電を開始したりすると、操作音が録音されることがあります。
- ●送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しないことがあります。
- ●キャラ電やアクションの操作によっては、ファイルサイズに達する前に撮影を終了することがあります。
- ●撮影画面の時間表示はサイズ制限に達するまでの目安を示しています。キャラ電やアクションの操作により誤差が生じます。
- ●詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した動画（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は、編集・転送・メール添付ができません。
- ●撮影中または一時停止中に電話がかかってくると、その時点で撮影が中止されます。動画設定の自動保存の設定に関わらず、中止するまでに撮影した動画が保存されます。
- ●撮影中にアラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合は、その時点で撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影された動画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。
- ●撮影中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影が中止されます。自動保存を「する」に設定しているときは、中止するまでに撮影したデータが自動で保存され、[撮影キー] を押すと撮影画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定しているときは、[撮影キー] を押すと確認画面が表示されます。撮影画面に戻っても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影はできません。
- ●撮影中にアラームや電池アラームが鳴り撮影が中止された場合、保存した動画の最後にアラームや電池アラームが録音されることがあります。
- ●動画撮影待機中に電話をかけたり受けたりすると、通話終了後は動画撮影に戻りません。音声電話のときはキャラ電一覧に、テレビ電話のときは待受画面に戻ります。
- ●動画の保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、キャラ電を撮影できません。確認画面の指示に従って不要な動画を削除してください。
- ●電話着信音量調整を「消音」に設定している場合やマナーモード中は、撮影確認音（シャッター音）は鳴りません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

静止画／動画の撮影動作を設定する

お買い上げ時 ●静止画設定
画質：スタンダード　撮影確認音：確認音 1　撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する
保存先：本体　表示サイズ：拡大
●動画設定
品質：STD　サイズ制限：メール添付　撮影確認音：確認音 1　撮影後ファイル制限：なし
自動保存：する　保存先：本体　表示サイズ：拡大

1 キャラ電撮影画面で Menu 4 を押す

2 各項目を選択して設定する

3 [書] を押す

設定項目について

○：設定可　×：設定不可

項　目	設定		説　明
	静止画	動画	
画質	○	×	撮影する静止画の画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。
品質	×	○	撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど動画のファイルサイズは大きくなります。
サイズ制限	×	○	撮影する動画のファイルサイズの制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。
撮影確認音	○	○	撮影確認音（シャッター音）を確認音 1 ～ 5 から選択します。 • [方向キー] を押すとカーソル位置の音が鳴ります。
撮影後ファイル制限	○	○	メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画／動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画／動画を送信することを制限するかどうかを設定します。 • ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。
自動保存	○	○	「する」に設定すると、撮影した静止画／動画が、設定されている保存先に自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示されます。
保存先	○	○	保存先を設定します。
表示サイズ	○	○	キャラ電を表示領域に合わせて拡大表示するか、画面中央に等倍表示するかを設定します。 • 撮影画面を表示したときから有効になります。

おしらせ

● 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画／動画（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は、編集・転送・メール添付ができません。
● 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）では、撮影した静止画／動画を miniSD メモリーカードに保存できません。保存先を「miniSD カード」に設定しても、「本体」に変更されます。

メロディを再生する

メロディ

FOMA端末のデータBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 待受画面で [MENU][3] を押す

2 フォルダを選択する

各フォルダには次のようなメロディが保存されています。

iモード：サイトやiモードメールから取り込んだメロディ

プリインストール
：お買い上げ時にFOMA端末に内蔵されているメロディ

データ交換：バーコードリーダーで取り込んだメロディや、miniSDメモリーカードから移動／コピーしたメロディ、データ通信で受信したメロディ

アルバム：他のフォルダから移動したメロディ
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛354
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

- miniSDメモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるときは [ ] を押します。miniSDメモリーカードの操作方法☛P350

3 再生するメロディにカーソルを合わせる

メロディ一覧

① **取得元**

	：iモード		：iモード＋3Dサウンド対応
	：データ交換		：データ交換＋3Dサウンド対応
	：内蔵		：内蔵＋3Dサウンド対応

- 3Dサウンドとは☛P111

② **ファイル制限**

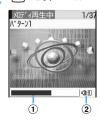
（青）　：メール添付・FOMA端末外出力可

（グレー）：メール添付・FOMA端末外出力不可

- 表示名などを変更できます☛P357

■ メロディをメールに添付して送信するとき

① **送信するメロディにカーソルを合わせて [ ] を押す**
- 受信側がFOMA D901i、D901iS以外の場合、受信したメロディを正しく再生できないことがあります。
- メールに添付できるメロディについて☛P229

4 [ ] を押してメロディを再生する

① **再生バー**：現在の再生位置を示します。

② **再生音量**：現在の音量を示します。

- メロディの再生中は次の操作ができます。
  [ ]：音量調整　[ ]：前後のメロディ再生　[クリア]／[ ]：停止

データ表示／編集／管理

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

おしらせ

- 音声電話通話中およびテレビ電話通話中は、メロディを再生できません。
- マナーモード中にメロディを再生すると確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メロディの動作設定の音量で再生されます。

メロディを着信音や保留音に設定する

1 **待受画面で [センター] [3] を押し、フォルダを選択する**

2 **設定するメロディにカーソルを合わせて [Menu] [2] を押す**

3 **設定する音の種類を選択する**

■ **音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音、通話保留音、テレビ電話着信音に設定するとき**

① **[1] ～ [7] を押す**

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するとき**

① **[8] または [9] を押す**

② **設定する電話帳データを選択する**

③ **内容を確認して [電話帳] を押す**

- 既に着信音が設定されていたときは、選択したメロディに置き換わります。
- メモリ番号入力について ☛P102「登録内容を修正する」操作3

おしらせ

- メロディ再生画面では [Menu] を押し、「メロディの利用」を選択します。

メロディの動作条件を設定する

動作設定

お買い上げ時　音量：レベル3　イルミネーションパターン：メロディ連動　イルミネーションカラー：レインボー　バイブレータ：OFF　再生位置：フルコーラス再生　再生画面背景：標準　ステレオ・3Dサウンド：ON

1 **待受画面で [センター] [3] を押す**

2 **[Menu] [5] を押す**

3 **各項目を選択して設定する**

音量　：メロディ再生時の音量を設定します。

イルミネーションパターン

：メロディ再生時の着信ランプの点灯パターンを設定します。

- 「メロディ連動」に設定すると色は「レインボー」で点灯／点滅します。

イルミネーションカラー

：メロディ再生時の着信ランプの点灯色を設定します。

バイブレータ　：メロディ再生時の振動パターンを設定します。

再生位置　：メロディ再生時、全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

再生画面背景　：メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。

つづく

ステレオ・3D サウンド

:「ON」に設定すると、広がりや奥行きのある立体音響でメロディを再生します。「OFF」に設定すると、立体音響のないモノラル再生となります。

・3D サウンドとは☛P111

■ **再生時の背景画像を「マイピクチャ」から選択するとき**

① **再生画面背景欄を選択して [2] を押す**

② **画像選択欄を選択する**

③ **フォルダを選択し、背景に設定する画像を選択する**

・画像にカーソルを合わせて [□] を押すと、画像が表示されます。[●] を押すと設定されます。

4 [□] を押す

おしらせ

● メロディ一覧およびメロディ再生画面では [Menu] を押し、「動作設定」を選択します。

● メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。

● メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。

miniSD メモリーカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどのデータを miniSD メモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータのバックアップをとることができます。また、パソコンなどの外部機器で作成した動画を miniSD メモリーカードに保存し、FOMA 端末で再生したり(☛P489)、パソコンから miniSD メモリーカード内のデータを操作したりできます。(☛P430)

・miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

・初期化されていない miniSD メモリーカードは、FOMA 端末で初期化してから使用してください。なお、初期化を中断した miniSD メモリーカードの動作は保証できません。☛P352

・パソコンなどで初期化した miniSD メモリーカードは、FOMA 端末では正常に使用できないことがあります。

・miniSD メモリーカード内の静止画は、アイコンや背景画像、待受画面には設定できません。FOMA 端末に移動／コピーしてから設定してください。

・FOMA端末では市販の128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています（2005年5月現在)。最新の対応状況は次の方法でご確認いただけます。

・FOMA 端末から ： i Menu の「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「My D-style」の「D901iS クイックマニュアル」

・パソコンから ： 三菱電機株式会社のホームページ　http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d901is/ の「FAQ」→「miniSD メモリーカード」

・FOMA 端末とパソコンを接続するには、FOMA USB 接続ケーブル（別売）が必要です。

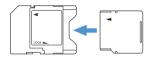
データ表示／編集／管理

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

miniSD メモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、miniSD メモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れることがあります。
- miniSD メモリーカードを取り付けている FOMA 端末に落下などの強い衝撃を与えると、miniSD メモリーカードが飛び出すことがあります。
- miniSD メモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着している miniSD メモリーカードや、変形している miniSD メモリーカードを FOMA 端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。
- データのコピー中、移動中、削除中や miniSD メモリーカードの初期化中、情報更新中は画面上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、 を押して他の機能に切り替えることもできません。
- オールロック中、PIM ロック中は miniSD メモリーカードを使用できません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護された mniSD メモリーカードでは、データの保存、削除、初期化などはできません。
- 他の機器から miniSD メモリーカードに保存したデータは、FOMA 端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA 端末から miniSD メモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
- ご利用になる miniSD メモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生することがあります。
- miniSD メモリーカードに保存されたデータは、バックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

SD メモリーカード対応機器で使用するには

miniSD メモリーカードと miniSD メモリーカードアダプタを組み合わせると、miniSD メモリーカードを SD メモリーカード対応機器で使用できます。

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタの奥まで差し込みます。

- 取り外すときは反対の方向に引き出します。

■ 誤消去を防ぐには

miniSD メモリーカードと miniSD メモリーカードアダプタを組み合わせて使用する場合は、miniSD メモリーカードアダプタに付いている誤消去防止スイッチを使用することにより誤消去を防ぐことができます。

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」の方向にスライドします。
- 先の細いものでスライドさせてください。
- miniSD メモリーカードを傷つけないように注意してください。

miniSD メモリーカードのフォルダ構成

■ FOMA 端末で表示したとき

フォルダ構成は次のとおりです。データの種類によって保存先が分かれています。

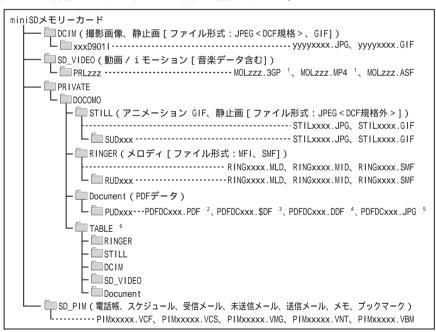
項目名		保存されるデータ	最大保存件数※2
データ BOX	マイピクチャ	カメラで撮影した静止画、DCF※1 規格の JPEG、GIF	9999 件
	その他の画像	DCF※1 規格外の JPEG、アニメーション GIF	9999 件
	動画	カメラで撮影した動画、ｉモーション	4095 件
	メロディ	メロディ	9999 件

つづく

項目名		保存されるデータ	最大保存件数※2
PIM	**電話帳**	電話帳データ、電話帳のバックアップデータ	合計 9999 件
	スケジュール	スケジュールデータ、スケジュールのバックアップデータ	
	受信メール	受信メールデータ、受信メールのバックアップデータ	
	未送信メール	未送信メールデータ、未送信メールのバックアップデータ	
	送信メール	送信メールデータ、送信メールのバックアップデータ	
	メモ	メモデータ、メモのバックアップデータ	
	Bookmark	ブックマークデータ、ブックマークのバックアップデータ	
マイドキュメント		PDF データ	999 件

※ 1：DCF は Design rule for Camera File system の略でファイルシステムの規格です。
※ 2：miniSD メモリーカードの容量に関係なく、FOMA 端末から miniSD メモリーカードに保存できる最大データ件数です。

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA 端末から miniSD メモリーカードにデータを移動／コピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接 miniSD メモリーカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダが miniSD メモリーカードに自動的に作成されます。パソコンなどに挿入して miniSD メモリーカードの内容を表示した場合のフォルダとファイルの構成は次のようになっています。
パソコンなどから miniSD メモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存してください。保存先フォルダを間違えたり、異なるファイル形式のデータを保存したりすると、FOMA 端末では認識できません。

※ 1： 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルは、MP4 形式として扱われます。
※ 2： 拡張子を含めて半角 64 文字までのロングファイルネーム形式にも対応しています。
※ 3： ダウンロードに失敗した PDF データです。残りのデータをダウンロードして保存すると、ファイル名が「PDFDCxxx.PDF」に変更されます。
※ 4： PDF データのしおり情報やマーク情報などを管理するファイルです。拡張子を除くファイル名は、対応する PDF データと同じです。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

※５：PDF データをサムネイル表示するファイルです。拡張子を除くファイル名は、対応する PDF データと同じです。
※６：データを管理するフォルダです。このフォルダにあるファイルは削除したり、ファイル名を変更しないでください。FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなります。

•フォルダ名、ファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  ・「xxxD901I」の xxx は 100 ～ 999
  ・「yyyyxxxx」の yyyy は任意の半角英数字、xxxx は 0001 ～ 9999
  ・「PRLzzz」「MOLzzz」の zzz は 001 ～ FFF までの 16 進数（16 進数では 1 つの桁を 0 ～ 9 と A ～ F の 16 種類の文字で表します。）
  ・「STILxxxx」「RINGxxxx」の xxxx は 0001 ～ 9999
  ・「SUDxxx」「RUDxxx」「PUDxxx」「PDFDCxxx」の xxx は 001 ～ 999
  ・「PIMxxxxx」の xxxxx は 00001 ～ 65535

おしらせ

●パソコンなどで miniSD メモリーカードにコピーしたデータを FOMA 端末で利用するには、FOMA 端末で miniSD メモリーカードの情報更新をする必要があります。
●パソコンなどで miniSD メモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA 端末でデータを正しく表示できなくなります。
●横縦（または縦横）のサイズが 1728 × 2304 を超える静止画を miniSD メモリーカードに保存しても、FOMA 端末では表示できません。

miniSD メモリーカードで利用できる静止画・動画・メロディ・PDF データ

ファイル形式＼操作		miniSD メモリーカードへコピー／移動	FOMA 端末へコピー／移動	メール添付※1	内容表示
JPEG 形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	500K バイト	1.5M バイト
	画像サイズ	無制限	1728 × 2304	無制限	1728 × 2304
GIF 形式の静止画	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	10000 バイト	1.5M バイト
	画像サイズ	無制限	480 × 640	無制限	480 × 640
MP4、3GP 形式の動画／ｉモーション(音楽データ含む)	ファイルサイズ	無制限	500K バイト	500K バイト	無制限
	画像サイズ	無制限	無制限	176 × 144、128 × 96	48 × 48 ～ 320 × 240※2
ASF形式の動画／ｉモーション	ファイルサイズ	不可	不可	不可	無制限
	画像サイズ	不可	不可	不可	176 × 144、320 × 240
MLD 形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100K バイト	不可	100K バイト
MID、SMF 形式のメロディ	ファイルサイズ	無制限	100K バイト	10000 バイト	100K バイト
PDF データ	ファイルサイズ	無制限	2M バイト	不可	無制限

※１：メール添付の詳細については、「ファイルを添付する」（☛P229）を参照してください。
※２：再生可能な画像サイズを超えている動画／ｉモーションでも、再生可能な音声形式であったり、表示可能なテロップがデータ内に存在する場合は、音声やテロップの再生を行います。

miniSD メモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- miniSD メモリーカードスロットには、miniSD メモリーカード以外は挿入しないでください。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- miniSD メモリーカードは正しく取り付けてください。miniSD メモリーカードを正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- miniSD メモリーカードの取り付け／取り外しを行うときは、miniSD メモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。
- 表面に傷、ゴミなどが付着している miniSD メモリーカードや、変形している miniSD メモリーカードを FOMA 端末に取り付けないでください。故障の原因となることがあります。

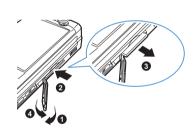
miniSD メモリーカードの取り付けかた

❶ miniSD メモリーカードスロットのカバーを開く

❷ miniSD メモリーカードを、印字面を上にして、スロットにゆっくり差し込む

❸ miniSD メモリーカードを「カチッ」と音がするまでさらに差し込む

❹ miniSD メモリーカードスロットのカバーを閉じる

miniSD メモリーカードの取り外しかた

❶ miniSD メモリーカードスロットのカバーを開く

❷ miniSD メモリーカードを軽く押し込み、手を放す

miniSD メモリーカードが少し飛び出します。

❸ miniSD メモリーカードをゆっくりと取り出す

まっすぐに取り出してください。

❹ miniSD メモリーカードスロットのカバーを閉じる

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間でデータをやりとりする

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間でデータをコピー／移動したり、FOMA 端末のデータを miniSD メモリーカードにバックアップします。
やりとりできるデータの種類と操作内容は次のとおりです。

データの種類		操作内容
データ BOX のデータ（静止画、動画／ｉモーション、メロディ）		1 件コピー、複数コピー、全件コピー 1 件移動、複数移動、全件移動
マイドキュメントデータ（PDF データ）		
PIM データ	電話帳、スケジュール、メール（受信、未送信、送信）、ブックマーク	1 件コピー、バックアップ、復元
	メモ	バックアップ、復元

- miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

miniSDメモリーカードの保存容量を確認する

データのコピーやバックアップなどを行う際は、miniSDメモリーカードの空き容量を確認してください。

1 待受画面で Menu 6 6 を押す

miniSDカード	
1 データBOX	
2 PIM	
3 マイドキュメント	
使用状況	
使用領域：	848 KB
空き領域：	13,656 KB
全容量　：	14,504 KB

使用状況：全容量に対する使用領域の割合をバーで示します。
使用領域：現在使用している容量を数値で示します。
空き領域：現在の空き容量を数値で示します。
全容量：FOMA端末に取り付けているminiSDメモリーカードの全容量を数値で示します。

おしらせ

- データが1件も保存されていない状態でも使用領域が「0KB」にならない場合は、miniSDメモリーカードを初期化してください。
- 実際に使用できるminiSDメモリーカードの容量は、miniSDメモリーカードに記載されている容量よりも少なくなります。
- miniSDメモリーカードの空き容量が少ない場合、データを保存できないことがあります。不要なデータを削除するか、別のminiSDメモリーカードを取り付けてからデータを保存してください。

FOMA端末のデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動する

- 連写画像、パラパラマンガはコピー／移動できません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータはコピー／移動できません。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータはコピー／移動できません。
- PIMデータの移動はできません。
- FOMAカード電話帳はコピーできません。

例 静止画をminiSDメモリーカードにコピー／移動するとき

1 待受画面で 1 を押し、コピー／移動する静止画が保存されているフォルダを選択する

2 コピー／移動する静止画にカーソルを合わせて Menu 5 を押し、4 または 5 を押す

3 1 ～ 3 を押す

■ **複数コピー／複数移動のとき**

① **静止画を選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② **を押す**

4 「はい」を選択する

静止画がminiSDメモリーカードにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止するときは を押します。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧では[Menu]を押し、「移動／コピー」→「miniSDカードへ移動」または「miniSDカードへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」を選択します。
- 電話帳一覧では[Menu]を押し、「赤外線／外部メモリ」→「miniSDへコピー」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面では[Menu]を押し、「赤外線／miniSD」→「miniSDへコピー」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、ブックマーク一覧では[Menu]を押し、「移動／コピー」→「miniSDカードへコピー」→「1件コピー」を選択します。
- 静止画をFOMA端末からminiSDメモリーカードにコピー／移動すると、データサイズが大きくなることがあります。静止画をminiSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動した場合は、データサイズは変わりません。
- 電話帳データをコピーすると、登録されている静止画もコピーされます。ただし、miniSDメモリーカードの電話帳データを表示したとき、静止画は表示されません。FOMA端末にデータを戻すと静止画が表示されます。
- 電話帳データをコピーしても、登録されている動画はコピーされません。
- メールの添付ファイル（動画／ｉモーションを除く）と本文が合わせて10000バイトを超える場合、添付ファイルはコピーされません。
- 送信メールや未送信メールをコピーしても、添付されている動画／ｉモーションはコピーされません。
- スケジュールに登録されているメンバーリストやイメージ（静止画）はコピーされません。
- 待受画面や着信音などに設定されているデータをminiSDメモリーカードに移動すると、待受画面や着信音などはお買い上げ時の設定に戻ります。

miniSDメモリーカードのデータをFOMA端末にコピー／移動する

・FOMA端末の最大保存件数☛P33

データBOXのデータ／マイドキュメントデータをFOMA端末にコピー／移動する

1 待受画面で[Menu][6][6]を押す

2 データの種類を選択する

■ **データBOXのデータをコピー／移動するとき**

① [1]を押し、[1]～[4]を押す

■ **マイドキュメントのデータをコピー／移動するとき**

① [3]を押す

3 フォルダを選択する

4 コピー／移動するデータにカーソルを合わせて、データBOXのデータでは[Menu][3]、マイドキュメントデータでは[Menu][2]を押す

5 [1]～[6]を押す

■ **複数コピー／複数移動するとき**

① データを選択する

・[●]で選択／解除が切り替わり、[Menu]で全選択／全解除できます。

・表示中のページの最大9件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② [□]を押す

データ表示／編集／管理

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

6 「はい」を選択する

データがマイピクチャ、ｉモーション、メロディ、マイドキュメントの各「データ交換」フォルダにコピー／移動されます。

- コピー／移動を中止するときは [CLR] を押します。

おしらせ

● データを検索して一覧画面を表示した場合、全件コピー／全件移動はできません。

PIM データを FOMA 端末にコピーする

- バックアップデータ（、、、、が付いているデータ）はコピーできません。FOMA 端末にデータを戻すには復元を行います。

1 待受画面で [Menu][6][6][2] を押し、[1]〜[7] を押す

2 コピーするデータにカーソルを合わせて [Menu][1][1] を押し、「はい」を選択する

FOMA 端末のデータを miniSD メモリーカードにバックアップする

FOMA 端末の各 PIM データを、一括して miniSD メモリーカードにバックアップします。

1 待受画面で [Menu][6][6][2] を押し、[1]〜[7] を押す

2 [Menu][1][4] を押す

3 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

選択した PIM データが 1 つのデータにまとめられて、miniSD メモリーカードにバックアップされます。

- バックアップを中止するときは [CLR] を押します。中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

おしらせ

● 電話帳、スケジュール、メール、ブックマークの一覧からも操作できます。

- 電話帳一覧では [Menu] を押し、「赤外線／外部メモリ」→「miniSD へバックアップ」を選択します。
- スケジュールのデイリービュー画面では [Menu] を押し、「赤外線／ miniSD」→「miniSD へバックアップ」を選択します。
- 受信メール一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、ブックマーク一覧では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「miniSD カードへコピー」→「バックアップ」を選択します。

miniSD メモリーカードのバックアップデータを復元する

- 復元方法には追加復元と上書き復元があります。上書き復元すると、FOMA 端末の各 PIM データは上書きされ、元のデータは消去されますのでご注意ください。

1 待受画面で [Menu][6][6][2] を押し、[1]〜[7] を押す

2 **バックアップデータにカーソルを合わせて Menu 1 を押し、2 または 3 を押す**

：電話帳　：スケジュール　：受信メール、未送信メール、送信メール
：メモ　：ブックマーク

- 追加復元すると現在 FOMA 端末に保存されているデータとは別のデータとして保存されます。
- 上書き復元すると現在 FOMA 端末に保存されているデータを上書きします。

3 **端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

- 復元を中止するときは を押します。中止する前に処理されたバックアップデータは FOMA 端末に復元されます。

miniSD メモリーカード内のデータを表示する

- パソコンなどで miniSD メモリーカード内のデータを変更したり、削除したりすると、FOMA 端末で miniSD メモリーカードのデータを正しく表示できなくなります。その場合は、miniSD メモリーカードの情報を更新してください。☛P353

データ BOX のデータ／マイドキュメントデータを表示する

1 **待受画面で Menu 6 6 を押す**

2 **データの種類を選択する**

■ **データ BOX のデータを表示するとき**

① 1 を押し、1 〜 4 を押す

■ **マイドキュメントのデータを表示するとき**

① 3 を押す

3 **フォルダを選択する**

■ **FOMA 端末のフォルダ一覧に切り替えるとき**

① を押す

4 **確認するデータにカーソルを合わせる**

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります（メロディデータを除く）。

■ **メールに添付して送信するとき（データ BOX のデータのみ）**

① 送信するデータにカーソルを合わせて を押す

■ **詳細情報を表示するとき**

① 詳細情報を表示するデータにカーソルを合わせて、データ BOX のデータでは Menu 2、マイドキュメントデータでは Menu 1 を押す

■ **1 件削除するとき**

① 削除するデータにカーソルを合わせて、データ BOX のデータでは Menu 4 1、マイドキュメントデータでは Menu 3 1 を押す

②「はい」を選択する

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

■ 複数削除するとき

① データBOXのデータでは[Menu][4][2]、マイドキュメントデータでは[Menu][3][2]を押し、データを選択する

・ [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
・ 表示中のページの最大 9 件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② [□] を押し、「はい」を選択する

■ 全件削除するとき

① データ BOX のデータでは [Menu][4][3]、マイドキュメントデータでは [Menu][3][3] を押す
② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

■ 指定したページにジャンプするとき

① [□] を押し、ジャンプするページ数を入力する

・ ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき

① データ BOX のデータでは [Menu][5]、マイドキュメントデータでは [Menu][4] を押す
② 日付を入力して [□] を押す
③ 表示するデータを選択する

■ 動画／ｉモーションを連続再生するとき（動画／ｉモーションのみ）

① [Menu][6] を押す

フォルダ内の動画／ｉモーションが連続して再生されます。最後の動画／ｉモーションを再生すると、先頭の動画／ｉモーションに戻って再生されます。

・ 連続再生中は次の操作ができます。

[●]：一時停止／再生　　[◇]：音量調整
[i]／[✉]：前後の動画／ｉモーション再生　　[□]：停止

5 [●] を押してデータを確認する

・ 動画／ｉモーション、メロディ、PDF データの操作方法は以下のページを参照してください。
・動画／ｉモーション ☛P326　・メロディ ☛P340　・PDF データ ☛P372
・ 静止画表示中は次の操作ができます。
[Menu]: 詳細情報表示　[□]: ファイル名の表示／非表示切り替え　[✉]: メール作成

PIM データを表示する

1 待受画面で [Menu][6][6][2] を押す

2 [1] ～ [7] を押す

3 確認するデータにカーソルを合わせる

■ 1 件削除するとき

① 削除するデータにカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押す
②「はい」を選択する

■ 複数削除するとき

① [Menu][2][2] を押し、データを選択する

・ [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
・ 表示中のページの最大 9 件を選択できます。複数ページにわたっての選択はできません。

② [□] を押し、「はい」を選択する

■ 全件削除するとき

① [Menu][2][3] を押す
② 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

■ **指定したページにジャンプするとき**

① [本] **を押し、ジャンプするページ数を入力する**

・ページ数を入力しないときは 1 ページ目が表示されます。

■ **miniSD メモリーカード内のデータを検索するとき**

① [Menu][3] **を押す**

② **日付を入力して** [本] **を押す**

③ **表示するデータを選択する**

4 [●] を押してデータを確認する

・表示については、以下のページを参照してください。

　・電話帳 ☛P101　・スケジュール ☛P392　・メール ☛P248　・ブックマーク ☛P190

・1 件の PIM データを選択したときは、選択したデータの詳細が表示されます。

・バックアップデータを選択したときは、バックアップデータに含まれているすべてのデータがタイトルで一覧表示されます。

おしらせ

● miniSD メモリーカードに保存されている電話帳やスケジュールの詳細画面から、電話をかけたりメールを送信することはできません。また、メールの詳細画面から返信、転送、編集、保護はできません。

● 電話帳データに登録されている静止画は表示されません。

● miniSD メモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。

● メールの詳細画面で、メールアドレスにカーソルを合わせて [Menu][3][1] を押すと電話帳に新規登録、[Menu][3][2] を押すと電話帳に更新登録できます。また、添付されている画像やメロディにカーソルを合わせて [Menu][4][1] を押すと表示／再生、[Menu][4][2] を押すとタイトルを確認できます。ただし、10000 バイトを超える静止画や i モーションの表示、件数表示などはできません。

miniSD メモリーカードを管理する

miniSD メモリーカードを初期化する　初期化

miniSD メモリーカードに保存されているデータをすべて削除するときや、新たに購入した miniSD メモリーカードを FOMA 端末で使用するときに、初期化します。

1 待受画面で [Menu][6][6] を押し、[本] を押す

2 初期化の方法を選択する

簡易初期化：miniSD メモリーカード内のデータ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。miniSD メモリーカードが一度初期化済みで、miniSD メモリーカードに問題がない場合だけ実行してください。

完全初期化：miniSD メモリーカード内のデータ管理領域と、データ領域の両方を初期化します。新しく購入した miniSD メモリーカードを初期化するときなどに実行します。

3 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

・初期化を中断するときは [●] を押します。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

miniSDメモリーカードの情報を更新する　情報更新

他の機器でminiSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除し、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに、miniSDメモリーカードの情報を更新します。
• 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
　・「マイピクチャ」「その他の画像」内のデータの場合は、ファイル名と同じ名前に変更されます。
　・「動画」「メロディ」「マイドキュメント」内のデータの場合は、タイトルと同じ名前に変更されます。タイトルがないときはファイル名と同じ名前に変更されます。

1 待受画面で [Menu][6][6] を押し、[*] を押す

2 情報を更新する項目を選択する

• [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

3 [□] を押し、「はい」を選択する
• 情報更新を中断するときは [●] を押します。

おしらせ
● miniSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
● 他の機器でminiSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、miniSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

miniSDメモリーカードをチェックする　カードチェック

miniSDメモリーカードに保存されているデータをチェックして、問題があれば修復します。
• miniSDメモリーカードの状態によっては、データを修復できないことがあります。

1 待受画面で [Menu][6][6] を押し、[✉] を押す

2 「はい」を選択する

アルバムを利用する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、ｉモーション、キャラ電、メロディ、マイドキュメントの下にアルバム（フォルダ）を作成し、データを分類・整理できます。ｉモーション、メロディでは、アルバム内のデータをまとめて再生できます。
• キャラ電、マイドキュメントではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
• お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

・アルバムはマイピクチャで最大100個、ｉモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントでそれぞれ最大10個作成できます。
・お買い上げ時、アルバムはありません。

例 マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 待受画面で [ ] [1] を押す

2 [Menu] [1] を押す

■ **アルバム名を変更するとき**

① **変更するアルバムにカーソルを合わせて [Menu] [2] を押す**

■ **アルバムを削除するとき**

① **削除するアルバムにカーソルを合わせて [Menu] [3] を押す**

・削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。

②**「はい」を選択する**

3 アルバム名を入力して [ ] を押す（全角10文字（半角20文字）まで）

おしらせ

● ｉモーション、メロディのフォルダ一覧では [Menu] を押し、「アルバム作成」を選択します。
● キャラ電、マイドキュメントのフォルダ一覧では [Menu] を押し、「フォルダ作成」を選択します。
● 既に作成されているアルバムと同じ名前のアルバムを作成できます。
● 待受画面や着信音などに設定しているデータが保存されているアルバムを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータが削除されたときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動したり、アルバム間でデータを移動します。
・マイピクチャの「デコメールピクチャ」と他のフォルダ間でもデータを移動できます。
・「プリインストール」フォルダに保存されているデータは移動できません。

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 待受画面で [ ] [1] を押し、フォルダを選択する

2 移動するデータにカーソルを合わせて [Menu] [5] [1] [1] を押す

■ **複数移動するとき**

① **[Menu] [5] [1] [2] を押し、データを選択する**

・[ ] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
・[ ] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② **[ ] を押す**

■ **フォルダ内のすべてのデータを移動するとき**

① **[Menu] [5] [1] [3] を押す**

3 移動先のアルバムを選択し、「はい」を選択する

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧では Menu を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- 画像表示画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
- メロディ再生画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電一覧では Menu を押し、「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
- キャラ電表示画面では Menu を押し、「移動」を選択します。
- PDFデータ一覧では Menu を押し、「移動 / コピー」→「フォルダへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。

アルバムのデータを元の固定フォルダに戻す

例 マイピクチャのアルバムのデータを元の固定フォルダに戻すとき

1 待受画面で [1] を押し、アルバムを選択する

2 元に戻すデータにカーソルを合わせて Menu [5][2][1] を押す

■ **複数戻すとき**

① **Menu [5][2][2] を押し、データを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menu で全選択／全解除できます。
- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② **を押す**

■ **アルバム内のすべてのデータを戻すとき**

① **Menu [5][2][3] を押す**

3 「はい」を選択する

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、PDFデータ一覧では Menu を押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
- 画像表示画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
- メロディ再生画面では Menu を押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。
- 「デコメールピクチャ」フォルダで元の固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「モード」フォルダに移動します。
- キャラ電ではフォルダへ戻す操作はできません。

データをコピーする

・次のデータはコピーできません。

・マイピクチャのパラパラマンガ、連写画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像

・再生制限が設定されているｉモーション　・メロディ、キャラ電

・ファイル制限「あり」のデータ

例 マイピクチャのデータをコピーするとき

1 待受画面で [カメラ][1] を押し、フォルダを選択する

2 コピーするデータにカーソルを合わせて [Menu][5][3] を押す

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、PDFデータ一覧、画像表示画面では [Menu] を押し、「移動／コピー」→「コピー」を選択します。

● アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバムごと再生する

ｉモーションおよびメロディのアルバム内のデータを続けて再生できます。

・お買い上げ時に登録されている固定フォルダはアルバム再生できません。

・再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

1 待受画面でｉモーションでは [カメラ][2]、メロディでは [カメラ][3] を押す

2 再生するアルバムにカーソルを合わせて [Menu][4] を押す

・アルバム再生画面のマークの意味☛P326、P340

■ **動画／ｉモーションのアルバム再生時**

・次の操作ができます。

[決定]：一時停止／再生　[上下]：音量調整

[左]／[右]：前後のデータ再生　[本]：停止

・動作設定のアルバムリピート再生を「ON」に設定している場合は、[ON] が表示され、アルバムが繰り返し再生されます。

■ **メロディのアルバム再生時**

・次の操作ができます。

[左右]：前後のメロディ再生　[クリア]／[決定]：停止

[上下]：音量調整

おしらせ

● マナーモード中にアルバム再生すると確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／ｉモーションはｉモーションの動作設定、メロディはメロディの動作設定の音量の設定に従って再生されます。

データの詳細情報を確認／変更する

データの詳細情報を確認します。一部の情報は内容を変更できます。

詳細情報を確認する

例 画像の詳細情報を表示するとき

1 待受画面で [i] [1] を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を確認する画像にカーソルを合わせて [Menu] [3] [1] を押す

・[i] を押すと、詳細情報の一部を変更できます。

おしらせ

● 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、PDF データ一覧では [Menu] を押し、「詳細情報」→「参照」を選択します。
● 動画／ｉモーション表示画面では [Menu] を押し、「詳細」を選択します。
● キャラ電撮影画面では [Menu] を押し、「詳細情報参照」を選択します。

詳細情報を変更する

例 画像の詳細情報を変更するとき

1 待受画面で [i] [1] を押し、フォルダを選択する

2 詳細情報を変更する画像にカーソルを合わせて [Menu] [3] [2] を押す

3 各項目を選択して設定し、[i] を押す

おしらせ

● 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面、PDF データ一覧では [Menu] を押し、「詳細情報」→「変更」を選択します。
● 動画／ｉモーション、キャラ電、メロディの場合、「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

つづく

表示項目と変更可否一覧

- データによっては、表中で「変更可」となっている項目でも、変更できない場合があります。

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ	PDFデータ	内　容
表示名	●	●	●	●	●	FOMA 端末で表示するタイトル（メロディ以外では全角・半角を問わず 36 文字まで、メロディでは全角 25 文字（半角 50 文字）まで）
タイトル	－	○	○	○	－	データにあらかじめ設定されていたオリジナルタイトル
ファイル名	●	●	○	●	○	データをメールに添付したときに表示されるファイル名（半角英数字、「.」、「-」、「_」で、36 文字まで） •「.」はファイル名の先頭に入力できません。
種類	○	－	－	－	－	画像の種類
ファイル制限	●	●	○	●	○	メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかどうか • サイトなどから取得した i モーション、ダウンロードしたメロディでは変更できません。
撮影後ファイル制限	－	－	○	－	－	キャラ電を撮影した静止画、動画にファイル制限が設定されるかどうか
作成者	－	●	－	－	－	作成者の名前など（全角・半角を問わず 256 文字まで） • 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。
コピーライト	－	●	－	－	－	著作者名や著作物の公表年月日など（全角・半角を問わず 256 文字まで）
説明	－	●	－	－	－	動画／ i モーションの説明（全角・半角を問わず 256 文字まで）
ファイル種別	○	○	－	○	○	ファイルの種別（Flash 画像では「---」）
音	－	○	－	－	－	音声データの種別
表示サイズ	○	○	○	－	－	データの表示サイズ（Flash 画像では表示されません）
ファイルサイズ	○	○	○	○	○	データのファイルサイズ
再生時間	－	○	－	○	－	データの再生時間
保存日時	○	○	○	○	○	データを保存した日時
フレーム候補	●	－	－	－	－	画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが352×288を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。
スタンプ候補	●	－	－	－	－	画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうか • サイズが 240 × 320 以上の画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。
コメント	●	－	●	－	－	データの説明など（全角・半角を問わず 100 文字まで）
着信音設定	－	○	－	－	－	動画／ i モーションを着信音に設定できるかどうか
着信画面設定	－	○	－	－	－	動画／ i モーションを着信画像に設定できるかどうか
再生制限	－	○	－	－	－	動画／ i モーションの再生制限
取得元	○	○	○	○	○	データの取得元
故障時退避可否	○	－	－	○	○	お客様の FOMA 端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうか※

※：万が一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

おしらせ

- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
- ファイル制限の設定に関わらず、自端末で撮影した静止画／動画、およびデータ転送や miniSD メモリーカードから取得した画像、動画／ｉモーション、メロディは、メール添付やデータ転送ができます。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」または「音声のみ」で撮影／録音した動画／音声や、その動画／音声から切り出した動画／音声は、着信音設定が必ず「可」になります。
- miniSD メモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA 端末で表示する内容と異なる場合があります。

データを削除する

・マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメントの「プリインストール」フォルダに保存されているデータは削除できません。

例 マイピクチャのデータを削除するとき

1 待受画面で [i] [1] を押し、フォルダを選択する

2 削除するデータにカーソルを合わせて [Menu] [6] [1] を押す

■ **複数削除するとき**

① [Menu] [6] [2] **を押し、データを選択する**

- [●] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。
- [ア/a] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② [□] **を押す**

■ **フォルダ内のすべてのデータを削除するとき**

① [Menu] [6] [3] **を押し、端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDF データ一覧では [Menu] を押し、「削除」→「1 件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面では [Menu] を押し、「削除」を選択します。
- メロディ再生画面では [Menu] を押し、「削除」→「1 件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P289

データを並べ替える　ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。

お買い上げ時　対象：保存日時　順序：降順

例 マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 待受画面で [↑][1] を押し、フォルダを選択する

2 [Menu][7] を押す

3 各項目を選択して設定し、[□] を押す

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ

● 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧、PDF データ一覧では [Menu] を押し、「ソート」を選択します。
● 表示名に全角・半角の文字が混在していると、並び順が 50 音順と一致しないことがあります。

赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック中、PIM ロック中、セルフモード中は、赤外線通信を行えません。
- 赤外線通信と USB 接続は同時に使用できません。
- FOMA 端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA 端末でファイル制限を「あり」に設定したデータおよび「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。
- 赤外線通信中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、[✉] を押して他の機能に切り替えることもできません。
- 本端末の赤外線通信機能は IrMC1.1 に準拠しています。
- 相手端末が IrMC1.1 に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- ｉモード端末以外に絵文字を使用したデータを送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても、相手端末によっては、絵文字 2 を使用したデータは正しく表示されない場合があります。

赤外線通信を行うには

通信距離は約 20cm 以内、角度は中心から 15 度以内です。データの送受信が終わるまで、FOMA 端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

データ表示／編集／管理

FOMA 端末のデータを赤外線受信するときの留意事項

- メールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にならないことがあります。
- メールを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールが保存されることがあります。
- ブックマークを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- D901iS 以外の端末からブックマークを受信したとき、先頭のフォルダに保存されることがあります。
- D901iS 以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録されることがあります。

D901iS のデータを FOMA 端末に赤外線送信するときの留意事項

- ファイルサイズの制限の違いにより、大きなサイズの画像、動画／ｉモーション、メロディを送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

赤外線通信を使ってデータを送信する　赤外線送信

送信するデータを選択して 1 件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳※	• シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモード中のみ 1 件送信できます。 • 全件送信すると、自局番号データも送信されます。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信を「あり」に設定している場合は、電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信されます。ただし、相手の機種によっては送信されない場合があります。
スケジュール※	• シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモード中のみ 1 件送信できます。 • 日付・時刻の設定が必要です。
受信メール※ 送信メール※ 未送信メール※	• メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。
メモ※	――
ブックマーク※	• 相手の機種によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 • 全件送信すると、ブックマークは一覧の末尾から送信されます。
画像	• タイトルは全角 9 文字（半角 18 文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • ファイルサイズが 500K バイトを超えるデータは送信できません。
動画／ ｉモーション	• タイトルは全角 9 文字（半角 18 文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
メロディ	• タイトルは全角 25 文字（半角 50 文字）まで送信できます。
自局番号	• 相手の機種によっては、画像が送信されない場合があります。

※：全件送信できます。

- D901iS 以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを 1 件送信する

例 電話帳を 1 件送信するとき

1 相手の FOMA 端末を受信待機状態にする

2 電話帳を検索し、送信する電話帳データにカーソルを合わせて [Menu][8][1] を押す

3 「はい」を選択する

・赤外線送信を中断するときは [ ] を押します。

おしらせ

● ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧では [Menu] を押し、「赤外線送信」→「送信」を選択します。
● 画像一覧、動画／ i モーション一覧、メロディ一覧では [Menu] を押し、「赤外線送信」を選択します。
● スケジュールのデイリービュー画面では [Menu] を押し、「赤外線／ miniSD」→「赤外線送信」を選択します。
● 自局番号の詳細画面では [Menu] を押し、「自局番号送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線送信します。
・全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で 4 桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手の FOMA 端末を受信待機状態にする

2 待受画面で [Menu][6][5][1] を押す

3 送信するデータの種類を選択し、端末暗証番号を入力する

4 4 桁の認証パスワードを入力する

入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択する

・赤外線送信を中断するときは [ ] を押します。

おしらせ

● ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧では [Menu] を押し、「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。
● ブックマーク、送信メール、未送信メール、受信メールのフォルダ一覧では [Menu] を押し、「赤外線全件送信」を選択します。
● 電話帳一覧では [Menu] を押し、「赤外線／外部メモリ」→「赤外線全件送信」を選択します。
● スケジュールのカレンダーでは [Menu] を押し、「赤外線／ miniSD」→「赤外線全件送信」を選択します。
● 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

赤外線通信を使ってデータを受信する 赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。受信したデータは直接FOMA端末に保存するか、赤外線受信のINBOXに一時的に保存して、受信したデータを確認してからFOMA端末に保存します。
受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所	保存順
電話帳※	電話帳 ・電話帳データを全件受信した場合、自局電話番号以外の自局番号データが上書きされます。 ・ダイヤル発信制限中は受信できません。	最も小さい空きメモリ番号
スケジュール※	スケジュール帳 ・日付・時刻の設定が必要です。	日時順
受信メール※	受信メール	受信日時順
送信メール※	送信メール	送信日時順
未送信メール※	未送信メール	保存日時順
メモ※	メモ帳	受信順
ブックマーク※	Bookmark	一覧の先頭
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
動画／ｉモーション	ｉモーションの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ	一覧の先頭
自局番号	電話帳	最も小さい空きメモリ番号

※：全件受信できます。
・受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。

データを1件受信する

・500Kバイト以上のデータは受信できません。

1 待受画面で Menu 6 5 2 1 を押す
受信方式選択画面が表示されます。

2 1 または 2 を押す
が表示されます。

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。
保存確認なし：受信したデータはFOMA端末に保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択する
受信待機状態になります。

4 送信側でデータを1件送信する
・赤外線受信を中断するときは を押します。
・操作2で「保存確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法☛P365操作2
「保存確認なし」を選択した場合は、受信終了後、受信方式選択画面に戻ります。

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線受信できます。
- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で4桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 待受画面で [Menu][6][5][2][2] を押す

全件受信方式選択画面が表示されます。

2 [1] または [2] を押す

が表示されます。

上書き確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXのデータ一覧が表示されます。INBOXからの保存時に追加保存と上書き保存を選択できます。

上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOXは表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作4に進みます。

3 「はい」を選択し、端末暗証番号を入力する

4 4桁の認証パスワードを入力する

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択する

受信待機状態になります。

6 送信側でデータを全件送信する

- 赤外線受信を中断するときは [クリア] を押します。
- 操作2で「上書き確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX画面が表示されます。データの保存方法 ☛P365操作2
  「上書き確認なし」を選択した場合は、受信終了後、全件受信方式選択画面に戻ります。

おしらせ

- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- データ保存時の注意事項については「受信したデータを保存する」のおしらせをご覧ください。☛P365

受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されているデータをFOMA端末に保存します。
- 1件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、赤外線通信を終了すると自動的にINBOX画面が表示されます。

1 待受画面で [Menu][6][5][2][3] を押す

2 保存するデータを選択する

- ／：電話帳1件データ／複数件データ
- ／：ブックマーク1件データ／複数件データ
- ／：メール1件データ／複数件データ
- ／：スケジュール1件データ／複数件データ
- ／：メモ1件データ／複数件データ
- ：画像データ
- ：動画／ｉモーションデータ
- ：メロディデータ

■ **1件削除するとき**

① **削除するデータにカーソルを合わせて Menu 2 を押す**

■ **全件削除するとき**

① **Menu 3 を押し、端末暗証番号を入力する**

3 「はい」を選択する

■ **複数件データを選択したとき**

① **端末暗証番号を入力する**

② **追加保存する場合は「追加」、上書き保存する場合は「上書き」を選択する**

- 「上書き」を選択するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

おしらせ

- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存／登録件数より少なくなることがあります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて Menu 1 を押してください。
- D901iSではToDoデータ（用件を管理するリスト機能のデータ）は保存できません。D901iS以外の機種などからToDoデータとスケジュールデータをまとめて全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを全件受信した場合、上書き保存するとD901iSに登録されていたスケジュールがすべて削除されますのでご注意ください。
- 全件受信したデータを上書き保存すると、FOMA端末の保護されているデータも削除されます。

赤外線通信モードにする

赤外線通信モード

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリを起動します。

- 指定のソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリが外部機器からのｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動できません。

1 待受画面で Menu 6 5 2 1 2 を押し、「はい」を選択する

受信待機状態になります。

2 赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信する

ｉアプリが起動します。

- 受信を中断するときは を押します。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用の ｉ アプリをダウンロードして、FOMA 端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応した ｉ アプリをダウンロードしてください。
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA 端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください（操作方法は ｉ アプリによって異なります）。リモコン操作ができる角度は中心から 15 度、距離は最大で約 4m です。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

おしらせ

● お買い上げ時に登録されている ｉ アプリ「G ガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA 端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。☛P292

データ送受信時の動作を設定する

データ送受信設定

赤外線通信や USB 接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし　電話帳の画像送信：あり

1 待受画面で Menu 6 5 3 を押す

2 各項目を選択して設定する

通信終了音：通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定しても、キー確認音を「OFF」に設定しているときは通信終了音は鳴りません。

自動認証：USB 接続による通信時に、認証コードを通信相手と自動でやりとりするかどうかを設定します。
- 「あり」に設定するときは、端末暗証番号を入力し、4 ～ 8 桁の携帯側認証コード（FOMA 端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、□ を押します。
- パソコン側のソフトウェアが非対応の場合、自動認証は利用できません。

電話帳の画像送信
：電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 □ を押す

データ表示／編集／管理

　※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

サウンドレコーダーで音声を録音する　サウンドレコーダー

サウンドレコーダーを使用して音声の録音ができます。録音した音声はFOMA端末で再生するだけでなく、miniSDメモリーカードに保存したり、ｉモードメールに添付して送信できます。
- 録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして保存されます。
- miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。miniSDメモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

録音画面とファイルについて

録音画面の見かた

① **品質**　：保存する音声の品質を示します。☛P369

② **サイズ制限**　：保存するファイルのサイズ制限値を示します。☛P370

③ **撮影モード**　：音声の録音モードであることを示します。

④ **保存先**　：保存先を示します。☛P165
　：FOMA端末　：miniSDメモリーカード

⑤ **撮影種別**　：音声を録音することを示します。

⑥ **インジケータ**　：**録音待機中**
保存先の保存領域の使用率を示します。
- miniSDメモリーカードの保存領域の使用率は、音声が保存されていなくても0にならないことがあります。

録音中／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する録音したサイズの割合を示します。

⑦ **カウンタ**　：**録音待機中**
現時点でFOMA端末またはminiSDメモリーカードに保存できる音声の最大時間（目安）を示します。
録音中／一時停止中
経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を表示します。

音声ファイルについて

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3gp
タイトル	録音した日時が自動的に付けられます。 （例）2005年8月26日12時34分56秒の場合→20050826123456.3gp ・音声の録音後、表示名やファイル名を変更できます。☛P357 ・FOMA端末の日付・時刻が設定されていない場合、表示名、タイトル、ファイル名は「--------------」になります。
メール添付･出力	メールに音声を添付して送信したり、miniSDメモリーカードや専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に取り込めます。

音声の録音時間について

音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

• 品質、サイズ制限は動画／録音設定で設定できます。☛P164

■ FOMA 端末に保存できる音声の録音時間（目安）

項　目	品　質	ファイルサイズ制限	
		メール添付（290K バイト）	大容量メール添付（490K バイト）
1 回あたりの録音時間	STD	約 4 分	約 7 分
	HQ	約 3 分	約 5 分
FOMA 端末の最大録音時間	STD	約 159 分	約 159 分
	HQ	約 104 分	約 105 分

■ miniSD メモリーカードに保存できる音声の録音時間（目安）

容　量	品　質	ファイルサイズ制限		
		メール添付（290K バイト）	大容量メール添付（490K バイト）	制限なし
16MB	STD	約 230 分	約 230 分	約 230 分
	HQ	約 150 分	約 151 分	約 151 分
32MB	STD	約 475 分	約 475 分	約 475 分
	HQ	約 311 分	約 312 分	約 312 分

音声を録音する

• 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
• 着信音量を「消音」に設定している場合やマナーモード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 待受画面で Menu 6 3 を押す

着信ランプが青で点灯し、サウンドレコーダーが起動して音声録音モードになります。

2 [録音] または [カメラ] を押す

録音画面

録音確認音（シャッター音）が鳴り、コンパクトライトが赤、着信ランプが色を変えながら 2 秒間隔で点滅し、録音が開始されます。[アイコン]が●に切り替わります。

• 音声は送話口から録音されます。
• 録音を一時停止するときは [録音] を押します。コンパクトライトが赤、着信ランプが緑で点灯し、●が❚❚に切り替わります。[録音] を押すと、録音を再開します。

3 [□] または [カメラ] を押す

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。録音した音声の確認画面が表示されます。

• 動画／録音設定の自動保存を「する」に設定しているときは、録音した音声が保存され、録音画面に戻ります。操作 4 以降の操作は不要です。
• 録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。
• 一時停止中に [□] を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

4 録音した音声を確認する

- 音声をすぐに保存するときは操作 5 に進みます。
- 保存しないで録音し直すときは [クリア] を押します。
- 音声を再生するには [□] を押します。動画／録音設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ 録音した音声をメールに添付して送信するとき

① [✉] を押す

録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定していても、FOMA 端末に保存されます。
- 録音した音声のファイルサイズが 500K バイトを超える場合は、添付できません。

■ タイトルを変更するとき

① [Menu][3][1] を押し、タイトルを入力して [□] を押す（全角・半角を問わず 31 文字まで）

- 変更したタイトルは音声保存後に有効になります。

■ テロップを挿入するとき

① [Menu][3][2] を押し、「はい」を選択する

録音した音声が FOMA 端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作 3 以降と同じです。☛P331

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、テロップを挿入できません。

■ 保存先を FOMA 端末／ miniSD メモリーカードに切り替えるとき

① [Menu][5] を押す

- 録音した音声のファイルサイズが 490K バイトを超える場合は切り替えられません。

■ 保存されている音声を一覧表示するとき

① [Menu][6] を押し、[1] または [2] を押す

5 [保存] または [📷] を押す

録音した音声が i モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先を miniSD メモリーカードに設定している場合は、miniSD メモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。
- 保存した音声をすぐに確認するときは [□] を押し、確認する音声を選択します。

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で [Menu] を押し、「モード切り替え」→「サウンドレコーダー」を選択してもサウンドレコーダーに切り替わります。ビデオカメラの撮影待機中に、動画／録音設定の撮影種別を「音声のみ」に設定しても切り替わります。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については、「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせをご覧ください。☛P163
- 録音した音声を再生する方法については、「動画／ i モーションを再生する」をご覧ください。☛P324

録音時の設定を変更する

音声の品質を設定する

1 録音画面で [◁□▷] を押し、品質のマークにカーソルを合わせる

品質のマーク

- [8] を押しても品質のマークを選択できます。

2 を押してマークを切り替えて を押す

標準　：標準的な品質です。
高品質：音質がよくなりますが、録音できる時間は短くなります。

- を押して値を切り替え、 を押しても設定できます。

ファイルサイズを制限する

1 録音画面で を押し、サイズ制限のマークにカーソルを合わせる

- を押してもサイズ制限のマークを選択できます。

サイズ制限のマーク

2 を押してマークを切り替えて を押す

メール添付：ファイルサイズを 290K バイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。
大容量メール添付
：ファイルサイズを 490K バイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。
制限なし　：ファイルサイズを制限しません。動画／録音設定で保存先を「本体」に設定している場合は選択できません。

- を押して値を切り替え、 を押しても設定できます。

Menu 55

PDF データを表示する　マイドキュメント

FOMA 端末のデータ BOX のマイドキュメントに保存されている PDF データを表示します。サイトやインターネットホームページからダウンロードした PDF データも表示できます。PDF データ表示中は、拡大／縮小、文字列の検索、リンク表示、画面の切り出しなどさまざまな操作ができます。

- PDF データをダウンロードするには☛P196
- お買い上げ時は「HOW TO USE 1」「HOW TO USE 2」「HOW TO USE 3」の 3 つの PDF データが「プリインストール」フォルダに保存されています。

1 待受画面で を押す

2 フォルダを選択する

各フォルダには次のような PDF データが保存されています。

モード　：サイトからダウンロードした PDF データ
プリインストール
：お買い上げ時に内蔵されている PDF データ
データ交換：miniSDメモリーカードから移動／コピーしたPDFデータ
フォルダ　：他のフォルダから移動した PDF データ
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛354
- フォルダ名は作成時に任意に付けられます。

- miniSD メモリーカードのフォルダ一覧に切り替えるときは を押します。miniSD メモリーカードの操作方法☛P350

データ表示／編集／管理

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

3 表示するPDFデータにカーソルを合わせる

サムネイル表示のとき

タイトル表示のとき

PDFデータ一覧

① 取得元
：内蔵　：iモード　：データ交換

② ファイル種別
: すべてのデータをダウンロードしたPDFデータ
: 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
・未取得部分を追加でダウンロードできます。
: 通信が途中で切断された場合など、ダウンロードに失敗したPDFデータ

③ ファイル制限
（青）：FOMA端末外出力可
（グレー）：FOMA端末外出力不可

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- PDFデータのサムネイル画像が表示できない場合、サムネイル表示では次のアイコンが表示されます。
  : FOMAカード動作制限が設定されているPDFデータ、サムネイル画像がないPDFデータ、一度も表示していないPDFデータ
  : 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ
  : ダウンロードに失敗したPDFデータ
- 表示名を変更できます。☛P357

4 を押してPDFデータを表示する

通常表示のとき

全画面表示のとき

PDF表示画面

- を押すたびに通常表示と全画面表示が切り替わります。
- PDFデータ表示中に以下の操作ができます。

：スクロール※	4：最初のページ
：前ページ	5：検索 ☛P373
：次ページ	6：最後のページ
：ヘルプ ☛P373	7：右90°回転
1：縮小	8：リンク表示 ☛P373
2：全体表示 ☛P372	9：画面切り出し ☛375
3：拡大	0：ドキュメント情報 ☛P373

※：1秒以上押すと高速スクロールします。

- PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- PDFデータにパスワードが設定されているときは、パスワードを入力して を押します。
- ダウンロードに失敗したPDFデータ（ファイル種別が）を選択すると、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。
- 部分的にデータをダウンロードしたPDFデータ（ファイル種別が）の残りのデータをダウンロードするには、PDFデータ表示中に 8 を押します。また、未取得のページがある場合、そのページを表示しようとすると確認画面が表示され、「はい」を選択するとダウンロードできます（一度「はい」を選択すると、以降のページは確認画面なしでダウンロードされます）。
- PDFデータによっては、残りのデータをダウンロードできない場合があります。
- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むPDFデータの場合、正しく表示されないことがあります。

■ 表示を終了するとき

① [PWR] を押し、「はい」を選択する

- PDF データを変更したときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。保存するときは「はい」を選択して保存します。

PDF データ表示中の各種操作

■ ツールバーを使うとき

ツールバー

① [決定] を押す

ツールバーが表示されます。

② [方向] を押してマークにカーソルを合わせて [決定] を押す

縮小　全体表示　拡大
最初のページ　検索 ☛P373　最後のページ
右 90 °回転　リンク表示 ☛P373
画面切り出し ☛375　ドキュメント情報 ☛P373

- マークには左から順に [1] ～ [9]、[0] のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選択できます。
- 操作を中止するときは、[クリア] を押すとマークのカーソルが消え、もう一度 [クリア] を押すとツールバーが消えます。
- マークを選択してもツールバーは消えません。
  - ツールバーを表示したまま、スクロールやサブメニュー選択などの操作ができます。
  - [1] ～ [9]、[0] を押すと各マークの機能を実行できます。[決定] を押し、[方向] を押してカーソルを合わせて [決定] を押しても実行できます。
  - ツールバーを消すには [クリア] を押します。

■ 表示画面の設定を変更するとき

現在の表示のみ変更されます。次に PDF データを表示したときは、お買い上げ時の設定（全画面表示：「しない」、ステータス表示：「あり」、スクロールバー：「あり」）に戻ります。

① [Menu][5][2] を押す

② 各項目を選択して設定し、[□] を押す

全画面表示　：「する」に設定すると全画面表示になります。

ステータス表示：通常表示時にページ番号／総ページ数と表示倍率を表示するかどうかを設定します。

スクロールバー：通常表示時にスクロールバーを表示するかどうかを設定します。
・「なし」に設定してもスクロール操作はできます。

■ 表示モードを切り替えるとき

「全体表示」「実際の大きさ」「幅に合わせる」から選択できます。

① [Menu][6][1] を押す

- PDF 対応ビューア起動時の表示モードを設定するには [Menu][5][3] を押します。
- [2] を押しても全体表示になります。ツールバーからも行えます。

② [1] ～ [3] を押す

■ 表示を拡大／縮小するとき

① [Menu][6][4] を押し、倍率を入力する（2 ～ 1000%）

- [1]、[3] を押しても拡大／縮小できます。ツールバーからも行えます。

■ ページレイアウトを切り替えるとき

単一ページ（1 ページずつ表示）、見開きページ（2 ページずつ表示）から選択できます。

- 1 ページのみの PDF データや、部分的にデータをダウンロードした PDF データでは設定できません。

① [Menu][7] を押し、[1] または [2] を押す

■ ページを切り替えるとき

表示ページ	操　作
前ページ	A/a または Menu 1 5 を押す
次ページ	✉ または Menu 1 6 を押す
指定ページ	Menu 1 3 を押し、ページ番号を入力する

表示ページ	操　作
最初のページ※	4 または Menu 1 1 を押す
最後のページ※	6 または Menu 1 2 を押す

※：ツールバーからも行えます。

■ 見出しを使ってページを切り替えるとき

PDF データにあらかじめ登録されている見出しを選択してページを切り替えます。見出しがない PDF データでは利用できません。見出しの追加や変更はできません。

① Menu 1 4 を押す

② 見出しを選択する

■ 表示を回転するとき

右 90 回転、左 90 回転、180 回転が行えます。

① Menu 6 2 を押し、1 ～ 3 を押す

- 7 を押しても右 90 回転できます。ツールバーからも行えます。
- ページの向きに関わらず、スクロールして前ページを表示するには ↑、次ページを表示するには ↓ を押します。

■ 文字列を検索するとき

- 部分的にデータをダウンロードした PDF データの場合は、表示中のページのみ検索されます。

① Menu 5 1 を押す

② 文字列の入力欄を選択し、文字列を入力する（全角 8 文字（半角 16 文字）まで）

- 部分的に一致する語句も検索するときは「完全に一致する語だけを検索」の「しない」を選択します。たとえば、「cat」を入力したとき、「しない」では「cats」も検索されますが、「する」では検索されません。
- 英字の大文字と小文字を区別しないときは「大文字と小文字を区別」の「しない」を選択します。

③ ヘルプキー を押す

検索が実行され、入力した文字列に一致した語が強調表示されます。

- 一致した次の語句を強調表示するには ✉、前の語句を強調表示するには A/a を押します。
- 検索を終了するには Menu を押します。
- ヘルプキー を押すとヘルプを表示できます。

■ リンクを利用するとき

PDF データのリンク項目を利用してページ移動したいときは、リンク表示を ON に切り替えます。リンク表示を ON にすると、文中の電話番号やメールアドレス、URL のリンクを利用して音声電話／テレビ電話をかけたり、ｉモードメールを作成したり、サイトに接続することもできます。

① 利用したいリンク項目を表示して Menu 6 3 を押す

- 8 を押してもリンク表示を ON にできます。ツールバーからも行えます。

② リンク項目を選択する

- リンク表示が ON のときはスクロール操作やページ移動はできません。
- 電話番号、メールアドレス、URL を選択したときの操作はサイトからの Phone to（AV Phone to）、Mail to、Web to と同じです。
- リンク表示を終了するには Menu を押します。

■ ドキュメント情報を表示するとき

タイトル、著作者名、ファイルサイズなどを表示できます。

① Menu 9 を押す

■ ヘルプを表示するとき

PDF データ表示中、および検索結果画面で行えるキー操作を確認できます。

① 各画面で ヘルプキー を押す

おしらせ

- パソコンなどでminiSDメモリーカードにPDFデータを保存し、FOMA端末で表示することもできます。
  - miniSDメモリーカード内のPDFデータの保存場所やファイル名については☛P344
  - miniSDメモリーカードのPDFデータを表示するには☛P350

しおりやマークを使う

よく利用するページやあとで見直したいページにしおりやマークを登録しておくと、しおりやマークを選択するだけでページを切り替えられます。しおりには位置と、現在の表示状態（倍率、回転方向）が登録されます。また、しおりの情報として、ページの説明やメモを登録できます。マークには位置のみ登録されます。

- しおりやマークがあらかじめ登録されているPDFデータもあります。
- しおり、マークはそれぞれ、あらかじめ登録されているものも含めて最大10件登録できます。

しおりを使う

しおりを登録する

1 PDFデータ表示画面で、しおりを登録するページを表示して［Menu］［4］［2］を押す

2 しおりの情報を入力して［□］を押す（全角64文字（半角128文字）まで）

しおりを表示する

1 PDFデータ表示画面で［Menu］［4］［1］を押す

2 しおりを選択する

該当ページの、しおりが登録されている位置が、登録時の表示状態（倍率、回転方向）で表示されます。

■ **編集するとき**

① **編集するしおりにカーソルを合わせて［Menu］［1］を押す**

② **しおりの情報を入力して［□］を押す**

■ **1件削除するとき**

① **削除するしおりにカーソルを合わせて［Menu］［2］［1］を押す**

② **「はい」を選択する**

■ **複数削除するとき**

① **［Menu］［2］［2］を押し、しおりを選択する**

- ［●］で選択／解除が切り替わり、［Menu］で全選択／全解除できます。

② **［□］を押し、「はい」を選択する**

■ **全件削除するとき**

① **［Menu］［2］［3］を押す**

② **端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

データ表示／編集／管理

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

おしらせ

- しおりの複数削除は、PDFデータ表示画面でMenuを押し、「しおり関連」→「しおりの削除」を選択しても行えます。
- miniSDメモリーカードなどを利用してパソコンなどにPDFデータを移動した場合、しおりが消去される場合があります。

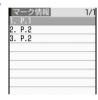
マークを使う

マークを登録する

1 PDFデータ表示画面で、マークを登録するページを表示してMenu 4 5を押す

マークが登録され、現在の表示範囲の中央にマークが表示されます。

マークを表示する

1 PDFデータ表示画面でMenu 4 4を押す

2 マークを選択する

該当ページの、マークが登録されている位置が表示されます。

■ **1件削除するとき**

① **削除するマークにカーソルを合わせてMenu 1を押す**

② **「はい」を選択する**

■ **複数削除するとき**

① **Menu 2を押し、マークを選択する**

- で選択／解除が切り替わり、Menuで全選択／全解除できます。

② **を押し、「はい」を選択する**

■ **全件削除するとき**

① **Menu 3を押す**

② **端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

おしらせ

- マークの複数削除は、PDFデータ表示画面でMenuを押し、「しおり関連」→「マークの削除」を選択しても行えます。
- miniSDメモリーカードなどを利用してパソコンなどにPDFデータを移動した場合、マークが消去される場合があります。

ページのイメージを保存する 画面切り出し

現在画面に表示している内容をJPEG形式の画像として保存します。

- PDFデータによっては画面切り出しができない場合があります。
- 保存した画像は、メール添付や赤外線通信、データリンクソフトなどでFOMA端末外に出力できません。miniSDメモリーカードへのコピー／移動もできません。
- 切り出される画像のサイズは、PDFデータが表示されている画面領域の大きさによって異なります。

1 PDFデータ表示画面で、保存する内容を表示してMenu 3を押す

画面表示内容がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

PDF対応ビューアの動作条件を設定する　動作設定

PDFデータ一覧の表示形式を選択します。「あり」に設定すると12枚のサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

お買い上げ時　あり

1 待受画面で [i][5] を押す

2 [Menu][4] を押し、[1] または [2] を押す

おしらせ

● PDFデータ一覧では、[Menu] を押して「動作設定」を選択します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMS の 3 つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に ✉ を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：1 通信
  - ・ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか 1 通信
  - ・SMS：1 通信

おしらせ

● マルチアクセスの組み合わせ ☛P484
● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
● 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。

マルチアクセスでできる主な操作

通信中にｉモードメールや SMS（ショートメッセージ）、音声電話を受ける

例 音声電話通話中にｉモードメールを受信するとき

1 音声電話通話中にメールを受信する

受信中はディスプレイ上部に i と ✉ が点滅表示され、受信が完了すると i が点滅し、✉ が表示されます。
- i の点滅は自動的に止まります。

例 ｉモード中・パケット通信中に音声電話を受けるとき

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。
- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話を受けられます。

1 ｉモード中・パケット通信中に音声電話がかかってくる

- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2 文字キーを押す

- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P381
- サイト表示を終了するにはサイト画面で PWRキー を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で PWRキー を押します。

通信中に他の通信を行う

接続中の通信を中断せずに別の通信を同時に行えます。

例 音声電話通話中に i モードに接続するとき

1 音声電話通話中に メールキー を押す

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカホン機能を利用した通話に切り替えておくと、サイトの画面を見ながら話せます。

2 2 1 を押す

- 音声電話はつながったままです。そのまま話せます。
- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P381
- サイト表示を終了するにはサイト画面で PWRキー を押し、「はい」を選択します。
- 通話を終了するには通話中画面で PWRキー を押します。

例 音声電話通話中に i モードメールを送信するとき

1 音声電話通話中に メールキー を押す

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、メールを作成しながら話せます。

2 1 2 を押す

i モードメールを送信すると通話中画面に戻ります。

- 音声電話はつながったままです。そのまま話せます。
- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。☛P381
- メール作成を終了するにはメール作成画面で PWRキー を押します。
- 通話を終了するには通話中画面で PWRキー を押します。

例 音声電話通話中にパケット通信を行うとき

1 音声電話通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。
- 音声電話はつながったままです。そのまま話せます。
- 通話を終了するには通話中画面で PWRキー を押します。

例 ｉモード中・パケット通信中に音声電話をかけるとき

サイトを表示しながら、音声電話をかけます。

・パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話をかけられます。

1 ｉモード中・パケット通信中に［MENU］を押す

新規起動メニューが表示されます。

2 ［文字］を押す

・電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるには、新規起動メニューから「電話帳・履歴」を選択します。

3 電話番号を入力して［文字］を押す

・サイト表示を終了するにはサイト画面で［PWR］を押し、「はい」を選択します。

・通話を終了するには通話中画面で［PWR］を押します。

マルチタスクについて　マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

・タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。

・機能を実行中に［MENU］を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示し、新たな機能を起動したり、画面を切り替えたりできます。

・同時に実行できる機能は 2 つまでです。ただし、「ダイヤル発信」および「自局番号」の機能は、他の機能が 2 つ実行されていても、起動できます。

新しい機能を実行する

・機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。マルチタスクの組み合わせ☛P486

例 通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 通話中に［MENU］を押す

新規起動メニューが表示されます。

・通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、スケジュールの画面を見ながら話せます。

2 ［7］［1］を押す

・電話はつながったままです。そのまま話せます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

3 スケジュールを表示／登録する

・スケジュールを終了するにはスケジュールの画面で [PWR] を押します。
・通話を終了するには通話中画面で [PWR] を押します。

おしらせ

● マルチタスクで利用できる機能は、起動状況やロック設定の状況などによって、制限される場合があります。また、赤外線送受信中、ソフトウェア更新中、パターンデータ更新（スキャン機能）中は、マルチタスクによる操作はできません。
● 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。

操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に [切替] を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えて操作できます。

例 通話中画面からサイト画面へ切り替えるとき

1 音声電話通話中に [切替] を押す

画面切替メニューが表示されます。

2 「iモード」を選択する

画面切替メニュー

・通話中画面に戻すには、再度 [切替] を押し、画面切替メニューから「電話」を選択します。
・画面切替メニュー表示中に [Menu] を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度 [Menu] を押すと画面切替メニューに戻ります。

画面切替メニューに表示される項目名

電話	テレビ電話	64Kデータ通信	AV通信※1
ダイヤル入力	メール	メール作成	チャットメール
メッセージR/F	問合せ※2	iモード	iアプリ
PPPデータ通信※3	マイピクチャ	iモーション	メロディ
キャラ電	マイドキュメント	PDF対応ビューア※4	カメラ
ビデオカメラ	サウンドレコーダー	バーコードリーダー	miniSDカード
電話帳	着信履歴	リダイヤル	メモ帳
スケジュール帳	電卓	ソフトウェア更新	パターンデータ更新
SMS受信	iモードメール着信※5	通知（アラーム）※6	通知（スケジュール）※7
自局番号	伝言メモ	音声メモ	

※1：外部機器によるテレビ電話
※2：iモード問合せ、SMS問合せ
※3：パソコンとつないだパケット通信
※4：PDF表示画面
※5：iモードメール、メッセージR/Fの受信画面
※6：アラーム設定で指定した時刻になったときのアラーム画面
※7：スケジュールで指定した日時になったときのアラーム画面

おしらせ

- 画面切替メニューの項目名は、メニューの項目名などと異なる場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ（☛P486）で選択不可になっている組み合わせでは、画面を切り替えられません。

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクで実行中の全機能を一度に終了させます。

1 マルチタスク中に [✉][📖] を押し、「はい」を選択する

FOMA 端末を開いて編集画面を表示するように設定する スライド編集設定

FOMA 端末を開くだけで受信メールの返信画面やスケジュールの編集画面などを表示できるように設定できます。

お買い上げ時 すべて ON

1 待受画面で [Menu][8][9][7] を押す

2 設定する項目を選択し、[1] または [2] を押す

受信メール：受信メール一覧画面／受信メール表示画面で FOMA 端末を開いたとき、返信用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

送信メール：送信メール一覧画面／送信メール表示画面で FOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

未送信メール：未送信メール一覧画面で FOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示するかどうかを設定します。

チャットメール：チャットメール画面で FOMA 端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示するかどうかを設定します。

スケジュール：カレンダー画面／デイリービュー画面で FOMA 端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示するかどうかを設定します。

メモ帳：メモ一覧画面／メモ詳細画面で FOMA 端末を開いたとき、メモ帳編集画面を表示するかどうかを設定します。

3 [📖] を押す

おしらせ

- スケジュールを「ON」に設定すると、スケジュールの各詳細画面で FOMA 端末を開いたとき、編集画面が表示されます。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る　自動電源ON／OFF設定

・日付・時刻の設定が必要です。
・自動電源ONと自動電源OFFを同時刻に設定できません。

お買い上げ時　自動電源ON：OFF　自動電源OFF：OFF

例　自動電源ONを設定するとき

1 待受画面で Menu 8 5 2 を押す

■ **自動電源OFFを設定するとき**

① **待受画面で Menu 8 5 3 を押す**

2 各項目を選択して設定する

自動電源ON：自動電源ONを設定／解除します。
・「OFF」に設定すると、「時刻」、「繰り返し」は選択できません。

時刻：自動的に電源を入れる時刻を設定します。
・24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。

繰り返し：自動電源ONの繰り返しを設定します。
・「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけFOMA端末の電源が入った後、自動電源ONの設定は解除されます。

3 [m] を押す

おしらせ

● アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定し、アラームやスケジュールアラームと自動電源ONを同時刻に設定すると、自動で電源が入った後にスケジュールやアラーム設定に設定した動作を行います。
● PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定している場合は、自動電源ONの指定時刻に電源が入った後、PIN1コードの入力が必要です。
● 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、自動電源ONの指定時刻に電源が入った後、PIN2コードの入力が必要です。
● アラームやスケジュールアラームと自動電源OFFを同時刻に設定すると、スケジュールやアラーム設定の動作後に自動電源OFFを行います。アラーム音やアラーム鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を解除した後に自動電源OFFを行います。
● 自動電源OFF設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了して待受画面に戻った後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面や、FOMA端末の電源を入れた際に表示されるPIN1コード、PIN2コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れます。
● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源ONの設定も解除してください。

指定した時刻にアラームを鳴らす　アラーム設定

指定した時刻に、アラームや振動などでお知らせします。

・日付・時刻の設定が必要です。
・アラームを設定したときの各項目のお買い上げ時の設定は、時刻「00：00」、繰り返し「なし」、アラーム音「アラーム・アナログ時計」、音量「レベル 4」、バイブレータ「OFF」、イルミネーションパターン「端末設定に従う」、イルミネーションカラー「端末設定に従う」です。

お買い上げ時　未設定

アラームを鳴らす時刻や音などを設定する

1 待受画面で Menu 7 3 を押す

2 1 ～ 9 を押す

・9 件まで登録できます。登録済みのアラームには、入力したタイトルが表示されます。

■ **解除するとき**

① **アラーム一覧から解除するアラームタイトルにカーソルを合わせて Menu を押す**

・解除したアラームを再設定するとき：Menu を押す

■ **編集するとき**

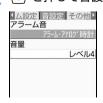
① **アラーム一覧から編集するアラームタイトルを選択する**
② **アラーム設定を編集する**

3 各項目を選択して設定する

時刻　：アラームを設定する時刻を入力します。
・24 時間制で入力します。時、分が 0 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。

繰り返し：1 ～ 3 を押して繰り返し設定を選択します。
・「なし」に設定すると、一度だけアラームが起動します。
・「毎日」に設定すると、毎日アラームが起動します。
・「曜日指定」を選択したときは、曜日選択欄を選択し、曜日を選択して ▣ を押します。

タイトル：全角 7 文字（半角 14 文字）まで入力できます。
・お買い上げ時のタイトルは、「アラーム　1」～「アラーム　9」に設定されています。
・タイトルが空白のアラームは設定できません。

4 ◁▢▷ を押して音設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する

アラーム音：「▯モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。

音量　：アラームの音量を選択します。
・調整方法 ☛P61

その他の便利な機能

5 [icon]を押してその他設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する

バイブレータ：アラーム時刻になったときの振動を設定します。

イルミネーションパターン

：アラーム時刻になったときの着信ランプの点灯パターンを設定します。

- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー

：アラーム時刻になったときの着信ランプの点灯色を設定します。

6 [icon]を押す

待受画面に[icon]または[icon]（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

設定した時刻になると

アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。アラーム画面には、次の画面または設定した動画／ｉモーションが表示されます。設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。

- アラーム鳴動中に[icon]を押すとアラームなどが止まり、鳴動前の画面に戻ります。
- アラーム鳴動中に約1分間何も操作をしないか、[icon]以外を押すと、アラームなどが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。このとき、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されます。

- 設定時刻に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  - 通話中の場合は、アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。
    通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
  - 電源が入っていない場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、アラームも鳴りません。鳴らす場合は、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。
  - データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に設定した時刻になった場合は、上記動作終了後にアラームが動作します。

おしらせ

- マナーモード中はアラームが鳴らず、アラーム設定で設定しているバイブレータが動作し、着信ランプが点灯／点滅します。ただし、オリジナルマナーモード設定で、バイブレータとアラーム／スケジュール音を「ON」に設定している場合は、アラーム設定に従って動作します。
- 同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の一番小さい項目番号に設定されているアラームが動作します。
- アラームとスケジュールアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示された後スヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。スケジュールアラーム画面を終了した後も、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- 設定時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。
- オールロック中、PIMロック中はアラームは動作しません。

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する　アラーム自動電源 ON 設定

スケジュールやアラーム設定で指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源が自動的に入り、アラームが鳴るように設定します。

お買い上げ時　OFF

1 **待受画面で Menu 8 5 5 を押す**

2 **1 を押す**

・自動的に電源を入れないとき：2 を押す

おしらせ

● PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールアラームの指定時刻に電源が入りアラームが動作した後、PIN1 コードの入力が必要です。
このとき、アラーム音にダウンロードしたメロディまたは ｉ モーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラームが鳴ります。

● 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、アラーム設定やスケジュールアラームの指定時刻に電源が入りアラームが動作した後、PIN2 コードの入力が必要です。

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなくアラーム自動電源 ON の設定も解除してください。

Menu 71

スケジュールを管理する　スケジュール帳

仕事の予定などを登録しておくと、設定日時になったとき画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールを表示できます。

1 **待受画面で を1秒以上押す**

当日はピンク、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます。

・複数のスケジュールが設定されている日は、最も早い時刻に登録されているスケジュールの用件アイコンが表示されます。
繰り返しのスケジュールが設定されている日には、日付の右上に◥が、長期間スケジュールは◺が表示されます。

・ を押して日付を移動します。 を押すとデイリービュー画面が表示されます。

・ を押して前月、 を押して翌月に切り替えます。

・カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ **特定の日を指定して表示するとき**

① **カレンダー画面で Menu 4 2 を押す**

② **年月日を入力する**

指定した日付に移動します。

- 当日に戻すときは Menu 4 1 を押します。
- デイリービュー画面では Menu 5 2 を押します。当日に戻す場合は Menu 5 1 を押します。

おしらせ

- カレンダーは 2000 年 1 月 1 日から 2060 年 12 月 31 日まで表示できます。
- カラーテーマ設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダーの休日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成 13 年 6 月 22 日・法律第 59 号）」に基づいています（2005 年 5 月現在）。
  ただし、春分の日・秋分の日は、前年 2 月 1 日の官報で発表されるため、変更しなければならないことがあります。また、上記法律は 2003 年 1 月から施行されていますが、2002 年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。
- 休日や祝日を設定できます。☛P388

カレンダーの表示形式を設定する　カレンダーモード設定

お買い上げ時　動作モード：マンスリーモード　表示モード：ノーマルモード

1 待受画面で 📖 を 1 秒以上押す

2 Menu 6 1 を押す

3 各項目を選択して設定する

動作モード：カレンダーの表示方法を設定します。
- 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1 週間ごとに画面がスクロール表示されます。

表示モード：1 週間の始まり（左の表示）の曜日を設定します。
- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日になります。

4 📖 を押す

休日を設定する　休日設定

会社や学校などの休日を設定できます。日にちや曜日を指定して設定します。
- 日にちを指定して休日を設定する場合は、最大 30 件登録できます。

例 日にちを指定して休日を設定するとき

1 待受画面で 📖 を 1 秒以上押す

2 休日にする日にカーソルを合わせて Menu 6 2 1 を押す

- 設定された日付の色が変わります。
- 毎年繰り返して休日にするときは Menu 6 2 2 を押します。

■ **解除するとき**

① **休日設定を解除する日にカーソルを合わせて Menu 6 2 3 を押す**

- 全解除するときは Menu 6 2 4 を押します。

■ **曜日を指定して休日を設定するとき**

① **Menu 6 3 を押す**

② **1 ～ 7 を押して休日に設定する曜日を選択する**

- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは Menu を押します。

③ **□ を押す**

- 曜日が1つも選択されていない状態で登録すると、自動的に日曜日が休日に設定されます。

祝日を設定する　　祝日設定

祝日の変更や新規登録（5件まで）ができます。

1 待受画面で □ を1秒以上押す

2 Menu 6 4 を押す

■ **変更するとき**

① **変更する祝日を選択し、操作4に進む**

■ **削除するとき**

① **削除する祝日にカーソルを合わせて Menu を押し、「はい」を選択する**

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

3 □ を押す

4 各項目を選択して設定する

祝日名：全角11文字（半角で22文字）まで入力できます。
- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示　：設定した祝日を表示するかしないか選択します。
- 「OFF」を選択すると祝日を表示しません。また、日付は設定できません。

日付　：祝日に設定する日付を入力します。
- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 □ を押す

スケジュールを登録する

- 最大300件登録できます。同じ日に複数のスケジュールを登録できます。
- 日付・時刻の設定が必要です。

1 待受画面で □ を1秒以上押す

2 スケジュールを登録する日にカーソルを合わせて [四] を押す

- デイリービュー画面でも [四] を押します。
- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、マンスリー画面から日付を選択するかデイリービュー画面を表示して FOMA 端末を開くと、登録画面が表示されます。

3 各項目を選択して設定する

（用件アイコン）
：アイコンを選択します。
- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

予定 (内容欄)：選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて変更します（全角 100 文字（半角 200 文字）まで)。
- 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。

終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは [1] を押します。
- 終日に設定しないときは [2] を押します。
- 終日に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付表示部分の後ろに「終日」と表示されます。

開始日時：スケジュールの開始日時を入力します。
- 西暦は下 2 桁を入力します。月、日が 1 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。
- 時刻は 24 時間制で入力します。時、分が 0 ～ 9 のときは、前に 0 を付けます。
- 2060 年 12 月 31 日まで設定できます。
- 終日に設定した場合は日時を設定できません。

終了日時：スケジュールの終了日時を入力します。

要約・メモ：全角 300 文字（半角 600 文字）まで入力できます。

4 [◀□▶] を押してアラーム設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する

アラーム：アラームを設定するときは [1] を押します。
アラーム選択欄から「モーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。
- アラームを鳴らさないときは [2] を押します。

予告アラーム：スケジュールの開始日時より前にアラームを設定するときは [1] を押します。
- 選択方法はアラームと同じです。

予告アラーム時間 (分前)
：予定の何分前に予告アラームを鳴らすかを、[1] ～ [5] を押して設定します。

その他の便利な機能

つづく

5 [key] を押してその他の設定画面に切り替え、各項目を選択して設定する

繰り返し：[1] ～ [6] を押してスケジュールの繰り返し設定を選択します。

- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。
- 「なし」に設定すると、一度だけスケジュールアラームが起動します。
- 「曜日指定」を選択したときは曜日選択欄を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して [key] を押します。

イメージ：スケジュールアラーム画面にイメージを表示するときは、[1] を押して画像選択欄から静止画を選択します。

- Flash画像は設定できません。

6 [key] を押してメンバーリスト選択画面に切り替える

7 「<メンバーリスト選択>」を選択し、登録するメンバーを選択する

- 5名まで登録できます。メンバーリストから、電話をかけたりメールを送信できます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるには [key] を押します。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。

■ 削除するとき

① 削除するメンバーにカーソルを合わせて [Menu] を押す

8 [key] を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に [icon] または [icon]（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録するには

1 待受画面でスケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力し、[key] を押す

（例）8月26日午後3時の場合：「08261500」と入力する

- 当日の時刻を入力するときは、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。

2 スケジュールを登録する

おしらせ

- ● プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、端末暗証番号の入力が必要です。
- ● プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）にメンバーリスト選択をする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- ● スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  miniSDメモリーカードを利用して、スケジュールを保存できます（☛P346）。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトとFOMA USB接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。
- ● 設定時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。
- ● スケジュールを知らせる画面は、アラーム設定のアラーム・予告アラームで映像のある動画／ｉモーションを選択するか、「その他の設定」のイメージで画像を選択すると変更できますが、両方で設定を行った場合は後からの設定が有効になります。アラームに音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合に、後からイメージを設定したときはアラーム音が標準のメロディになります。イメージが設定されている場合に後から音声と映像のある動画／ｉモーションをアラームを設定したときはイメージが「なし」になります。

※ miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

スケジュールアラーム、予告アラームを設定していると

設定日時になると、スケジュールアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。スケジュールアラーム画面には、日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／ｉモーションが表示されます。電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。また、イルミネーション設定を設定している場合は、その設定に従って動作します。

・予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラーム音が鳴ります。
・アラーム鳴動中に [PWR] を押すとアラーム音などが止まり、鳴る前の画面に戻ります。アラーム鳴動中に 1 分間何も操作しないか、[PWR] 以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラーム音などが止まります。[●] を押すと左の画面が消えます。設定日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  ・通話中の場合は、設定したアラーム音ではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。通話保留中の場合は保留解除後に動作します。
  ・電源が入っていない場合は、指定日時になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。鳴らす場合は、アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。
  ・データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に指定日時になった場合は、上記動作後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

おしらせ

● マナーモード中はアラーム音が鳴らず、バイブレータは「パターン A」で動作します。オリジナルマナーモード中は、バイブレータとアラーム／スケジュール音、電話着信音量の設定に従います。
● プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、スケジュールアラーム、予告アラームは動作しません。
● イメージにパラパラマンガ、連写画像を設定している場合は、最初のコマが表示されます。
● 同一日時に複数のスケジュールを設定していると、アラーム音などを停止してから、[◀▶] を押して、同一日時に設定していた他のスケジュール内容を確認できます。
● スケジュールアラームとアラームが同じ時刻に設定されていると、最初にアラームを通知する画面が表示されますが、すぐにスヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。スケジュールアラーム画面を終了した後も、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
● オールロック中、PIM ロック中はスケジュールアラームは動作しません。
● 設定時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。

登録したスケジュールを確認する

表示したスケジュール画面から、スケジュールの追加や変更、削除ができます。

1 待受画面で [📖] を 1 秒以上押し、確認するスケジュールの登録日を選択する

デイリービュー画面

- デイリービュー画面で [◀○▶] を押すと、日付が切り替わります。

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示するとき**

① **待受画面で [📖] を 1 秒以上押す**

② **[Menu][3][2] を押す**

- 全用件表示にするときは [Menu][3][1] を押します。
- デイリービュー画面では [Menu][4][2] を押します。全用件表示に戻すには [Menu][4][1] を押します。

③ **用件アイコンを選択する**

2 確認するスケジュールを選択する

スケジュール詳細画面

■ **変更するとき**

① **スケジュール詳細画面で [📖] を押す**

- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、スケジュールの各登録画面で FOMA 端末を開くと、編集画面が表示されます。
- デイリービュー画面では、[Menu][2] を押します。

② **スケジュールの内容を変更して [📖] を押す**

③ **「はい」を選択する**

おしらせ

● シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定しないと表示されません。

● 表示中のスケジュール内容に電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To 機能を利用できます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

スケジュールをコピーして別の日のスケジュールとして貼り付けます。

- 長期間スケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日付分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日に何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは 1 件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 待受画面で [📖] を 1 秒以上押し、コピーするスケジュールの登録日を選択する

2 コピーするスケジュールにカーソルを合わせて [Menu][6][1] を押す

3 [クリア] を押し、カレンダー画面を表示させる

4 スケジュールを貼り付ける日にカーソルを合わせて [Menu][5] を押す

- デイリービュー画面では、[Menu][6][2] を押します。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールを ｉ モードメールの本文として送信します。
• 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信方法＼操作する画面	カレンダー画面	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1 件送信	×	○	○
1 日送信／全件送信※	○	○	×

※：登録されているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。
• スケジュールはメール本文に Date To 形式で設定されます。☛P408
• メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
• 用件別に表示されているときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
• シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。

例 デイリービュー画面から 1 件のスケジュールをメール送信するとき

1 待受画面で ［□］ を 1 秒以上押し、メール送信するスケジュールの登録日を選択する

• カレンダー画面では ［Menu］ を押し、「メール作成」→「1 日送信」または「全件送信」を選択します。
• スケジュール詳細画面では ［Menu］ を押し、「メール作成」を選択します。また、［✉］ を押しても ｉ モードメールを作成できます。

2 メール送信するスケジュールにカーソルを合わせて ［✉］ を押す

• 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信するときは ［Menu］［7］［2］ を押します。
• 登録されているすべてのスケジュールをまとめてメール送信するときは ［Menu］［7］［3］ を押します。
• ｉ モードメールの作成・送信方法☛P221

スケジュールを削除する

1 件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法＼操作する画面	カレンダー画面	デイリービュー画面	スケジュール詳細画面
1 件削除	×	○	○
1 日削除／前日まで削除／全件削除	○	○	×

• 繰り返し設定されているスケジュールは、カレンダー画面からは「全件削除」、デイリービュー画面からは「1 件削除」または「全件削除」を、スケジュール詳細画面からは「削除」を選択して削除できます。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 待受画面で ［□］ を 1 秒以上押し、削除するスケジュールの登録日を選択する

• カレンダー画面、スケジュール詳細画面では ［Menu］ を押し、「削除」を選択します。
カレンダー画面からの場合は操作 3 に、スケジュール詳細画面からの場合は操作 4 に進みます。

2 ［Menu］［3］ を押す

3 1 ～ 4 を押す

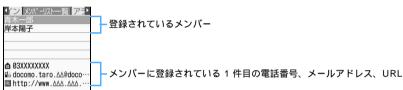
- 全件削除するときは 4 を押し、端末暗証番号を入力します。ただし、シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。
- 選択した日を含む長期間スケジュールを削除するときは、2 または 3 を押し、「長期間も削除」を選択します。なお、「前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、当日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。

4「はい」を選択する

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録されているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、ｉ モードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録されている URL からサイトを表示します。

1 待受画面で を 1 秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する

2 利用するスケジュールを選択し、 を押してメンバーリスト一覧画面を表示する

- シークレット属性が設定されているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「＊」で表示されます。

3 電話帳データを利用する

■ 音声電話／テレビ電話をかけるとき

① メンバーにカーソルを合わせ音声電話のときは 、テレビ電話のときは を押す

表示されている電話番号に音声電話／テレビ電話がかかります。

- 発信者番号の通知／非通知や通信速度を選択するときは、 を押して「カスタム発信」を選択します。
- メンバーにカーソルを合わせ または を 1 秒以上押すと、スピーカーホン機能を利用した通話ができます。

■ ｉ モードメールを送信するとき

① メンバーにカーソルを合わせ を押す

選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールは Date To 形式で本文に設定されます。

- メンバー全員に ｉ モードメールを送信するときは 5 2 を押します。全員のメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールは Date To 形式で本文に設定されます。

② ｉ モードメールを編集して送信する

- ｉ モードメールの作成・送信方法 ☛P221

■ サイトを表示するとき

① メンバーにカーソルを合わせ 6 を押す

おしらせ

● 電話帳データに登録されている2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の詳細画面（電話／メール）を表示します。利用する電話番号またはメールアドレスにカーソルを合わせて音声電話やテレビ電話をかけたり、i モードメールを作成したりできます（☛P101）。ただし、電話帳の詳細画面から i モードメールを作成すると、スケジュールは本文に設定されず Date To 機能は使用できません。
● メンバーリスト一覧画面で [📖] を押すと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。
● 電話帳データの発番号設定が「設定なし」に設定されている場合は、発信者番号通知設定の設定に従って音声電話／テレビ電話がかかります。

他人に見られたくないスケジュールを守る　シークレット属性

端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータにします。
• シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 **シークレットモードを設定する**

2 **待受画面で [📖] を1秒以上押し、利用するスケジュールの登録日を選択する**

3 **設定するスケジュールにカーソルを合わせて [Menu][9] を押す**

選択されているスケジュールにシークレット属性が設定されているときは🔒が点滅

• 解除するときは、シークレット属性が設定されているスケジュールにカーソルを合わせ [Menu][9] を押します。

おしらせ

● シークレット属性が設定されているスケジュールは、シークレットモードを設定しないと表示されません。また、スケジュールアラーム、予告アラームも動作しません。
● シークレットモード中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。

スケジュールの登録件数を確認する　登録件数確認

登録したスケジュールと休日設定の件数を確認します。

1 **待受画面で [📖] を1秒以上押し、[Menu][7] を押す**

• [↩] を押すとカレンダーに戻ります。

よく使う機能を登録する　カスタムメニュー

あらかじめ登録されているメニュー（ノーマルメニュー）の他に、よく使う機能や頻繁に連絡をとる相手の電話帳データを登録して、自分だけのオリジナルのメニューを作ると（カスタムメニュー）、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけられます。

テンプレートを読み込む

- あらかじめ 4 種類のテンプレートが用意されています。
- テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。
- テンプレートを読み込んでからメニュー項目を追加・削除して、オリジナルのカスタムメニューの作成もできます。

お買い上げ時　スタンダード

1 待受画面で Menu/□ を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 1 を押し、1 ～ 4 を押す

スタンダード：アラーム、電卓、サウンドレコーダー、着信表示設定、情報表示行設定、着信中オープン応答、スライド編集設定、暗証番号変更、発信者番号通知設定

データ／セキュリティ
：マイピクチャ、ｉ モーション、マイドキュメント、プライバシーモード設定、遠隔ロック、IC カードソフト一覧、IC カードロック

ユーザデータ：Bookmark、画面メモ、電話帳検索、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録、miniSD カード

メール：新規メール、チャットメール、メールグループ、テンプレート読込み、受信メール

3 端末暗証番号を入力する

テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。

- 既にカスタムメニューが作成されているときは、新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択したテンプレートがカスタムメニューに設定されます。

カスタムメニューを作成する

テンプレートを利用してカスタムメニューを作成します。

- カスタムメニューの 1 つの階層には最大 9 個のアイコンが登録できます。
- テンプレートのうち、スタンダード、ユーザデータには既に 9 個のアイコンが登録されています。これらのテンプレートを選択した場合は、選択したメニュー項目に上書き登録します。

1 テンプレートのサンプルを読み込む

- すべての項目を新規に登録する場合は、リセットします。☛P399

2 項目を登録する

■ **人物を登録するとき**

- シークレット属性を設定した電話帳データは、シークレットモードを設定していないと表示されません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

・Flash 画像、動画／ｉモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash 画像、動画／ｉモーションではなく、あらかじめ登録されている人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

① Menu 1 1 を押す

・検索方法を変えて検索し直すときは、Menu を押します。

② 登録する人物を選択する

機能を登録するとき

① Menu 1 2 を押す

・機能選択の画面は、メニュー設定の「ノーマル／シンプル」の表示形式で表示されます（画面はタイルアイコン表示の場合です）。

② 登録するメニュー項目にカーソルを合わせて 📖 を押す

「スライド編集設定」を登録した場合

・下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目を選択するか、ショートカット操作で登録できます。

グループを登録するとき

① Menu 1 3 を押し、グループ名を入力する（全角 9 文字（半角 18 文字）まで）

② 📖 を押す

グループ内に登録するとき

3 階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

① グループを選択する

グループ内の項目が表示されます。

・空のグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。2 階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。

② 追加登録または上書き登録する

登録済みの項目に上書き登録するとき

① 上書きする項目にカーソルを合わせて Menu 2 を押す

② 1 ～ 3 を押し、登録する項目を選択する

・グループに上書きするときは、1 ～ 3 を押した後に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内の項目はすべて削除されます。

おしらせ

● 登録した項目の並び順やアイコンを変更できます。☛P399

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに登録されている機能を実行したり、人物に電話をかけたりできます。

- カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作の番号は、ノーマルメニューと同じ方法と、カスタムメニューの項目位置に対応したダイヤルキーで行う方法のどちらかを選択できます。

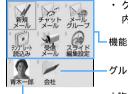
1 待受画面で Menu / 📖 を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 項目を選択する

機能

グループ

人物（カスタム発信や詳細情報の確認などができます。）

- グループ内の機能や人物を選択するときはグループを選択し、グループ内の機能や人物を表示します。

■ 機能を実行するとき

① 機能を選択する

- 下位の階層があるメニュー項目を選択したときは、メニュー項目が表示されます。

■ 電話をかけるとき

① 人物にカーソルを合わせる

② 音声電話をかけるときは 文字📞、テレビ電話をかけるときは 📹 を押す

- 電話番号が 2 件以上登録されている場合は、電話番号を選択します。1 件のみ登録されている場合は、文字📞 または 📹 を 1 秒以上押すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります。

■ ｉ モードメールを送信するとき

① 人物にカーソルを合わせる

② ✉ を押す

- メールアドレスが 2 件以上登録されているときは、メールアドレスにカーソルを合わせて ✉ または ● を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

■ SMS を送信するとき

① 人物にカーソルを合わせる

② ✉ を 1 秒以上押す

- 電話番号が 2 件以上登録されているときは、電話番号にカーソルを合わせて ✉ または ● を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

> **登録されている機能をすばやく実行するには**
>
> カスタムメニューに登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1 ～ 9）を 1 秒以上押して起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのときや 2 階層目以降にメニューがある機能のときは起動できません。

おしらせ

- シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは🔒になります。
- PIM ロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが🔒に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- シークレット属性と PIM ロックの両方が設定されている場合は、PIM ロック中のアイコン、動作になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。

1 待受画面で Menu/📖 を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 編集する項目にカーソルを合わせ、それぞれの操作を行う

- グループ内の項目を編集するときは、グループを選択し、グループ内の画面を表示します。

■ 項目を入れ替えるとき

① Menu 4 を押す

② 入れ替え先の項目を選択して「はい」を選択する

■ アイコンを変更するとき

① Menu 5 を押し、アイコンを選択する

- アイコンを元に戻すには 📖 を押します。

■ グループ名を変更するとき

① Menu 6 を押す

② グループ名を入力して 📖 を押す

■ 項目を削除するとき

① Menu 3 を押し、「はい」を選択する

- グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューをリセットする

カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除します。カスタムメニューを新規に作成する際に行います。

1 待受画面で Menu/📖 を押す

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で Menu を押します。

2 Menu 7 2 を押す

3 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

- ⏎ を押すと、項目選択画面が表示されます。項目を選択すると、人物、機能、グループの登録ができます。☛P396

自分の名前やメールアドレスなどを登録する

自局番号

お買い上げ時 FOMA カードの設定に従う

1 待受画面で Menu 0 を押す

- 自局電話番号には、ご契約の電話番号が設定されています。

2 [□] を押す

3 端末暗証番号を入力し、名前やメールアドレスなどを設定する

- 各項目の設定方法は、「FOMA 端末に電話帳を登録する」の操作 3 〜 4 と同じです。☛P92
  ただし、グループは設定できません。
- 既に設定されている項目は、その内容が表示されます。
- 1 件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

4 [←○→] を押し、その他の情報を設定する

- 各項目の設定方法は、「FOMA 端末に電話帳を登録する」の操作 5 と同じです。☛P93
- 初期登録時はいずれも設定されていません。
- 既に設定されている項目は、その内容が表示されます。

5 [□] を押す

おしらせ

- 自局電話番号は FOMA カードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA 端末に記録されます。
- 圏外でも自局番号の登録・変更はできます。
- 自局番号のメールアドレスを変更しても、ｉ モードのメールアドレスは変更されません。また、ｉ モードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレスは変更されません。ｉ モードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『FOMA ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。

自局番号の詳細を表示する

1 待受画面で Menu 0 を押す

2 [●] を押し、端末暗証番号を入力する

- 既に設定されている内容が表示されます。
- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。[□] を押すと、名前、フリガナ、および電話番号とメールアドレスの各 1 件目が表示されます。

自局番号を修正するとき

① Menu 2 を押し、自局番号を修正する

登録内容をリセットするとき

① Menu 3 を押し、「はい」を選択する

おしらせ

● 自局番号に記録されている情報を利用して、いろいろな操作ができます。
- カスタム発信する☛P52
- ｉモードメールやSMSを作成したり、サイトを表示する☛P97
- 情報を修正する☛P101
- 自局番号を転送する（赤外線送信）☛P361
- 各種機能を設定する☛P104

相手の声や自分の声を録音する

通話中／待受中音声メモ

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声を録音したりします（通話中音声メモ）。

- 通話中音声メモと待受中音声メモの録音時間は、1件につき最大30秒、合わせて4件録音できます。
- 電波の状態により、通話中音声メモの録音内容が途切れたりすることがあります。また、圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声を録音する

通話中音声メモでは通話相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中の画像は撮影されません。

1 通話中に［カメラ］を1秒以上押す

録音が開始されます。

音声電話通話中音声メモ

録音可能時間の目安

テレビ電話通話中音声メモ

- 残り約5秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（録音開始時には鳴りません）。
- 録音を途中で停止するときは［カメラ］を1秒以上押します。
- 通話中に［メール］［4］［4］［2］を押しても、音声メモは録音できません。

Menu 463

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面で［カメラ］［3］を押す

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

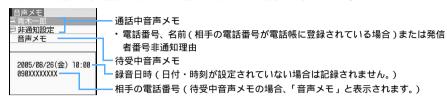
- 残り約 5 秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります（この予告音は録音されません）。また、録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときは［決定］、［PWR］、［クリア］のいずれかを押します。

音声メモを再生する

1 待受画面で [カメラ][4] を押す

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

2 再生する音声メモを選択する

時間経過の目安

音声メモが再生されます。

- 再生を停止するときは [停止] を押します。
- [上下] を押して音量を調整します。
- 再生中に [文字] を押すと音声メモがスピーカーから聞こえるようになります。再度、[文字] を押すと受話口から聞こえるようになります。

3 再生した音声メモを削除するかどうかを選択する

- 「はい」を選択すると、音声メモが削除されます。

■ **音声メモ一覧から音声メモを削除するとき**

① **削除する音声メモにカーソルを合わせて [Menu][2][1] を押し、「はい」を選択する**

- 全件削除するときは [Menu][2][2] を押し、「はい」を選択します。

■ **音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録するとき**

① **登録する通話中音声メモにカーソルを合わせて [Menu][4] を押す**

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[Menu][5] を押します。

② **[1] または [2] を押し、名前やメールアドレスなどを登録する** ☛P92、P95

- 登録済みの電話帳データに追加するときは、[1] または [2] を押し、登録先の電話帳データを選択します。☛P101

おしらせ

● 通話中音声メモの場合、一覧画面で相手にカーソルを合わせて [文字] を押すと音声電話、[テレビ電話] を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューのカスタム発信から発信者番号通知／非通知を設定して音声電話やテレビ電話をかけたり、通信速度を指定してテレビ電話をかけたりできます。

● 音声メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

通話時間・料金を確認する

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0 YEN」または「******」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004年12月から積算開始）。
  ※901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示することはできません。
- 表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間を確認する

1 待受画面でMenu 8 4 1を押す

直前通話時間　　　　　：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間
積算通話時間（音声）　　：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）　：データ通信を行った積算時間

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話時間が表示されます。

■ 積算通話時間をリセットするとき

① [m]を押し、端末暗証番号を入力する

② リセットする通話時間を選択し、「はい」を選択する

- すべての通話・通信時間をリセットするときは、「全積算情報リセット」を選択します。
- 通話時間画面に戻るときは[m]を押します。

通話料金を確認する

1 待受画面でMenu 8 4 4 1を押す

直前通話料金（音声）　　：直前にかけた音声電話の通話料金
直前通話料金（テレビ電話）：直前にかけたテレビ電話の通話料金
直前通話料金（データ）　：直前に行ったデータ通信の通信料金
積算通話料金　　　　　：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金の積算料金
- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話料金が表示されます。

前回リセット日時　　　：前回積算リセットした日時

■ 積算通話料金をリセットするとき

① [m]を押してPIN2コードを入力し、「はい」を選択する

おしらせ

- 直前通話料金の情報がない場合は、「****** YEN」と表示されます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金は、通話内のそれぞれの合計金額が表示されます。ただし、切り替え中は、料金は加算されません。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「****** YEN」と表示されます。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

通話料金を自動でリセットする　通話料金自動リセット設定

毎月1日の0時に積算通話料金を自動リセットします。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で [Menu][8][4][4][4] を押す

2 端末暗証番号を入力し、[1] を押す

・解除するとき：[2] を押す

3 PIN 2コードを入力する

おしらせ

- 「ON」に設定しているときは、日付時刻設定で、翌月以降へ日付時刻が変更されたときもリセットされます。
- 「ON」に設定し、1日の0時になったときに電源が入っていない場合や通話中の場合は、電源を入れたときや通話終了後にリセットされます。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも設定は元の状態に戻りません。

通話料金の上限を設定して知らせる　通話料金上限通知

通話料金の上限金額を設定し、積算通話料金が設定金額を超えると、アラームやアイコンで通知します。

・通話料金通知はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で [Menu][8][4][4][2] を押す

2 端末暗証番号を入力し、各項目を選択して設定する

通話料金上限通知：上限金額を超えたときに通知するかどうかを設定します。
・「OFF」に設定すると以下の項目は設定できません。
料金上限（円）：料金の上限値を設定します（10 円単位で 10 ～ 100000 円）。
通知方法：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。
アラーム音：通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラーム音をメロディから選択します。
アラーム時間（秒）：通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラームを鳴らす時間を設定します（1 ～ 60 秒）。

3 [電話帳]を押す

おしらせ

● 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイに[¥]が表示されます。通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定しているときは、通話または通信終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴り、通話料金が上限を超えた旨のメッセージが表示されます。
● アラームは、電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。
● 通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定していても、マナーモード中は、メッセージは表示されますが、アラームは鳴りません。ただし、オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。
● 通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定していても、次の場合は、アラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
  ・ドライブモード中
  ・通話料金上限通知を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話や通信を行った場合
● アラームが鳴っているときにキー操作を行ったり、他の機能が起動するとアラームは止まります。
● 通話料金上限通知を「ON」に設定後に異なる FOMA カードに差し替えた場合でも設定は保持されます。

上限通知アイコンを消去する　上限通知アイコン消去

1 待受画面で[Menu][8][4][4][3]を押す

2 端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する

電卓として使う　電卓

FOMA 端末で四則演算（＋、－、×、÷）ができます。
・最大 8 桁入力できます。
・スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。☛P464

1 待受画面で[Menu][7][4]を押す

2 計算する

ダイヤルキー（0～9）と（＋、−、×、÷）を使って計算します。
• 入力した数字を 1 桁削除するときはを押します。
• 小数点を入力するときは＊を押します。
• 表示中の数字の＋と−を切り替えるときは＃を押します。

3 を押す

計算結果が表示されます。
• クリアを押すと計算結果が削除されます。

おしらせ

● 表示されている数値をコピーするにはMenu 1を押します。コピーされている数値を貼り付けるにはMenu 2を押します。コピーした数値は電源を切るまで記録され、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは 1 件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。
● 計算結果の整数部分が 8 桁を超えるとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するにはクリアを押します。小数点を含む数値が 8 桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されます。
● メモやメール作成画面などの入力欄から最大上位 8 桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。8 桁を超えた分はコピーされません。
● 電卓画面に貼り付けた数値に続けて数字を入力できません。また、全角数字や数字以外の文字が含まれている場合は貼り付けることはできません。

メモを作成する

メモ帳

• 最大 50 件登録できます。

1 待受画面でMenu 7 2を押す

2 「<新しいメモ>」を選択する

• スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、「<新しいメモ>」にカーソルを合わせて FOMA 端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

3 メモ内容欄にメモ内容を入力する（全角 300 文字（半角 600 文字）まで）

■ **電卓で計算した数値を入力するとき**
① **文字入力画面でMenu 8 2を押す**
② **計算を行い、を押す**

4 種別アイコン欄の「選択」を選択し、アイコンを選択する

5 [📖] を押す

・メモ内容が入力されていないときは登録できません。

おしらせ

● メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと FOMA USB 接続ケーブル（別売）を利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 待受画面で Menu 7 2 を押す

メモ一覧画面が表示されます。

2 確認するメモを選択する

・電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を利用できます。
・[📖] を押すと、メモを修正できます。
・スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、FOMA 端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

■ メモを削除するとき

① Menu 1 を押す
②「はい」を選択する

■ メモからメールを作成するとき

① Menu 2 を押す

おしらせ

● メモ一覧画面からメモを 1 件削除する場合は、削除するメモにカーソルを合わせて Menu を押し、「削除」を選択します。全件削除する場合は、Menu を押し、「全件削除」を選択し、端末暗証番号を入力します。
● メモ一覧画面からメールを作成する場合は、メールの本文にするメモにカーソルを合わせて Menu を押し、「メール作成」を選択します。

メモからスケジュールを登録する　Date To 機能

・メールの本文に Date To 形式の記述が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーしてスケジュールへ登録できます。

1 待受画面で Menu 7 2 を押す

2 Date To 形式で記述してあるメモを選択する

つづく

3 Date To 形式の記述を選択し、スケジュールを登録する

Date To 形式

Date To はメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

※□は半角の空白を示します。画面には表示されません。
- 年月日と時刻は半角文字で入力してください。
- 開始年月日、開始時刻、～（全角）、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角の空白で区切ります。
- 内容は全角 100 文字(半角 200 文字)まで入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は 24 時間制です。月、日、時、分が 1 桁のときは前の 0 は省略できます。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

スイッチ付イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（平型ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押してもテレビ電話はかけられません。
- イヤホンジャック変換アダプタ P001 を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを FOMA 端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクなどの接続プラグを差し込んでください。☛P23
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードを FOMA 端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをアンテナ部に近づけると、ノイズが入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

スイッチを押して電話をかける

電話番号をイヤホンスイッチ発信設定で設定した電話帳のメモリ番号に登録しておくと、平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押すだけで音声電話をかけられます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどで電話をかけるときは、イヤホンスイッチ発信設定を「ON」に設定する必要があります。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを 1 秒以上押す

イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号の1件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。
- 複数の電話番号が登録されている場合は、1 件目に登録されている電話番号に電話がかかります。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを 1 秒以上押す

おしらせ

● イヤホンスイッチ発信設定で設定したメモリ番号にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、操作してください。
● キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合でも、通話中に第三者の電話番号を入力し、スイッチを押しても電話はかけられません。スイッチを押すと、通話が終了しますのでご注意ください。
● FOMA 端末と miniSD メモリーカード間でデータを移動またはコピーしている場合は、スイッチを押しても電話をかけられません。

スイッチを押して電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを 1 秒以上押す

・着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを 1 秒以上押す

おしらせ

● オート着信機能を設定すると、かかってきた電話を自動的に受けられます。
● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して通話中に FOMA 端末を閉じた場合の動作は ☛P58
● キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを 1 秒以上押して出られます。

イヤホンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ　イヤホンスイッチ発信設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手を電話帳のメモリ番号で設定します。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で [Menu][8][6][4][3] を押す

2 イヤホン自動発信設定欄を選択し、[1] を押す

・解除するとき：[2] を押し、操作 5 に進む

3 電話帳メモリ番号欄を選択する

・検索方法を変えて検索し直すときは、[Menu] を押します。

4 登録する相手を選択する

5 [📖] を押す

おしらせ

● 本機能で設定しているメモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ発信設定は解除されます。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける　オート着信機能設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けられます。音声電話やテレビ電話を受けたとき、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

・通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。

・ドライブモード設定中は、本機能は動作しません。

お買い上げ時 OFF

1 待受画面で Menu 8 6 4 2 を押す

2 自動着信機能欄を選択し、1 を押す

・解除するとき：2 を押し、操作 4 に進む

3 自動着信機能時間(秒)欄を選択し、自動着信するまでの時間を入力する(0～120秒)

4 [m] を押す

おしらせ

● 本機能の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

● テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定された代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。

● 本機能と伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスを同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。

● メモリ別着信拒否／許可やメモリ登録外着信拒否を設定しているときに、着信拒否の対象となる電話番号から着信があった場合は、動作しません。

イヤホンからのみ着信音を鳴らす　イヤホン切替設定

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

お買い上げ時 イヤホン＋スピーカー

1 待受画面で Menu 8 6 4 1 を押す

2 2 を押す

・イヤホンとスピーカーの両方から着信音を鳴らすとき：1 を押す

おしらせ

● 平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。

●「イヤホンのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から約 20 秒経過しても電話に出ないと、スピーカーからも着信音が鳴ります。

利用する通信事業者を設定する　NW検索方法

FOMAサービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。手動選択にするときは、通信事業者を指定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　ネットワーク自動検索

1 待受画面で Menu 8 9 5 を押す

2 各項目を選択して設定する

検索方法：ネットワークの検索方法を設定します。
- 「ネットワーク自動検索」に設定したときは、「手動選択」は設定できません。

手動選択：通信事業者を設定します。
- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2005年5月現在)。
- ドコモ以外の通信業者を選択したときは、パケ・ホーダイの対象になりません。

3 [📖] を押す

各種機能の設定状況を確認する　設定状況確認

- PIMロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 待受画面で Menu 8 4 2 を押す

「音／バイブ」メニューの各種設定状況が表示されます。

2 を押して各種設定状況を確認する

現在の画面

各種機能の設定をリセットする　各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。
  「メニュー一覧」に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能は次のとおりです。
  - マナーモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - ドライブモード（基本設定を選択するとリセットされます）
  - 予測辞書データ
  - ユーザ辞書データ（単語登録で登録したデータが消去されます）

1 待受画面で [Menu][8][4][5] を押す

2 端末暗証番号を入力し、項目を選択する

・[決定] で選択／解除が切り替わり、[Menu] で全選択／全解除できます。

3 [i] を押し、「はい」を選択する

おしらせ

● メニュー設定はリセットされませんが、アイコンデザインの「カスタム 1」「カスタム 2」を変更していた場合、それらはお買い上げ時の状態に戻ります。

登録データを一括して削除する　データ一括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

・保護したデータも削除されます。

・データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。

・お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
　・電子マネー「Edy」以外のｉアプリ　・キャラ電
　・データBOX内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像

・保存・登録した次のデータは削除されます。
　・メッセージR/F・ｉモードメール・チャットメール（チャットメンバー設定含む）・SMS
　・メールテンプレート　・メールグループ　・ブックマーク
　・URL入力　・URL履歴　・画面メモ
　・ラストURL　・ｉアプリ　・ｉアプリの履歴表示
　・電話帳データ　・着信履歴　・リダイヤル
　・伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）　・音声メモ
　・データBOX内のマイピクチャ・ｉモーション・メロディ・マイドキュメントの「プリインストール」フォルダ以外のデータ
　・キャラ電　・バーコードリーダーで読み取ったデータ
　・スケジュール（登録・変更した祝日を含む）　・メモ帳
　・アラーム　・通話時間　・単語・定型文
　・USSD登録　・応答メッセージ登録　・自局番号（自局電話番号以外）
　・作成したフォルダ・アルバム　・ソフトウェア更新（予約更新）

・各種設定リセットの対象となる機能と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
　・メール振り分け設定　・ブックマークのツータッチ登録
　・ｉアプリ（ソフト一覧から設定する機能）　・伝言メモ設定
　・マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・キャラ電・マイドキュメントの各動作設定
　・カメラ　・ビデオカメラ　・サウンドレコーダー
　・赤外線通信のデータ送受信設定　・PIMロック　・端末暗証番号
　・プライバシーモード設定　・日付時刻設定　・テレビ電話使用機器設定

　※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

・NW検索方法
・変更したフォルダ名
・通話中着信動作選択
・カスタムメニュー
・メニュー設定

1 **待受画面で Menu 8 4 6 を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、「はい」を選択する**

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

● 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
・おサイフケータイ対応 i アプリとその関連データ
・FOMAカードやminiSDメモリーカードに保存・登録・設定されているデータ
・パソコンから設定したデータ通信の設定
● 機能ごとにお買い上げ時の設定に戻すには、各種設定リセットから行ってください。
● 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
● お買い上げ時に登録されているデータ・i アプリを削除した場合は、i モードサイト「My D-style」からダウンロードできます（☛P289）。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。

ネットワークサービス

FOMA端末から利用できるネットワークサービス ネットワークサービス

本書では各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しております。詳しい操作や注意事項については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照
留守番電話サービス	必要	有料	P416
キャッチホン	必要	有料	P418
転送でんわサービス	必要	無料	P419
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P421
番号通知お願いサービス	不要	無料	P421
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P422
英語ガイダンス	不要	無料	P422
サービスダイヤル	不要	無料	P423
追加サービス（USSD登録）	不要	無料	P424

- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。☛P424
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ネットワークサービスの開始や停止などの操作は、サービスエリア外や電波の届いていない場所では、行えません。電波状態のよい場所で操作してください。

おしらせ

● 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスは、サービス開始後、FOMA端末で機能を停止できます。停止操作を行っても、サービスの契約そのものは解約されません。

留守番電話サービスを利用する 留守番電話

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。

- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のマークや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。

- 伝言メッセージは1件あたり最長3分、最大20件録音でき、最長72時間保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの不在案内機能もあります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 留守番電話サービスと転送でんわサービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時にはご利用になれません。転送でんわサービスを開始に設定すると、留守番電話サービスは、自動的に停止になります（その後、転送でんわサービスを停止に設定しても、留守番電話サービスは自動的には再開しません）。
- 着信中の電話を、留守番電話サービスセンターに転送できます（☛P56）。通話中にかかってきた電話も留守番電話サービスセンターに転送できます。☛P423
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりできません。
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスセンターには転送されません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1 サービスを開始に設定する

ステップ2 電話をかけてきた方が伝言を録音する※

ステップ3 伝言メッセージを再生する

※：留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

留守番電話サービスの料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 **待受画面でMenu 9 1 1 1を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **「はい」を選択する**

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時は10秒）で留守番電話サービスを開始します。

4 **呼出時間を入力する（0～120秒）**

留守番電話サービスが開始されます。

- 上下キーを押しても数字を増減できます。

留守番電話サービスを停止する

1 **待受画面でMenu 9 1 1 3を押して「はい」を選択する**

設定内容を確認する

1 **待受画面でMenu 9 1 1 4を押して「はい」を選択する**

おしらせ

- 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
  Menu 1：留守番電話サービス開始
  Menu 2：留守番電話サービス停止
  Menu 3：留守番電話呼出時間設定
- 待受画面でMenu 9 1 1 2を押すと、呼出時間だけ設定できます。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を留守番電話サービスセンターでお受けできます。
  かかってきた電話を手動で転送する☛P56
- 呼出時間の設定は、留守番電話サービス停止後も保持されます。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する

1 **待受画面でMenu 9 1 1 6を押す**

2 **「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する**

- 新しい伝言メッセージがあるか確認する、または伝言メッセージを聞くには、一度電話を切ってから操作してください。

伝言メッセージを聞く

新しい伝言メッセージがあると 1（数字は件数）が表示されます。

1 **待受画面でMenu 9 1 1 5を押す**

2 **「はい」を選択し、音声ガイダンスの指示に従って操作する**

おしらせ

- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく再生できます。☛P32
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する
メッセージ問合せ

1 **待受画面でMenu 9 1 1 7を押す**

2 **「はい」を選択する**

新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面に 1（数字は件数）が表示されます。

- 件数増加鳴動設定を設定しているときは、新しい伝言メッセージがあると通知音が鳴り、バイブレータ設定に従って振動します。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする
件数増加鳴動設定

着信後、相手が新しい伝言メッセージを残した場合や、メッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増加していた場合は、通知音が鳴るようにします。

- メッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、バイブレータ設定に従って振動します。
- バイブレータ設定を「OFF」に設定していても、マナーモード中は、マナーモードの設定に従って振動します。
- メッセージ問合せ直後にお預かりした伝言メッセージについては、通知音が鳴らない場合があります。
- オールロック中、PIMロック中、ドライブモード中、アラーム鳴動中は通知音は鳴らず、バイブレータも振動しません。

お買い上げ時 件数通知音：ON 通知メロディ：パターン 1

1 待受画面で Menu 9 1 2 を押す

2 件数通知音を選択し、1 を押す
- 鳴らさないとき：2 を押し、操作 5 に進む

3 通知メロディを選択する

4 フォルダを選択し、メロディを選択する
メロディが設定され、件数増加鳴動設定画面に戻ります。
- 選択時にメロディを再生して確認するには☛P110

5 ▢ を押す

伝言メッセージのマークを消す 表示消去

1 待受画面で Menu 9 1 4 を押す

2 「はい」を選択する
伝言メッセージの件数を示すマークが消えます。

圏外にいても着信があったことを通知する 着信通知

電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことを SMS でお知らせします。

着信通知を開始する

1 待受画面で Menu 9 1 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」または「いいえ」を選択する
- 「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。
- 「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。

着信通知を停止する

1 待受画面で Menu 9 1 3 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で Menu 9 1 3 3 を押して「はい」を選択する

キャッチホンを利用する キャッチホン

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。
- 通話中の電話を保留にして、新たに別の相手に電話をかけられます。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中、「非通知設定」の着信があった場合は、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れ、キャッチホンはご利用できません。
- 次のとき、キャッチホンは動作しません。
  - 104 番、110 番、117 番※、118 番、119 番にかけているとき
    ※：117 番と通話中に音声電話を着信した場合は「ププ…ププ…」という音が聞こえますが、電話には出られません（着信履歴には不在着信として残ります）。
  - ダイヤル中、および相手を呼出中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、伝言メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号にかけているとき
  - テレビ電話通話中（着信履歴には不在着信として残ります）
  - 音声電話通話中にテレビ電話がかかってきたとき（着信履歴には不在着信として残ります）
- 通話保留中も発信者の料金は加算され続けます。
- 通話中にテレビ電話はできません。

キャッチホンを開始する

1 待受画面で Menu 9 2 1 を押す

2 「はい」を選択する

キャッチホンを停止する

1 待受画面で Menu 9 2 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で Menu 9 2 3 を押して「はい」を選択する

おしらせ

- キャッチホンを利用するときは、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定してください。通話中着信設定の開始／停止操作に関わらず、キャッチホンが利用できます。
- 通話中着信動作選択が「通常着信」以外の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても着信動作は行いません。

その他の操作

■ 通話を保留にして、かかってきた電話に出るとき

① **通話中に[文字]を押す**

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話に出られます。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- [A/a]を押すたびに通話相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、[カメラ]を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度[カメラ]を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に[Menu][1]を押します。

② **一方の相手との通話が終わったら[終話]を押す**

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- [文字]を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

■ 通話を終わらせて、かかってきた電話に出るとき

① **通話中に[終話]を押す**

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

② **[文字]を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

■ 通話を保留にして、別の相手に電話をかけるとき

① **通話中に[Menu][8]を押し、電話番号を入力する**

- 着信履歴から電話をかける場合は[Menu][2]を、リダイヤルから電話をかける場合は[Menu][3]を押します。電話帳に登録されている相手に電話をかける場合は[電話帳]を押し、相手にカーソルを合わせます。

② **[文字]を押す**

新しくかけた相手と通話できます。お話し中の通話は自動的に保留になります。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- [A/a]を押すたびに通話相手が切り替わります。
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、[カメラ]を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度[カメラ]を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせるときは、キャッチホン中（マルチ接続中）に[Menu][1]を押します。

③ **新しくかけた相手との通話が終わったら[終話]を押す**

通話が終了します。

- [文字]を押すと、保留中の相手との通話が再開します。

おしらせ

- マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用する　転送でんわ

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA 端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 全国のFOMAサービスエリア内ならどこでも利用できます。

- 転送先の登録は 1 件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、電話の発着信はできます。
- 着信中の電話を転送できます（☛P56）。また、通話中にかかってきた電話も転送できます。☛P423
- 転送でんわサービスと留守番電話サービスの両方をお申し込みになっても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定すると、転送でんわサービスは、自動的に停止になります（その後、留守番電話サービスを停止に設定しても、転送でんわサービスは自動的には再開しません）。
- 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、「非通知設定」の電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
- プッシュ式の一般電話、公衆電話などからも、「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ遠隔操作を開始に設定してください。
- テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ 1 転送先の電話番号を登録する

ステップ 2 転送でんわサービスを開始に設定する

ステップ 3 お客様の FOMA 端末に電話がかかる

ステップ 4 電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

通話料

発信者 ←→ 転送でんわサービスのご契約者 ←→ 転送先

電話をかけた方のご負担です。　転送でんわサービスのご契約者のご負担です。

※ 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止、呼出時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で Menu 9 3 1 を押す

2 「はい」を選択する

3 「はい」を選択する

4 転送先電話番号を入力する（26 桁まで）

- 転送先として、フリーダイヤルおよび 110 番などの 3 桁の電話番号は指定できません。

■ 転送先電話番号を電話帳から設定するとき

① ガイド行に 📖 が表示されている状態で Menu を押す

- 検索方法を変えて検索し直すには Menu を押します。
- 複数の電話番号が登録されている電話帳を選択した場合は、転送先電話番号を選択します。

② 転送先電話番号を選択する

5 📖 を押す

6 「はい」を選択する

- 「いいえ」を選択すると、呼出時間を設定せず、現在設定されている時間（ご契約時は 7 秒）で転送でんわサービスを開始します。

7 呼出時間を入力する（0 ～ 120 秒）

- ⬍ を押しても数字を増減できます。

おしらせ

- 電波が届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、当社が必要と認めるときは、お客様に代わってその転送を中止させていただくことがあります。
- PBX、ポケットベル※、FAX を転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- お話し中（パケット通信中）に別の電話がかかってきても、その電話を転送先へ転送できます。
かかってきた電話を手動で転送する ☛P56
- 呼出時間の設定は、転送先変更後や転送でんわサービス停止後も保持されます。

転送でんわサービスを停止する

1 待受画面で Menu 9 3 2 を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

転送でんわサービスの利用の有無や転送先の電話番号などを確認します。

1 待受画面で Menu 9 3 5 を押して「はい」を選択する

転送先を変更する

1 待受画面で Menu 9 3 3 を押す

2 転送先電話番号を入力して 📖 を押す

3 「はい」を選択する

転送ガイダンス有･無を設定する

1 待受画面で 1 4 2 9 文字 を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応する 転送先通話中時設定

- 留守番電話サービスのご契約が必要です。

1 待受画面で Menu 9 3 4 を押す

2 「はい」を選択する

- 留守番電話サービスでの応答を解除するときは「いいえ」を選択します。

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

- 最大30件登録できます。
- 着信拒否登録した電話番号からテレビ電話がかかってきたときは、着信を拒否するガイダンスを流さずにテレビ電話は切断されます。

最後に着信した電話番号を着信拒否に登録する

1 迷惑電話がかかってきた後に待受画面で Menu 9 4 1 を押す

2 「はい」を選択する

最後に通話した電話番号が、着信拒否する迷惑電話番号として登録されます。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。

■ 既に30件登録されているとき

最も古い電話番号を上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、最も古い電話番号が削除され、新しい電話番号が登録されます。

指定した電話番号を着信拒否に登録する

1 待受画面で 1 4 4 文字 を押し、音声ガイダンスの指示に従って操作する

おしらせ

● 迷惑電話ストップサービスを設定中の着信と、各サービスとの関係は次のとおりです。

サービス名	着信拒否登録した電話番号からの着信の取り扱い
留守番電話サービス	着信拒否ガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスは流れません。
ドライブモード	着信拒否ガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

● 発信者番号非通知の電話でも登録できます。
● 着信拒否登録した電話番号は、確認や問い合わせができません。着信拒否登録した電話番号をメモなどに控えておくことをおすすめします。
● 国際電話は着信拒否登録できません。
● 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも残りません。

拒否登録した電話番号を削除する

最後に登録した電話番号から1件ずつ削除できます。また、すべての電話番号をまとめて削除できます。

1 待受画面で Menu 9 4 3 を押す

- 全件削除するときは Menu 9 4 2 を押します。

2 「はい」を選択する

最後に登録した電話番号が削除されます。

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービス

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

- 発信者番号の非通知理由が、「非通知設定」の場合に、番号通知お願いサービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話」の場合は動作しません。
- ガイダンスが応答している間は、発信者に通話料金がかかります。

番号通知お願いサービスを開始する

1 待受画面で Menu 9 6 1 を押す

2 「はい」を選択する

番号通知お願いサービスを停止する

1 待受画面で Menu 9 6 2 を押して「はい」を選択する

※：2001年1月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

設定内容を確認する

1 **待受画面で[Menu][9][6][3]を押して「はい」を選択する**

おしらせ

● 番号通知お願いサービス開始中の着信と、各サービスの関係は次のとおりです。

サービス名	発信者番号を通知しない着信の取り扱い
留守番電話サービス	発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。伝言メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	着信拒否に登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスは流れません。
ドライブモード	発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。ドライブモードのガイダンスは流れません。

● 番号通知お願いサービスを開始に設定しているときに、非通知設定の音声電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、着信履歴にも記録されません。また、非通知設定のテレビ電話がかかってきたときは、テレビ電話をかけた側には発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスは流れず、接続できなかった旨のメッセージが画面に表示されます。

● 番号通知お願いサービスは、お客様ご自身のFOMAカードを取り付けたFOMA端末からのみ開始／停止の操作ができます。遠隔操作はできません。開始／停止の操作には通話料金はかかりません。

● FOMA端末の発番号なし動作設定と本サービスを同時に設定した場合は、本サービスが優先されます。

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワーク

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末を利用できます。これによってFOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話が利用できます。

・FOMAとmovaを同時に利用することはできません。

・デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、サービスを利用できない状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

mova端末を使えるようにする

1 **mova端末で「1540」とダイヤルする**

2 **ガイダンスに従って操作する**

FOMA端末を使えるようにする

mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 **FOMA端末の待受画面で[Menu][9][9][5][1]を押す**

2 **「はい」を選択する**

3 **ネットワーク暗証番号を入力する**

設定内容を確認する

1 **待受画面で[Menu][9][9][5][2]を押して「はい」を選択する**

おしらせ

● mova端末でもFOMAのｉモードサービスを利用できますが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、movaそれぞれに制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

英語ガイダンス

発着信時の音声ガイダンスなど各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。

・利用できる言語は、「日本語」と「英語」です。

・テレビ電話で発信または着信したときは、英語ガイダンスは利用できません。

・発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 **待受画面で[Menu][9][9][4][1]を押す**

2 「はい」を選択する

3 [1] または [2] を押す

日本語：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。
英語　：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。

4 「はい」を選択する

5 [1] ～ [3] を押す

日本語：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。
日本語＋英語
　：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。
英語＋日本語
　：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。

設定内容を確認する

1 待受画面で [Menu][9][9][4][2] を押して「はい」を選択する

サービスダイヤルを利用する　サービスダイヤル

ドコモ故障窓口やドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- お使いの FOMA カードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。☛P36

故障の問い合わせをする

1 待受画面で [Menu][9][9][6][1] を押す

2 「はい」を選択する

ドコモ故障問合せに電話がかかります。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で [Menu][9][9][6][2] を押す

2 「はい」を選択する

DoCoMo インフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する　通話中着信動作選択

音声電話通話中または 64K データ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスは、あらかじめご契約が必要なオプションサービスです。
- 通話中に 64K データ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合、または 64K データ通信中に 64K データ通信の着信やテレビ電話がかかってきた場合は、「着信拒否」になります。

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

お買い上げ時　通常着信

1 待受画面で [Menu][9][8] を押す

2 [1] ～ [4] を押す

通常着信　：通話中または 64K データ通信中にかかってきた電話に応答、切断できます。キャッチホンをご契約の上、サービスを開始している場合に有効です。
留守番電話：通話中または 64K データ通信中にかかってきた電話に留守番電話サービスで応答します。
転送でんわ：通話中または 64K データ通信中にかかってきた電話を転送します。
着信拒否　：通話中または 64K データ通信中にかかってきた電話を着信拒否します。着信履歴に記録されます。

おしらせ

- ●通話中着信動作を有効にするには、通話中着信設定を開始してください。ただし、キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、通話中着信設定の開始、停止に関わらず、通話中着信動作は有効です。
- ●留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを停止に設定中でも、本機能を「留守番電話」または「転送でんわ」に設定した場合は、通話中着信設定を開始すれば自動的にそれらの設定が有効になります。

通話中着信設定を開始する　通話中着信設定

通話中着信動作選択で選択した応答方法を開始／停止します。

- キャッチホンを契約し、サービスを開始している場合には、本機能に関わらず、通話中着信動作選択で設定した動作となります。

1 待受画面で [Menu][9][7][1] を押す

2 「はい」を選択する

通話中着信設定を停止する

1 待受画面で [Menu][9][7][2] を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で [Menu][9][7][3] を押して「はい」を選択する

遠隔操作を設定する　遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話から操作できるようにします。

遠隔操作を開始する

1 待受画面で [Menu][9][9][3][1] を押す

2 「はい」を選択する

遠隔操作を停止する

1 待受画面で [Menu][9][9][3][2] を押して「はい」を選択する

設定内容を確認する

1 待受画面で [Menu][9][9][3][3] を押して「はい」を選択する

マルチナンバーを利用する　マルチナンバー

- マルチナンバーは、2005 年 5 月現在サービスを開始しておりません。

新しいネットワークサービスを登録する

追加サービス（USSD 登録）

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、メニューに登録して利用します。

- 最大 10 件登録できます。

ネットワークサービスを登録する

1 待受画面で [Menu][9][9][1] を押す

2 サービスを登録する番号にカーソルを合わせて [📖] を押す

USSD登録　1/2
1 [未登録]
2 [未登録]
3 [未登録]
4 [未登録]
5 [未登録]
6 [未登録]
7 [未登録]
8 [未登録]

- [◀◯▶] を押してページを切り替えられます。

■ 登録内容を変更するとき
① 登録済みの番号にカーソルを合わせて [📖] を押す

3 USSD コード欄を選択し、USSD コードを入力する

- ドコモから通知されたサービスコードを USSD コード欄に入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA 端末では USSD コードとして登録します。

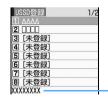
4 名称欄を選択し、サービス名を入力する（全角 10 文字（半角 20 文字）まで）

5 [📖] を押す

登録したネットワークサービスを利用する

1 待受画面で [Menu][9][9][1] を押す

2 [1] ～ [8] を押す

登録されたコードがサービスセンターに発信されます。

- [◀◯▶] を押してページを切り替えられます。

応答メッセージを登録する

追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

・最大10件登録できます。

1 待受画面で Menu 9 9 2 を押す

2 1 ～ 8 を押す

・ を押してページを切り替えられます。

■ 登録内容を変更するとき
① 登録済みの番号を選択する

3 USSDコード欄を選択し、ドコモから通知されたUSSDコードを入力する

4 応答メッセージ欄を選択し、メッセージを入力する（全角10文字（半角20文字）まで）

5 を押す

登録したサービスを削除する

1 待受画面で Menu 9 9 1 を押す

・応答メッセージを削除するときは Menu 9 9 2 を押します。

2 削除するサービスにカーソルを合わせて Menu 1 を押す

・全件削除するときは Menu 2 を押します。
・ を押してページを切り替えられます。

3 「はい」を選択する

ネットワークサービス

データ通信

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や接続方法、および利用時の留意点について説明します。

- FOMA 端末は FAX 通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。
これらの通信は、添付の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ **パケット通信**
パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大 384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ **64K データ通信**
64K データ通信は 64kbps の安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA 64K データ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN の同期 64K アクセスポイントを利用します。

■ **データ転送**
FOMA USB 接続ケーブル（別売）を使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera をご利用いただけます。mopera U は、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、mopera は、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と 64K データ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは FOMA のパケット通信に対応した接続先、64K データ通信を行うときは FOMA 64K データ通信、または ISDN 同期 64K 対応の接続先をご利用ください。

- DoPa のアクセスポイントには接続できません。
- PIAFS などの PHS64K ／ 32K データ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザ証明書）の認証を行う場合は添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付の CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。
「FirstPassManual」（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ FirstPass PC ソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT 互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP、XP SP2（各日本語版）
必要メモリ※	Windows 98SE、Me、2000：32MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量※	10MB 以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上 Windows XP の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

※：パソコンのシステム構成によって異なります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMA USB 接続ケーブル（別売）に対応したパソコンであること
- FOMA サービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントが FOMA のパケット通信に対応していること
- 64K データ通信の場合、接続先が FOMA 64K データ通信、または ISDN 同期 64K に対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信編の用語集

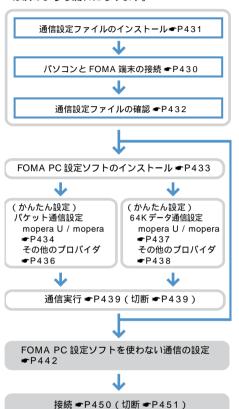
● APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダや社内 LAN を識別する文字列。mopera U は「mopera.net」が、mopera は「mopera.ne.jp」が APN となります。

● cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）に対応して、FOMA 端末に登録した APN に割り当てられる登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。お買い上げ時、cid 1 には「mopera.ne.jp」、cid 3 には「mopera.net」があらかじめ登録されています。

● W-TCP
FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

● 管理者権限
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンと FOMA 端末を接続して、パケット通信または 64K データ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、添付の CD-ROM から通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC 設定ソフトについて

添付の CD-ROM から FOMA PC 設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単な操作で行えます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよび FOMA PC 設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、下記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本章の説明は、主に Windows XP での操作方法を例にしています。他の OS では画面の表示が異なる場合があります。また、Windows 98 と Windows 98SE をまとめて Windows 98 と、Windows XP と Windows XP SP2 をまとめて Windows XP と表記しています。

項　目	必要環境
パソコン本体※	PC/AT 互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB 以上 Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量	5MB 以上の空き容量

※：USB 接続の場合は、USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。

インストール・アンインストール前の注意点

- Windows XP、2000 で通信設定ファイルや FOMA PC 設定ソフトのインストール・アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザが行ってください。それ以外のユーザが行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後に行ってください。

パソコンと FOMA 端末を接続する

パソコンと FOMA 端末は、電源が入っている状態で接続してください。

- 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイル（ドライバ）を先にインストールしてください。☛P431
- miniSD モードで初めてパソコンに接続した場合は、OS が自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。ただし、miniSD モードに対応している OS は Windows XP、2000 のみです。

USB 接続時にパソコンで操作する内容を設定する　USB モード設定

パソコンと FOMA 端末を接続したとき、パソコンでデータ通信を行うか、パソコンから FOMA 端末に取り付けられている miniSD メモリーカード内のデータを操作するかを設定します。

お買い上げ時　通信モード

1　待受画面で Menu 6 5 4 を押す

2　1 または 2 を押す

通信モード
　：パソコンでデータ通信を行うモードです。

miniSD モード
　：パソコンから FOMA 端末に取り付けられている miniSD メモリーカード内のデータを操作するモードです。

3　「はい」を選択する

おしらせ

- パソコンと FOMA 端末を接続していても本機能の設定を変更できます。
- パソコン側で、FOMA 端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、miniSD モードに設定できないことがあります。
- パソコンから miniSD メモリーカードを操作しているときは通信モードに設定できません。また、通話中や i モード中は、miniSD モードに設定できません。
- miniSD モードに設定したとき
  - パソコンから FOMA 端末に取り付けられている miniSD メモリーカードを初期化すると、FOMA 端末で正常にデータを読み書きできなくなる場合があります。初期化は FOMA 端末で行ってください。☛P352
  - FOMA 端末にパソコンを接続していない状態で miniSD メモリーカードへのアクセスがなく約 90 秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。
  - 電話や i モードなどが通信できなくなります。
  - 着信ランプが点滅します。
  - miniSD メモリーカードの操作を終了するときは、タスクトレイのをクリックし「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※を安全に取り外します」をクリックしてください。
    ※：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
- パソコンから操作したときの miniSD メモリーカードのフォルダ構成について ☛P344

データ通信

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

接続のしかた

FOMA USB接続ケーブル（別売）を使って接続します。

❶ **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く**

❷ **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む**

❸ **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む**

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面に が表示されます。
- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

■ **取り外しかた**
FOMA端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコンのコネクタはそのまま引き抜きます。

充電しながら接続する

卓上ホルダ（別売）を使って充電しながら接続できます。ただし充電時間が長くなります。

❶ **卓上ホルダとACアダプタを接続する**

- ACアダプタはコンセントに差し込んでおいてください。

❷ **FOMA端末とFOMA USB接続ケーブルを接続する**

❸ **卓上ホルダを図のように置いてから、FOMA端末を卓上ホルダに押し込む**

おしらせ

- ●データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを外さないでください。
- ●充電しながらデータ通信を行うときは、FOMA端末を閉じた状態にしてください。開いた状態にしたり、FOMA端末および卓上ホルダに衝撃を与えたりしないでください。FOMA端末が卓上ホルダから外れ、充電やデータ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となります。
- ●データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了させたい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールしてください。

- miniSDモードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイルをインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P430

 Windows XPの場合

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

・FOMA端末は操作1～3を行った後にパソコンに接続してください。

2 [スタート]→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「< CD-ROMドライブ名>：¥USBDRIVE¥D901iSin.exe」と入力して[OK]をクリックする

3 [はい]をクリックする

FOMA D901iSをパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

・FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。☛P431
・インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。

おしらせ

● インストールには数分かかることがあります。
● Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
● 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンとFOMA端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作2でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは画面の指示に従ってアンインストールを行った後、通信設定ファイルをインストールしてください。
● 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし、再度インストールしてください。

通信設定ファイルを確認する

・FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

例 Windows XPの場合

1 [スタート]→「コントロールパネル」→[パフォーマンスとメンテナンス]アイコン→[システム]アイコンをクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98の場合
① [スタート]→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして[システム]アイコンをダブルクリックする

2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]をクリックする

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98の場合
① [デバイス マネージャ]タブをクリックする

3 各デバイスをクリックしてインストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ポート(COM/LPT)または(COMとLPT)	・FOMA D901iS Command Port (COMx)※1 ・FOMA D901iS OBEX Port (COMx)※1
モデム	FOMA D901iS
ユニバーサル シリアル バスコントローラまたはUSB (Universal Serial Bus) コントローラ	・FOMA D901iS ・FOMA D901iS Command※2 ・FOMA D901iS Modem※2 ・FOMA D901iS OBEX※2

※1：COMxはお使いのパソコンによって異なります。
※2：Windows Me、98の場合のみ表示されます。

通信設定ファイルをアンインストールする

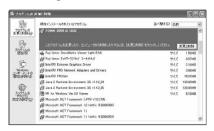
・操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P430
・アンインストールを実行する前に、必ずパソコンからFOMA端末を取り外してください。

例 Windows XPの場合

1 [スタート]→「コントロールパネル」→[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックする

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98のとき
① [スタート]→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックする

2 「FOMA D901iS USB」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 ［OK］をクリックする

おしらせ

- ●インストールに失敗したとき、または操作 2 の画面に「FOMA D901iS USB」が表示されていないときは、［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリックして「< CD-ROM ドライブ名>：¥USBDRIVE¥D901iSin.exe」を入力し、［OK］をクリックして直接実行し、通信設定ファイルをアンインストールしてください。
- ●Windows Me、98 では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB 接続ケーブル（別売）を一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC 設定ソフトを利用して通信する

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信や 64K データ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC 設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCP の設定」などを自動で行います。

■ **W-TCP の設定**
「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP 設定」による通信設定の最適化が必要です。

■ **接続先（APN）の設定**
「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。
FOMA パケット通信の接続先には、64K データ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cid の 1 番には、mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が、3 番には、mopera U に接続するための APN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内 LAN に接続する場合は APN 設定が必要になります。

FOMA PC 設定ソフトをインストールする

- 古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（バージョン 1.00）がインストールされている場合は、添付の CD-ROM から FOMA PC 設定ソフト（バージョン 2.00）をインストールする前にアンインストールしてください。バージョンは、FOMA PC 設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」で表示できます。
- 次の FOMA 端末に同梱されている「W-TCP 環境設定ソフト（以降、旧「W-TCP 設定ソフト」）」、および「FOMA データ通信設定ソフト（以降、旧「FOMA データ通信設定ソフト」）」がインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）
- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P430

例 Windows XP の場合

1 添付の CD-ROM をパソコンにセットする

2 ［スタート］→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、「名前」に「< CD-ROM ドライブ名> :¥FOMA_PCSET¥ＣＤ－ＲＯＭ版¥FOMA_PCSET¥setup.exe」を入力し、［OK］をクリックする

- 下線の付いた「ＣＤ－ＲＯＭ版」のみ全角で入力してください。
それ以外は半角で入力してください。

3 ［次へ］をクリックする

FOMA PC 設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリックする

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP 設定」が常駐します。☛P440

- 「W-TCP 通信」の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認して［次へ］をクリックする

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリックする

8 ［完了］をクリックする

「FOMA PC 設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

● 既に「FOMA PC 設定ソフト」や旧「W-TCP 設定ソフト」、旧「FOMA データ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、インストールを中断する画面が表示されます。［OK］をクリックし、これらソフトをアンインストールしてから「FOMA PC 設定ソフト」をインストールしてください。

● インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」（Windows XP 以外の場合は、「プログラム」）→「FOMA PC 設定ソフト」→「FOMA PC 設定ソフト」をクリックする

「FOMA PC 設定ソフト」が起動します。

mopera U/mopera を利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P436

1 FOMA PC 設定ソフトを起動し、［かんたん設定］をクリックする

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリックする

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリックする

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。

4 FOMA端末設定取得画面で［OK］をクリックする

FOMA端末から「接続先（APN）情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜ ”

6 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- ご使用のOSがWindows XP、2000の場合は、使用可能なユーザを選択してください。Windows Me、98の場合は、使用可能ユーザの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

つづく

9 **［OK］をクリックする**

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P439

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / mopera の場合 ☛P434

1 **「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 4 を行う** ☛P434

- 操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 **任意の接続名を入力して［接続先（APN）設定］をクリックする**

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥/:＊?!<>｜”

■ **高度な設定（TCP/IP の設定）**

［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に、各種アドレスを登録してください。

3 **接続先（APN）を設定する**

cid1 には「mopera.ne.jp」が、cid3 には「mopera.net」があらかじめ設定されています。cid は 2 または 4 ～ 10 に設定することをおすすめします。

①**［追加］をクリックする**

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②**「接続先（APN）」にご利用のプロバイダの FOMA パケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックする**

「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ入力できます。

4 **［OK］をクリックする**

操作 2 の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作 3 で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

5 **「接続先（APN）の選択」の接続先名（APN）を確認して［次へ］をクリックする**

6 **ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする**

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
- Windows XP、2000 の場合は、使用可能なユーザを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザの選択は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリックする

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリックする

9 ［OK］をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する☛P439

かんたん設定で 64K データ通信を設定する

 Windows XP の場合

mopera U / mopera を利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P438

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う☛P434

- 操作 2 の接続方法は「64K データ通信」を選択します。

2 任意の接続名の入力とモデムを選択して［次へ］をクリックする

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜ ”
- 「モデムの選択」が「FOMA D901iS」に設定されていることを確認します。

3 ［次へ］をクリックする

- 「ユーザー名」「パスワード」については空欄でもかまいません。
- Windows XP、2000 の場合は、使用可能なユーザを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザの選択は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

・通信を実行する ☛P439

その他のプロバイダを利用する場合

・mopera U / mopera の場合 ☛P437

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P434

・操作 2 の接続方法は「64K データ通信」、操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定して［次へ］をクリックする

・次の項目を登録します。
  ・接続名：任意
  ・モデムの選択：FOMA D901iS
  ・電話番号：プロバイダ情報を基に入力します。

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）
［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを入力して［次へ］をクリックする

・「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
・ご使用の OS が WindowsXP、2000 の場合は、使用可能なユーザを選択してください。Windows Me、98 の場合は、使用可能ユーザの選択は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

・通信を実行する ☛P439

通信を実行する

FOMA PC 設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA端末とパソコンを接続する☛P430

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする

通信を開始します。
- アイコンはOSによって異なります。

- デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

■ **Windows XP のスタートメニューから起動するとき**

① **［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする**

■ **Windows 2000、Me、98 のスタートメニューから起動するとき**

① **［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリックし、接続アイコンをダブルクリックする**

3 接続を実行する

- 「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］をクリックします。
- mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でもかまいません。
- OS によっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK] をクリックしてください。

おしらせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面、64K データ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- データ通信を実行する場合、アイコン作成時の FOMA 端末を接続した場合のみ有効です。
- D901iS 以外の FOMA 端末を接続する場合は、ご利用になる FOMA 端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。

切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリックする

- Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリックする

パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP 設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP 設定」とはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

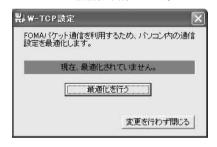
Windows XPの場合

ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、[W-TCP設定]をクリックする ☛P434

■ **タスクトレイから起動する場合**
① **をクリックする**

2 次の操作を行う

■ **システム設定が最適化されていないとき**
① **W-TCP設定画面で［最適化を行う］をクリックする**
② **最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックする**
システム設定とダイヤルアップ設定のそれぞれの最適化が実行されます。

■ **システム設定が最適化されているとき**
次の画面が表示されます。内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ **最適化を解除するとき**
① **「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする**
W-TCP設定画面が表示されます。
② **［最適化を解除する］をクリックする**

3 画面に従ってWindowsを再起動する
・設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000、Me、98の場合

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、[W-TCP設定]をクリックする ☛P434

■ **タスクトレイから起動する場合**
① **をクリックする**

2 次の操作を行う

■ **システム設定が最適化されていないとき**
① **［最適化を行う］をクリックする**

■ **最適化されているシステム設定を解除するとき**
① **［最適化を解除する］をクリックする**

3 画面に従ってWindowsを再起動する
・設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。
・接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。
・cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」があらかじめ設定されています。
・設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P431
・mopera U / mopera以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動し、［接続先（APN）設定］をクリックする ☛P434
FOMA端末設定取得画面が表示されます。

2 ［OK］をクリックする
FOMA端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ **接続先（APN）を追加するとき**

①［追加］をクリックする

■ **登録済みの接続先（APN）を編集または修正するとき**

① 対象の接続先（APN）を一覧から選択して［編集］をクリックする

■ **登録済みの接続先（APN）を削除するとき**

① 対象の接続先（APN）を一覧から選択して［削除］をクリックする

- cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません。（cid3を選択して「削除」をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります。）

■ **ファイルへ保存するとき**

①「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリックする

- FOMA 端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ **ファイルから読み込むとき**

①「ファイル」→「開く」をクリックする

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりするときに利用します。

■ **FOMA 端末から接続先（APN）情報を読み込むとき**

①「ファイル」→「FOMA 端末から設定を取得」をクリックする

FOMA 端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ **FOMA 端末へ接続先（APN）情報を書き込むとき**

①［FOMA 端末へ設定を書き込む］をクリックする

表示されている接続先（APN）設定がFOMA 端末に書き込まれます。

■ **ダイヤルアップを作成するとき**

① 追加・編集された接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリックする

「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリックする

FOMA 端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③ 任意の接続名を入力し、[アカウント・パスワードの設定] をクリックする

④ ユーザー名とパスワードを入力して［OK］をクリックする

- mopera U / mopera の場合は空欄でもかまいません。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザを選択してください。
- ご利用のプロバイダより、IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、必要な情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［FOMA 端末へ設定を書き込む］をクリックする

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

⑥ [はい] をクリックする

おしらせ

- 接続先（APN）設定は FOMA 端末に登録される情報のため、異なる FOMA 端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APN を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じ APN の登録番号（cid）を FOMA 端末に登録してください。
- 通信設定ファイルの確認で FOMA 端末がCOM20 より大きい番号として認識されている場合は、APN 設定の際、APN の情報の取得・書き込みができません。その場合は Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。☛P442

FOMA PC 設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P430

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの アイコン を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP 設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリックする

■ **Windows 2000、Me、98 のとき**

① ［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする

2 「NTT DoCoMo FOMA PC 設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリックする

3 削除するプログラム名を確認して［はい］をクリックする

FOMA PC 設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ **「W-TCP 最適化」の解除**

W-TCP が最適化されている場合は確認画面が表示されます。

- アンインストールする場合は［はい］をクリックします。
- 「W-TCP 最適化」の解除は、再起動後に行われます。

4 ［OK］をクリックする

FOMA PC 設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC 設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

設定操作の流れ

通信設定ファイルのインストール☛P431
パソコンと FOMA 端末の接続☛P430

接続先（APN）の設定
（64K データ通信の場合、パケット通信の接続先が mopera U / mopera の場合は、設定不要）

発信者番号通知／非通知の設定☛P443
（必要に応じて設定）

その他の設定（AT コマンド）☛P451
（必要に応じて設定）

ダイヤルアップネットワークの設定

設定 / ご使用の OS	接続先	→ TCP/IP
Windows XP	P444	P445
Windows 2000	P446	P447
Windows Me	P448	P449
Windows 98	P450	P450

※設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続☛P450（切断☛P451）

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定を行うためには、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

お買い上げ時 cid1：mopera.ne.jp　cid3：mopera.net
cid2, cid4 ～ 10：未登録

例 Windows XP の場合

1 パソコンと FOMA 端末を接続する ☛P430

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」をクリックして「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98ではさらに[Hypertrm]アイコンをダブルクリック）する

- Windows XP 以外の場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 **「名前」に接続先名など任意の名前を入力して［OK］をクリックする**

4 **「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D901iS」を選択して［OK］をクリックする**

- 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 **接続画面が表示されたら［キャンセル］をクリックする**

6 **接続先（APN）を入力して ↵ を押す**

- 「AT+CGDCONT＝＜cid＞,"PPP","APN"」の形式で入力します。

＜cid＞：2, 4〜10の任意の番号を入力します。
"PPP"：そのまま"PPP"と入力します。
"APN"：接続先（APN）を" "で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ **接続先（APN）設定をリセットするとき**

AT+CGDCONT= ↵ :
すべての cid をリセットします。
- ＜ cid ＞ =1 と 3 はお買い上げ時の設定に戻り、＜ cid ＞ =2, 4 〜 10 の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT= ＜ cid ＞ ↵ :
特定の cid をリセットします。

■ **接続先（APN）設定を確認するとき**

AT+CGDCONT? ↵
- 詳細 ☛P456

■ **AT コマンドを入力しても画面に表示されないとき**

ATE1 ↵
- 詳細 ☛P454

7 **「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする**

- 『"XXX"と名前付けされた接続を保存しますか?』と表示後に「いいえ」をクリックします。

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA 端末の登録番号 cid1 〜 10 に設定できます。お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」があらかじめ登録されています。mopera U / mopera を利用する場合は、本設定は不要です。その他のプロバイダや社内 LAN などに接続する場合は、cid2,4 〜 10 に APN を登録してください。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録と考えられます。接続先の設定項目を FOMA 端末電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera U / mopera をご利用になる場合は、「通知」に設定します。

お買い上げ時　設定なし

1 **「パケット通信の接続先（APN）を設定する」の操作 1 〜 5 を行う ☛P442**

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する

「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力します。

AT＊DGPIR=1 ⏎：
パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT＊DGPIR=2 ⏎：
パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 「OK」と表示されていることを確認し、［ファイル］→「ハイパーターミナルの終了」をクリックする

- 『“XXX”と名前付けされた接続を保存しますか?』と表示後に「いいえ」をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。
AT＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=1の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊1#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊1#	非通知		
186＊99＊＊＊1#	通知		

- AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。

Windows XPで設定する

「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリックする

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリックする

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリックする

デバイスの選択画面が表示されます。

- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作8へ進みます。

7 「モデム－FOMA D901iS（COMx）」を選択して［次へ］をクリックする

8 「ISP名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

9 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力して［次へ］をクリックする

■ パケット通信のとき

＊99＊＊＊＜cid＞#を入力します。

- ＜cid＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3#、moperaは＊99＊＊＊1#となります。

■ 64K データ通信のとき
接続先の電話番号を入力します。
・mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力し、各項目を画面例のように設定して［次へ］をクリックする

・接続先が mopera U / mopera の場合は、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」については空欄でもかまいません。各項目を画面のように設定し［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリックする

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリックする

・ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

・複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA D901iS（COMx）」を選択します。
・「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

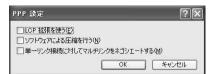
・「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
・「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしてください。

4 ［設定］をクリックする

データ通信

つづく

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

Windows 2000 で設定する

「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先と TCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリックする

「所在地情報」画面が表示されます。

- この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2 回目以降の場合は、操作 5 へ進みます。

3 「市外局番」を入力して［OK］をクリックする

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリックする

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリックする

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリックする

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリックする

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリックする

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作 10 に進みます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D901iS」に設定されていることを確認して［次へ］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D901iS」に設定されていない場合は、「FOMA D901iS」に設定してください。

10 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力して［詳細設定］をクリックする

■ **パケット通信のとき**

＊99＊＊＊< cid >＃を入力します。

- < cid >には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3＃、moperaは＊99＊＊＊1＃となります。

■ **64K データ通信のとき**

接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

データ通信

11 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定する

12 ［アドレス］タブをクリックして各項目を画面例のように設定する

13 ［OK］をクリックする

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリックする

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［次へ］をクリックする

- 接続先が mopera U / mopera の場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でもかまいません。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

17 「いいえ」を選択して［次へ］をクリックする

18 ［完了］をクリックする

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする

データ通信

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA D901iS（COMx）」を選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリックする

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリックする

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリックする

Windows Me で設定する

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2回目以降の場合は、操作3へ進みます。

2 ［次へ］をクリックする

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 ［新しい接続］アイコンをダブルクリックする

4 「接続名」に任意の接続名を入力して［次へ］をクリックする

- 「モデムの選択」が「FOMA D901iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D901iS」に設定します。

5 接続先の番号（半角文字）を入力して［次へ］をクリックする

■ **パケット通信のとき**

＊99＊＊＊＜ cid ＞＃を入力します。

- ＜ cid ＞には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3＃、moperaは＊99＊＊＊1＃となります。

■ **64Kデータ通信のとき**

接続先の電話番号を入力します。

- moprea Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認して［完了］をクリックする

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択し、「ファイル」→「プロパティ」をクリックする

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認する

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。
- 「接続方法」が「FOMA D901iS」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D901iS」に設定します。

3 ［ネットワーク］タブをクリックして各項目の設定を確認する

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 ［セキュリティ］タブをクリックして「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、［OK］をクリックする

• 接続先が mopera U / mopera の場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でもかまいません。

Windows 98 で設定する

接続先を設定する

Windows Me の接続先設定と同じです。☛P448

TCP/IP プロトコルを設定する

1 「Windows Me で設定する」の「TCP/IP プロトコルを設定する」の操作 1 ～ 2 を行う ☛P449

2 ［サーバーの種類］タブをクリックして各項目の設定を確認する

• 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
• 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

3 ［OK］をクリックする

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XP の場合

1 FOMA端末とパソコンを接続する☛P430

2 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

• Windows 2000、Me、98 の場合は、［スタート］メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）の順にクリックします。

3 接続先のアイコンをダブルクリックする

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリックする

- Windows Me、98 の場合は、各項目を確認して、[接続] をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でもかまいません。

切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリックする

接続の画面が表示されます。

- Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリックする

AT コマンド

AT コマンドとは、パソコンで FOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA 端末は、AT コマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。

AT コマンドについて

■ AT コマンドの入力形式

AT コマンドは、コマンドの先頭に「AT」を付けて入力します。半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD ＊ 99 ＊＊＊ 1#⏎

コマンド　パラメータ　Enter キーを押します

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1 行で入力します。1 行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160 文字（「AT」含む）まで入力できます。

■ AT コマンドの入力モード

AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを 1 台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- オフラインモード
  FOMA 端末が待受の状態です。通常 AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、この状態で行います。
- オンラインデータモード
  FOMA 端末が通信中の状態です。この状態のときに AT コマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中は AT コマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA 端末が通信中の状態でも、AT コマンドで FOMA 端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したまま AT コマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C ※の ER 信号を OFF にします。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

※ :USB インタフェースにより、RS-232C の信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによる RS-232C の信号線制御が有効になります。

ATコマンド一覧

- ATコマンド入力時に、使用しているPCや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのはFOMA D901iS Modem Portで使用できるATコマンドです。

※1　：AT&Fコマンドで設定が初期化されます。
※2　：AT&WコマンドでFOMA端末に記憶でき、ATZコマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがないATコマンドです。
［　］　：省略できるパラメータです。

コマンド	概要・パラメータ						
AT%V	FOMA端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。						
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]	DTEへの回路CD信号の動作条件を選択します。 n=0: 回路CD信号を常にONにします。（パラメータ省略時） n=1: 回路CD信号は相手モデムの状態に従って変化します。（お買い上げ時）						
※1、※2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0:ER信号の状態を無視します（常にON）。（パラメータ省略時） n=1:ER信号がONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER信号がONからOFFに変わると回線を切断し、オフラインモードになります。（お買い上げ時）						
※1、※2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&E[n]	接続時の速度表示仕様を選択します。 ATXコマンドがn=0以外のときに有効です。 n=0：無線区間通信速度を表示します。 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示します。(お買い上げ時)						
※1、※2	例	設定	AT&E1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]	FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断してからお買い上げ時の状態に戻します。						
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし
AT&S[n]	FOMA端末の出力するDR信号の制御を設定します。 n=0: 常にONにします。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 回線接続時にDR信号をONにします。						
※1、※2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]	現在の設定値をFOMA端末に書き込みます。						
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT＊DANTE	電波の強さ（受信レベル）を「＊DANTE:m」の形式で表示します。 m=0: 圏外です。　m=1～3:FOMA端末に表示されるアンテナの本数です。						
	例	設定	AT＊DANTE	表示	AT＊DANTE?	テスト	AT＊DANTE=?
AT＊DGANSM=n	パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0: 着信拒否設定と着信許可設定をOFFにします。（お買い上げ時） n=1: 着信拒否設定をONにします。　n=2: 着信許可設定をONにします。						
	例	設定	AT＊DGANSM=0	表示	AT＊DGANSM?	テスト	AT＊DGANSM=?
AT＊DGAPL=n[,cid]	パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信許可リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信許可リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。						
	例	設定	AT＊DGAPL=0,1	表示	AT＊DGAPL?	テスト	AT＊DGAPL=?
AT＊DGARL=n[,cid]	パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先(APN)を設定します。APNは「+CGDCONT」で定義されたcidパラメータを使用します。 n=0:cidで定義されたAPNを着信拒否リストへ追加します。 n=1:cidで定義されたAPNを着信拒否リストから削除します。 cidパラメータを省略すると、すべてのcidを追加または削除します。						
	例	設定	AT＊DGARL=0,1	表示	AT＊DGARL?	テスト	AT＊DGARL=?

コマンド	概要・パラメータ
AT＊DGPIR=n	パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0: パケット通信確立時に、APN をそのまま使用します。(お買い上げ時) n=1: パケット通信確立時に、APN に「184」を付けます。 n=2: パケット通信確立時に、APN に「186」を付けます。
例	設定 AT＊DGPIR=0 ／ 表示 AT＊DGPIR? ／ テスト AT＊DGPIR=?
AT＊DRPW	受信電力指標を「＊DRPW:m」の形式で表示します。m:0 ～ 75
例	設定 AT＊DRPW ／ 表示 なし ／ テスト AT＊DRPW=?
+++	FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1 秒間の固定です。
例	設定 +++ ／ 表示 なし ／ テスト なし
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。☛P456
例	設定 AT+CEER ／ 表示 なし ／ テスト AT+CEER=?
AT+CGDCONT	パケット通信時の接続先 (APN) を設定します。☛P456
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許可するかどうかの判定基準を登録します。☛P456
AT+CGEQREQ	パケット通信時の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。☛P457
AT+CGMR	FOMA 端末のバージョンを 16 桁の数字で表示します。
例	設定 AT+CGMR ／ 表示 なし ／ テスト AT+CGMR=?
AT+CGREG=[n]	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。 n=0: 通知しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。 stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)
※1、※2　例	設定 AT+CGREG=1 ／ 表示 AT+CGREG? ／ テスト AT+CGREG=?
AT+CGSN	FOMA 端末の製造番号を表示します。
例	設定 AT+CGSN ／ 表示 なし ／ テスト AT+CGSN=?
AT+CLIP=[n]	64K データ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。 AT+CLIP? を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。 m=0: 発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定 m=1: 発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2: 不明
※1、※2　例	設定 AT+CLIP=0 ／ 表示 AT+CLIP? ／ テスト AT+CLIP=?
AT+CLIR=[n]	64K データ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0: サービス契約の設定に従います。(パラメータ省略時)　n=1: 通知しません。 n=2: 通知します。(お買い上げ時) AT+CLIR? を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。 m=0:CLIR が起動していません。(常時通知)　m=1:CLIR が起動しています。(常時非通知) m=2: 不明　m=3:CLIR テンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4:CLIR テンポラリーモード（通知デフォルト）
例	設定 AT+CLIR=0 ／ 表示 AT+CLIR? ／ テスト AT+CLIR=?
AT+CMEE=[n]	FOMA 端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P456 n=0:「ERROR」を表示します。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は数字）で表示します。 n=2:「+CME ERROR：xxxx」の形式（xxxx は文字）で表示します。
※1、※2　例	設定 AT+CMEE=0 ／ 表示 AT+CMEE? ／ テスト AT+CMEE=?
AT+CNUM	FOMA 端末の自局番号を表示します。「+CNUM: "number",type」の形式で表示します。 number: 電話番号 type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。
例	設定 AT+CNUM ／ 表示 なし ／ テスト AT+CNUM=?
AT+CR=[n]	回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別（パケット通信または 64K データ通信）を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。 serv=SYNC:64K データ通信　serv=GPRS: パケット通信
※1、※2　例	設定 AT+CR=0 ／ 表示 AT+CR? ／ テスト AT+CR=?
AT+CRC=[n]	着信時に +CRING:type のリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0:+CRING:type のリザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1:+CRING:type のリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。 パケット通信　… +CRING:GPRS "PPP",,, "mopera.ne.jp" 64K データ通信… +CRING:SYNC
※1、※2　例	設定 AT+CRC=0 ／ 表示 AT+CRC? ／ テスト AT+CRC=?

データ通信

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
AT+CREG=[n]		圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）　n=1: 表示します。 AT+CREG? を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。 stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CREG=0	表示	AT+CREG?	テスト	AT+CREG=?
AT+GMI		FOMA 端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA 端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンと FOMA 端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n は DCE by DTE の制御を設定します。 n=0: フロー制御しません。　n=1:XON/XOFF フロー制御します。 n=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） m は DTE by DCE の制御を設定します。省略すると DCE by DTE と同じ入力値になります。 m=0: フロー制御しません。　m=1:XON/XOFF フロー制御します。 m=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2 になります。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時に FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
ATA		パケット通信、64K データ通信の着信時に着信処理をします。パケット通信の着信時には下記を入力できます。 ATA184: 発信者番号通知なし着信　ATA186: 発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または 64K データ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD＊99＊＊＊cid#」の形式で入力します。cidを省略すると、cid=1になります。「ATD184 ＊ 99」で始まる形式で入力した場合、指定した cid の APN に対して 184（発信者番号通知なし）が付加されます。（186 でも同様です） ・64K データ通信…「ATD 電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD 電話番号	表示	なし	テスト	なし
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0: エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1: エコーバックします。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		パケット通信または 64K データ通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA 端末名を表示します。　n=2:FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0: リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: リザルトコードを表示しません。					
※ 1、※ 2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0: 数字で表示します。（パラメータ省略時） n=1: 文字で表示します。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。(パラメータ省略時) n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。(お買い上げ時)					
※1、※2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定を AT&W で記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または 64K データ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA 端末で自動着信するまでの呼出(RING)回数を設定します。 n=0: 自動着信しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1 ～ 255					
※1、※2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0 ～ 127(43: お買い上げ時、0: パラメータ省略時、127: エスケープ処理を無効にする)					
※1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰 (CR) キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。(設定値は変更できません)					
※1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行 (LF) キャラクタの設定をします。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。(設定値は変更できません)					
※1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		AT コマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します。(設定値は変更できません)					
※1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2 ～ 10:単位は秒。(5: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS7=[n]		パケット通信または 64K データ通信で、発呼してから接続できるまでの待ち時間を設定します。 n=1 ～ 255:単位は秒。(60: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1、※2	例	設定	ATS7=60	表示	ATS7?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能(ポーズ時間)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は 3 秒で固定です。 n=0 ～ 255:単位は秒。(3: お買い上げ時、0: パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1 ～ 255:単位は 1/10 秒。(1: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1、※2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=1 ～ 255: 単位は分。 n=0: 切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=0: *(パラメータ省略時) n=1:/(お買い上げ時) n=2:¥					
※1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信のときに有効です。 n=0:#(パラメータ省略時) n=1:%(お買い上げ時) n=2:&					
※1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容と S レジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATX コマンドのパラメータが n=1 ～ 4 のときに有効です。 n=0: 拡張リザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 拡張リザルトコードを使用します。					
※1、※2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手側が呼出中のため通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMA カードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外の SIM（FOMA カードに相当する IC カード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

AT コマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

- **書式**

  AT+CGDCONT＝［＜ cid ＞［, "PPP"［, "＜ APN ＞"]]]

- **パラメータ説明**

  ＜ cid ＞：1 ～ 10
  ＜ APN ＞：任意

- **実行例**

  「abc」という APN 名を登録する場合のコマンド（＜ cid ＞ =2 の場合）
  AT+CGDCONT=2, "PPP", "abc"

- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGDCONT=
  すべての＜ cid ＞の設定をクリアします。ただし、「＜ cid ＞ =1」と「＜ cid ＞ =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT= ＜ cid ＞
  指定された＜ cid ＞の設定をクリアします。ただし、「＜ cid ＞ =1」と「＜ cid ＞ =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

  AT+CGDCONT=？
  設定可能な値のリストを表示します。

  AT+CGDCONT？
  現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

- **概要**

  PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

- **書式**

  AT+CGEQMIN=[＜ cid ＞［,, ＜ Maximum bitrate UL>[, <Maximum bitrate DL>]]]

- **パラメータ説明**

  ＜ cid ＞：1 ～ 10
  ＜ Maximum bitrate UL ＞：なしまたは 64
  ＜ Maximum bitrate DL ＞：なしまたは 384
  「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA 端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**

  （1）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（＜ cid ＞ =2 の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  （2）上り 64kbps ／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（＜ cid ＞ =4 の場合）
  AT+CGEQMIN=4,,64,384
  （3）上り 64kbps ／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜ cid ＞ =5 の場合）
  AT+CGEQMIN=5,,64
  （4）上りすべての速度／下り 384kbps 速度のみ許容する場合のコマンド（＜ cid ＞ =6 の場合）
  AT+CGEQMIN=6,,,384

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=
すべての＜ cid ＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN= ＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=？
設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？
現在の設定を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQREQ=［パラメータ］

・**概要**
PPP パケット通信時の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。

・**書式**
AT+CGEQREQ=[＜ cid ＞]

・**パラメータ説明**
上り 64kbps ／下り 384kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜ cid ＞：1 ～ 10

・**実行例**
（＜ cid ＞ =2 の場合）
AT+CGEQREQ=2

・**パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=
すべての＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ= ＜ cid ＞
指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=？
設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQREQ？
現在の設定を表示します。

リザルトコード

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受付られません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA 端末－ PC 間速度 1200bps で接続しました。
10	CONNECT 2400	FOMA 端末－ PC 間速度 2400bps で接続しました。
11	CONNECT 4800	FOMA 端末－ PC 間速度 4800bps で接続しました。
13	CONNECT 7200	FOMA 端末－ PC 間速度 7200bps で接続しました。
12	CONNECT 9600	FOMA 端末－ PC 間速度 9600bps で接続しました。
15	CONNECT 14400	FOMA 端末－ PC 間速度 14400bps で接続しました。
16	CONNECT 19200	FOMA 端末－ PC 間速度 19200bps で接続しました。
17	CONNECT 38400	FOMA 端末－ PC 間速度 38400bps で接続しました。
18	CONNECT 57600	FOMA 端末－ PC 間速度 57600bps で接続しました。
19	CONNECT 115200	FOMA 端末－ PC 間速度 115200bps で接続しました。
20	CONNECT 230400	FOMA 端末－ PC 間速度 230400bps で接続しました。
21	CONNECT 460800	FOMA 端末－ PC 間速度 460800bps で接続しました。

つづく

おしらせ

- ATV［n］コマンド（☛P454）がn=1に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	PPPoverUDで接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
2	AV32K	AV（テレビ電話）［32K］で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）［64K］で接続
5	PACKET	PACKETで接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0が設定されているとき

AT¥Vコマンド（☛P455）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1＃
CONNECT（数字表示のときは「1」）

ATX 1が設定されているとき

・ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT＜FOMA端末－PC間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1＃
CONNECT 460800（数字表示のときは「1 21」）

・ATX1、AT¥V1が設定されている場合※
接続完了のときに、以下のように表示します。

文字表示例　：ATD＊99＊＊＊1＃
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/64/384
（数字表示のときは「1 21 5」）

FOMA端末－PC間速度460800bpsで、mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。

※：ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

文字入力

文字入力について

FOMA 端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1 つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が替わります。☛P474
  スロット入力方式は、スロット入力ボードに表示された文字から、入力文字を指定します。☛P467
- 入力方式によって、入力できる文字の種類は異なります。

○：入力可　×：入力不可　－：入力文字なし

文字の種類＼入力方式	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	－	○	－
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	－	○	－

- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字 2 文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も 1 文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字は JIS 第一水準漢字・第二水準漢字の 6355 文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。

文字入力画面の見かた

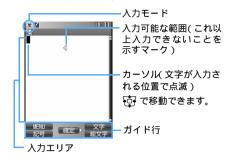
文字の入力方法には、「全画面入力」と、「インライン入力」の 2 種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで、入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

おしらせ

● 本書では最後に [確定] を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

全画面入力

入力欄にカーソルを合わせて [確定] を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄にカーソルを合わせて [0] ～ [9]、[*]、[#] を押し、文字を直接入力します。[確定] を押すと文字が確定します。

文字入力画面のサブメニュー

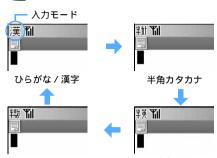
文字入力画面で [MENU] を押します。次の操作ができます。ただし、文字が確定される前やデコメールの装飾画面ではサブメニューは表示されません。

- 文字のコピー ☛P465
- 文字の切り取り ☛P465
- コピー／切り取りした文字の貼り付け ☛P466
- 電話帳データの引用 ☛P464
- 単語登録 ☛P466
- 定型文登録 ☛P465
- 文字入力の設定 ☛P468
- 自局番号の内容や電卓の計算結果、バーコードリーダーを起動して読み取ったデータの引用（入力欄によって表示される項目が異なります）☛P464
- 文字入力の終了（スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます）

入力モードを切り替える

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

[文字]で切り替える

[文字]を押すたびに、次のように切り替わります。

※：スロット入力方式では表示されません。

入力モードリストで切り替える

文字入力画面で [□] を押すと、次の入力モードが選択できます。

項　目	入力モード		項　目	入力モード	
かな	ひらがな／漢字	漢	１２３※	全角数字	全数
			ｶﾅ	半角カタカナ	半ｶﾅ
カナ※	全角カタカナ	全ｶﾅ	ABC	半角英字	半英
ＡＢＣ※	全角英字	全英	123※	半角数字	半数

※：スロット入力方式では表示されません。

かな入力方式

スロット入力方式

- [十字キー]、[□]、または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。
- 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。

「記号」　：記号を入力します。☛P463
「絵文字」：絵文字を入力します。☛P463
「定型文」：定型文を入力します。☛P463
「区点入力」：区点コードで文字を入力します。☛P466

おしらせ

● ひらがなしか入力できない場合は[全ひ]が表示されます。

かな入力方式で文字を入力する　かな入力方式

文字を入力する　かな漢字変換

例　電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 名前の入力欄にカーソルを合わせて [●] を押す

文字入力画面が表示されます。

2 「きぎょう」と入力する

「き」：[2] を２回押します。
[→] を押して、カーソルを１つ右に移動します（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）。
「ぎ」：[2] を２回押し、[＊] を押します。
「ょ」：[8] を３回押し、[#] を押します。
「う」：[1] を３回押します。

- キーを押し間違えたときは[クリア]を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付けるときは、文字を入力し [＊] を押します。
たとえば、「ほ」を入力して [＊] を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と切り替わります。
「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- 大文字と小文字を切り替えるには、文字を入力し [#] を押します。
- [Menu] を押すと全角カタカナに変換できます。

■ **１つ前の文字に戻すとき**

文字入力直後に [□] を押して１つ前の文字に戻すことができます。押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→１→お→え→う→い→あ→１→…)。ただし、濁点や半濁点を入力したときや、大文字と小文字を切り替えたときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定するとき**

ひらがなを入力した状態で操作４に進みます。

3 [□] を押す

・予測変換候補が表示されていないときは、□を押してもかな漢字変換されます。予測変換☛P463
・□を押すと、変換前の状態に戻ります。

■ 変換候補を一覧表示するとき
□を押しても目的の文字が表示されないときは、□またはもう一度□を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、□を押すと次ページ、□を押すと前ページに切り替わります。□を押して変換候補にカーソルを合わせて□を押すか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。

4 □を押す
文字が確定します。
・入力設定の入力予測を「ON」に設定しているときは、「閉じる」を選択します。

■ 文字を挿入するとき
□を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ 文字を削除するとき
・カーソルが入力文字の途中にある場合
(例：鈴木一郎)
・□を押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
・□を1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
・カーソルが入力文字の末尾にある場合
(例：鈴木一郎■)
・□を押すと、カーソル位置の左の1文字が削除されます。
・□を1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ 改行するとき
改行する位置にカーソルを移動し、□を押します。
・入力欄によっては改行できない場合があります。

5 □を押す
文字入力が終了します。
・文字を未入力の状態にするときは、すべての文字を削除してから□を押します。新規に入力した場合は、すべての文字を削除してから□を押してもできます。
・入力済みの入力欄の内容を修正し、修正前の状態に戻したいときは、すべての文字を削除してから□を押し、「はい」を選択します。

おしらせ
●次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定できます。☛P468
・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ
・全角／半角英字
●自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも次の操作ができます。
・□：濁点／半濁点を付ける
・□：大文字／小文字を切り替える
・□：1つ前の文字に戻す
●「ダイヤルキーの文字割り当て一覧」☛P474

複数の文節を一括変換する
複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。
・全角で24文字まで変換できます。

例「動物園に行こう。」と入力するとき

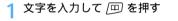
1 文字を入力して□を押す
■ 全確定するとき

① □を押す

■ 変換部分を確定するとき

① □を押す

■ 変換範囲を変更するとき

① □を押す

□を押したとき

おしらせ
●ひらがなで読みを入力して、記号や絵文字、アルファベット、ギリシャ文字などを入力できます。☛P478、P479

入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - かな漢字変換で入力した単語
  - 単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
  - インライン入力の場合
  - スロット入力方式の場合
- 予測変換候補を表示しないように設定できます。☛P468

1 文字を入力する

予測変換候補が表示されます。

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 [▽] を押し、[✥] を押して候補にカーソルを合わせて [●] を押す

- 予測変換候補にカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  - [i]／[✉]：前ページ／次ページ切り替え
  - [□]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）
  - [●]：文字確定
- 該当する用語がない場合、[□] を押すと、かな漢字変換になり、予測変換候補が消えます。

3 「閉じる」を選択する

予測変換候補が消えます。

定型文を入力する

あらかじめ登録されている文や顔文字、絵文字ことばを入力します。

1 文字入力画面で [□][7] を押す

- [□][Menu] を押しても表示できます。

2 [1]～[8] を押す

- 定型文を作成・登録した場合は、[9] を押して選択できます。

3 [1]～[8] を押す

「顔文字1」を選択した場合

- [◁▷] を押してページを切り替えられます。
- 定型文の内容を確認するときは、定型文にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押すと定型文が入力されます。

おしらせ

● 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手の端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントによっては、形が崩れたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
●「定型文一覧」☛P475

記号・絵文字を入力する

- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。
- 絵文字の一部は「えもじ」と入力して変換できます。☛P479

例 記号を入力するとき

1 文字入力画面で [i] を押す

- 絵文字を入力するときは [✉] を押します。
- [□][1] を押して記号一覧、[□][2] を押して絵文字一覧を表示できます。
- 記号一覧、絵文字一覧は複数ページあります。[i] または [✉] を押すとページが切り替わります。

つづく

2 記号を選択する

- 次のかっこの左側（例：｛ ）を選択した場合は、右側のかっこ（例：}）も自動的に入力されます。
  () [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】
- 記号一覧または絵文字一覧で [Menu] を押すと、一覧の上部に連続入力エリアが表示され、記号または絵文字を連続して選択できます。記号の場合は全角 10 文字（半角 20 文字）まで、絵文字の場合は 10 文字まで連続入力でき、[□] を押すと選択した記号または絵文字をまとめて入力できます。ただし、連続入力エリアで上記のかっこの左側を選択しても、右側のかっこは入力されません。

おしらせ

- 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字 2 を入力してメールを送信すると、相手の端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

電話帳データや自局番号の登録内容、電卓の計算結果やバーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力します。

- 引用できない文字入力画面では、メニュー項目が薄く表示されたり、メニュー項目自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。
- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で [Menu][4] を押す

2 引用する電話帳データを選択する

3 引用する内容を選択する

電話帳選択 1/2
青木一郎
アオキイチロウ
03XXXXXXXX
090XXXXXXXX
docomo.taro.△△@doc…
docomotaro@△△.□□□.…
http://www.△△△.△△△…
大学のサークル
〒 XXXXXXX

- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

- 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 文字入力画面で [Menu][8][1] を押す

2 端末暗証番号を入力し、引用する自局番号の内容を選択する

- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

- 引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面で [Menu][8][2] を押す

2 計算を行う

3 [●] を押す

バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

- 引用できるのは、URL 入力とｉモード中の文字入力画面です。

1 文字入力画面で [Menu][8][2] を押す

起動時に接写モードになります。

2 JANコードまたはQRコードを読み取る

3 [●] を押す

読み取りデータの文字列が入力されます。

定型文を登録する　定型文登録

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。
・最大 50 件登録できます。

1 待受画面で[Menu][8][9][2][9]を押す

2 「<新しい定型文>」を選択する

定型文編集画面が表示されます。
・登録済みの定型文を修正するときは、定型文を選択します。
・登録済みの定型文を確認するときは、定型文の一覧で定型文にカーソルを合わせて[📖]を押します。[●]を押すと編集できます。

■ 定型文を削除するとき
① 削除する定型文にカーソルを合わせて[Menu]を押し、「はい」を選択する

3 本文欄を選択し、定型文を入力する（全角 64 文字（半角 128 文字）まで）

4 [📖]を押す

・登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、中止するときは「いいえ」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 文字入力画面で[Menu][6]を押す

2 開始位置にカーソルを合わせて[●]を押す

・全文を選択する場合は、[Menu][●]を押し、操作 4 に進みます。

3 終了位置にカーソルを合わせて[●]を押す

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。
・開始位置から文頭までを選択する場合は、[Menu][●]を押します。
・開始位置から文末までを選択する場合は、[📖][●]を押します。

4 [📖]を押す

おしらせ

● 上記操作で選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
・空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
・文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
・文字と文字の間に空白：空白も有効
● メール本文の入力画面では[Menu][6][2]を押しても操作できます。
● メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていない場合に[Menu][6]を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
● 定型文が既に 50 件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を修正してください。

文字をコピー／切り取りして貼り付ける　文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。
・コピーまたは切り取った文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
・記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

例　文字をコピーするとき

1 文字入力画面で[Menu][1]を押す

・文字を切り取るときは[Menu][2]を押します。

2 開始位置にカーソルを合わせて[●]を押す

・全文を選択する場合は、[Menu][●]を押します。

3 終了位置にカーソルを合わせて[●]を押す

選択した範囲の文字がコピーされます。
・開始位置から文頭までを選択する場合は、[Menu][●]を押します。
・開始位置から文末までを選択する場合は、[📖][●]を押します。

おしらせ

● メール本文の入力画面では[Menu]を押し、「コピー」／「切り取り」を選択しても操作できます。

文字を貼り付ける

・貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数を超えない文字だけが貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて [Menu][3] を押す

おしらせ

●メール本文の入力画面では [Menu] を押し、「貼り付け」を選択します。
●コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
●改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、空白に置き換えられます。

区点コードで入力する　区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

例「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で [□][8] を押す

2 4桁の区点コード（この場合は [2][3][4][0]）を入力する

・有効な区点コードは0101～8406です。
・対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

よく使う単語をあらかじめ登録する　単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。

・最大200件登録できます。

1 待受画面で [Menu][8][9][1] を押す

2 「<新しい単語>」を選択する

・登録済みの単語を修正するときは、修正する単語を選択します。
・登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて [□] を押します。[●] を押すと編集できます。

■ **単語を削除するとき**

① **削除する単語にカーソルを合わせて [Menu] を押す**
② **「削除」を選択する**
・全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

3 単語欄を選択し、登録する単語を入力する（全角12文字（半角24文字）まで）

・登録できる文字の種類は次のとおりです。
・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ
・全角／半角英字　・全角／半角数字
・全角／半角記号　・絵文字

4 読み欄を選択し、読みを入力する（全角16文字まで）

・ひらがなのみ入力できます。

5 [□] を押す

・登録済みの単語を修正したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

おしらせ

●単語と読みを入力しないと登録できません。
●読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。空白を入力すると、その空白は保存後に削除されます。
●単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は、登録できません。
●同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 **文字入力画面で Menu 5 を押す**

2 **開始位置にカーソルを合わせて ● を押す**

- 全文を選択する場合は、Menu ● を押し、操作 4 に進みます。

3 **終了位置にカーソルを合わせて ● を押す**

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する場合は、Menu ● を押します。
- 開始位置から文末までを選択する場合は、□ ● を押します。

4 **読みを入力し □ を押す**

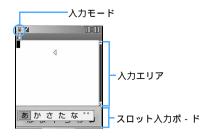
おしらせ

- 空白を入力すると、その空白は保存後削除されます。
- メール本文の入力画面では Menu 6 1 を押しても登録できます。
- メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていない場合に Menu 5 を押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- 単語が既に 200 件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの単語を修正してください。

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力方式

スロット入力ボードに表示された文字から、○ を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P468
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときは □ を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度 □ を押します。

例 電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 **名前の入力欄にカーソルを合わせて ● を押す**

文字入力画面が表示されます。

2 **「きぎょう」と入力する**

「き」：□ を 1 回、□ を 1 回押し、● を押します。
「ぎ」：● を押し、□ を 4 回押し、● を押します。
「ょ」：□ を押し、□ を 2 回、□ を 2 回押し、● を押します。
「う」：□ を 4 回、□ を 2 回押し、● を押します。

- 上段と下段の入力バーを入れ替えるときは、□ を押します。

3 **□ を押す**

変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには クリア を押します。
- ひらがなのまま確定するときは Menu を押し、操作 5 に進みます。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

4 [決定キー]を押す

文字が確定します。

・続けて文字を入力できます。

5 [メールキー]を押し、[決定キー]を押す

文字入力が終了します。

おしらせ

●「入力バーの文字割り当て一覧」☛P475

● 文字入力画面のサブメニュー☛P460

入力方法を設定する　入力設定

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

1 待受画面で[Menu][8][9][3]を押す

2 各項目を選択して設定する

入力方式

：「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。

・「スロット入力」に設定すると、以下の項目は設定できません。

入力予測

：予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

自動カーソル

：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。

・「OFF」に設定すると、自動移動しません。

・「遅い」に設定すると、約 1.5 秒経過後に移動します。

・「普通」に設定すると、約 1 秒経過後に移動します。

・「速い」に設定すると、約 0.5 秒経過後に移動します。

3 [電話帳キー]を押す

文字入力中に設定を変更する

• 文字が確定される前やデコメールの装飾画面では変更できません。

• インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で[Menu][7]を押す

2 [1]～[3]を押す

・「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは[1]を押します。

・「入力予測 ON」と「入力予測 OFF」を切り替えるときは[2]を押します。

・自動カーソルの移動時間を設定するときは[3]を押し、[1]～[4]を押します。

付録

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。
- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

□：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

1 メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 受信メール	―	P246
2 新規メール	―	P221
3 チャットメール	―	P266
4 未送信メール	―	P246
5 送信メール	―	P246
6 問合せ		
1 iモード問合せ	―	P239
2 SMS 問合せ	―	P275
3 メール選択受信	―	P238
4 iモード問合せ設定	すべて選択	P261
7 SMS		
1 SMS 作成	―	P272
2 FOMA カード（UIM）受信 SMS	―	P277
3 FOMA カード（UIM）送信 SMS	―	P277
4 SMS 設定※1	送達通知：要求しない 上記以外は FOMA カードの設定に従う	P275
8 テンプレート読込み	―	P233
9 メール設定		
1 メール着信設定	着信音選択： メロディ／パターン 1 着信イルミネーション設定：点滅／オーシャン バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P265
2 チャットメール着信設定	着信動作設定： メール着信動作に従う	P272
3 メール振り分け設定	受信振り分け設定：ON 送信振り分け設定：ON	P258
4 署名設定	自動挿入：する 署名：未設定	P260
5 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>	P263
6 メール選択受信設定	OFF	P261
7 メール受信添付ファイル設定	画像：受信する メロディ：受信する	P263
8 メールグループ	―	P261
9 表示設定		
1 メール一覧表示設定	2 行表示	P263
2 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P264
3 受信表示設定	通知優先	P266

2 iモード

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 iMenu	―	P182
2 Bookmark	―	P190
3 Internet		
1 URL 入力	―	P188
2 URL 履歴	―	P188
4 画面メモ	―	P193
5 ラスト URL	―	P183
6 iモード問合せ	―	P239
7 メッセージ		
1 メッセージ R	―	P205
2 メッセージ F	―	P205
3 メッセージ設定		
1 自動表示設定	メッセージ R 優先	P204
2 iモード問合せ設定	すべて選択	P261
3 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P264
4 メッセージ着信設定	着信音選択： メロディ／パターン 1 着信イルミネーション設定：点滅／オーシャン バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	P205
8 iモード設定		
1 ワンタッチサイト表示	未登録	P191
2 接続待ち時間設定	60 秒間	P200
3 接続先設定	iモード（FOMA カード）	P200
4 証明書表示／使用設定※2	CA 証明書 1 ～ 9 上記以外は FOMA カードの設定に従う	P209
5 ユーザ証明書操作	―	P209
6 証明書発行接続先設定	ドコモ	P211
9 表示設定		
1 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 登録データ利用設定：利用する 照明設定：端末設定に従う 効果音設定：ON	P201
2 表示色設定	文字／背景：指定しない リンク色：指定しない	P202
3 iモーション設定	自動再生設定： 自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P308

 ※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

3 iアプリ

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ソフト一覧	―	P286
2 iアプリ設定		
1 ソフトの並べ替え	ダウンロード日時順	P302
2 自動起動設定	ON	P296
3 ソフト情報表示設定	OFF	P285
4 照明設定	端末設定に従う	P289
5 バイブレータ設定	ON	P289
6 ツータッチiアプリ表示	未登録	P286
3 履歴表示	―	P297 P299 P287

4 電話帳／履歴

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 電話帳検索	―	P96
2 電話帳登録	―	P91
3 FOMA カード（UIM）登録	―	P95
4 着信履歴	―	P59
5 リダイヤル	―	P50
6 伝言メモ／音声メモ		
1 伝言メモ設定	停止する	P68
2 伝言メモ一覧	―	P70
3 音声メモ録音	―	P401
4 音声メモ一覧	―	P402
7 自局番号	FOMA カードの設定に従う	P44 P400

5 データ BOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 マイピクチャ	―	P314
2 iモーション	―	P324
3 メロディ	―	P340
4 キャラ電	―	P334
5 マイドキュメント	―	P370

6 ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 カメラ	―	P157
2 ビデオカメラ	―	P162
3 サウンドレコーダー	―	P368
4 バーコードリーダー	―	P172
5 赤外線／ PC データ連携		
1 赤外線全件送信	―	P362
2 赤外線受信	―	P363
3 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P366
4 USB モード設定	通信モード	P430
6 miniSD カード	―	P350
7 IC カードソフト一覧	―	P311

7 ステーショナリー

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 スケジュール帳	―	P386
2 メモ帳	―	P406
3 アラーム	未設定	P384
4 電卓	―	P405

8 設定

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 音の設定	電話、メール： メロディ／パターン 1 チャットメール：メール連動 メッセージ R、メッセージ F：メロディ／パターン 1 通話保留音：内蔵音（保留音・ボイス） テレビ電話：メロディ／電話・メロディ A スライドオープン： メロディ／スライド・オープン音 1 スライドクローズ： メロディ／スライド・クローズ音 1	P110
2 着信音量調整		
1 電話着信音量調整	レベル 4	P62
2 メール着信音量調整	レベル 4	P62
3 受話音量調整	レベル 4	P61
4 キー確認音設定	キー確認音 1	P113
5 電池アラーム音設定	ON	P41
6 マナーモード選択	通常マナーモード	P115
7 バイブレータ設定	すべて OFF	P112
8 呼出動作開始時間設定	OFF	P148
9 充電確認音設定	ON	P113
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定	メタル	P116
2 発着信画面表示設定		
1 電話発信設定	標準画像	P122
2 電話着信設定	着信音： メロディ／パターン 1 イメージ表示：標準画像 バイブレーター：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P62
3 テレビ電話発信設定	標準画像	P122
4 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／電話・メロディ A イメージ表示：標準画像 バイブレーター：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P62
5 人物画像表示設定	ON	P123
6 メール送信画像設定	標準画像	P123

メニュー			お買い上げ時	参照先
2 ディスプレイ				
	2 発着信画面表示設定			
		7 メール受信画像設定	標準画像	P123
		8 問合せ画像設定	標準画像	P123
		9 着信表示設定	電話着信時電話番号：表示する 電話着信時名前表示：通常表示 メール／メッセージ着信時表示：表示する	P124
	3 カラーテーマ設定		ホワイトスモーク	P125
	4 電池マーク設定		→ →	P127
	5 照明設定		照明方法：点灯 点灯時間：10 秒 範囲：ディスプレイ＋キー ディスプレイの明るさ：標準 AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う	P124
	6 イルミネーション設定		新着通知、通話中：OFF テレビ電話着信、音声着信、メール着信、メッセージ R 着信、メッセージ F 着信、チャットメール着信：点滅／オーシャン アラーム、スケジュール：OFF メロディ再生：メロディ連動／レインボー スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／オーシャン IC カード：ON	P128
	7 フォント設定		中（標準）	P129
	8 バイリンガル		Japanese	P131
	9 情報表示行設定		通常時表示： 1 Week カレンダー パーシャル時表示：ON メール／メッセージ着信時表示：表示する	P131
3 セキュリティ／ロック				
	1 ロック			
		1 オールロック	未設定	P139
		2 PIM ロック	OFF	P142
		3 遠隔ロック	OFF	P139
		4 IC カードロック	OFF	P312
	2 シークレットモード		未設定	P146
	3 ダイヤル発信制限		OFF	P143
	4 FOMA カード（UIM）		FOMA カードの設定に従う	P135
	5 暗証番号変更		0000	P135
	6 プライバシーモード設定		電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、i モーション、スケジュール、i アプリ：表示する 自動起動：OFF	P143
	7 スキャン機能			
		1 パターンデータ更新	――	P508

メニュー			お買い上げ時	参照先
3 セキュリティ／ロック				
	7 スキャン機能			
		2 スキャン機能設定	有効	P508
		3 バージョン表示	――	P510
4 情報表示／リセット				
	1 通話時間		――	P403
	2 設定状況確認		――	P411
	3 電池レベル表示		――	P40
	4 通話料金			
		1 通話料金表示	――	P403
		2 通話料金上限通知	OFF	P404
		3 上限通知アイコン消去	――	P405
		4 通話料金自動リセット設定	OFF	P404
	5 各種設定リセット		――	P411
	6 データ一括削除		――	P412
5 時計				
	1 日付時刻設定※3		自動時刻補正：ON オフセット時間：＋、00 時 00 分	P42
	2 自動電源 ON 設定		OFF	P383
	3 自動電源 OFF 設定		OFF	P383
	4 時計表示設定		待受時計：デジタル 1／大きく表示／上／バイリンガルに従う 形式：24 時間表示	P130
	5 アラーム自動電源 ON 設定		OFF	P386
6 発着信機能				
	1 電話発信設定		標準画像	P122
	2 電話着信設定		着信音：メロディ／パターン 1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／オーシャン	P62
	3 発番号なし動作設定		すべて設定解除	P147
	4 イヤホン機能設定			
		1 イヤホン切替設定	イヤホン + スピーカー	P410
		2 オート着信機能設定	OFF	P410
		3 イヤホンスイッチ発信設定	OFF	P409
	5 メモリ別着信拒否／許可		設定解除	P147
	6 メモリ登録外着信拒否		OFF	P149
	7 応答保留ガイダンス設定		内蔵音	P65

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 発着信機能		
8 エニーキーアンサー設定	ON	P58
9 優先通信モード設定	設定なし	P63
7 通話機能		
1 ノイズキャンセラ設定	ON	P55
2 再接続アラーム設定	アラーム高音	P54
3 通話保留音設定	内蔵音（保留音・ボイス）	P65
4 通話品質アラーム設定	アラーム高音	P114
5 プレフィックス設定	009130010	P53
6 国際ダイヤル自動付加	自動付加	P53
7 サブアドレス設定	ON	P54
8 通話中クローズ設定	通話継続	P58
9 着信中オープン応答	OFF	P58
8 テレビ電話		
1 テレビ電話発信設定	標準画像	P122
2 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／電話・メロディ A イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：点滅／オーシャン	P62
3 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準）	P87
4 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像：標準画像	P83
5 テレビ電話使用機器設定	本体	P88
6 テレビ電話切替機能通知		
1 切替機能通知開始	開始	P88
2 切替機能通知停止	―――――	P88
3 切替機能通知設定確認	―――――	P88
9 文字入力／その他		
1 単語登録	―――――	P466
2 定型文登録	―――――	P465
3 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P468
4 セルフモード設定	OFF	P141
5 NW 検索方法	ネットワーク自動検索	P411

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 文字入力／その他		
6 ソフトウェア更新	―――――	P503
7 スライド編集設定	すべて ON	P382

9 NW サービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
1 留守番サービス開始	―――――	P417
2 留守番呼出時間設定	―――――	P417
3 留守番サービス停止	―――――	P417
4 留守番設定確認	―――――	P417
5 留守番メッセージ再生	―――――	P417
6 留守番サービス設定	―――――	P417
7 メッセージ問合せ	―――――	P417
2 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ:パターン1	P417
3 着信通知		
1 着信通知開始	―――――	P418
2 着信通知停止	―――――	P418
3 着信通知設定確認	―――――	P418
4 表示消去	―――――	P418
2 キャッチホン		
1 キャッチホン開始	―――――	P418
2 キャッチホン停止	―――――	P418
3 キャッチホン設定確認	―――――	P418
3 転送でんわ		
1 転送サービス開始	―――――	P420
2 転送サービス停止	―――――	P420
3 転送先変更	―――――	P420
4 転送先通話中時設定	―――――	P420
5 転送サービス設定確認	―――――	P420
4 迷惑電話ストップ		
1 迷惑電話着信拒否登録	―――――	P421
2 迷惑電話全登録削除	―――――	P421
3 迷惑電話 1 登録削除	―――――	P421
5 発信者番号通知		
1 発信者番号通知設定	―――――	P44
2 発信者番号通知確認	―――――	P44
6 番号通知お願いサービス		
1 番号通知開始	―――――	P421
2 番号通知停止	―――――	P421
3 番号通知確認	―――――	P422
7 通話中着信設定		
1 通話中着信設定開始	―――――	P424
2 通話中着信設定停止	―――――	P424
3 通話中着信設定確認	―――――	P424
8 通話中着信動作選択	通常着信	P423
9 その他の NW サービス		
1 USSD 登録	―――――	P424
2 応答メッセージ登録	―――――	P425
3 遠隔操作設定		
1 遠隔操作開始	―――――	P424
2 遠隔操作停止	―――――	P424
3 遠隔操作設定確認	―――――	P424

つづく

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 その他の NW サービス		
4 英語ガイダンス		
1 ガイダンス設定	――――	P422
2 ガイダンス設定確認	――――	P423
5 デュアルネットワーク		
1 デュアルネットワーク切替	――――	P422
2 デュアルネットワーク状態確認	――――	P422
6 サービスダイヤル		
1 ドコモ故障問合せ	――――	P423

メニュー	お買い上げ時	参照先
9 その他の NW サービス		
6 サービスダイヤル		
2 ドコモ総合案内・受付	――――	P423
7 マルチナンバー		P424
8 規制　※本端末ではご利用になれません。		

0 自局番号

メニュー	お買い上げ時	参照先
自局番号	FOMA カードの設定に従う	P44 P400

※ 1：各種設定リセットを行うと、FOMA カードの設定は次のようになります。

- 送信文字種：日本語
- 送達通知：要求しない
- 有効期間：3 日
- SMSC：ドコモ
- アドレス：81903101652
- Type of Number：international

※ 2：各種設定リセットを行うと、FOMA カードに保存されている証明書はすべて有効になります。
※ 3：各種設定リセットを行っても、日付と時刻は保持されます。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※ 1	カナモード（全角／半角）※ 1	英字モード（全角／半角）※ 1	数字モード（全角／半角）※ 3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. / @ ￣※2 ―：＿ [¥] ^ ` { | } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	! ” # $ % & ’ ( ) ＊ ＋ , ; ＜ ＝ ＞ ? □ 0	0 ＋※ 4
＊	゛ ゜	゛ ゜	半角の場合のみ次の文字列が入力可 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※ 4
# ※ 5	改行	改行	改行	改行 # T※ 4
✉	1 文字戻る	1 文字戻る	1 文字戻る	
A/a	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	大文字と小文字の切り替え	

□：空白を示します。　　：文字入力後に A/a を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※ 1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※ 2：半角の英字モードは「˜」で入力されます。
※ 3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※ 4：該当するキーを 1 秒以上押すと入力できます。
※ 5：入力欄によっては改行できない場合があります。

入力バーの文字割り当て一覧（スロットル入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえおぁぃぅぇぉ１
	か	かきくけこ ２
	さ	さしすせそ ３
	た	たちつてとっ ４
	な	なにぬねの ５
	゛゜	゛゜
下段	は	はひふへほ ６
	ま	まみむめも ７
	や	やゆよ ゃゅょ ８
	ら	らりるれろ ９
	わ	わをんー 、。？！「」□ ０
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣□ 0
	↵	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	./@~－:_[¥]^`{|}1
	A	ABCabc2
	D	DEFdef3
	G	GHIghi4
	J	JKLjkl5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	MNOmno6
	P	PQRSpqrs7
	T	TUVtuv8
	W	WXYZwxyz9
	!	!"#$%&'()*+,; <=>?□0
	↵	改行

□：ひらがな／漢字モードでは全角の空白、カナモード、英数字モードでは半角の空白を示します。
※ひらがな／漢字モードでは、「゛」と「゜」は［ボタン］を押すたびに切り替わります。
※数字は半角で表示されます。

定型文一覧

• 顔文字 1（72 件）

(^-^)	m(__)m	(^^;)	(^^)v	(;_;)
o(^o^)o	＼(^O^)／	(^o^)／	d=(^o^)=b	(*^_^*)
(^^ゞ	(^。^;)	σ(^_^;	(ToT)	(^^)/~~
(ToT)/~~	(>_<)	(*_*)	(+_+)	(@_@)
(?_?)	(=_=)	(^_-)	(^∧^)	(-_-;)
w(°o°)w	(^3^)/～☆	(☆o☆)	(-_-)zzz	☆彡
(^ワ^)	v(^o^)	(^◇^)	(^-^)/	o(^-^)o
(^ー°)b	(^_-)-☆	(｡･_･｡)/	(･_･ゞ-☆	～(m~-~)m
＼(~o~)／	(#￣3￣)	(￣(エ)￣)	(^-^)_旦~	ヽ(´▽`)/
＼(*^▽^*)/	～(￣▽￣～)	^ー^)人(^ー^	ε=┌(･_･)┘	(^▽^)σ)~O~)
(~▽~@)♪♪♪	ヾ(￣◇￣)ノ))	ε=ヾ(*~▽~)ノ	(^_^;	(._.)
(･_･､	(~∧~;)	(°～°)	(>_<")	(-｡-)
(-_-#)	(-_-)	_(._.)_	(´□`)	(´ー`)
(´ヿ`)	(´ω`)	(･_･?)	(･｡ ･)	o(T□T)o
Σ(￣□￣;)	･°･(>_<)･°･			

• 顔文字 2（28 件）

_･)ｿｫｰｯ	('-'*)ｴﾍ	(-_☆)ｷﾗﾘ	(･_*)＼ﾍﾟﾁ
(^-^ゝ了解	[壁]_-) ﾁﾗｯ	(~ー~) ﾍｴ～	(;ヿ_ヿ)ｱﾔｼｲ
(-_ゞｺﾞｼｺﾞｼ	(；-_-)=3 ﾌｩ	{{(>_<)}}ｻﾑｲ	Σ(°ﾛ°;)ﾅﾆｰ!!
(°▽^)] ﾓｼﾓｼ	ヾ(*'-'*)ﾏﾀﾈｰ	(≧▽≦)/ ﾊﾊﾊ	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ♪
(･_･)ノ~ ° ﾎﾟｲ	ﾁｶﾞｰｳ(-_-)ノノ	o(^-^)○☆ﾊﾟﾝﾁ	d (>◇<) ｱｳﾄ！
__(-_-)__ｾｰﾌ！	(>_<)(>_<)ｲﾔｰ	＼(o￣▽￣o)ﾊｰｲ	(~-~;)ヾ(-_-;)ｵｲ
(￣～￣) ﾓｸﾞﾓｸﾞ	<("0")> ﾅﾝﾃｺｯﾀ!	凸ヽ(^-^) ﾀｲｺﾊﾞﾝ	(･_･､ヾ(^-^)ﾖｼﾖｼ

付録

つづく

・一般（20 件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○の写真です。

・遊び（20 件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

・ビジネス（20 件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急 TEL 下さい。
予定変更！ TEL 下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX 確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

・応答（20 件）

Thank you!	Good!	OK です。	NG です。
いいよ。	行きます。	了解。	ダメ！
ごめんネ･･･	スミマセン、無理です。	本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。	お疲れさま。	反対。
賛成。	待ってました！	それは残念。	写真届きました。

・その他（20 件）

またねー！	今どこ？	お誕生日おめでとう。	おめでとう。
まじでー！？	まかせなさい！！	キャンセル。	いってきます。
頑張って！	ありがとう！	www.	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.ac.jp	.net
.com	.org	.html	http://

・絵文字ことば（20 件）

絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例
	ハロー！/またね		ごきげん		ピース
	るんるん		落ち込む		どうしよう
	ぷんぷん		怒ってるぞ		メロメロ
	パニック		寝ます		チュッ！
	ラブラブ		ダッシュ		えっ何？
	写真を撮る		がんばれ！		独りぼっち
	カラオケ		サッカー		

※意味例を入力しても絵文字ことばは表示できません。

・ユーザ作成（最大 50 件）
登録した定型文が表示されます。

記号・絵文字一覧

■ 記号一覧

半角

□ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ

全角

□、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“
”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄
¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒
⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ
ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД
ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк
лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳
┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ
ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹
㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

□：半角／全角の空白を示します。
※実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

■ 絵文字一覧

絵文字1

絵文字2

おしらせ

●絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
●絵文字 2 を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

特殊記号入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。

読　み	入力文字
あーる	㌃ Ｒ ｒ
あい	Ｉ ｉ
あるふぁ	α Α
あんだーばー	＿
あんど	＆
いー	Ε ε
いーた	Η η
いこーる	＝
いおた	Ι ι
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
えっくす	Ｘ ｘ
えっち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えす	Ｓ ｓ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おー	Ｏ ｏ
おう	Ｏ ｏ
おす	♂
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かっこ	（）「」［］｛｝〔〕〈〉《》『』【】
かっぱ	Κ κ
かい	Χ χ
かける	×
かぶ	㈱
かぶしきがいしゃ	㈱ KK
から	〜
かろりー	㌍
がんま	γ Γ
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きごう	＜〈〉〉＠ ＠／/〃± 々×≠÷≦ ≧∴§＼∞ ∧∈∨￢∋ ∀⊆⊇∃∠ ⊂⊥⊃⌒∪ ∩∂⊿∇∑ ≡∮≪〟 〝≫∟√∞ ∝∵∫∬Å ‰†‡¶
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ
くさい	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
けー	Ｋ ｋ
けい	Ｋ ｋ
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
ご	⑤ Ⅴ
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しゃーぷ	＃
しょうわ	㍼
しー	ｃ
しーしー	㏄
しーた	θ Θ
しかく	□◆◇■
しぐま	Σ σ
しち	⑦ Ⅶ
しめ	〆
じぇー	Ｊ ｊ
じぇい	Ｊ ｊ
じゅう	⑩ Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
じー	Ｇ ｇ
すらっしゅ	／＼/
せくしょん	§
せみころん	；
せんち	㎝ ㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	㌣ ¢
ぜーた	Ζ ζ
ぜっと	Ｚ ｚ
たいしょう	㍽
たう	Τ τ
たす	＋
だい	㈹
だいひょう	㈹
だぶりゅ	Ｗ ｗ
だぶりゅー	Ｗ ｗ
てぃー	Ｔ ｔ
てん	…‥、’” ‘“｀´¨ ヽヾゝゞ ｀,„ 、
てんてん	‥ …
でぃー	Ｄ ｄ
でるた	Δ δ
でんわ	℡
とん	㌧
どう	仝々〃
どしー	℃
どる	㌦ ＄
なな	⑦ Ⅶ
なみ	〜
なんばー	№
に	② Ⅱ
にゅー	Ν ν
にじゅう	⑳
のま	々

読　み	入力文字
はいふん	‐
はち	⑧ Ⅷ
はてな	？
ぱい	Π π
ばつ	×
ぱーせんと	％ ㌫
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びー	Ｂ ｂ
ぴー	Ｐ ｐ
ふぁい	Φ φ
ふらっと	♭
ぶい	Ｖ ｖ
ぷさい	Ψ ψ
ぷらす	＋
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡

読　み	入力文字
へくたーる	㌶
べーた	β Β
ぺーじ	㌻
ほし	☆★
まいなす	－
まる	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ 。○●◎
みゅー	Μ μ
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
めーとる	㍍

読　み	入力文字
めいじ	㍾
めす	♀
やじるし	→←↑↓ ⇒⇔
ゆー	Ｕ ｕ
ゆう	㈲
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆぷしろん	υ Υ
よん	④ Ⅳ
らむだ	λ Λ
りっとる	㍑
ろー	Ｐ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わっと	㍗
わい	Ｙ ｙ
わる	÷

※実際の表示と見えかたが異なるものがあります。
※入力文字の中には、半角文字しか存在しないもの、全角文字しか存在しないもの、全角文字と半角文字の両方が存在するものがあります。

絵文字入力変換表

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換してください。

• 次の絵文字以外は漢字入力モードで変換して入力できません。入力方法☛P463

入　力	変　換
えもじ	[illegible] zzz ！ ⁉ ‼ [illegible]

付録

区点コード一覧

• 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

付録

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

付録

つづく

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

発生・実行する処理 / 現在の状態	音声電話		テレビ電話		iモード	iモードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話通話中	①	②	×	×※6	○	○	○※1
テレビ電話通話中	×	×※6	×	×※6	×	×	×
iモード中	○	○	○※4	×※7	×	○	○
iモードメール送受信中	○	○	○※4	×※7	○	○※5	○※5
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○※5	○※5
64Kデータ通信中	×	③	×	×※6	×	×	×
パケット通信中	○	○	×	×※7	×	×	×
データ転送中（赤外線通信／USB接続）	×	×	×	×	×	×	×
iアプリ動作中	○※2	○※2	○※2	○※2	×	○	○
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中)	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	×	○	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※7	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理 / 現在の状態	SMS		64Kデータ通信		パケット通信		データ転送（赤外線通信）	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○※1	×	×※6	○	○	×	×
テレビ電話通話中	×	×	×	×※6	×	×	×	×
iモード中	○	○	×	×※7	×	×	×	×
iモードメール送受信中	○※5	○※5	×	×※7	×	×	×	×
SMS送受信中	○※5	○※5	○	○	○※3	○※3	×	×
64Kデータ通信中	×	○※1	×	×※6	×	×	×	×
パケット通信中	○※8	○※1	×	×※7	×	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	×	×	×	×	×	×	×
iアプリ動作中	○	○	○	○	○	○	○※9	×
miniSDメモリーカード起動中(コピー・初期化処理中)	×	×	×	×	×	×	×	×
miniSDメモリーカード起動中（コピー・初期化処理中以外）	○	○	○	○	○	○	○	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×※7	×	×	×	×
miniSDモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×

付録

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：新たに通信を実行できません。
①：キャッチホンをご契約の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。
②：キャッチホンをご契約の場合、通話中にかかってきた電話を受けられます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。
③：同時にはご利用いただけません。キャッチホンをご契約の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。また、留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約の場合は各サービスで対応できます。
※1：着信音は鳴りません。
※2：ｉアプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉアプリでｉモード通信中の場合は次のようになります。
- テレビ電話をかけると、ｉモード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。

※3：SMS送信中は発着信はできません。
※4：ｉモード通信中の場合は、ｉモード通信が切断されます。
※5：送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできないことがあります。
※6：キャッチホンをご契約の場合、着信履歴には不在着信として残ります。
※7：キャッチホンのご契約に関わらず着信履歴に不在着信として残ります。
※8：電話帳からSMSを作成・送信できます。
※9：ｉアプリがICカードにアクセス中は実行できません。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ 新規起動メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1iモード問合せ	1メール 6問合せ 2SMS問合せ	1メール 6問合せ 3メール選択受信	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2FOMAカード(UIM)受信SMS	1メール 7SMS 3FOMAカード(UIM)送信SMS	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 4画面メモ	2iモード 5ラストURL	2iモード 6iモード問合せ	2iモード 7メッセージ 1メッセージR	2iモード 7メッセージ 2メッセージF
電話／ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
64Kデータ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
iモードメール問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
画面メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）／メロディ／マイピクチャ／キャラ電／マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／メモ帳／スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
SMS受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
PPPデータ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○
PIMロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目 ＼ 実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4 電話帳・履歴 2 着信履歴	4 電話帳・履歴 3 リダイヤル	4 電話帳・履歴 4 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	4 電話帳・履歴 4 伝言メモ・音声メモ 2 音声メモ録音	4 電話帳・履歴 4 伝言メモ・音声メモ 3 音声メモ一覧	4 電話帳・履歴 5 自局番号	5 データBOX 1 マイピクチャ	5 データBOX 2 iモーション	5 データBOX 3 メロディ	5 データBOX 4 キャラ電	5 データBOX 5 マイドキュメント	6 ツール 1 カメラ	6 ツール 2 ビデオカメラ	6 ツール 3 サウンドレコーダー	6 ツール 4 バーコードリーダー	7 ステーショナリー 1 スケジュール帳	7 ステーショナリー 2 メモ帳	7 ステーショナリー 3 電卓	0 自局番号
電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
64Kデータ通信	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／SMS作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージリクエスト／メッセージフリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモードメール／SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iMenu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL入力／Internet URL履歴／Bookmark／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
iモーション（動画／音楽再生）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
マイドキュメント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
バーコードリーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
着信履歴／リダイヤル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモードメール／SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PPPデータ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
miniSDメモリーカード	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
FOMAカード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PINロック解除10回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中／ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIMロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
FOMAカード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

FOMA 端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前 8 時〜午後 10 時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋ 177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

おしらせ

● コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と 1 回の通話ごとの取扱手数料 90 円（税込 94.5 円）がかかります（2005 年 5 月現在）。

● 番号案内（104）をご利用の際には、案内料 100 円（税込 105 円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から 116 番（NTT 営業窓口）までお問い合わせください（2005 年 5 月現在）。

● FOMA 端末から 110 番・119 番・118 番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず 10 分程度は着信のできる状態にしておいてください。

● おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。

● 一般電話の「転送電話」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。

● 116 番（NTT 営業窓口）、ダイヤル Q^2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話から FOMA 端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック　D04
・卓上ホルダ　D04
・FOMA 海外兼用 AC アダプタ　01
・車内ホルダ　D03
・平型ステレオイヤホンセット　P01
・スイッチ付イヤホンマイク　P001※／P002※
・イヤホンターミナル　P001※
・FOMA 室内用補助アンテナ
・リアカバー　D04
・FOMA AC アダプタ　01
・FOMA DC アダプタ　01
・平型スイッチ付イヤホンマイク　P01／P02
・イヤホンジャック変換アダプタ　P001
・ステレオイヤホンセット　P001※
・FOMA USB 接続ケーブル

※：イヤホンジャック変換アダプタ　P001 が必要です。

付録

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

データリンクソフトのご紹介

「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」を使って、ブックマークなどのデータを、FOMA 端末と接続したパソコンとの間で転送できます。「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」は、添付の CD-ROM に収録されている他、以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d901is/

●データリンクソフトのインストールについては、添付の CD-ROM の「DataLink」フォルダ内の「README_DL.TXT」をご覧ください。
●ダウンロード方法、転送可能データ、操作方法、動作環境など詳細については、上記ホームページ、または、データリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- パソコンとの接続には、FOMA USB 接続ケーブル（別売）が必要です。
- FOMA 端末にダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでも FOMA 端末から外に転送できません。また、FOMA 端末から外への出力が禁止されているデータも転送できません。

対応 OS

Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition
※上記 OS が動作する PC/AT 互換機

ご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は三菱電機株式会社に帰属します。
- 免責事項について
  三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター　03-5319-3762
受付時間：平日 9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

動画データを外部機器から取り込んで FOMA 端末で再生する　動画再生

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4 ファイル、ASF ファイル）を miniSD メモリーカードに保存することで、FOMA 端末で再生できます。

- miniSDメモリーカード内の動画を再生する☛P350
- 再生可能な MP4 ファイル☛P155
- 再生可能な ASF ファイルは次のとおりです。

ファイル形式	SD-Video(ASF)
符号化方式	映像：MPEG-4 音声：G.726

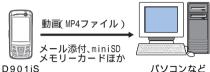
※ ASF ファイルの中にも再生できないものがあります。

付録

つづく

・miniSD メモリーカード内の動画を再生するには、付属のデータリンクソフトなどを使って、決められたフォルダに動画データを保存する必要があります。miniSD メモリーカードのフォルダ構成☛P344
・保存した動画が表示されない場合は miniSD メモリーカードの情報更新を行ってください。☛P353

FOMA 端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画(MP4ファイル)をminiSDメモリーカードやメール添付などで転送し、パソコンで再生できます。
・FOMA 端末で撮影した動画ファイルの形式 ☛P155

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画(MP4 ファイル)を再生するには、アップルコンピュータ株式会社の QuickTime Player(無料)ver.6.4 以上(または ver.6.3 + 3GPP)が必要です。
QuickTime Player は以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
・ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
・動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記ホームページをご覧ください。

音楽データをパソコンから取り込んで FOMA 端末で再生する 音楽再生

インターネットで購入した楽曲や CD の楽曲などを、パソコンなどを利用して miniSD メモリーカードに保存し、FOMA 端末で再生できます。
・ここでは、市販のソフトウェアと付属のデータリンクソフトを使って、楽曲ファイルを miniSD メモリーカードに保存し、再生する方法について説明します。音楽再生には以下が必要です。
　・miniSD メモリーカード
　miniSD メモリーカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
　miniSD メモリーカードの対応状況や取り扱い、使用時の注意事項などについては「miniSD メモリーカードについて」を参照してください。☛P342
　初期化されていない miniSD メモリーカードは、FOMA 端末で初期化してから使用してください。☛P352
　・FOMA USB 接続ケーブル(別売)
　miniSD モードを利用して FOMA 端末とパソコンを接続する場合に必要です(miniSD モードに対応している OS は Windows XP、Windows 2000 のみです)。パソコンで miniSD メモリーカードを利用可能な場合は不要です。
　・FOMA D シリーズ　データリンクソフト
　添付の CD-ROM に収録されています。パソコンにインストールしてください。詳細については、「データリンクソフトのご紹介」を参照してください。☛P489
　・CD の楽曲などを AAC 形式に変換できる市販のソフトウェア
　パソコンにインストールしてください。ソフトウェアの使用方法など詳細については、ソフトウェア提供各社のホームページなどでご確認ください。
・FOMA 端末では、著作権保護技術で保護された音楽データは再生できません。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認の上、ご利用ください。
- miniSD メモリーカード内に保存した楽曲は、個人使用の範囲内でのみ使用することができます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- miniSD メモリーカード内に保存した楽曲は、パソコンなど他の媒体に複製または移し替えをしないでください。
- CCCD（コピーコントロール CD）の取り扱いや、音楽データを AAC 形式に変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- miniSD メモリーカード内に保存した楽曲ファイルは、FOMA 端末では動画／ｉモーションとして再生します。

1 お客様が購入した CD の楽曲などを、市販のソフトウェアなどを利用して AAC 形式のファイルに変換し、パソコンに保存する

- データリンクソフトに動画／ｉモーションとして取り込めるファイルの拡張子は、「mp4」「m4a」「3gp」です（ただし、「m4a」はデータリンクソフトに取り込むと「mp4」に変更されます）。

2 FOMA 端末に miniSD メモリーカードを挿入する

- パソコンで miniSD メモリーカードを利用可能な場合は、miniSD メモリーカードをパソコンまたはリーダー／ライターなどに挿入し、以降の操作 4 ～ 11 を行います。

3 FOMA 端末で USB モード設定を「miniSD モード」に切り替え、パソコンと FOMA 端末を FOMA USB 接続ケーブルで接続する ☛P430

4 データリンクソフトを起動し、（マルチメディアデータ）をクリックする

マルチメディアデータの画面が表示されます。

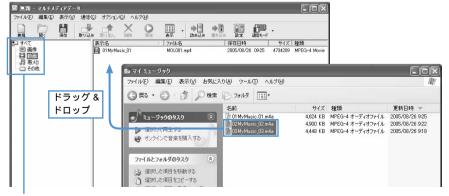
5 データリンクソフトの設定を行う

① ツールバーの 通信モード の▼をクリックして「メモリーカードリーダー／ライターを使用」を選択する
② ツールバーの 設定 をクリックして「機種設定」を「D901iS」にする

6 フォルダ一覧から 動画 を選択し、操作 1 で保存した楽曲ファイルをデータリンクソフトの動画ファイル一覧にドラッグ&ドロップする

ファイル名が変換されて、楽曲ファイルがデータリンクソフトに取り込まれます。

- ファイル名は「MOLzzz.mp4」に変換されます（「zzz」は 001 ～ FFF までの 16 進数）。
- 表示名またはファイル名に登録できない文字が含まれている場合、登録できる名称に変換するかどうかの確認画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

付録

7 変換されたファイル名を確認して［OK］をクリックする

8 楽曲ファイルを選択してツールバーの 書き込み をクリックする

- 楽曲ファイルは複数選択できます。

9 確認画面の内容を確認して［OK］をクリックする

10 miniSD メモリーカードのドライブを選択して［OK］をクリックする

miniSD メモリーカードに楽曲ファイルが保存されます。完了すると確認画面が表示されます。

- miniSD メモリーカードはリムーバブルディスクとして認識されます。
- 保存するファイルの件数によっては、保存に時間がかかる場合があります。
- 楽曲ファイルは「SD_VIDEO」フォルダ内の「PRL001」フォルダに動画／ｉモーションとして保存されます。すでに動画／ｉモーションが保存されている場合は、最も小さい空き番号がファイル名に自動的に割り当てられます。

11 内容を確認して［OK］をクリックする

12 パソコン操作でハードウェアの取り外しを行い、FOMA USB 接続ケーブルを外す

- FOMA 端末で USB モード設定を「通信モード」に切り替えてください。

おしらせ

● 保存した楽曲ファイルが miniSD メモリーカードで表示されない場合があります。この場合は miniSD メモリーカードの情報更新を行ってください。ただし、miniSD メモリーカードの情報更新をすると、楽曲ファイルの表示名は、タイトルまたはファイル名（MOLzzz（「zzz」は 001 ～ FFF までの 16 進数））に変更されますのでご注意ください。

miniSD メモリーカード内の楽曲ファイルを FOMA 端末で再生する

miniSD メモリーカードに保存した楽曲ファイルを動画／ｉモーションとして再生します。FOMA 端末に miniSD メモリーカードを取り付けた状態で操作します。

1 Menu 6 6 1 3 を押す

2 楽曲ファイルを保存したフォルダ（PRL001）を選択し、再生する楽曲ファイルを選択する

- 再生中の操作 ☛P326「動画／ｉモーションを再生する」操作 4
- フォルダ内のデータ一覧で Menu 6 を押すと、フォルダ内の楽曲ファイルを連続して再生できます。最後の楽曲ファイルを再生すると、先頭の楽曲ファイルに戻って再生されます。連続再生中の操作 ☛P351「動画／ｉモーションを連続再生するとき」

おしらせ

● 次の場合は再生が停止します。

- 音声電話／テレビ電話の着信があったとき
- アラーム設定やスケジュールで指定した日時になったとき
- メールを受信したとき
- 他の機能に切り替えたとき

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

故障かな？と思ったら、まずチェック

・まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☛P503

電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P37
- 電池切れになっていませんか。☛P40
- デュアルネットワークサービスで mova 端末が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●充電できない
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P37
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- AC アダプタ（別売）のコネクタが FOMA 端末の外部接続端子や卓上ホルダ（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P39
- 卓上ホルダ（別売）に FOMA 端末が正しく取り付けられていますか。☛P39

●充電中に着信ランプが赤く点滅する

通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末から別売りの AC アダプタ（卓上ホルダ）や DC アダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電してください。☛P39、P40
以上の操作をしても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラーム音が出ている

電池が少なくなっています。充電してください。
☛P38

電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

- 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
- 110 番、119 番、118 番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●ダイヤルキーを押しても発信できない
- オールロックを設定していませんか。☛P139
- 遠隔ロックを設定していませんか。☛P139
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P143
- セルフモードを設定していませんか。☛P141

●ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る

サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。☛P42

●電話をかけたが話中音（ツーツー）が出てつながらない
- 市外局番を忘れていませんか。☛P46
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P42

●着信音が鳴らない
- 着信音量を「消音」に設定していませんか。☛P61
- 次の機能を設定していませんか。
  - ・メモリ別着信拒否／許可 ☛P146
  - ・発番号なし動作設定 ☛P147
  - ・呼出動作開始時間設定 ☛P148
  - ・メモリ登録外着信拒否 ☛P149
- マナーモードに設定していませんか。☛P114
- ドライブモードに設定していませんか。☛P66
- オールロックを設定していませんか。☛P139
- セルフモードに設定していませんか。☛P141
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していませんか。☛P417、P420

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない

エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。☛P58

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P61

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P143
- PIM ロックを設定していませんか。☛P142

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る
- 複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③音の設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

●電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される
- 電話着信設定の着信音に音と映像のある動画／iモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／ｉモーションになります。
- 複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

●電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターン、イルミネーションカラーで着信ランプが動作する
- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③イルミネーション設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない

各種ロック機能や FOMA カード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

●キー確認音が鳴らない
- キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。☛P113
- マナーモードに設定していませんか。☛P114

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があるときに表示されます。FOMA カードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P34

●ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P34

●ディスプレイに「オールロック中」と表示されている

オールロック中です。解除してください。☛P139

●ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない

遠隔ロック中です。解除してください。☛P139

●ディスプレイに何も表示されていない

照明設定で点灯時間を「常時」以外に設定していませんか。何も操作せずに約 90 秒が経過すると画面の表示が消えます。通話中は、情報表示行に《♪》が表示されます。また、情報表示行設定でパーシャル時表示を「OFF」に設定しているときは、情報表示行の表示も消えます。☛P124、P131
キー操作をすると再び表示されます。

●ディスプレイに 🔑 が表示されている

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P145

●キーを押しても操作できない

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P145

●日付が英語で表示される
- バイリンガル設定で英語表示を設定していませんか。☛P131
- 時計表示設定で「英語」に設定していませんか。☛P130

●ディスプレイが暗い

照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。☛P124

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない

照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。☛P124

●自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない

電源を切る操作や自動電源 OFF 機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、自動電源 ON の機能は動作しません。

●アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない
- 電源を切る操作や自動電源 OFF 機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。☛P386

●通話料金が積算されなくなった

通話料金の FOMA カードへの積算が上限（約 1677 万円）に達した可能性があります。リセットすることにより 0 円に戻せます。☛P403

メール・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

近くの被写体を撮影するときは、オートフォーカスを利用するか、接写モードに切り替えてください。☛P159、P167

●ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない

FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。☛P35

●メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る
- 複数の機能でメール着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③音の設定／メール着信設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

●メール受信時に、電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない
- 相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。☛P90
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

●**メール受信時に、設定していないメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーで着信ランプが動作する**

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳グループ別の設定
  ③イルミネーション設定／メール着信設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、メール着信イルミネーションパターンとメール着信イルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーを設定していますか。
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P143

●**静止画や動画が や で表示される**

データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

●**キーを押したときの画面の反応が遅い**

FOMA 端末と miniSD メモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときに、FOMA 端末の画面の反応が遅くなることがあります。

その他

●**ICカード機能が使えない**

電池パックが正しく取り付けられていないか、電池パックが取り外されていると、IC カードロックが設定され、IC カード機能が使えなくなります。電池パックが正しく取り付けられているかを確認し、電源を入れ直してください。☛P37

こんな表示が出たら

エラーメッセージ一覧

FOMA 端末に表示される主なエラーメッセージを 50 音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

英字

●**FOMAカード（UIM）がいっぱいです**

FOMA カードの保存領域が不足しているため SMS を保存できません。FOMA カード内の SMS を削除するか、FOMA 端末に移動してください。☛P279、P278

●**FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません**

サイトやインターネットホームページからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージ R/F を保存したときとは異なる FOMA カードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMA カードを挿入して利用してください。

●**FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMA カードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMA カードを挿入して利用してください。

●**FOMA カード（UIM）が挿入されていないためご利用できません**

FOMA カードが挿入されていません。FOMA カードを挿入して利用してください。☛P34

●**FOMA カード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMA カードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMA カードを挿入して利用してください。

●**IC カード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか?**

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、IC カード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●**IC カード内データにエラーがあるため削除できません**

IC カード内のデータにエラーがあるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

●**IC カード内のデータがいっぱいのためダウンロードできません。いずれかのソフトを削除して最初からダウンロードしてください**

IC カード内のデータがいっぱいのためおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードできません。IC カード内のデータも一緒に削除するおサイフケータイ対応ｉアプリを削除するか、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してIC カード内の不要なデータを削除してから、ダウンロードし直してください。

●**ｉモーション再生サイズを超えています**

標準タイプのｉモーションのデータ取得時に、データが 500K バイトを超えるため受信を中断しました。

●**ｉモーション再生サイズを超えました**

標準タイプのｉモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが 500K バイトを超えたため受信を中断しました。

●**ｉモーション最大サイズを超えています**

ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時に、データが 2M バイトを超えるため受信を中断しました。

●ｉモーション最大サイズを超えました
ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得中に、データが2Mバイトを超えたため取得が完了しませんでした。

●ｉモードメールがつながりにくくなっています　しばらくお待ち下さい（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●miniSDカードが挿入されていません
miniSDメモリーカードがFOMA端末に取り付けられていないときは、カメラで撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存したり、FOMA端末に保存されているデータをminiSDメモリーカードにコピー／移動できません。miniSDメモリーカードを取り付けてから保存、コピー／移動してください。☛P346

●miniSDカードの保存件数がいっぱいです。保存先を本体に変更します
カメラの静止画設定および動画／録音設定の保存先を「miniSDカード」に設定しているときにminiSDメモリーカードの保存件数がいっぱいになると、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●miniSDカードの保存領域がいっぱいです
miniSDメモリーカードの保存領域がいっぱいのため、データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P350、P351

●miniSDカードへの保存はできません。保存先を本体に変更します
ダウンロードしたキャラ電の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されている場合、そのキャラ電を撮影した静止画／動画はminiSDメモリーカードに保存できません。また、撮影後ファイル制限の設定は変更できません。☛P357

●PIMロック中です
PIMロック中は、禁止されている操作はできません。

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください
SMS設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。☛P275

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのため中断しました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P209

●SSL通信を切断しました
SSL通信中にサイトの証明書に問題を検出しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。

●URLが正しくありません
入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●URLが長すぎて登録できません
URLが長すぎるためブックマークまたは画面メモに登録できません。

ア

●宛先をご確認ください
SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいか確認してください。

●アドレスが登録されていません
選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。☛P261

●アドレスをご確認ください
メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）
いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。[キー]を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

●移動できませんでした
データの複数移動または全件移動時、すべてのデータを移動できませんでした。

●エラーが発生したため保存できません
添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がありませんでした。しばらくたってから操作し直してください。

カ

●カード情報を認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P34

●画像に誤りがあり正しく動作しません
サイトなどでFlash画像を再生中にエラーが発生したため、正しく動作しません。

●画像を表示できません
添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）
10000バイトを超える静止画の取得時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です
電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？
ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。☛P308

付録

※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

●**このカードは認識できません**

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P34

●**この画像は保存できません**

サイトや画面メモ、メッセージR/F内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●**このキャラ電は表示できません**

データに不正があるキャラ電は表示できません。

●**この形式のデータは実行できません**

FOMA端末で対応していないファイル形式のデータをminiSDメモリーカードからFOMA端末にコピー／移動したり、検索することはできません。

●**このサイトとのSSL通信は無効です**

サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●**このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？**

サイトの証明書が、FOMA端末が対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？**

サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**

FOMA端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。☛P209
接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P42

●**この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**

サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P209

●**このソフトは現在利用できません**

IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●**このデータは再生できない可能性があります**

FOMA端末が対応していない形式の動画／ｉモーションです。再生できない場合があります。

●**このデータは表示できません**

メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●**このデータは保存できません。取得しますか？**

ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●**このデータを取得するためには時刻設定をしてください**

日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。☛P42

●**コピーできませんでした**

- データBOXのデータの複数コピーまたは全件コピー時、すべてのデータをコピーできませんでした。
- コピーできない形式のPIMデータをコピーしようとしました。

●**これ以上入力できません**

入力可能な最大文字数を超えています。文字数を減らしてください。

サ

●**サービス未契約です**

- ｉモードの契約がされていません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直して下さい。

●**サービス未提供です**

SMS（ショートメッセージ）が未提供です。

●**再生可能日前です。再生できません**

ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。☛P327

●**再生制限データに誤りがあるため、取得できません**

再生制限データが誤っているため取得できません。

●**再生できません**

メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●**最大サイズを超えたので中断しました**

- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。[キー]を押すと正常に受信した部分までを表示します。
- キャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●**最大サイズを超えています。受信できません（452）**

サイトやインターネットホームページのサイズが大きいため、受信できません。

●**最大文字数を超えたため引用できない部分がありました**

返信時に、SMSの本文が70文字（送信種別が英語の場合は160文字）を超えたため、引用できない文字がありました。

●**最大文字数を超えました**

返信時に、ｉモードメールの本文が全角5000文字（半角10000文字）を超えました。文字数を減らして送信してください。

●**サイトが移動しました（301）**

サイトやインターネットホームページのURLが変更されています。正しいURLを確認してください。

●**サイトに接続できませんでした（403）**

指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されました。

●**削除しますか？　IC カード内データも削除されます**

複数削除または全件削除するｉアプリの中に、ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●**指定サイトがみつかりません（404）**

サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。URLが正しいかどうか確認してください。

●**指定サイトに表示データがありません（204）**

指定のサイトにデータがありませんでした。

●**指定先にジャンプできません**
ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URLが256文字を超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●**指定されたソフトがありません**
サイトやメール、外部機器から指定されたｉアプリがFOMA端末に保存されていません。

●**指定されたソフトが起動できませんでした**
ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリTo機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

●**指定したサイトへは接続できませんでした（504）**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**指定したファイルが見つかりません（492）**
10000バイトを超える静止画の取得時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●**しばらくお待ちください**
- 回線がたいへん混み合っています。しばらくたってから送信し直してください。
- ｉモードの利用が現在規制されています。しばらくたってから操作し直してください。

●**受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります**
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。
☛P275

●**受信メールがいっぱいです**
受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉモードメールを受信できません。未読のｉモードメールを読むか、ｉモードメールの保護を解除するか、ｉモードメールを削除してください。

●**受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**受信を拒否されました**
SMSセンターにSMSの受信を拒否されました。

●**情報が正しくないため再生できませんでした**
添付されたメロディや動画／ｉモーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●**署名を付けることができません**
- ｉモードメールの本文と署名の合計文字数が全角5000文字（半角10000文字）を超えるため、署名を添付できません。本文の文字数を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
- SMS設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。☛P275

●**既にメッセージをお預かりしています**
既にSMSは送信済みです。

●**正常に接続できませんでした（400）**
サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URLが間違っている可能性があります。URLが正しいかどうかを確認してください。

●**赤外線　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**
FOMAカードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、指定されているｉアプリを起動できません。

●**赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？**
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま5秒以上経過しました。20cm以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P360

●**赤外線　中断されました**
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P360

●**赤外線　認証接続できませんでした**
認証パスワードが正しくないため、全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。☛P362、P364

●**セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました**
許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●**セキュリティエラーのため、終了しました**
許可されていない操作をしようとしたため、ｉアプリが終了しました。

●**接続が中断されました**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**接続できません**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**接続できませんでした**
テレビ電話発信時に相手が番号通知お願いサービスを設定しているため、接続できません。発信者番号を「通知する」に設定してかけ直してください。

●**接続できませんでした（562）**
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**設定時間内に接続できませんでした**
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●**セルフモード中です**
セルフモード中は禁止されている操作はできません。

●**送信できませんでした**
ｉモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

●**送信できませんでした（552）**
ｉモードセンターまたはSMSセンター側のエラーにより、ｉモードメールまたはSMSの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

 ※miniSDメモリーカードをご利用になるには、別途miniSDメモリーカードが必要となります。☛P342

●**送信できません。宛先を確認してください（451）**
iモードメールまたはSMSが送信できません。宛先が正しいか確認してください。

●**送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**送信を拒否されました**
SMSの送信が拒否されました。

●**そのソフトは最新です**
既に最新のｉアプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●**ソフトに誤りがあります**
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません**
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください**
ICカード内のデータを削除しないと削除できないｉアプリです。ｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ｉアプリを削除してください。

タ

●**対応機種ではありません**
ダウンロードしようとしたｉアプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●**対応していないコンテンツです**
FOMA端末で対応していないコンテンツがコードに含まれている場合は、バーコードリーダーで読み取れません。

●**ダイヤル発信制限中です**
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作はできません。

●**ダウンロードできませんでした**
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●**他の機能が起動中のため起動できません**
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●**チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●**データが不正です**
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または10000バイトを超える静止画のデータにエラーがあります。

●**データまたはminiSDカードが壊れています**
mniSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。miniSDメモリーカードを初期化するか、新しいminiSDメモリーカードを取り付けてください。☛P352、P346

●**データまたはminiSDカードが壊れています。保存先を本体に変更します**
カメラやキャラ電で撮影した静止画や動画の保存先を「miniSDカード」に指定しているときにminiSDメモリーカードにアクセスできない場合、保存先が自動的に「本体」に切り替わります。

●**電話中のため動画撮影・録音はできません**
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音への切り替えはできません。通話を終了してから動画撮影・音声録音に切り替えてください。

●**電話帳に登録されていません**
入力した番号が電話帳に登録されていません。電話帳に登録をしてください。

●**問合せできませんでした**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

ナ

●**長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。[■]を押すと各項目の最大文字数を超えた部分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●**入力データまたはURLが長すぎます**
サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●**入力データをご確認ください（205）**
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●**認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●**認証を中止しました**
「基本認証」の画面で認証を中止したときに表示されます。

ハ

●**バージョン表示できませんでした**
パターンデータのバージョンを確認できません。再度パターンデータを更新してください。☛P508

●**パスワードをご確認ください（401）**
サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●**発信できません**
音声電話中、テレビ電話中、または64Kデータ通信中に音声電話およびテレビ電話の発信はできません。

●**日付時刻が設定されていません。起動できません**
日付・時刻が未設定の場合、ｉアプリDXを起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。☛P42

●ファイルを添付することができません

1 件のメールに添付可能な最大件数を超えました。

●復元できませんでした

復元できない形式のデータを復元しようとしました。

●不正なデータが含まれています

バーコードリーダーで読み取ったデータから i アプリを起動するとき、データに不正がある場合はｉアプリを起動できません。

●不正なデータのため保存できません

ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●保存できないデータです

赤外線通信で受信したデータがFOMA 端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存できません

メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存できませんでした

10000 バイトを超える静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●保存領域がいっぱいで保存できません

FOMA 端末または FOMA カードの保存領域が不足しているため、ｉモードメールまたはSMSを保存できません。SMSをFOMAカードまたはFOMA端末に移動、またはｉモードメールを削除してください。

●本体の保存件数がいっぱいです

FOMA 端末の保存件数がいっぱいのため、miniSD メモリーカードからデータの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、復元ができません。該当する不要なデータを削除してください。

マ

●マイピクチャ／その他の画像／動画／メロディ／ PIM フォルダの保存件数がいっぱいです

miniSD メモリーカードの各フォルダの保存件数がいっぱいのため、各データの複数コピー、複数移動、全件コピー、全件移動、バックアップ、情報更新ができません。不要なデータを削除してください。☛P350、☛P351

●未送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください

赤外線通信の INBOX にデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOX のデータを FOMA 端末に保存するか、削除してください。☛P364

●無効なデータを受信しました（xxx）

- 指定のサイトやインターネットホームページが ｉ モードに対応していません。
- URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。

●メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません

FOMA 端末または FOMA カードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため SMS を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。

●メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります

FOMA 端末または FOMA カードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMS をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから SMS 問合せを行ってください。

●メールデータを参照できませんでした

- 受信メール、未送信メールまたはフォルダを削除するときに、削除対象のメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●メールを表示できません

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●メッセージがいっぱいです

受信メールとメッセージR/Fの保存領域の空きが不足しているためｉモードメールとメッセージR/Fを受信できません。未読の ｉ モードメールとメッセージR/Fを読むか、ｉモードメールとメッセージ R/F の保護を解除するか、ｉモードメールとメッセージR/Fを削除してください。

●メモリ不足です

メモリが不足したため処理を中断します。

●メモリ不足です。メインメニューに戻ります

メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

ヤ

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。☛P209

ラ

●料金情報の読み込みができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P34

●料金情報のリセットができませんでした

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P34

●連続撮影はできません

マイピクチャ内の保存領域・保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトをご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA 端末の修理等を行った場合、i モード・i アプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

■ **調子が悪いときは**

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P493
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ **お問い合わせの結果、修理が必要な場合**

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ **保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ **次の場合は、修理できないことがあります。**

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■ **保証期間が過ぎた場合は**

- ご要望により有償修理いたします。

■ **部品の保有期間は**

- FOMA 端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。
- 詳しくは、添付の『全国サービスステーション一覧』でご確認ください。

つづく

■ **お願い**

- FOMA 端末、FOMA カードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA 端末、FOMA カードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさない FOMA 端末、FOMA カードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の ON ／ OFF 設定などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めにドコモ指定の故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

■ **メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報・IC カード内のデータなどについて**

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本 FOMA 端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります）。

ソフトウェアを更新する

FOMA 端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよび ｉMenu の「お知らせ&ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の 2 種類の方法があります。
  - 即時更新 ：更新したいときすぐに更新を行います。
  - 予約更新 ：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - オールロック中
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - PIN1 コードロック中
  - IC カードロック中
  - 電源が入っていないとき
  - 通話中
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 他の機能を使用しているとき
  - FOMA カードが未挿入のとき
  - PIN1 コード入力中
  - 圏外 が表示されているとき
  - PIM ロック中
  - セルフモード中
  - 遠隔ロック中
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

おしらせ

- 既にソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。
- 接続先設定を ｉ モード以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行えます。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、イメージに動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。
- ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へ SSL 通信を行います。証明書表示／使用設定で SSL 証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P209
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（▥）で実行してください。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが 3 本表示されている状態（Y.ıl）で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていた ｉ モードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
  また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後に ｉ モードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。

● ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。
● ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。
● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

ソフトウェア更新を起動する

1 **待受画面で Menu 8 9 6 を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、注意事項を確認して ● を押す**

・入力した端末暗証番号（4～8桁）は「*」で表示されます。
・お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

3 **● を 2 回押して、ソフトウェア更新が必要かどうかを確認する**

・携帯電話情報の送信確認画面で ● を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **更新が必要ないとき**

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。● を押して FOMA 端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する　即時更新

・サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 **更新方法の選択画面を表示する**

2 「今すぐ更新」を選択して を押す

ダウンロードが開始され、着信ランプが点滅します。

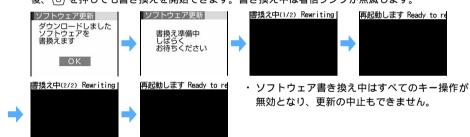
- ダウンロードを中止するときは を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作をしなくても更新処理が実行されます。

■ サーバが混み合っているとき

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。

3 ダウンロード終了後、自動的にソフトウェアを書き換える

ダウンロードが終了すると、ソフトウェアの書き換えが自動的に開始されます。ダウンロード終了後、 を押しても書き換えを開始できます。書き換え中は着信ランプが点滅します。

- ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新の中止もできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動する

再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 を押す

更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する　　予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておけます。

1 更新方法の選択画面を表示する

2 「予約」を選択する

サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

3 希望日時を選択する

■ **表示されている予約候補から選択するとき**

① **希望日時を選択して「はい」を選択する**

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、 を押してページを切り替えられます。

■ **表示されている予約候補以外から選択するとき**

①「**その他の日時」を選択する**

② **希望日を選択する**

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり　△：空きわずか

- 希望日の候補が複数ページあるときは、 を押してページを切り替えます。

③ **希望時間帯を選択する**

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、 を押してページを切り替えられます。
- を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

④ **希望日時を選択して「はい」を選択する**

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、 を押してページを切り替えられます。

4 を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。

- 予約中は、待受画面に が表示されます。

予約を確認・変更・取り消しをする

1 **待受画面で Menu 8 9 6 を押す**

2 **端末暗証番号を入力し、内容を確認する**

・確認を終了するときは「OK」を選択します。

■ **予約を変更するとき**

①**「変更」を選択して を押す**

予約候補の選択画面が表示されます。

・以降の操作は、「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2以降と同じです。☛P506

・携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ **予約を取り消すとき**

①**「取消」を選択して「はい」を選択する**

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② **を2回押す**

予約が取り消され、メニューが表示されます。

・携帯電話情報の送信確認画面で を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

・予約日時になると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。

・ソフトウェア更新を中止する場合は を押し、「はい」を選択します。

おしらせ

● 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。

● PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。

● 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が開始されない場合があります。

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る　スキャン機能

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメールなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

・チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、随時更新してください。

・スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
・パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後 3 年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
・パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する　スキャン機能設定

スキャン機能を「有効」に設定すると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

お買い上げ時　有効

1 待受画面で Menu 8 3 7 2 を押す

2 1 を押して「はい」を選択する

・スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5 段階の警告レベルで表示されます。☛P509
・解除するとき：2 を押して「はい」を選択する

パターンデータを更新する　パターンデータ更新

1 待受画面で Menu 8 3 7 1 を押す

2 「はい」を 2 回選択してパターンデータを更新する

3 [キー] を押す

パターンデータ更新が終了します。
・パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

● パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
● パターンデータ更新中にアラームやスケジュールアラームの設定日時になると、設定日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。
● FOMA 端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

① 警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択する

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が 6 個以上検出された場合は、6 個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル	表示メッセージ	対応方法
警告レベル 0	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 1	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 2	問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 3	問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 4	問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」：検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

おしらせ

- スキャン機能によって i アプリ待受画面に設定している i アプリに問題要素が見つかり、i アプリの起動を中止した場合は、i アプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する　バージョン表示

1 **待受画面で Menu 8 3 7 3 を押す**

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 FOMA D901iS の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機 FOMA D901iS の SAR の値は 0.710W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ	http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ	http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ	http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/products
三菱電機のホームページ	http://www.MitsubishiElectric.co.jp/d901is/

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

かんたん検索／索引／クイックマニュアル

かんたん検索

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

※ miniSD メモリーカードをご利用になるには、別途 miniSD メモリーカードが必要となります。☛P342

メールを使いこなしたい

カメラを使いこなしたい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

●かんたん検索以外での機能などの探しかたについては、表紙裏の「本書の引きかた」をご覧ください。
●よく使う機能の操作方法はクイックマニュアルに記載しています。

索引

かんたん検索／索引／クイックマニュアル

ナ

ハ

マ

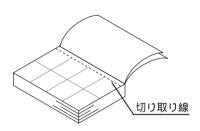
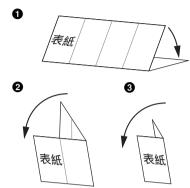
ヤ

ラ

ワ

数字・英字・記号

クイックマニュアル

本誌に綴じ込みされているクイックマニュアルは切り取り線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

切り取り線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。

NTT DoCoMo

FOMA® D901iS クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 151 (無料)
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 113 (無料)
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

■FOMA 端末電話帳の登録

1 待受画面で [Menu][4][2]
2 名前を入力→[□]
3 各項目を設定→[□]
・撮影：[Menu]（静止画）／[A/a]（動画）
撮影方法☛P8
・着信音など他の項目を登録：[○]／[○]
4 メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[●]

■FOMA カード電話帳の登録

1 待受画面で [Menu][4][3]
2 名前を入力→[□]
3 各項目を設定→[□]

■リダイヤルや着信履歴からの登録

1 待受画面で [○] または [○]
2 登録する相手にカーソルを合わせる→[Menu][1]
・登録済みの電話帳データへ追加：[Menu][2]
3 [1]（FOMA 端末電話帳）／[2]（FOMA カード電話帳）
・登録済みの電話帳データへ追加する場合は追加する相手を選択する
4 各項目を設定→[□]
・FOMA カード電話帳の場合は操作 6 に進む
5 メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[●]
6 登録済みの電話帳データへ追加する場合は「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の修正

1 待受画面で [□]
・電話帳の切り替え：[□]
2 修正する相手にカーソルを合わせる→[Menu][3]
3 修正する→[□]
・FOMA カード電話帳の場合は操作 5 に進む
4 メモリ番号（0 ～ 699）を入力→[●]
5 「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の検索

1 待受画面で [Menu][4][1]
・電話帳の切り替え：[□]
2 [1] ～ [7]
・FOMA カード電話帳は [1] ～ [4] を押す

文字の入力

■かな入力方式とスロット入力方式の切り替え

● **文字入力中に切り替える**
[Menu][7][1]

● **待受中に切り替える**
[Menu][8][9][3] →入力方式欄を選択→[1]（かな入力）／[2]（スロット入力）→[□]

■入力モードの切り替え

文字入力中に [文字] を複数回
・[□] を押し、入力モードを選択しても切り替え可能

■文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「企業」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2] を 2 回→[○]（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません。）
「ぎ」：[2] を 2 回→[*]
「ょ」：[8] を 3 回→[A/a]
「う」：[1] を 3 回
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動→文字を入力
・入力した文字の確定前にできる操作
[Menu]：全角カタカナに変換
[クリア]：入力した文字の取り消し
[A/a]：大文字／小文字の切り替え
[✉]：入力直後に 1 つ前の文字に戻す
（例：…→ 1 →お→え→う→…）
[*]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）

2 [□]
・変換候補一覧の表示：[○]／[□]
・変換前の状態に戻す：[クリア]
3 [●]

■文字の削除

● **カーソルが文中にあるとき**
[クリア]：カーソル位置の文字の削除
[クリア] を 1 秒以上：カーソル位置の文字とその右側にあるすべての文字の削除

● **カーソルが文末にあるとき**
[クリア]：カーソル位置の左側にある文字の削除
[クリア] を 1 秒以上：すべての入力文字の削除

■記号・絵文字・定型文の入力

● **記号を入力する**
文字入力中に [A/a] →記号を選択
・[□][1] を押しても入力可能

● **絵文字を入力する**
文字入力中に [✉] →絵文字を選択
・[□][2] を押しても入力可能

● **定型文を入力する**
文字入力中に [□][7] →定型文種別を選択→定型文を選択
・[□][Menu] を押しても入力可能

■区点コードでの入力

文字入力中に [□][8] →区点コード（4 桁）を入力

キリトリ線

カメラ機能

■静止画／動画の撮影

●静止画を撮影する

1 待受画面でレンズカバーを開ける
2 被写体にカメラを向けて [●] または [📷]
3 [●] または [📷]

●動画を撮影する

1 待受画面で [◎] を 1 秒以上
2 被写体にカメラを向けて [●] または [📷]
3 [📖] または [📷]
4 [●] または [📷]

■撮影した画像の表示／動画の再生

●画像を表示する

1 待受画面で [◎][1]
2 「カメラ」を選択→画像を選択
・フォルダ内の別画像の表示：[◎]

●動画を再生する

1 待受画面で [◎][2]
2 「カメラ」を選択→動画を選択
・動画再生中にできる操作
[◎]：音量調整
[◎]：早送り再生
[●]：一時停止／再生
[📖]：停止

テレビ電話

■テレビ電話のかけかた

1 待受画面で電話番号を入力
2 [テレビ電話]
・通信速度を指定して発信：[Menu][3]→発信方法を選択→[Menu]→「はい」を選択

3 通話する
・通話中保留：[●]
・スピーカーホン機能を利用：[文字]／[✉]
・送信画像の切り替え：[テレビ電話]
4 通話が終了したら [PWR]

■テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる
・応答保留：[PWR]
2 [テレビ電話]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作 3 と同様
3 通話が終了したら [PWR]

ｉモードメール

■送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	－	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

■ｉモードメールの作成・送信

1 待受画面で [✉] を 1 秒以上

2 宛先欄を選択→入力方法を選択→宛先を入力または選択
3 題名欄を選択→題名を入力
4 本文欄を選択→本文を入力
・デコメールの作成：本文入力画面で [✉]→装飾方法を選択→文字を入力
5 [📖]
・メールの保存：[Menu][2]

■ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄を選択
メール作成画面の表示方法☛P11
2 添付するファイルの種類を選択
・静止画を撮影して添付：「イメージ」→「静止画を撮影」
・動画を撮影して添付：「ｉモーション」→「動画を撮影」
3 「本体」または「miniSD カード」を選択し、フォルダを選択
4 ファイルを選択
・添付ファイルの解除：解除する添付欄にカーソルを合わせる→ [✉] →「はい」を選択

■送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき
1 待受画面で [✉][4]
・送信メールの編集：待受画面で [✉][5]
2 フォルダを選択

3 メールを選択
・送信メールの編集：[📖]
4 編集→[📖]

■ｉモードメールの受信

1 メールを受信する
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示される
2 [●] または [1]
3 フォルダを選択
4 メールを選択

■ｉモード問合せ

待受画面で [✉][✉]

メニュー一覧

待受画面で [Menu] を押してから、各項目の番号を入力します。
〈例〉カメラを起動するとき
[Menu]→[6]→[1]

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 チャットメール　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 ｉモード問合せ　2 SMS 問合せ
  - 3 メール選択受信　4 ｉモード問合せ設定
- 7 SMS
  - 1 SMS 作成　2 FOMA カード(UIM)受信 SMS
  - 3 FOMA カード(UIM)送信 SMS　4 SMS 設定
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
  - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
  - 5 メール返信引用設定　6 メール選択受信設定
  - 7 メール受信添付ファイル設定　8 メールグループ
  - 9 表示設定
    - 1 メール一覧表示設定　2 添付ファイル自動再生設定
    - 3 受信表示設定

2 ｉモード
- 1 ｉMenu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL 入力　2 URL 履歴
- 4 画面メモ　5 ラスト URL
- 6 ｉモード問合せ
- 7 メッセージ
  - 1 メッセージ R　2 メッセージ F
  - 3 メッセージ設定
    - 1 自動表示設定　2 ｉモード問合せ設定
    - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
- 8 ｉモード設定
  - 1 ワンタッチサイト表示　2 接続待ち時間設定
  - 3 接続先設定　4 証明書表示／使用設定
  - 5 ユーザ証明書操作　6 証明書発行接続先設定
- 9 表示設定
  - 1 表示・効果設定　2 表示色設定
  - 3 ｉモーション設定

3 ｉアプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 ｉアプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定　6 ワンタッチｉアプリ表示

キリトリ線

3 ｉアプリ
- 3 履歴表示

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索　2 電話帳登録
- 3 FOMA カード（UIM）登録　4 着信履歴
- 5 リダイヤル
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧
- 7 自局番号

5 データ BOX
- 1 マイピクチャ　2 ｉモーション
- 3 メロディ　4 キャラ電
- 5 マイドキュメント

6 ツール
- 1 カメラ　2 ビデオカメラ
- 3 サウンドレコーダー　4 バーコードリーダー
- 5 赤外線／ PC データ連携
  - 1 赤外線全件送信　2 赤外線受信
  - 3 データ送受信設定　4 USB モード設定
- 6 miniSD カード　7 ICカードソフト一覧

7 ステーショナリー
- 1 スケジュール帳　2 メモ帳
- 3 アラーム　4 電卓

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 音の設定
  - 2 着信音量調整
    - 1 電話着信音量調整　2 メール着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定
  - 5 電池アラーム音設定　6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定　8 呼出動作開始時間設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
  - 2 発着信画面表示設定
    - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
    - 3 テレビ電話発信設定　4 テレビ電話着信設定
    - 5 人物画像表示設定　6 メール送信画像設定
    - 7 メール受信画像設定　8 問合せ画像設定
    - 9 着信表示設定
  - 3 カラーテーマ設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定　6 イルミネーション設定
  - 7 フォント設定　8 バイリンガル
  - 9 情報表示行設定

8 設定
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック　2 PIM ロック
    - 3 遠隔ロック　4 IC カードロック
  - 2 シークレットモード　3 ダイヤル発信制限
  - 4 FOMA カード（UIM）
  - 5 暗証番号変更
  - 6 プライバシーモード設定
  - 7 スキャン機能
    - 1 パターンデータ更新　2 スキャン機能設定
    - 3 バージョン表示
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示
  - 4 通話料金
    - 1 通話料金表示　2 通話料金上限通知
    - 3 上限通知アイコン消去　4 通話料金自動リセット設定
  - 5 各種設定リセット　6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源 ON 設定
  - 3 自動電源 OFF 設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源 ON 設定

8 設定
- 6 発着信機能
  - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
  - 3 発番号なし動作設定
  - 4 イヤホン機能設定
    - 1 イヤホン切替設定　2 オート着信機能設定
    - 3 イヤホンスイッチ発信設定
  - 5 メモリ別着信拒否／許可　6 メモリ登録外着信拒否
  - 7 応答保留ガイダンス設定　8 エニーキーアンサー設定
  - 9 優先通信モード設定
- 7 通話機能
  - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
  - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
  - 5 プレフィックス設定　6 国際ダイヤル自動付加
  - 7 サブアドレス設定　8 通話中クローズ設定
  - 9 着信中オープン応答
- 8 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発信設定　2 テレビ電話着信設定
  - 3 テレビ電話動作設定　4 テレビ電話画像選択
  - 5 テレビ電話使用機器設定
  - 6 テレビ電話切替機能通知
    - 1 切替機能通知開始　2 切替機能通知停止
    - 3 切替機能通知設定確認

8 設定
- 9 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW 検索方法　6 ソフトウェア更新
  - 7 スライド編集設定

9 NW サービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス
    - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
    - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
    - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
    - 7 メッセージ問合せ
  - 2 件数増加鳴動設定
  - 3 着信通知
    - 1 着信通知開始　2 着信通知停止
    - 3 着信通知設定確認
  - 4 表示消去
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認

9 NW サービス
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 迷惑電話全登録削除
  - 3 迷惑電話 1 登録削除
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他の NW サービス
  - 1 USSD 登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認
  - 5 デュアルネットワーク
    - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認
  - 6 サービスダイヤル
    - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内・受付

0 自局番号

■ボタン操作一覧

待受画面から操作します。

機　能	操作方法
電源 ON ／ OFF	を 2 秒以上
セルフモード	を 1 秒以上→「はい」を選択（解除時は を 1 秒以上）
プロテクトキーロック	プロテクトキーを下にスライドさせてから離す
ドライブモード	を 1 秒以上
ｉモードメニュー	
ｉアプリフォルダ一覧	を 1 秒以上
着信履歴	
プライバシーモード※	を 1 秒以上（解除時は を 1 秒以上→端末暗証番号入力）
リダイヤル	
マナーモード	または を 1 秒以上
新規起動メニュー	

機　能	操作方法
伝言メモ／音声メモメニュー	
IC カードロック	を 1 秒以上→「はい」を選択（解除時は を 1 秒以上→端末暗証番号入力）

※：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

ネットワークサービス

■留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● **サービスを開始する**

1 待受画面で Menu 9 1 1 1
2 「はい」を選択
3 「はい」を選択
4 呼出時間を入力→

キリトリ線

●サービスを停止する

1 待受画面で [Menu][9][1][1][3]

2 「はい」を選択

●伝言メッセージを再生する

1 待受画面で [Menu][9][1][1][5]

2 「はい」を選択

3 音声ガイダンスに従って操作する

■キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始／停止する

1 待受画面で [Menu][9][2]

2 [1]（開始）／[2]（停止）

3 「はい」を選択

●通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に [文字]

・通話相手の切り替え：[発信]

●通話中に電話をかける

通話中に [Menu][8] →電話番号を入力→ [文字]

・通話相手の切り替え：[発信]

●通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら [電源]

・保留中相手との通話再開：[文字]

■転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

●サービスを開始する

1 待受画面で [Menu][9][3][1]

2 「はい」を選択

3 「はい」を選択

4 転送先電話番号を入力→ [決定]

・電話帳から転送先を入力：[Menu]

5 [帳] →「はい」を選択

6 呼出時間を入力→ [決定]

●サービスを停止する

1 待受画面で [Menu][9][3][2]

2 「はい」を選択

■番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

●サービスを開始／停止する

1 待受画面で [Menu][9][6]

2 [1]（開始）／[2]（停止）

3 「はい」を選択

■利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール （料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料） 午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きた時の緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

■ディスプレイ上部

①～⑬

MONTH 8 SUN 21 MON 22 TUE 23 WED 24 THU 25 FRI 26 SAT 27

08/26 〔金〕

①：電池残量表示　漢：文字入力モード表示

②：受信レベル　圏外：圏外表示

self：セルフモード中

：データ転送モード中など

③：ｉモード（接続）中

：ｉモード（パケット通信）中

④：赤外線通信中など

⑤：スピーカーホン機能利用中

：USBハンズフリー通信中

：積算通話料金が上限を超過

⑥：ｉモードセンター蓄積状態表示

⑦：受信メール状態表示

⑧：受信メッセージR状態表示

⑨：受信メッセージF状態表示

⑩：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリDX待受画面表示中

：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中

⑪：SSLページ表示中など

⑫：シークレットモード中

⑬：ｉアプリ自動起動失敗

■ディスプレイ下部

①～④

⑤～⑯

①：不在着信件数

②：伝言メモ件数

③：留守番電話新メッセージ件数

④：未読メール件数

⑤：マナーモード中

：オリジナルマナーモード中

⑥：電話着信音消音設定中

：音声電話着信のバイブレータ設定中

：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータ設定中

⑦：ドライブモード中

⑧：伝言メモ設定中

：伝言メモ満杯

⑨：プロテクトキーロック中

⑩：USB接続ケーブル接続状態表示など

⑪：フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キー表示

⑫：miniSDメモリーカード装着中

⑬：FOMAカード読み込み中

：ICカードロック中

⑭：PIMロック中

：ダイヤル発信制限中

⑮：アラーム設定中

：スケジュールアラーム設定中

：アラームとスケジュールアラーム設定中

⑯：ソフトウェア更新予約中

※：情報表示行設定のパーシャル時表示を「ON」に設定しているときは、ディスプレイ消灯中、情報表示行に各種アイコン（電池残量、受信レベル、受信メール状態表示、不在着信、マナーモード、プロテクトキーロック）が表示されます。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■**使用禁止の場所にいる場合**

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■**運転中の場合**

運転中の FOMA 端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■**満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■**劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**

静かにすべき公共の場所で FOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■**レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。**

■**街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。**

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●**マナーモード／オリジナルマナーモード**

キー確認音・着信音など FOMA 端末から鳴る音をすべて消します。ただし、カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）は鳴ります（マナーモード）。☛P114

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P115

●**ドライブモード**

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせるガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。☛P66

●**バイブレーター**

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P112

●**伝言メモ**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。☛P68

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。☛P416、P419

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

●iモードはこちら iMenu ▶ □料金&お申込 ▶ ■ドコモeサイト パケット通信料無料
●パソコンなどはこちら http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※iモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし、一部パケット通信料がかかる場合があります。
※パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元 NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ四国
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ九州

製造元 三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'05.9 (3.1版)